

H 土層

- | | | |
|----|-----------------|-----------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土粒 5%、炭化粒 2% |
| 2層 | 10YR4/3 にぶい黄褐色土 | V層土粒 10%、炭化粒 2% |
| 3層 | 10YR3/3 暗褐色土 | V層土粒 15%、炭化粒 1% |

M 土層

- | | | |
|----|--------------|------------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土 30%、柱痕 |
| 2層 | 10YR5/6 黄褐色土 | V層土 25%、炭化物 1% |
| 3層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土 40%、V層内軽石 5% |

I 土層 (ピット 2)

- | | | |
|----|---------------|-----------------------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土粒 2%、柱抜き取り痕 |
| 2層 | 10YR4/6 褐色土 | 柱埋土の崩落土 |
| 3層 | 7.5YR6/5 明褐色土 | V層土粒・ブロック 50%以上、柱抜き取り時の壁崩落土 |

N 土層

- | | | |
|----|--------------|----------------------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | 10YR4/6 褐色砂質シルト粒 2%、焼土粒 3% |
|----|--------------|----------------------------|

I 土層 (ピット 3)

- | | | |
|----|-------------|---------------------|
| 1層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土粒 3%、炭化粒 1% |
| 2層 | 10YR4/4 褐色土 | V層土粒・ブロック 15%、しまり弱い |

O 土層

- | | | |
|----|--------------|----------------|
| 1層 | 10YR3/3 暗褐色土 | V層土 10%、炭化粒 2% |
| 2層 | 10YR4/4 褐色土 | V層土 40%、炭化物 2% |

J 土層

- | | | |
|----|---------------|--------------------------|
| 1層 | 10YR2/3 黒褐色土 | 10YR4/6 褐色土 15%、炭化粒 3% |
| 2層 | 10YR3/3 暗褐色土 | V層内軽石 10%、10YR4/6 褐色土 5% |
| 3層 | 10YR3/4 暗褐色土 | 10YR5/6 黄褐色土粒 25% |
| 4層 | 7.5YR5/6 明褐色土 | V層土 50%、貼床構築土 |
| 5層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土・浮石 30%、炭化粒 1%、柱埋め土 |

P 土層

- | | | |
|----|-----------------|-------------------|
| 1層 | 10YR5/4 にぶい黄褐色土 | V層土 30%、炭化粒 2% |
| 2層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土・軽石 15%、炭化粒 1% |
| 3層 | 7.5YR 明褐色土 | V層土 40%、炭化物 1% |

K 土層 (ピット 5)

- | | | |
|----|--------------|-------------------------|
| 1層 | 10YR3/3 暗褐色土 | V層土 10%、V層内軽石 1%、炭化粒 3% |
|----|--------------|-------------------------|

Q 土層

- | | | |
|----|-------------|--------------------------|
| 1層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土 25% |
| 2層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土・軽石 40% |
| 3層 | 10YR4/4 褐色土 | V層土 30%、土器数片含有、全体粗でしまりなし |
| 4層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土 40% |

K 土層 (ピット 18)

- | | | |
|----|---------------|-----------------------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土粒 2%、柱抜き取り痕 |
| 2層 | 10YR4/6 褐色土 | 柱埋土の崩落土 |
| 3層 | 7.5YR6/5 明褐色土 | V層土粒・ブロック 50%以上、柱抜き取り時の壁崩落土 |

R 土層

- | | | |
|----|-------------|-------------------|
| 1層 | 10YR4/4 褐色土 | V層土 50% |
| 2層 | 10YR4/4 褐色土 | V層土 40%、他層よりしまり弱い |
| 3層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土 40% |

L 土層

- | | | |
|----|--------------|----------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土 20%、炭化粒 2% |
| 2層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土 50% |
| 3層 | 10YR4/6 褐色土 | V層土 20% |

S 土層

- | | | |
|----|--------------|----------------|
| 1層 | 10YR3/3 暗褐色土 | V層土 5%、炭化粒 2% |
| 2層 | 10YR3/4 暗褐色土 | V層土 30% |
| 3層 | 10YR4/4 褐色土 | V層土 40%、炭化粒 1% |

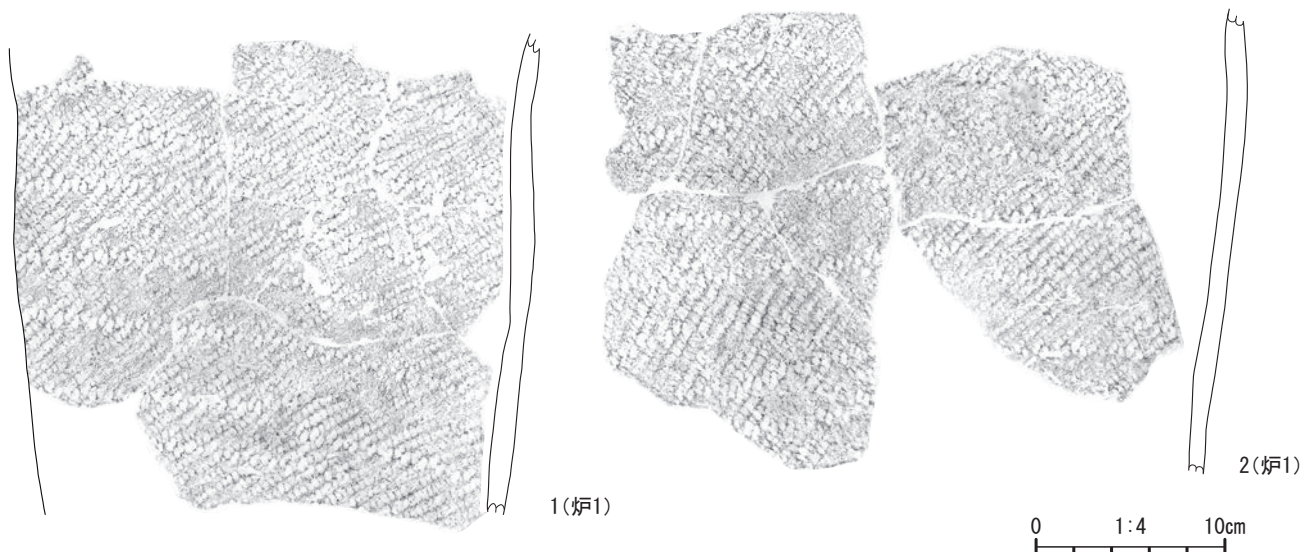
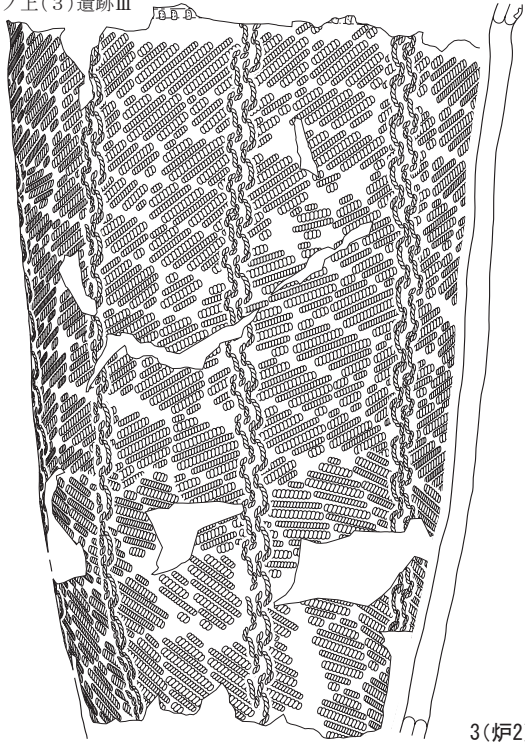
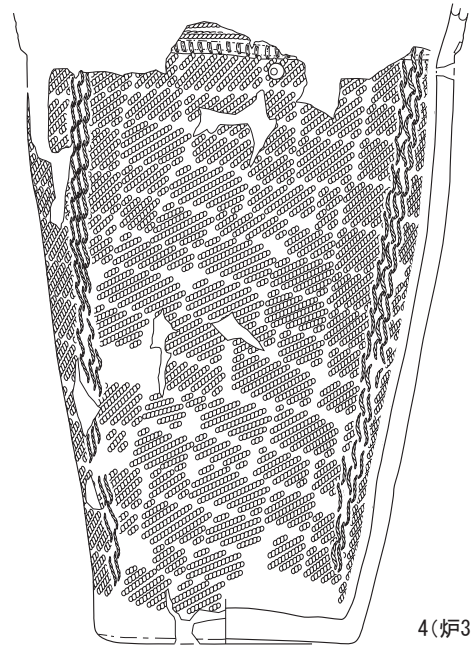


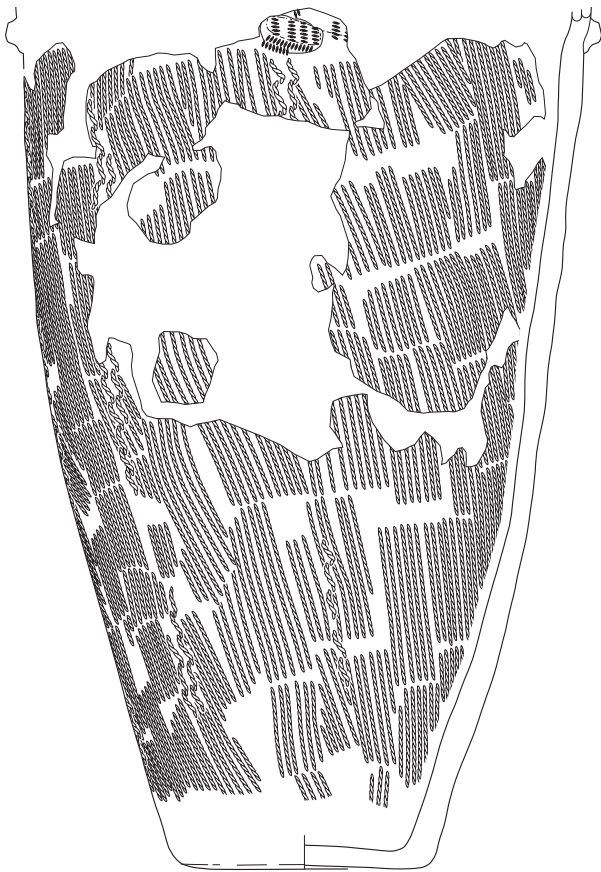
図133 第40・46号竪穴住居跡出土遺物



3(炉2)



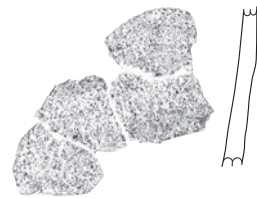
4(炉3)



5(炉4)



6(炉5)



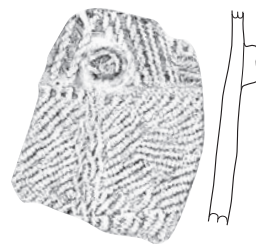
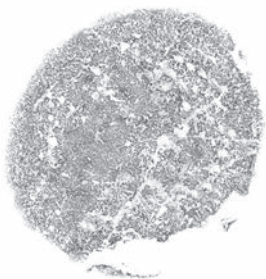
7(炉6)



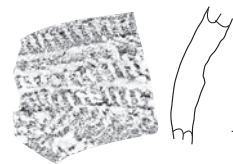
8(炉6)



9



10



11



图134 第40号竖穴住居跡出土遺物

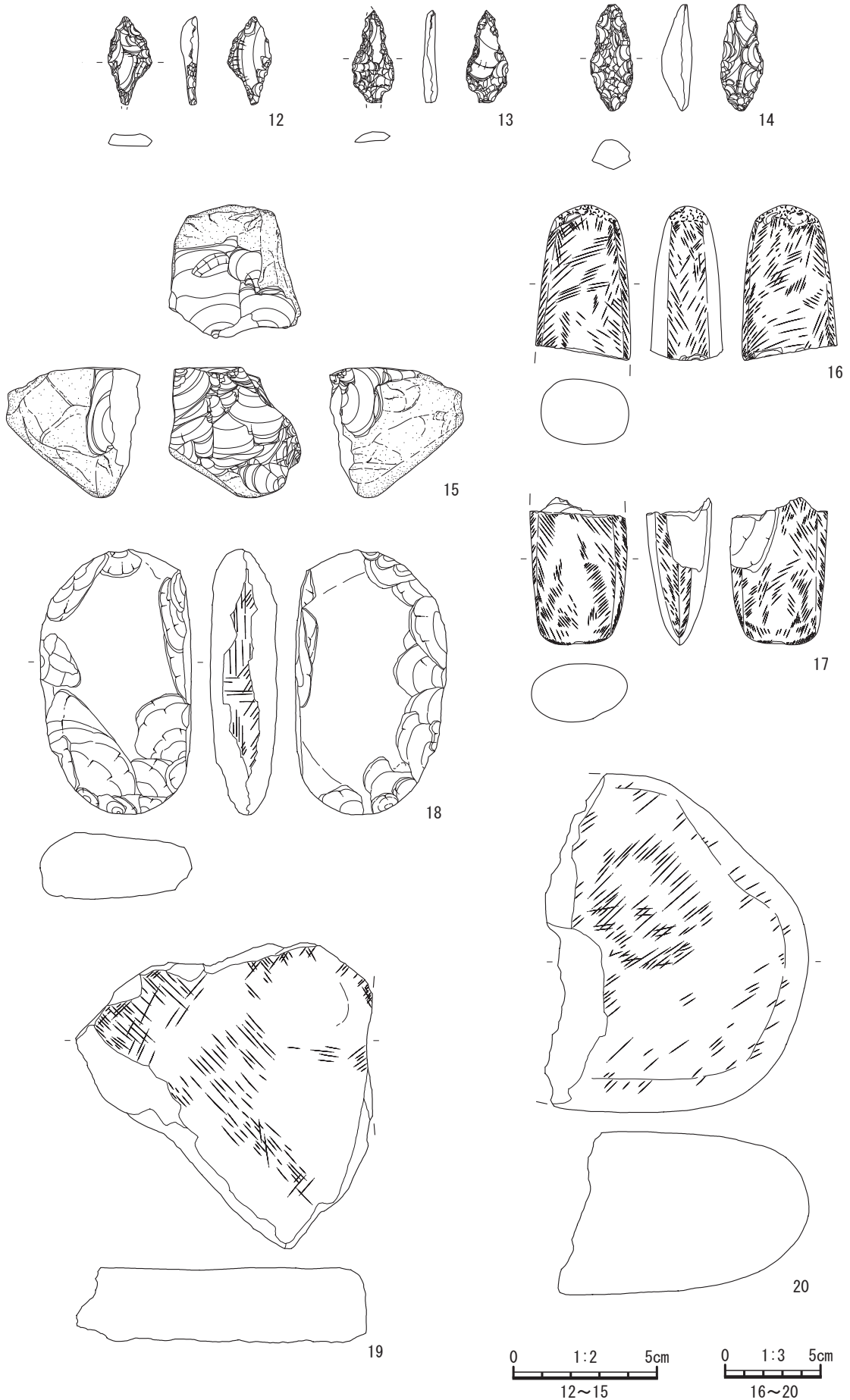
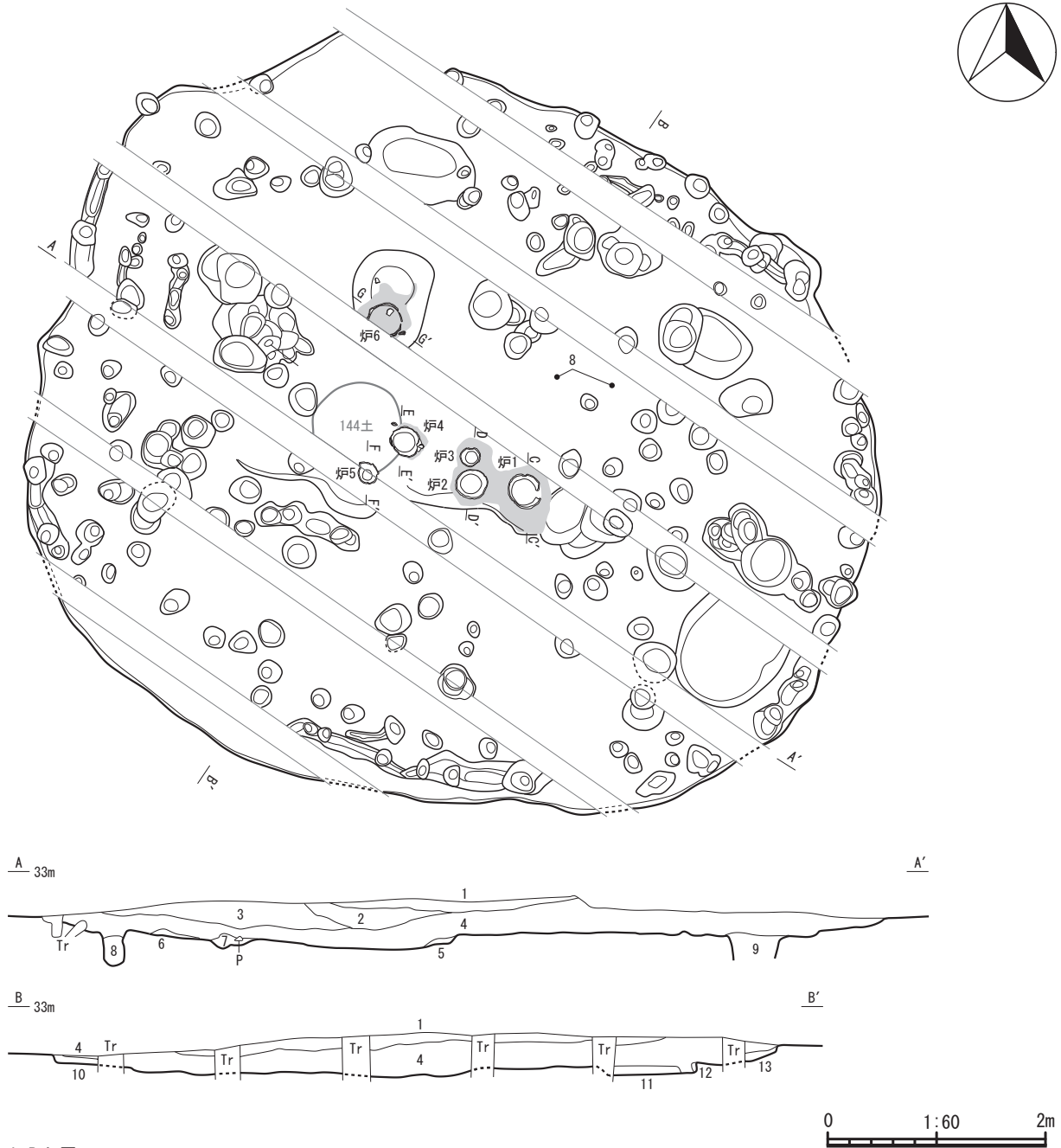


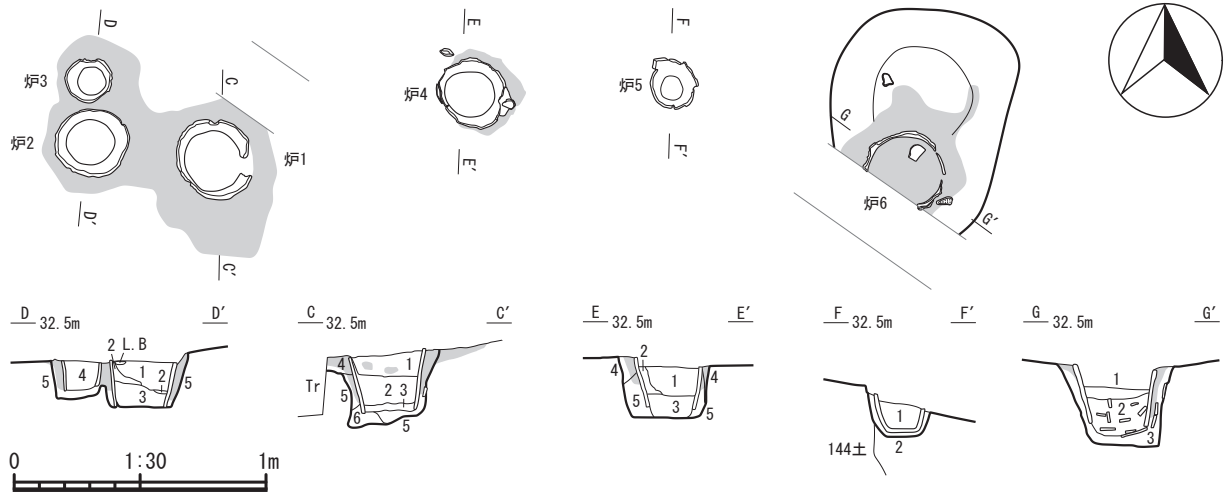
图135 第40号竖穴住居跡出土遺物



A・B土層

- 1層 10YR3/4暗褐色土 中礫軽石少量
- 2層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量、中礫軽石中量
- 3層 10YR5/6黄褐色土
- 4層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒多量
- 5層 10YR4/4褐色土
- 6層 10YR4/6褐色土
- 7層 10YR4/6褐色土 軽石含有
- 8層 10YR4/6褐色土 (ピット)
- 9層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック多量(ピット)
- 10層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック少量
- 11層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量
- 12層 10YR4/6褐色土
- 13層 10YR3/4暗褐色土

図136 第41号竪穴住居跡



炉1(C土層)

- 1層 10YR4/4褐色土 ローム粒多量、焼土ブロック中量
- 2層 10YR3/3暗褐色土 焼土粒・炭化物含有
- 3層 10YR4/6褐色土 ロームブロック多量
- 4層 10YR3/4暗褐色土 焼土化
- 5層 10YR5/8黄褐色土 焼土化
- 6層 10YR3/3暗褐色土

炉2・3(D土層)

- 1層 10YR4/4褐色土 ローム粒多量、ロームブロック含有、上位硬化
- 2層 10YR2/1黒色土 灰・炭化物多量
- 3層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量
- 4層 10YR4/6褐色土 ロームブロック多量、焼土ブロック含有

- 5層 10YR5/6黄褐色土 焼土化

炉4(E土層)

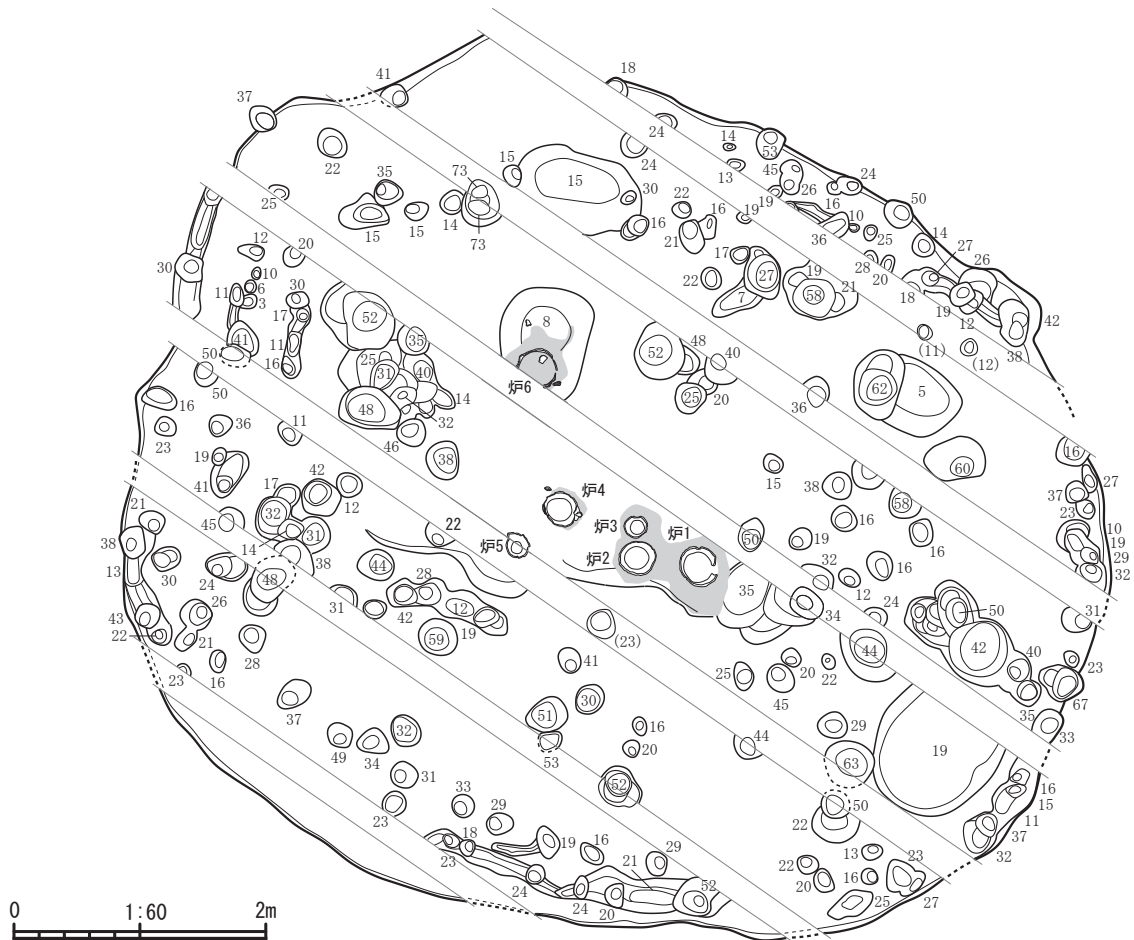
- 1層 10YR3/4暗褐色土 中礫軽石少量
- 2層 10YR4/6褐色土
- 3層 10YR4/6褐色土 焼土ブロック含有
- 4層 10YR5/6黄褐色土 焼土化
- 5層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量、上位焼土化

炉5(F土層)

- 1層 10YR4/6褐色土 ロームブロック・焼土塊含有
- 2層 10YR4/6褐色土

炉6(G土層)

- 1層 7.5YR4/3暗褐色土
- 2層 7.5YR4/6褐色土 焼土多量
- 3層 7.5YR4/6褐色土 焼土化



ピット計測値

図137 第41号竪穴住居跡

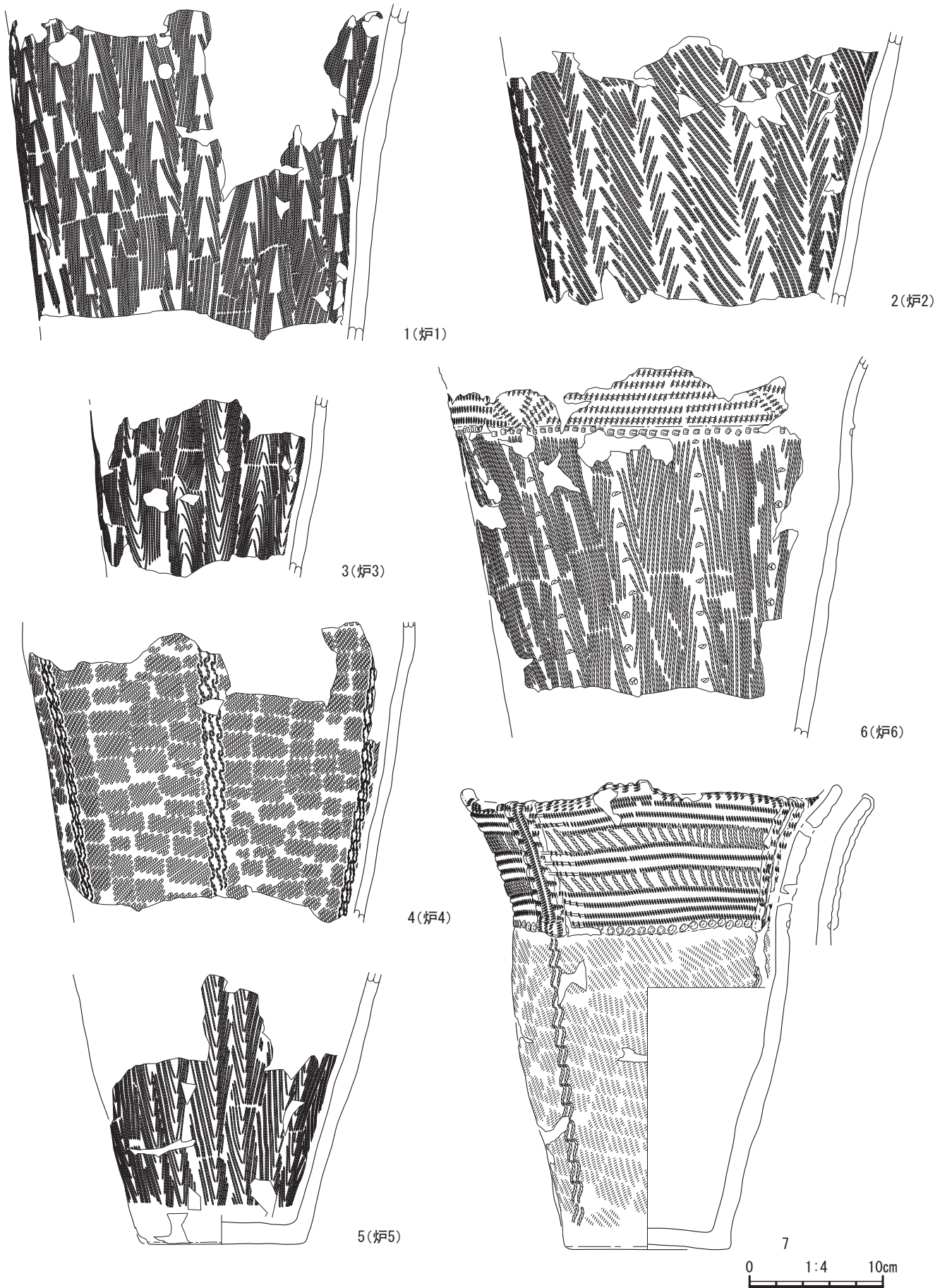


图138 第41号竖穴住居跡出土遺物

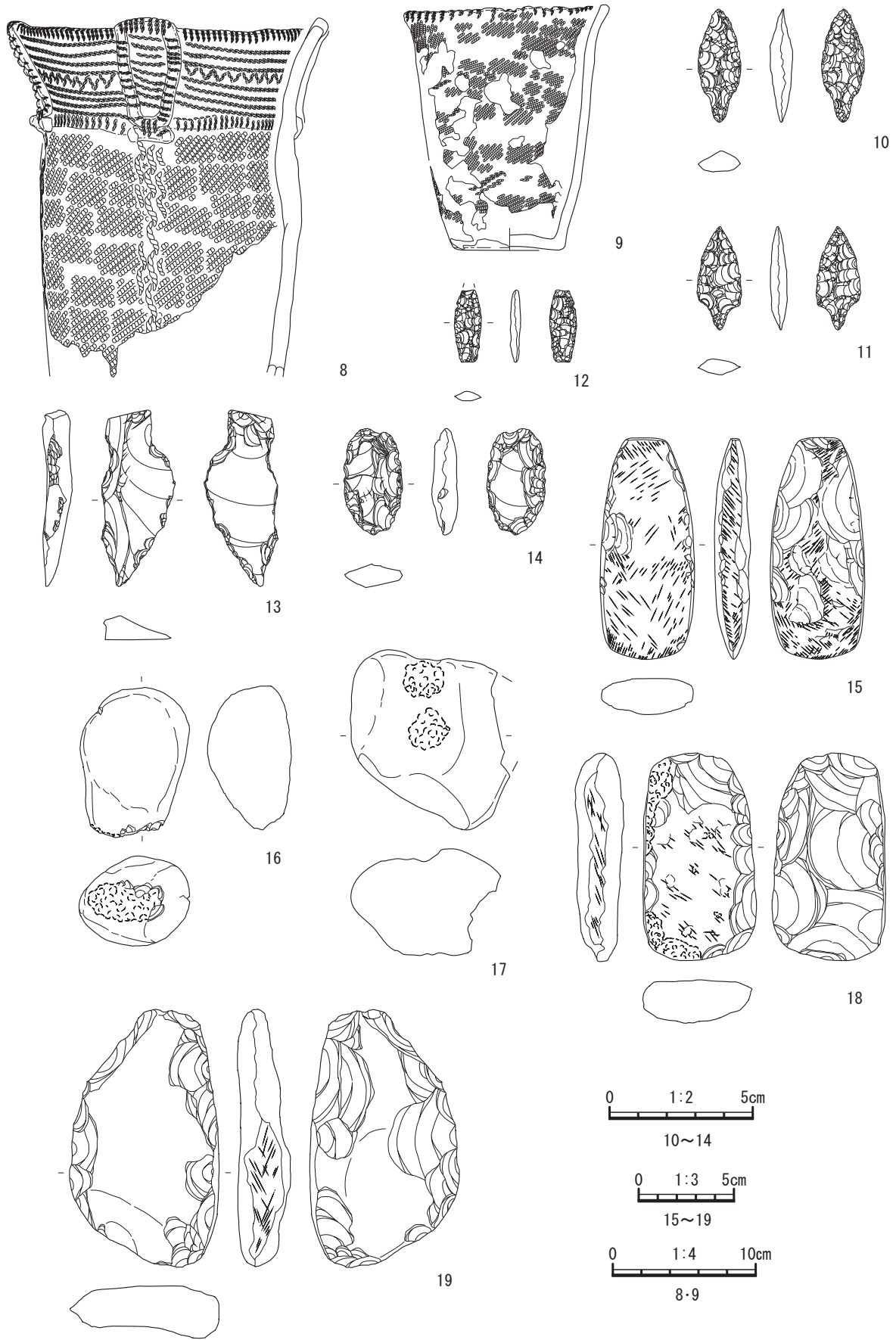
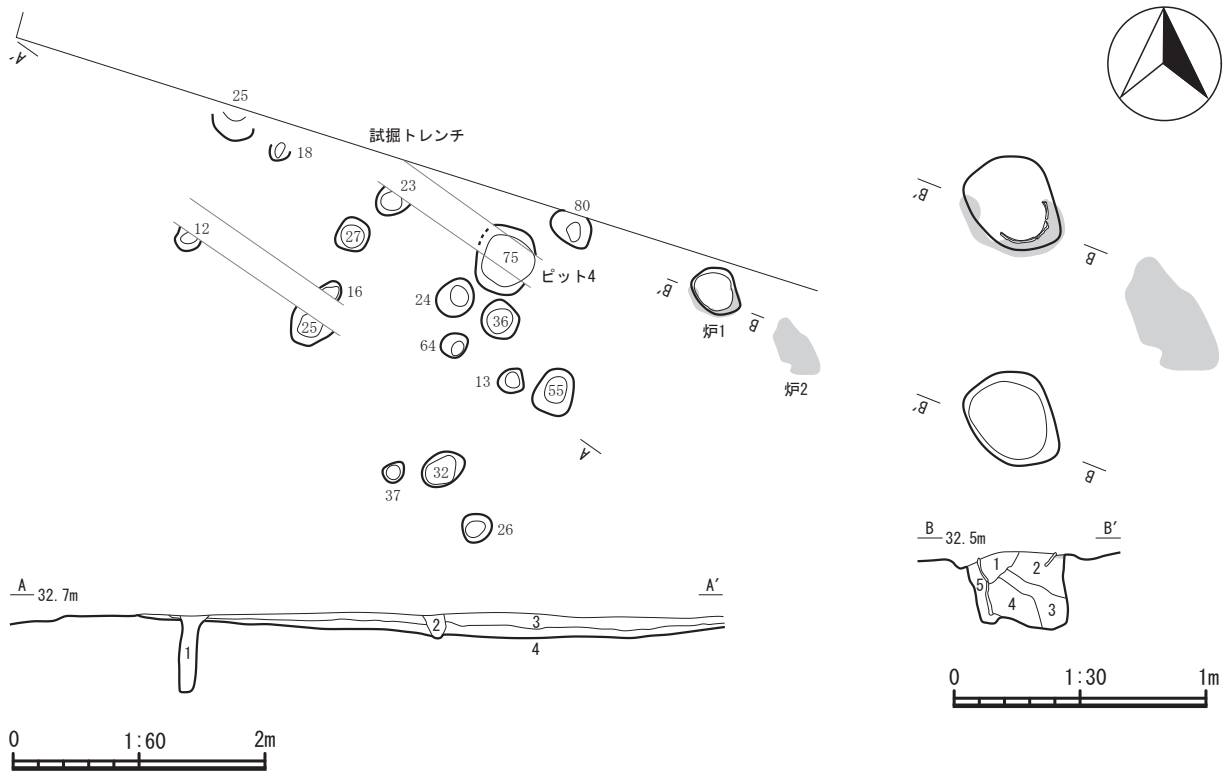


图139 第41号竖穴住居跡出土遺物



A土層

- 1層 10YR3/2黒褐色土 (ピット)
- 2層 10YR3/2黒褐色土 (ピット)
- 3層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土20%
- 4層 10YR3/2黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土30%

炉1 (B土層)

- 1層 10YR3/2黒褐色土 焼土1mm1%、中礫軽石2%
- 2層 10YR3/1黒褐色土 2. 5YR7/8橙色焼土5%、中礫軽石2%、炭化物1mm1%
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR4/6褐色土20%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm2%
- 4層 10YR3/2黒褐色土 10YR4/6褐色土10%、焼土2~10mm2%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm2%
- 5層 10YR3/3暗褐色土 焼土2mm2%

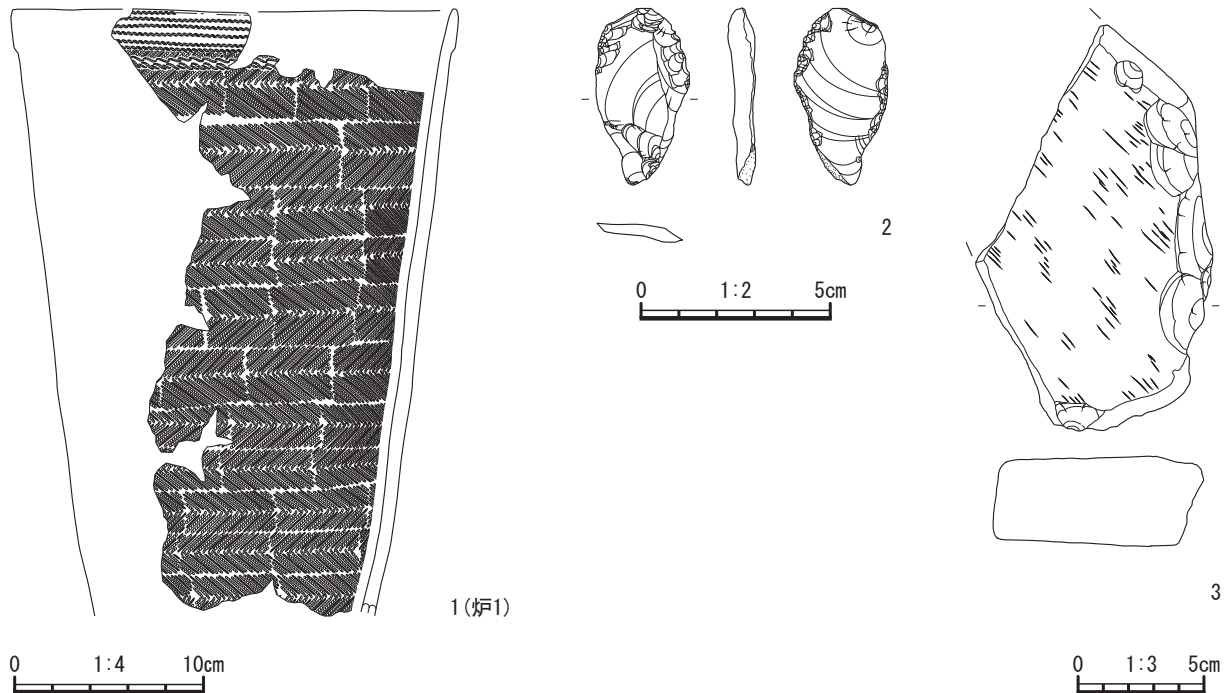


図140 第42号竪穴住居跡

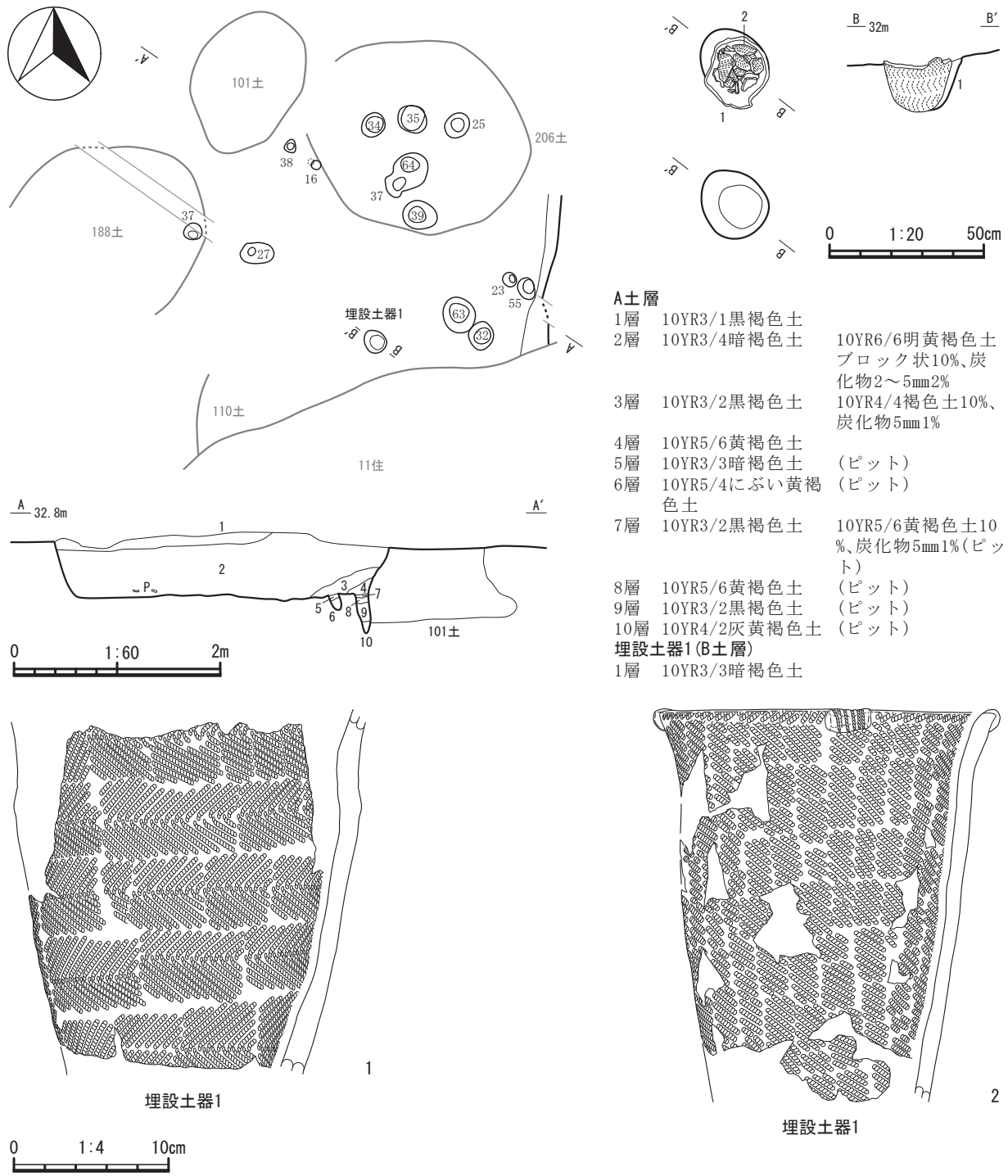


図141 第43号竪穴住居跡

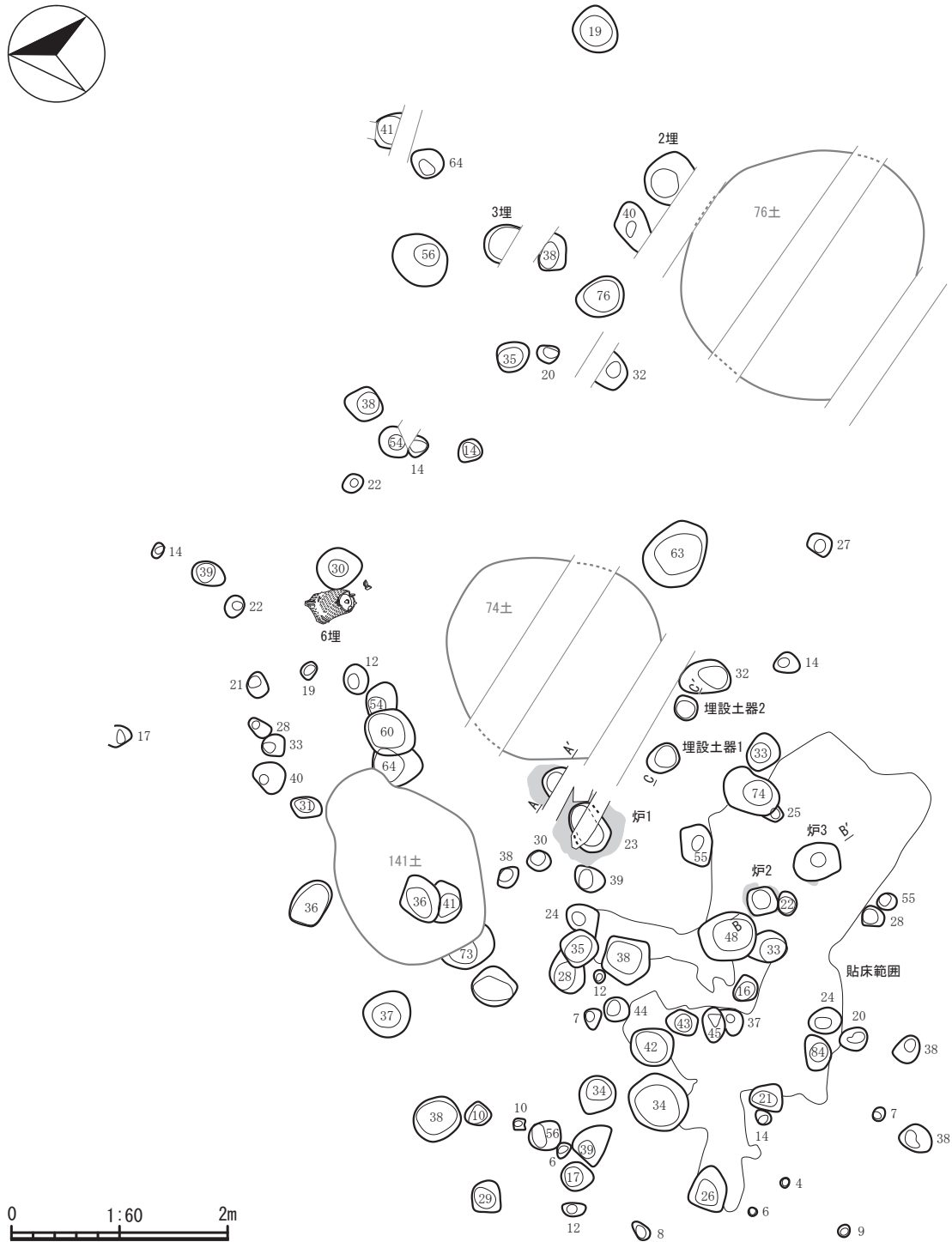
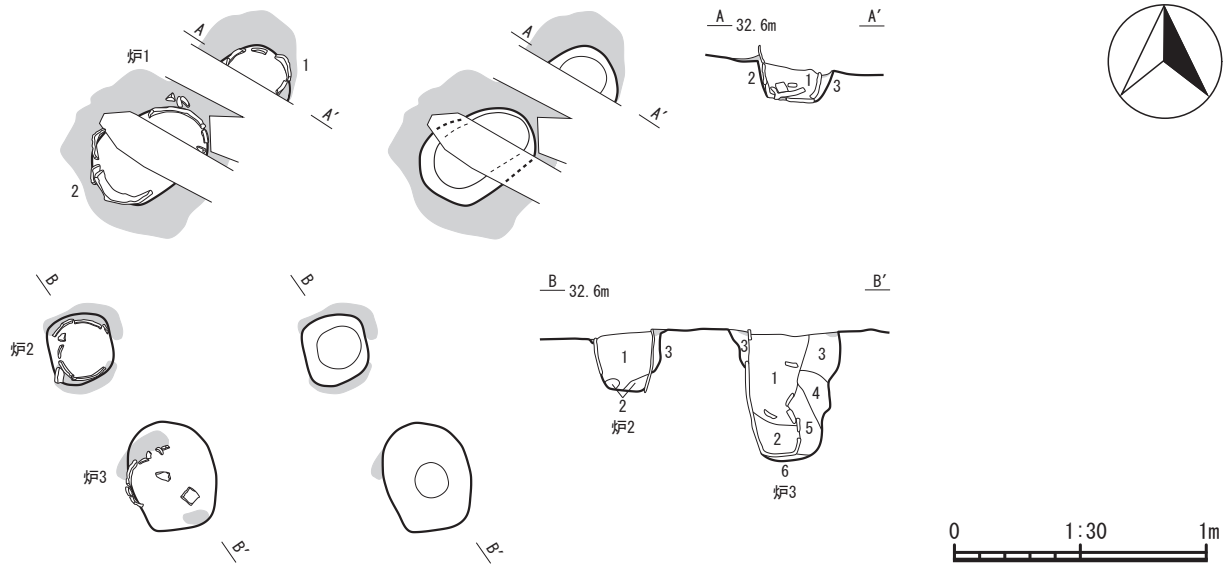


図142 第44号竖穴住居跡



炉1 (A土層)

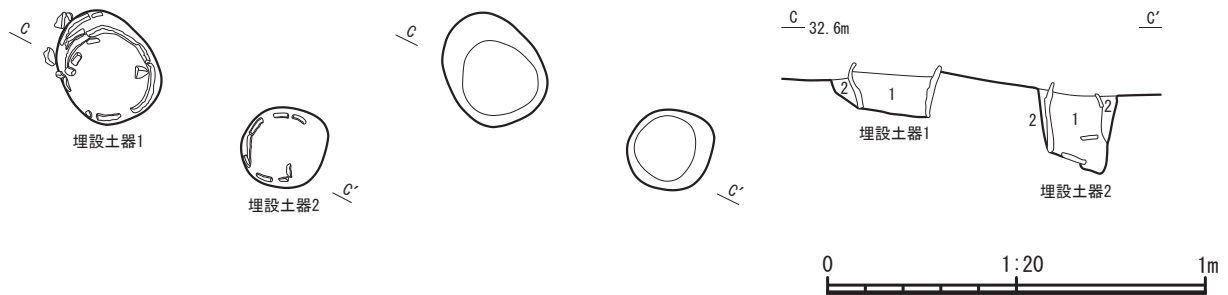
- 1層 10YR3/2黒褐色土 焼土2~5mm2%、千曳軽石2~5mm2%、中掬軽石2%、炭化物1~5mm2%
- 2層 10YR2/2黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土10%、5YR7/8橙色焼土5%
- 3層 10YR5/4にぶい黄褐色土 5YR7/6橙色焼土15%

炉2 (B土層)

- 1層 10YR3/2黒褐色土 中掬軽石5%、千曳軽石2~10mm2%、炭化物2~5mm1%
- 2層 10YR6/6明黄褐色土
- 3層 10YR3/3暗褐色土 5YR7/6橙色焼土10%

炉3 (B土層)

- 1層 10YR3/2黒褐色土 千曳軽石2~10mm5%、中掬軽石5%、炭化物1~2mm2%
- 2層 10YR6/6明黄褐色土 10YR3/2黒褐色土30%
- 3層 10YR3/4暗褐色土 5YR7/8橙色焼土5%、中掬軽石2%、千曳軽石2~5mm1%
- 4層 10YR3/2黒褐色土 中掬軽石5%、千曳軽石5~10mm2%、炭化物2mm2%
- 5層 10YR6/6明黄褐色土 10YR3/2黒褐色土10%、千曳軽石2~5mm1%、中掬軽石1%
- 6層 10YR3/2黒褐色土 千曳軽石2mm1%、中掬軽石1%



埋設土器1 (C土層)

- 1層 10YR3/3暗褐色土 中掬軽石2%、千曳軽石2mm1%、炭化物2~5mm2%
- 2層 10YR7/4にぶい黄橙色土

埋設土器2 (C土層)

- 1層 10YR3/2黒褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状5%、中掬軽石2%、千曳軽石2~5mm1%、炭化物2mm1%
- 2層 10YR5/2灰黄褐色土

図143 第44号竪穴住居跡

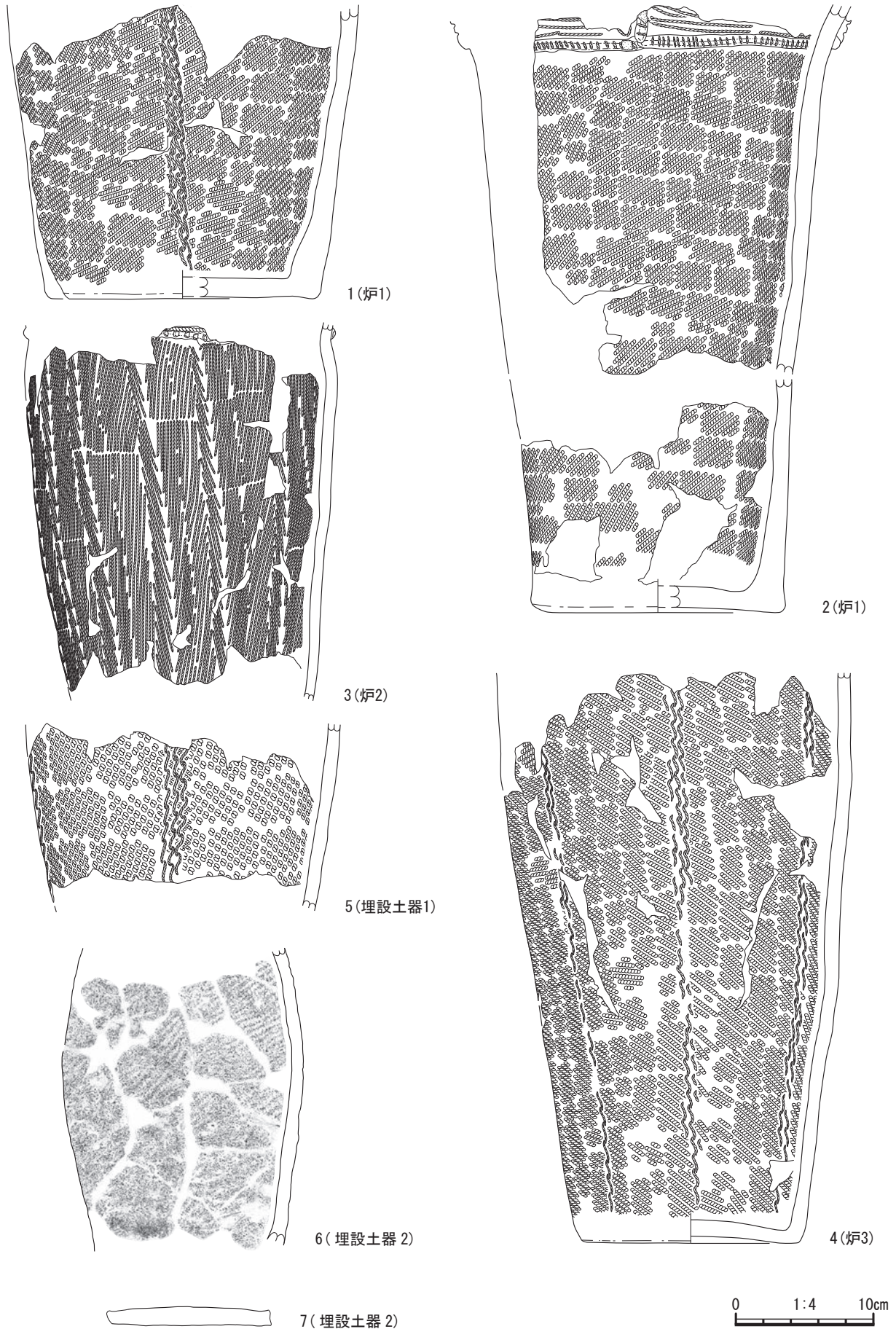


图 144 第 44 号竖穴住居跡出土遺物

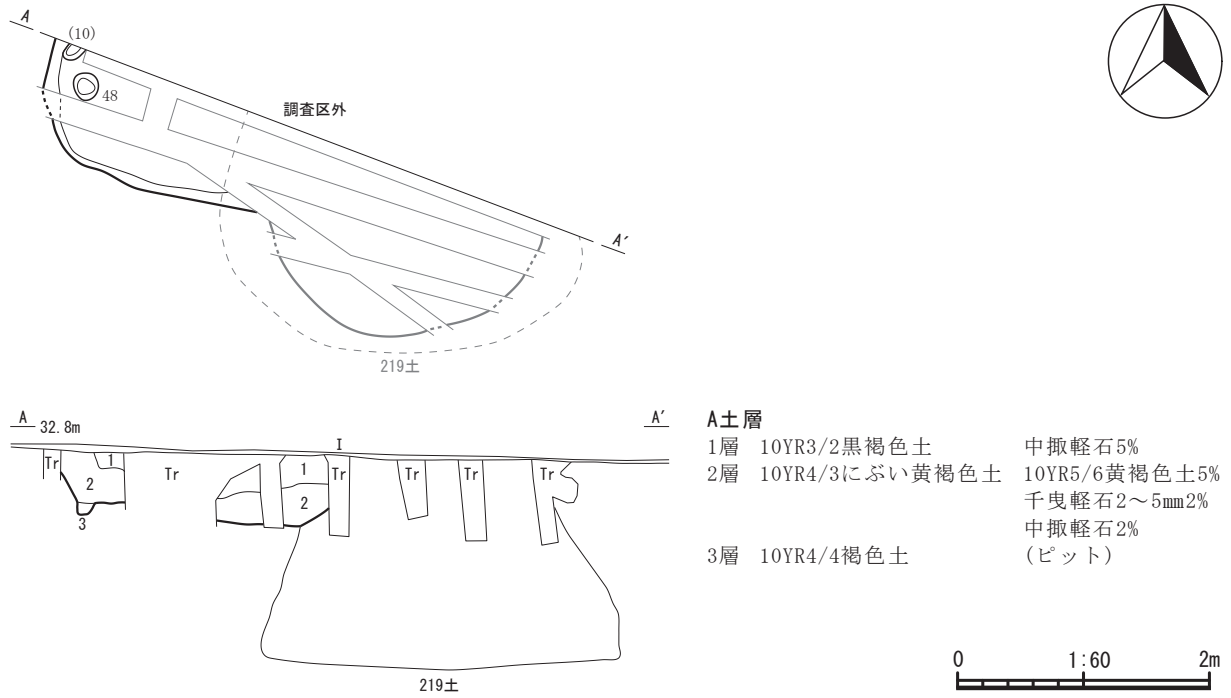
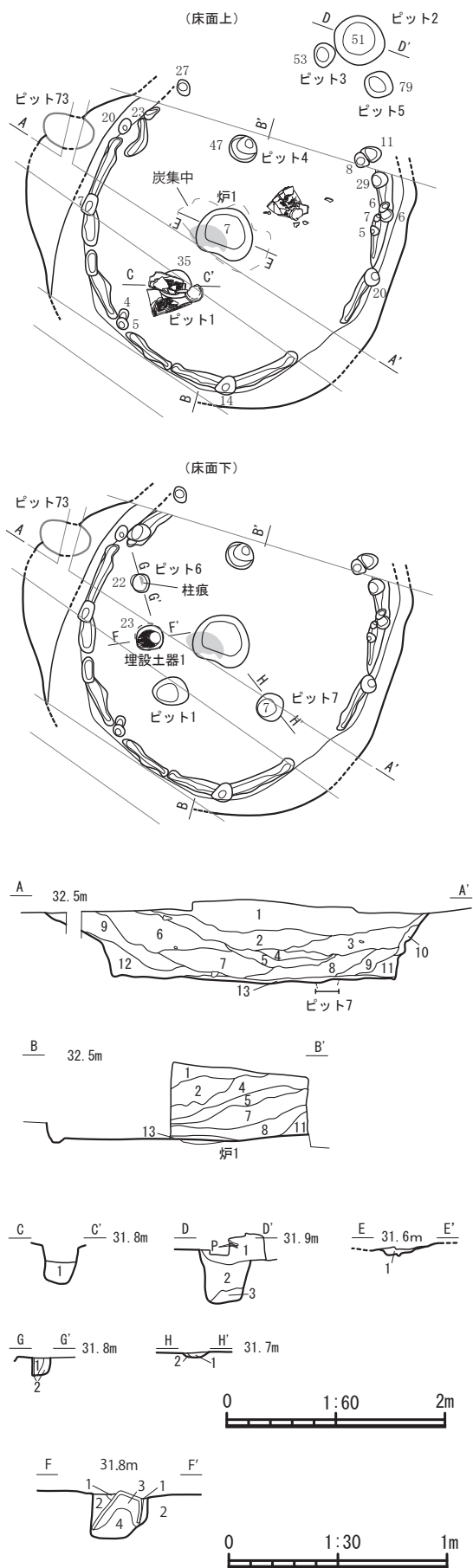


図145 第47号竪穴住居跡



A・B 土層

1層	10YR4/6 褐色土	炭化粒 1%、V層土 50%
2層	10YR4/4 褐色土	V層土 5%、炭化粒 1%
3層	10YR3/4 暗褐色土	V層土 10%、炭化粒 1%
4層	10YR3/3 暗褐色土	V層土 7%、炭化粒 2%
5層	10YR3/3 暗褐色土	V層土 5%、炭化粒 2%、焼土粒 1%
6層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	V層 3%、炭化粒・焼土粒 1%
7層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	V層 7%、炭化粒 1%
8層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	V層 25%、炭化粒 1%
9層	10YR3/4 暗褐色土	V層土 10%、焼土粒 1%、炭化粒 1%
10層	10YR4/4 褐色土	V層土 50%、壁崩落層
11層	10YR4/4 褐色土	V層土 20%、炭化粒 2%
12層	10YR4/4 褐色土	炭化粒 1%
13層	10YR3/3 暗褐色土	V層土 10%、炭化粒 5%、貼床構築土

C 土層

1層	10YR4/4 褐色土	V層土 25%、炭化粒 1%、しまりなし
----	-------------	----------------------

D 土層

1層	10YR4/4 褐色土	V層土 7%、炭化粒 2%
2層	10YR5/4 にぶい黄褐色土	V層土 7%、炭化粒 3%
3層	10YR4/4 褐色土	V層土 25%、炭化粒 1%

E 土層

1層	10YR3/4 暗褐色土	V層土 15%、炭化物 7%、一部焼土化
----	--------------	----------------------

F 土層

1層	10YR7/6 明黄褐色土	V層土 50%、貼床構築土
2層	10YR3/4 暗褐色土	V層土 20%
3層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	V層土 10%、しまりなし
4層	10YR4/6 褐色土	V層土 25%

G 土層

1層	10YR4/3 暗褐色土	軽石粒 2%、炭化物 1%
2層	10YR4/6 褐色土	軽石粒 20%

H 土層

1層	7.5YR5/6 明褐色土	V層土 15%、炭化物 1%
2層	10YR7/6 明黄褐色土	V層土 50% 以上

図146 第48号竪穴住居跡

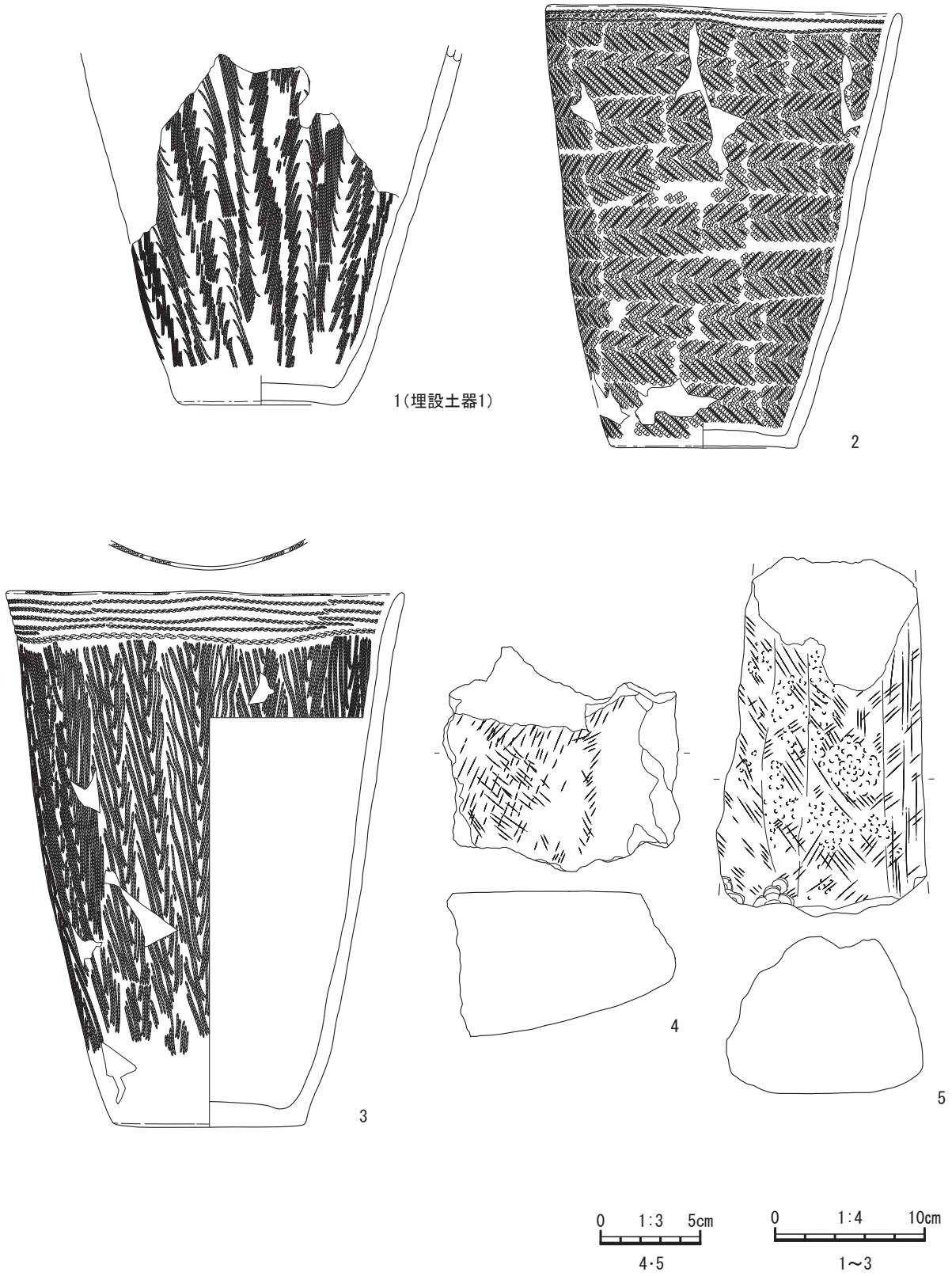


图147 第48号竖穴住居跡出土遺物

(2) 土坑

第1号土坑 (図148、写真67)

〔位置・確認〕北側調査区、VIII-200グリッドに位置しており、V層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕東側が後世の溝跡に削平されており、全容は不明である。平面形状は楕円形、検出面は推定である。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検出面の長軸は86cm残存しており、短軸は90cm残存している。底面の長軸は78cm、短軸は56cmである。深さは52cm、底面積は0.363m²であった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積の可能性も考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕縄文時代の可能性が考えられるが、詳細は不明である。

第2号土坑 (図148、写真67)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-212グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕南側が試掘トレンチに削平されており、全容は不明である。平面形状は円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は76cm残存しており、短軸は156cm残存している。底面の長軸は70cm残存しており、短軸は136cm残存している。深さは62cmであった。

〔堆積土〕褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕形状や堆積土から、縄文時代前期後葉以降と考えられるが、詳細は不明である。

第3号土坑 (図148・199、写真67・177)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-213グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形、底面は不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は172cm、短軸は160cmである。底面の長軸は214cm、短軸は200cmである。深さは152cm、底面積は3.147m²であった。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕褐色土と黒褐色土を主体とする。ローム土が下位に混入し、上位に堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石錐が出土した(1)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第4号土坑 (図148、写真67)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-211グリッドに位置しており、V層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕上部が試掘トレンチに削平されており、全容は不明である。平面形状は、検出面が不整形円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は104cm、短軸は100cmである。底面の長軸は146cm、短軸は140cmである。深さは64cm、底面積は1.675m²であった。

〔堆積土〕1層はローム土、2～4層は褐色土を主体にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第5号土坑 (図149、写真68)

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-210グリッドに位置する。IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第2号竪穴住居跡、第116・120号土坑と重複し、本遺構が最も新しい。

〔構造〕検出面・底面共に不整な円形を呈する。確認時における長軸は319cm、短軸は294cm、底面の長軸は286cm、短軸は255cmで、深さは150cm、底面積は6.020㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、ローム粒が混入する。下位には黄褐色を呈したローム質土が凸状に堆積しており、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層b～d式土器が出土している。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代中期前葉以降と考えられる。

第10号土坑 (図149、写真68)

〔位置・確認〕南側調査区、VIY-207グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は120cm、短軸は110cmである。底面の長軸は90cm、短軸は86cmである。深さは20cm、底面積は0.607㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられるが、判断し難い。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕堆積土から、縄文時代の可能性が考えられるが、詳細は不明である。

第11号土坑 (図149、写真68)

〔位置・確認〕北側調査区、VIIM-204グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は136cm、短軸は114cmである。底面は長軸120cm、短軸は98cmである。深さは20cm、底面積は0.993㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕縄文時代の可能性が考えられるが、詳細は不明である。

第12号土坑 (図149、写真68)

〔位置・確認〕南側調査区、VIF-229グリッドに位置する。IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕検出面・底面共に円形を呈する。確認時における長軸は106cm、短軸は96cm、底面の長軸は80cm、短軸は72cmで、深さは44cm、底面積は0.47㎡である。断面形状は、底面から壁がやや外傾して立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕黒褐色土を主体とする。壁際には褐色を呈したロームと黒褐色土の混合土が堆積する。自然堆積と考えられるが、不明である。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕遺構の確認層位および堆積土の特徴から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第13号土坑 (図149、写真69)

[位置・確認] 南側調査区、VID-222グリッドに位置する。Ⅳ層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第13号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

[構造] 検出面・底面共に円形を呈する。確認時における長軸は102cm、短軸は96cm、底面の長軸は88cm、短軸は84cmで、深さは78cm、底面積は0.613㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

[堆積土] 黒褐色土を主体とし、一部に壁面崩落土が堆積する。人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 出土していない。

[時期] 形状および堆積土の特徴から、縄文時代前期後葉から中期前葉と考えられるが、詳細は不明である。

第14号土坑 (図149・199、写真69・177)

[位置・確認] 南側調査区、VIE-222グリッドに位置する。Ⅳ層で黒色土の広がりとして確認した。

[構造] 検出面がやや不整な円形、底面が円形を呈する。確認時における長軸は136cm、短軸は122cm、底面の長軸は154cm、短軸は142cmで、深さは80cm、底面積は1.74㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

[堆積土] 黒褐色土や暗褐色土を主体とし、中礫軽石やロームブロックを含む。総じて人為堆積と考えられるが、上位層については、自然堆積の可能性はある。

[出土遺物] 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器および十腰内Ⅰ式土器が出土しており、復元した円筒下層d1式土器(2)、十腰内Ⅰ式土器(3～5)を図示した。

[時期] 形状および堆積土出土遺物から、縄文時代前期後葉以降と考えられるが、詳細は不明である。

第15号土坑 (図150、写真69)

[位置・確認] 南側調査区、VIE-222グリッドに位置する。Ⅳ層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第16号土坑と重複し、本遺構が古い。

[構造] 検出面・底面共に円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は残存部分で120cm、短軸は172cm、底面の長軸は216cm、短軸は190cmで、深さは116cm、底面積は3.151㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

[堆積土] 暗褐色土や黄褐色土を主体と中礫軽石やロームブロックが混入する。人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 主に1層から、円筒下層d式土器が出土している。

[時期] 形状および堆積土出土遺物から、縄文時代前期末頃と考えられる。

第16号土坑 (図150・199、写真69・177)

[位置・確認] 南側調査区、VID-222グリッドに位置する。Ⅳ層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第15号土坑と重複し、本遺構が新しい。また、第13号竪穴住居跡との新旧は、不明である。

[構造] 検出面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で204cm、短軸は174cm残存し、底面の長軸は200cm、短軸は190cmで、深さは116cm、底面積は3.128㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

[堆積土] 暗褐色土や黄褐色土を主体とし、中礫軽石やロームブロックが混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。石器は、石槍やスクレイパー類が出土している（6・7）。

〔時期〕 遺構の重複関係および堆積土出土遺物から縄文時代前期末以降と考えられる。

第17号土坑（図150、写真69・70）

〔位置・確認〕 南側調査区、VID-222グリッドに位置する。第13号竪穴住居跡の床面精査中に、黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第13号竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕 検出面・底面共に楕円形を呈する。確認時における長軸は118cm、短軸は70cm、底面の長軸は残存部分で78cm、短軸は50cmで、残存する深さは32cm、残存部分の底面積は0.12m²である。断面形状は、底面から外傾して立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕 黒褐色土の単層である。一部に褐色を呈した、第13号竪穴住居跡の貼床が残存する（1層）。人為堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 遺構の重複関係から、縄文時代前期末以前と考えられる。

第18号土坑（図150、写真70）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIP-206グリッドに位置しており、第8号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第8号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は円形である。検出面の長・短軸は174cmである。底面の長軸は170cm、短軸は158cmである。深さは18cm残存しており、底面積は2.153m²であった。

〔堆積土〕 1層は第8号竪穴住居跡の構築に伴う貼床と考えられる。2層は暗褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d式の破片が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第19号土坑（図150・199・200、写真70・177）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-206グリッドに位置しており、第8号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第8号竪穴住居跡と第213号土坑と重複する。本土坑は第8号竪穴住居跡より古い、第213号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕 平面形状は不整形円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は128cm、短軸は116cmである。底面の長軸は206cm、短軸は182cmである。深さは166cm、底面積は2.877m²であった。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d1式が出土した（8・9）。8・9は同一個体の可能性が考えられる。石器は半円状扁平打製石器が3点出土した（12）。土製品は土器片利用土製品が2点出土した（10・11）。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第20号土坑 (図151・200、写真70・177)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、第8号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第8号竪穴住居跡と第186号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は116cm、短軸は108cmである。底面の長軸は170cm、短軸は156cmである。深さは54cm残存しており、底面積は2.073m²であった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2式の土器が出土した(13)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第21号土坑 (図151・200、写真70・71・177)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-212グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第9号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は88cm、短軸は82cmである。底面の長軸は190cm、短軸は176cmである。深さは104cm、底面積は2.774m²であった。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d式の破片が出土した。石器は礫器が2点出土した(14)。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第22号土坑 (図151・200、写真71・177)

〔位置・確認〕南側調査区、VIJ-208グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第65号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面が不整形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は56cm残存しており、短軸は90cm残存している。底面の長軸は164cm、短軸は146cmである。深さは116cm、底面積は2.002m²と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が底部に堆積し、壁際に混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d1式の破片が出土した。石器は凹石と磨石が出土した(15)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第23号土坑 (図151・201、写真71・177・178)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-208グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕ピットと重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は134cm、短軸は108cmである。底面の長軸は192cm、短軸は174cmである。深さは120cm、底面積は2.664m²であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、底部にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層c～d1式と考えられる土器が出土した（16・17）。16は北西壁際の中位から出土しており、倒立した状態であった。石器は石篋、スクレイパー類3点、R・Fが出土した（18・19）。土製品はミニチュア土器の細片、石製品は南側の中位から石棒と思われる破片が出土した（20）。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期後葉から末と考えられる。

第24号土坑（図151、写真71）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-208グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第14号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形である。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検出面の長軸は142cm残存しており、短軸は60cm残存している。底面の長軸は134cm、短軸は120cmである。深さは84cm、底面積は1.255㎡であった。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、底面にローム土が堆積する。堆積状況から人為堆積と考えられ、2基の土坑が重複する可能性もある。

〔出土遺物〕 円筒下層d式の破片が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第25号土坑（図152・201・202、写真72・178）

〔位置・確認〕 南側調査区、VII-208グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第54号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は142cm残存しており、短軸は128cmである。底面の長軸は268cm、短軸は234cmである。深さは140cm、底面積は5.006㎡であった。

〔堆積土〕 暗褐色土や黒褐色土を主体に、底部の壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d2～上層a式と考えられる土器が出土した（21）。石器は敲石、凹石、磨石、台石が出土した（22～24）。

〔時期〕 出土遺物や重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第26号土坑（図152・202・203、写真72・178）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIM-207グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第51号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は楕円形、検出面は推定である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は100cm残存しており、短軸は80cmである。底面の長軸は242cm残存しており、短軸は212cmである。深さは164cm、底面積は3.836㎡と推定される。底面の中央から、ピットを2基検出した。深さは北側が9cm、南側が16cmである。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、底部にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 底面から下位を主体に円筒下層c式の土器が出土した（25～29）。25～27は東壁際の底面

から出土した。25は口縁を南に向け、横位で潰れた状態であった。28は北西壁際の底面から出土しており、口縁を東に向け、横位の状態であった。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期後葉と考えられる。

第27号土坑 (図152・203、写真72・73・179)

〔位置・確認〕 南側調査区、VII-207グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は134cm残存しており、短軸は40cm残存している。底面の長軸は210cm、短軸は202cmである。深さは154cm、底面積は3.463m²であった。

〔堆積土〕 黒褐色土や暗褐色土を主体に、ローム土が底部に堆積し、中位に混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d1式が出土した(34・35)。34は東壁際の底面直上から出土しており、口縁を北に向け、横位で潰れた状態であった。36は大木系土器と考えられる。石器は石匙、スクレイパー類2点、U・F、磨石、半円状扁平打製石器が出土した(33・37)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第28号土坑 (図153・203、写真73・179)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-211グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で褐灰色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第9号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は不整円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は138cm、短軸は122cmである。底面の長軸は234cm、短軸は218cmである。深さは52cm残存しており、底面積は4.107m²であった。

〔堆積土〕 褐灰色土を主体に、中位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d2式が出土した(38)。38は東壁際の底面から出土しており、口縁を南に向け、横位の状態であった。石器は凹石が出土した。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第29号土坑 (図153・203・204、写真73・179)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-210グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は不整楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は198cm、短軸は182cmである。底面の長軸は246cm、短軸は216cmである。深さは132cm、底面積は4.246m²であった。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、下位にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石匙、スクレイパー類2点、敲石が出土した(39～41)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第30号土坑 (図153、写真73)

〔位置・確認〕南側調査区、VIK-210グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第9号竪穴住居跡と第31号土坑と重複する。本土坑は第9号竪穴住居跡より古い、第31号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が隅丸方形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は170cm、短軸は156cmである。底面の長軸は232cm、短軸は226cmである。深さは76cm残存しており、底面積は4.208m²であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は磨石が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第31号土坑 (図153・204、写真74・179)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-210グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第32・30号土坑と第9号竪穴住居跡と重複しており、第31号土坑、第32号土坑、第9号竪穴住居跡の順に新しい。第30号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面は不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は188cm残存しており、短軸は166cmである。底面の長軸は190cm、短軸は174cmである。深さは48cm残存しており、底面積は2.854m²と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、底面にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d1式が出土した(42)。石器はスクレイパー類が出土した(43)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第32号土坑 (図153・204、写真74・179)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-211グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第31号土坑と第9号竪穴住居跡と重複しており、第31号土坑、第32号土坑、第9号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は162cm残存しており、短軸は178cmである。底面の長軸は216cm、短軸は212cmである。深さは52cm残存しており、底面積は3.853m²であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(45)。石器は石鏃と磨石が出土した(44)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第33号土坑 (図154、写真74)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-206グリッドに位置しており、第8号竪穴住居跡の床面で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第34号土坑と第8号竪穴住居跡と重複しており、第34号土坑、第33号土坑、第8号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕西側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が円形と推定される。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は90cm残存しており、短軸は96cm残存している。底面の長軸は160cm残存しており、短軸は56cm残存している。深さは64cm残存する。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。1層はローム土を主体としており、第8号竪穴住居の貼床と考えられる。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d式の破片が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第34号土坑 (図154・204、写真74・179)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-206グリッドに位置しており、第8号竪穴住居跡の床面で黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第33号土坑と第8号竪穴住居跡と重複しており、第34号土坑、第33号土坑、第8号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕西側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は円形、検出面は推定である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は118cm、短軸は96cm残存している。底面の長軸は154cm、短軸は138cmである。深さは68cm残存しており、底面積は1.684㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。1層はローム土を主体としており、第8号竪穴住居の貼床と考えられる。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石鏃と磨製石斧が出土した(46・47)。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第35号土坑 (図154、写真74)

〔位置・確認〕南側調査区、VIK-208グリッドに位置しており、第14号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第14号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が不整形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は176cm、短軸は146cmである。底面の長軸は228cm、短軸は222cmである。深さは126cm残存しており、底面積は3.98㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒上層a2式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期前葉と考えられる。

第36号土坑（図154、写真75）

〔位置・確認〕南側調査区、VIG-212グリッドに位置する。周辺は攪乱により大きく壊されていたため、確認面から50cm掘り下げ、暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第17号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕検出面が円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は150cm残存しているが、短軸は不明である。底面の長軸は150cm、短軸は144cmで、深さは残存部分で32cm、底面積は1.608㎡である。断面形状は、詳細は不明であるが、北西側の壁が内傾して立ち上がることから、底部が張り出すフラスコ状を呈すると考えられる。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ローム粒が混入する。自然堆積か人為堆積かについては、残存部分が少ないため、不明である。

〔出土遺物〕堆積土中から縄文土器片および磨製石斧が1点出土している。

〔時期〕形状および堆積土出土遺物から、縄文時代前期後葉から中期前葉と考えられるが、詳細は不明である。

第37号土坑（図154・204、写真75・179）

〔位置・確認〕南側調査区、VIF-220グリッドに位置する。第7号竪穴住居跡の床面精査時に暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第7号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕検出面・底面共に円形を呈する。確認時における長軸は112cm、短軸は100cmで、底面の長軸は128cm、短軸は110cm、深さは残存部分で70cm、底面積は1.067㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、堆積土中にロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層式土器が出土している。石器は、スクレイパー類が出土している(48)。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第38号土坑（図155・204、写真75・179）

〔位置・確認〕南側調査区、VIF-220に位置する。第7号竪穴住居跡精査中に、暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第7号竪穴住居跡と重複し、本機構が古い。

〔構造〕検出面は円形を呈し、底面は楕円形を呈する。確認時における長軸は72cmで、短軸は60cm、底面の長軸は132cm、短軸は110cmで、深さは74cm残存し、底面積は1.111㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックが混じる。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕縄文土器片が出土している。石器は、敲石、磨石が出土している(49)。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末以前と考えられる。

第39号土坑 (図155・205、写真75・180)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-215グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕上部が試掘トレンチに削平されており、全容は不明である。平面形状は、検出面が不整形、底面が不整形楕円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は126cm、短軸は122cmである。底面の長軸は200cm、短軸は168cmである。深さは50cm残存しており、底面積は2.659㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d2式が出土した(50)。石器は台石が出土した(51)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第40号土坑 (図155・205・206、写真75・76・180)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-213グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第77号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は184cm、短軸は172cmである。底面の長軸は226cm、短軸は190cmである。深さは126cm、底面積は3.379㎡であった。

〔堆積土〕上位は暗褐色土、下位はローム土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a1式が出土した(52～56)。53・55・56は中央の中位からまとまって出土した。石製品は石棒が出土した(57)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第41号土坑 (図155、写真76)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-210グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第49号土坑と第9号竪穴住居跡と重複しており、第41号土坑、第49号土坑、第9号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は168cm、短軸は164cmである。底面の長軸は172cm、短軸は160cmである。深さは44cm残存しており、底面積は2.262㎡と推定される。

〔堆積土〕1層はローム土、2層は黒褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代前期末から中期初頭以前と考えられる。

第42号土坑 (図156、写真76)

〔位置・確認〕南側調査区、VIB-219グリッドに位置する。第15号竪穴住居跡精査時に暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第15号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕遺構が調査区外へ及ぶため、明確ではないが、検出面が楕円形、底面が円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は96cm、短軸は68cmである。底面の長軸は残存部分で170cm、短軸は134cm残存し、深さは残存部分で166cm、底面積は、1.388㎡残存する。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

- [堆積土] 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。
 [出土遺物] 堆積土中から、円筒下層d式土器および半円状扁平打製石器が出土している。
 [時期] 遺構の重複関係から、縄文時代前期末（円筒下層d2式期）以降と考えられる。

第43号土坑（図156、写真76）

[位置・確認] 南側調査区、VIB-219グリッドに位置する。第15号竪穴住居跡精査時に暗褐色土の広がりを確認した。

[重複] 第15号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[構造] 遺構が調査区外へ及ぶため、明確ではないが、検出面が楕円形、底面が円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は残存部分で68cm、短軸は74cmである。底面の長軸は182cm、短軸は120cm残存し、深さは172cm残存する。底面積は残存部分で1.838㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

[堆積土] 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 堆積土中から、円筒下層d式土器が出土している。

[時期] 遺構の重複関係から、縄文時代前期末（円筒下層d2式期）以降と考えられる。

第44号土坑（図156、写真76・77）

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-212グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は、検出面が不整楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は204cm、短軸は182cmである。底面の長軸は218cm、短軸は204cmである。深さは146cm、底面積は2.379㎡であった。

[堆積土] 上位は暗褐色土、下位はローム土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒上層a式の破片が出土した。石器はU・Fが出土した。

[時期] 出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第45号土坑（図156、写真77）

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-209グリッドに位置しており、第11号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第11号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

[構造] 平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は212cm、短軸は210cmである。底面の長軸は224cm、短軸は216cmである。深さは20cm残存しており、底面積は3.823㎡であった。

[堆積土] 1層はローム土、2層は暗褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

[時期] 重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第46号土坑（図156、写真77）

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-208グリッドに位置しており、第11号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第11号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が新しい。

[構造] 平面形状は楕円形である。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検

出面の長軸は230cm、短軸は150cmである。底面の長軸は220cm、短軸は142cmである。深さは26cm残存しており、底面積は2.475㎡であった。

〔堆積土〕 褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第47号土坑（図157、写真77）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-212グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第9号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は、検出面が円形、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は70cm、短軸は66cm残存している。底面の長軸は72cm残存しており、短軸は70cmである。深さは40cm残存しており、底面積は0.235㎡と推定される。

〔堆積土〕 褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第48号土坑（図157、写真77・78）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-212グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第9号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 検出面の平面形状は不明であるが、底面は楕円形である。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検出面の長軸は90cm残存しており、短軸は22cm残存している。底面の長軸は70cm、短軸は58cmである。深さは50cm残存しており、底面積は0.331㎡であった。

〔堆積土〕 褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第49号土坑（図157・206、写真78・180）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIL-211グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第41号土坑と第9号竪穴住居跡と重複しており、第41号土坑、第49号土坑、第9号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕 平面形状は、検出面が不整形円形と推定され、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は188cm残存しており、短軸は184cm残存している。底面の長軸は256cm、短軸は242cmである。深さは72cm残存しており、底面積は5.159㎡であった。

〔堆積土〕 暗褐色土や褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した（60）。石器は石鏃と半円状扁平打製石器が出土した（58・61）。土製品は土器片利用円盤が出土した（59）。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第50号土坑 (図157、写真78)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-207グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第142号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は222cm、短軸は132cm残存している。底面の長軸は238cm、短軸は234cmである。深さは180cm、底面積は4.385m²であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a式の破片が出土した。石器はスクレイパー類が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第51号土坑 (図158、写真78)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-208グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第26・95号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は不整形円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は182cm、短軸は174cmである。底面の長軸は242cm、短軸は238cmである。深さは170cm、底面積は4.264m²であった。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は同一個体を含む円筒上層a2式の破片が出土した。石器はスクレイパー類が2点出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期前葉と考えられる。

第52号土坑 (図158・206、写真78・79・180)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-207グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第53号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕検出面の平面形状は不明であるが、底面は不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は108cm残存しており、短軸は20cm残存している。底面の長軸は96cm、短軸は88cmである。深さは80cm、底面積は0.678m²であった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は打製石斧が出土した(62)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第53号土坑 (図158・写真79)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-206グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第52号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕上部がトレンチャーに削平されており、全容は不明である。平面形状は、検出面が隅丸方形、

底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は84cm、短軸は76cmである。底面の長軸は188cm、短軸は180cmである。深さは104cm残存しており、底面積は2.7㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d式の破片が出土した。石器は半円状扁平打製石器が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第54号土坑（図159・206、写真79・180）

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-208グリッドに位置しており、V層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第25号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は144cm残存しており、短軸は98cm残存している。底面の長軸は190cm、短軸は170cm残存している。深さは140cm、底面積は2.539㎡と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕中央の中位を主体に出土した。土器は同一個体を含む円筒上層a1式の破片が出土した。石器は敲石が出土した。また、柱状節理の流紋岩が出土している（63）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第55号土坑（図159、写真79）

〔位置・確認〕南側調査区、VIC-219グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕検出面・底面ともに楕円形を呈する。確認時における長軸は208cmほどで、短軸は184cmである。底面の長軸は188cmほどで、短軸は160cmである。深さは36cm、底面積は1.131㎡である。断面形状は、底面からゆるく外傾して立ち上がる、皿状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混じる。人為堆積と考えられるが、詳細は不明である。

〔出土遺物〕堆積土中から、円筒下層d式土器が出土している。

〔時期〕堆積土出土遺物から、縄文時代前期末頃と考えられるが、詳細は不明である。

第56号土坑（図159、写真80）

〔位置・確認〕南側調査区、VIC-219グリッドに位置する。第15号竪穴住居跡精査時に10cmほどの浅い凹みを確認した。当初は第15号竪穴住居跡にともなうものとして精査したが、下部に土坑が確認されたため、新規の遺構番号を付し、精査を行った。

〔重複〕第15号竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕検出面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は80cm、短軸は74cmで、底面の長軸は164cm、短軸は162cm、残存する深さは138cm、底面積は2.074㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。底面中央に浅い小ピットが付属する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、全体にロームブロックが混じる。全体的にしまりは弱い。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から、円筒下層d式土器および敲石が出土している。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末（円筒下層d2式）以前と考えられる。

第57号土坑 (図159、写真80)

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-213グリッドに位置する。周辺は、攪乱が著しく、確認面から若干掘り下げを行い、褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第20・30号竪穴住居跡と重複する。第20号竪穴住居跡より本遺構が古く、第30号竪穴住居跡との新旧は不明である。

〔構造〕検出面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は172cm、短軸は164cmで、底面の長軸は204cm、短軸は194cm、残存する深さは44cm、底面積は3.144m²である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕褐色土および暗褐色土に、ロームブロックが混じる。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末から中期初頭以前と考えられる。

第58号土坑 (図160・207・208、写真80・181)

〔位置・確認〕南側調査区、VIG-214グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第20号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。また、第30号竪穴住居跡との新旧は、不明である。

〔構造〕検出面が楕円形を呈すると考えられ、底面が円形を呈する。確認時における長軸は104cmほど、短軸は70cm、底面の長軸は220cm、短軸は190cmで、深さは190cm、底面積は3.854m²である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックが混じる。また、5層上位の層理面から略完形個体が2個出土しているほか、3層にも多量の遺物が包含されていた。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中、特に3層下部、5層から多量の土器が出土している。前述の通り、5層上位の層理面から出土した2個体(64・65)、のほか、復元できた個体を8個図示した(66～73)。これらは全て円筒上層a式と考えられる。石器は、石鏃、磨石、敲石が出土している。(74・75)

〔時期〕遺構の重複関係および堆積土出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉頃と考えられる。

第59号土坑 (図160、写真81)

〔位置・確認〕南側調査区、VIF-218グリッドに位置する。第18号竪穴住居跡精査中に確認した。

〔重複〕第18号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕検出面・底面共に楕円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は156cm残存し、短軸は172cm残存する。底面の長軸は134cm残存し、短軸は144cm残存する。残存部分の深さは46cmで、底面積は0.147m²残存する。断面形状は、底面から壁がやや外傾気味に立ち上がる、逆台形を呈すると考えられる。

〔堆積土〕断面図を作成していないため、不明である。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕確認された層位および堆積土の特徴から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第60号土坑 (図160、写真81)

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-218グリッドに位置する。第25号竪穴住居跡精査中に確認した。

〔重複〕第25号竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕検出面・底面共に円形を呈する。確認時における長軸は126cm、短軸は126cm、底面の長軸は

100cm、短軸は90cmで、残存部分の深さは58cm、底面積は0.717㎡である。断面形状は、底部がやや張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックが多量に混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末以前と考えられる。

第61号土坑（図160、写真81）

〔位置・確認〕南側調査区、VIJ-215に位置する。第26号竪穴住居跡精査中に、暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第26号竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕検出面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は88cmで、短軸は33cm残存する。底面の長軸は136cm、短軸は127cmで、深さは55cm残存し、底面積は1.354㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈すると考えられる。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、褐色を呈したロームが混じる。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕遺構の重複関係より、縄文時代前期末から中期初頭以前と考えられる。

第62号土坑（図160、写真81）

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-211グリッドに位置する。攪乱のため、確認面から30cmほど掘り下げ、V層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第63号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕第63号土坑に切られているため、不明であるが、確認面、底面ともに円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は82cm、短軸は30cm残存する。底面の長軸は72cm、短軸は28cm残存し、残存部分の深さは22cm、底面積は0.053㎡残存する。断面形状は、壁がゆるく外傾して立ち上がる、皿状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土の単層である。ロームブロックを含み、人為堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕遺構の重複関係および堆積土の特徴から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられるが、詳細は不明である。

第63号土坑（図160、写真81・82）

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-211グリッドに位置する。攪乱のため、確認面から30cm掘り下げ、V層で暗褐色土および黄褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第62号土坑より新しく、第11号溝状土坑より古い。

〔構造〕確認面、底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は146cm、短軸は140cm残存する。底面の長軸は202cm、短軸は192cmで、残存部分の深さは78cm、底面積は3.022㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕黄褐色土を主体とし、壁際および底面付近に暗褐色土が堆積する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕遺構の重複関係および形状から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられるが、詳細は不明である。

第64号土坑 (図161・208、写真82・182)

〔位置・確認〕南側調査区、VI I-210グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕遺構が調査区外に及ぶため、明確ではないが、確認面、底面ともに円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は120cm残存し、短軸は56cm残存する。底面の長軸は残存部分で190cm、短軸は80cm残存する。深さは86cm、残存部分の底面積は1.128㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土や褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕底面やや北側、底面直上の堆積土から、円筒下層d2～上層a1式土器(76)が出土した。

〔時期〕底面直上出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭(円筒下層d2～上層a1式期)と考えられる。

第65号土坑 (図161、写真82)

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-208グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第22号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕南西側が調査区外に及び、全容は不明である。検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形と推定される。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は102cm残存しており、短軸は36cm残存している。底面の長軸は144cm残存しており、短軸は140cm残存している。深さは130cmであった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、底部の壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d1式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第66号土坑 (図162・208、写真82)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-207グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第68号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は88cm残存しており、短軸は96cmである。底面の長軸は160cm、短軸は142cmである。深さは120cm、底面積は1.814㎡と推定される。

〔堆積土〕褐色土や黒褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d式が出土した(77)。77は北東側の下位から出土した。石器は石匙が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第67号土坑 (図161・209、写真82・83・182)

〔位置・認〕南側調査区、VI Q-210グリッドに位置しており、IV層で確認した。

〔重複〕第115・114号土坑と第11号竪穴住居跡と重複しており、第115号土坑、第67号土坑、第11号竪穴住居跡の順に新しい。第114号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面が不整形と推定される。断面形状はフラスコ

状である。検出面の長軸は44cm残存しており、短軸は60cm残存している。底面の長軸は196cm、短軸は132cm残存している。深さは90cmであった。

〔堆積土〕褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(78)。石器は凹石と半円状扁平打製石器が出土した(79)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第68号土坑(図162、写真83)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-206グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第66号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整形円形と推定され、底面が楕円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は90cm、短軸は68cm残存している。底面の長軸は164cm、短軸は124cmである。深さは122cm、底面積は1.673㎡であった。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第69号土坑(図162、写真83)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-210グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面は不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は60cm残存しており、短軸は100cm残存している。底面の長軸は214cm、短軸は210cmである。深さは178cm、底面積は3.573㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、ローム土が下位に堆積し、上位に混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第70号土坑(図163、写真83)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-209グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形と推定される。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検出面の長軸は76cm、短軸は60cm残存している。底面の長軸は50cm残存しており、短軸は28cm残存している。深さは40cm、底面積は0.193㎡と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第71号土坑(図163・209、写真84・182)

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-206グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕ピットと重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は166cm、短軸は148cmである。底面の長軸は224cm、短軸は214cmである。深さは92cm、底面積は3.766㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土や褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕下位を主体に出土した。土器は円筒上層a1式が出土した（80～82）。石器は磨石が出土した（83）。土製品はミニチュア土器が出土した（84）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第72号土坑（図163・210、写真84・182）

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-206グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は212cm、短軸は208cmである。底面の長軸は194cm、短軸は180cmである。深さは72cm、底面積は2.78㎡であった。

〔堆積土〕褐色土や暗褐色土を主体に、上位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a1式が出土した（85・86）。86は検出面の中央から出土しており、横位で破片が散らばった状態であった。また、底面直上から出土した破片は、第86号土坑から出土した土器と接合している（図215-135）。石器は石鏃、スクレイパー類、敲石が出土した（87・88）。土製品はミニチュア土器が3点出土した（89～91）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第73号土坑（図164・210・211、写真84・85・182・183）

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-207グリッドに位置しており、V層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は150cm、短軸は128cmである。底面の長軸は228cm、短軸は214cmである。深さは186cm、底面積は3.783㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、底部の壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕西側の下位を主体に出土した。土器は主に円筒上層a式が出土した（92～95・98・99）。92は東壁際の底面から出土しており、上部を欠損し正立の状態であった。98は底面が穿孔された可能性が考えられる。96・97は異系統土器と考えられる。石器は石鏃、半円状扁平打製石器、台石が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第74号土坑（図164・211、写真85・183）

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-208グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認

〔重複〕第44号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。
した。

〔構造〕平面形状は円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は198cm残存しており、短軸は186cmである。底面の長軸は172cm、短軸は158cmである。深さは42cm、底面積は2.141㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土や褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a式の破片が出土した。石器は石鏃、半円状扁平打製石器、磨石が出土した(100・101)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第75号土坑(図164・211、写真85・183)

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-209グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第83号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が不整楕円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は120cm、短軸は110cmである。底面の長軸は206cm、短軸は180cmである。深さは144cm、底面積は2.907m²であった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(102)。102は北壁際の底面から出土しており、口縁を南東に向け、横位で潰れた状態であった。石器は石鏃、磨石、半円状扁平打製石器が出土した(103・104)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第76号土坑(図165、写真85)

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-209グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は236cm、短軸は194cm残存している。底面の長軸は214cm、短軸は186cm残存している。深さは30cm、底面積は3.402m²と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土や褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第77号土坑(図165・212、写真86・183・184)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-213グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第40号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は182cm、短軸138cmである。底面の長軸は206cm、短軸は172cmである。深さは74cm、底面積は2.83m²と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土や褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d1式が出土した(105～109)。105は南壁際の底面直上から出土しており、口縁を北西に向け、横位で潰れた状態であった。108と109は同一個体の可能性が考えられる。土製品はミニチュア土器の細片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第78号土坑 (図165、写真86)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIM-210グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第9号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は112cm残存しており、短軸は116cm残存している。底面の長軸は204cm、短軸は188cmである。深さは116cm残存しており、底面積は3.027㎡である。

〔堆積土〕 暗褐色土や黒褐色土を主体に、中位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d1式の破片が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第79号土坑 (図166・213、写真86・184)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIP-212グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は不整形円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は126cm、短軸は120cmである。底面の長・短軸は160cmである。深さは108cm、底面積は2.122㎡であった。

〔堆積土〕 黒褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は主に円筒下層d2式が出土した(110・111)。110は南西壁際の下位から出土しており、口縁を北西上方に向け、斜位で潰れた状態であった。石器は石鏃と台石が出土した(112・114)。土製品は不明土製品が出土した(113)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第80号土坑 (図166・213、写真87・184)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIS-208グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は、検出面が円形、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は110cm残存しており、短軸は114cmである。底面の長軸は232cm、短軸は216cmである。深さは142cm、底面積は4.187㎡であった。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層c～d式の破片が出土した。石器は石匙と礫器が出土した(115)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期後葉以降と考えられる。

第81号土坑 (図166・213・214、写真87・184)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIM-212グリッドに位置しており、第9号竪穴住居跡の床面で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第9号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は204cm、短軸は172cmである。底面の長軸は248cm、短軸は206cmである。深さは60cm残存しており、底面積は3.902㎡であった。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考え

られる。

〔出土遺物〕119・120は円筒下層d1式であり、同一個体の可能性が考えられる。121・122は北東側の上位から出土した。122は円筒下層d2式、121は円筒下層d2～上層a式と考えられる。石器は磨製石斧、半円状扁平打製石器、砥石が出土した（116～118）。土製品はミニチュア土器の細片が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第82号土坑（図167、写真87）

〔位置・確認〕南側調査区、VII-207グリッドに位置しており、V層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は不明である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は120cm残存しており、短軸は34cm残存している。底面の長軸は90cm、短軸は34cm残存している。深さは26cmであった。

〔堆積土〕褐色土や暗褐色土を主体に、ローム土が混入している。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕堆積土から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第83号土坑（図167・214、写真87・88・184）

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-209グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第75・189号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は楕円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は166cm、短軸は116cm残存している。底面の長軸は184cm残存しており、短軸は166cmである。深さは134cm、底面積は2.593㎡と推定される。

〔堆積土〕黒褐色土や灰黄褐色土を主体に、ローム土が底部に混入し、壁際に堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d1式の破片が出土した。石器は磨製石斧が出土した（123）。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第84号土坑（図167、写真88）

〔位置・確認〕南側調査区、VIK-207グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は198cm残存しており、短軸は38cm残存している。底面の長・短軸は180cmである。深さは94cm、底面積は2.602㎡であった。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、中位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層b式の破片が出土した。石器は半円状扁平打製石器が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第85号土坑 (図168・214・215、写真88・184・185)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-212グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は198cm、短軸は184cmである。底面の長軸は244cm、短軸は226cmである。深さは108cm、底面積は4.489㎡であった。

〔堆積土〕褐色土や暗褐色土を主体に、ローム土が底部に堆積し、壁際に混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕中央の中位を主体に出土した。円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(124～130・132・133)。石器はR・F、磨製石斧、台石が出土した(131)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第86号土坑 (図168・215、写真88・185)

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-207グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第2号焼土遺構と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は332cm、短軸は196cmである。底面の長軸は372cm、短軸は294cmである。深さは104cm、底面積は8.192㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から人為堆積と考えられ、2基の土坑が重複する可能性がある。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a1式が出土した(134・135)。135は北東側の検出面付近から出土しており、第72号土坑から出土した破片と接合している。石器は石鏃、スクレイパー類、凹石、磨石、半円状扁平打製石器が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第87号土坑 (図169・215、写真89・185)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-206グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は162cm、短軸は158cmである。底面の長軸は224cm、短軸は200cmである。深さは160cm、底面積は3.654㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、下位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層c式の破片が出土した(136)。土製品はミニチュア土器の細片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期後葉以降と考えられる。

第88号土坑 (図169、写真89)

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-214グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第28・29号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕確認面は円形、底面は不整な楕円形を呈する。確認時における長軸は114cm、短軸は112cm、底面の長軸は112cm、短軸は102cmで、深さは38cm、底面積は0.936㎡である。断面形状は、北西側は、底部が張り出すフラスコ状を呈し、南東側は階段状に立ち上がる。

[堆積土] 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 堆積土中から縄文土器、剥片が出土している。

[時期] 遺構の重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第89号土坑 (図169・216、写真89・185)

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第90号土坑と重複しており、本土坑が新しいと考えられる。

[構造] 平面形状は、検出面が円形、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は134cm、短軸は124cmである。底面の長軸は166cm、短軸144cmである。深さは76cm、底面積は1.993㎡であった。

[堆積土] 黒褐色土や暗褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 南東側の下位を主体に出土した。土器は円筒下層d2式が出土した(137)。石器は敲石が出土した。土製品は土器片利用円盤が出土した(138)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第90号土坑 (図169・216、写真89)

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第89・98号土坑と重複しており、本土坑が古いと考えられる。

[構造] 平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は190cm残存しており、短軸は164cm残存している。底面の長軸は186cm残存しており、短軸は176cmである。深さは98cm、底面積は2.595㎡と推定される。

[堆積土] 暗褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が下位に堆積し、上位に混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 円筒下層d2式の破片が出土した(139・140)。139・140は南側の上位から出土しており、同一個体の可能性が考えられる。これらは重複関係から、土坑上部の崩落後などに廃棄・混入した可能性も考えられるが、判断し難い。

[時期] 重複関係から、縄文時代前期末以前と考えられる。

第91号土坑 (図170・216、写真90・185)

[位置・確認] 南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第161号土坑と重複しており、本土坑が古い。

[構造] 平面形状は、検出面が楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は120cm、短軸は100cm残存している。底面の長軸は210cm、短軸は204cm残存している。深さは136cm、底面積は3.36㎡と推定される。底面の中央から、ピットを1基検出した。

[堆積土] 黒褐色土を主体としており、下位にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層c式が出土した(142~144)。142・144は北壁際の底面直上から出土した。142は口縁を東、144は口縁を西に向け、底部を向かい合わせた横位の状態であった。143は東壁寄り

の底面直上から出土しており、横位で潰れた状態であった。石製品は東壁際の底面から板状品が出土した(141)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期後葉と考えられる。

第92号土坑(図170、写真90)

[位置・確認] 南側調査区、VIK-207グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は118cm残存しており、短軸は38cm残存している。底面の長・短軸は204cmである。深さは130cm、底面積は3.339m²であった。

[堆積土] 暗褐色土や黒褐色土を主体に、底部にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第93号土坑(図170、写真90・91)

[位置・確認] 南側調査区、VIP-213グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は162cm、短軸は124cmである。底面の長軸は134cm、短軸は84cmである。深さは26cm、底面積は0.839m²であった。

[堆積土] 黒褐色土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層d式の破片が出土した。石器は石鏃が出土した。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第94号土坑(図170、写真91)

[位置・確認] 南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第100・150号土坑と重複しており、本土坑が古い。

[構造] 平面形状は円形、検出面は推定である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は120cm、短軸は86cm残存している。底面の長軸は204cm、短軸は180cmである。深さは128cm、底面積は2.886m²と推定される。底面の中央から、ピットを1基検出した。

[堆積土] 暗褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層d1式の破片が出土した。石器はU・Fと磨石が出土した。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第95号土坑(図171・217、写真91・186)

[位置・確認] 南側調査区、VIN-208グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第51・149・161号土坑と重複しており、本土坑が古い。

[構造] 平面形状は、検出面が楕円形、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出

面の長軸は212cm、短軸は150cmである。底面の長軸は260cm、短軸は232cm残存している。深さは160cm、底面積は5.076㎡と推定される。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層c式が出土した(145・146)。145・146は南東壁際の底面直上から出土しており、口縁を南西に向け、横位で潰れた状態であった。石器は石匙2点、スクレイパー類が出土した(147・148)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期後葉と考えられる。

第96号土坑(図171・217、写真91・186)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-217グリッドに位置する。第22・23号竪穴住居跡精査時に竪穴住居跡にともなうピットとして登録していたが、精査の結果、土坑として、新たに遺構番号を付した。

〔重複〕第22・23号竪穴住居跡と重複する。上部に竪穴住居跡の貼床が堆積することから、本遺構がもっとも古い。

〔構造〕確認面は不整な楕円形、底面は円形を呈する。本遺構埋没後に竪穴住居跡が構築されていることから、確認面は変形している可能性がある。確認時における長軸は104cm、短軸は54cm、底面の長軸は196cm、短軸は184cmで、残存する深さは130cm、底面積は2.715㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d式土器が出土している。石器は、石匙と磨製石斧2点が出土している(149・150)。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末(円筒下層d1式期)以前と考えられる。

第97号土坑(図171・217、写真92・186)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-209グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形と推定される。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検出面の長軸は32cm残存しており、短軸は58cm残存している。底面の長軸は26cm残存しており、短軸は38cm残存している。深さは50cmであった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は半円状扁平打製石器が出土した(151)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第98号土坑(図171・217、写真92・186)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-206に位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第90号土坑とピットと重複する。本土坑は第90号土坑より新しく、ピットより古い。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は176cm、短軸は142cmである。底面の長軸は186cm、短軸は176cmである。深さは112cm、底面積は2.756㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や灰黄褐色土を主体に、下位にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石槍、スクレイパー類、礫器、砥石が出土した（152・153）。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第99号土坑（図172・218、写真92・186）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-213に位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は150cm、短軸は134cmである。底面の長軸は120cm、短軸は118cmである。深さは50cm、底面積は1.191㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は磨製石斧が出土した（154）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第100号土坑（図172・218、写真92・186）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、V層で黒色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第94・119号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整円形、底面が楕円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は154cm、短軸は148cmである。底面の長軸は202cm、短軸は180cmである。深さは158cm、底面積は2.86㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土や褐色土を主体に、下位にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a～b式の破片が出土した。石器は凹石が出土した（155）。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第101号土坑（図172・218、写真93・186）

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-208グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第206号土坑と第43号竪穴住居跡と重複しており、第206号土坑、第101号土坑、第43号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は140cm、短軸は102cmである。底面の長軸は176cm、短軸は158cmである。深さは72cm、底面積は2.214㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、底部にローム土が混入し、上位に堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石鏃が出土した（156）。土製品はミニチュア土器が出土した（157）。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第102号土坑 (図172・218・219、写真93・186・187)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-209グリッドに位置する。攪乱のため、確認面から50cmほど掘り下げ、V層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は130cm、短軸は118cm、底面の長軸は255cm、短軸は236cmで、残存する深さは124cm、底面積は4.458㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。焼土層（5層）や粘土ブロック等が含まれ、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 底面直上の堆積土からいずれも円筒上層a式に比定される個体が2点出土した(158・161)。161は、底面東側から倒立した状態で出土している。また、堆積土中からは、主に円筒上層a式土器が出土している。特に6層からの出土が多く、復元した6個体を図示した(159・160・162～165)。石器は、敲石、凹石、砥石、台石が出土している。(166・167)

〔時期〕 底面出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第103号土坑 (図173・219・220、写真93・94・187)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIJ-209グリッドに位置する。攪乱のため、確認面から70cmほど掘り下げ、V層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面はやや不整な円形、底面は円形を呈する。確認時における長軸は124cm、短軸は122cm、底面の長軸は190cm、短軸は184cmで、残存する深さは80cm、底面積は2.697㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中からは、円筒下層c～d式土器が出土している(169)。また、堆積土中位から、円筒下層c～d1式の個体が横転し、つぶされたような状態で出土した(171・172)ほか、底面西側から円筒上層c～d1式土器がほぼ完形で正立した状態で出土した(170)。石器は、磨石(168)が出土している。

〔時期〕 底面出土遺物から、縄文時代前期後葉から末と考えられる。

第104号土坑 (図173、写真94)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIJ-209グリッドに位置する。攪乱のため、確認面から45cmほど掘り下げ、V層上面で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は96cm、短軸は90cm、底面の長軸は80cm、短軸は75cmで、残存する深さは8cm、底面積は0.667㎡である。断面形状は、底面から壁がやや外傾して立ち上がる、皿状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土の単層である。人為堆積の可能性はあるが、残存部分が少ないため、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から台石が1点出土している。

〔時期〕 遺構の確認層位および堆積土の特徴から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第105号土坑 (図173・220・221、写真94・188)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIJ-210グリッドに位置する。攪乱のため、確認面から50cmほど掘り下げ、V層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第121号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕 確認面は不整形、底面は円形を呈する。確認面は不整形を呈するが、50cm上部を削平したことに起因するものであり、円形を呈していたことが予想される。確認時における長軸は142cm、短軸は118cm、底面の長軸は222cm、短軸は210cmで、残存する深さは124cm、底面積は3.746㎡ほどである。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする、人為堆積と考えられる。壁面の崩落が激しく、遺構の確認段階においても、遺構の輪郭に沿うように、同心円状にその痕跡が確認された。

〔出土遺物〕 堆積土中位～上位にかけて、円筒上層a式土器が出土した（173・174）。石器は、凹石、砥石、台石、磨製石斧が出土している（175～178）。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代中期初頭頃と考えられる。

第106号土坑（図173、写真94）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIP-212グリッドに位置しており、IV層で黒色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は、検出面が不整円形、底面が楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は100cm、短軸は82cmである。底面の長軸は78cm、短軸は48cmである。深さは26cm、底面積は0.285㎡であった。

〔堆積土〕 黒色土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第107号土坑（図174・221・222、写真95・188・189）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-207グリッドに位置しており、第200号土坑の底面で確認した。

〔重複〕 第200号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 検出面の平面形状は不明であるが、底面は不整円形である。断面形状はフラスコ状である。底面の長・短軸は260cmである。深さは44cm残存しており、底面積は5.181㎡であった。

〔堆積土〕 暗褐色土や褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d1式が出土した（179～186）。179は北壁際の底面直上から出土しており、口縁を南東に向け、横位の状態であった。180・181は北西壁際の底面から出土しており、横位で口縁を北東に向け、181は底部を欠損し潰れた状態であった。183・184は北壁寄りの15層上位から出土した。183は口縁を北東、184は口縁を北西に向け、底部を向かい合わせ横位で潰れた状態であった。石器は磨石と台石が出土した（187）。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第108号土坑（図174、写真95）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-208グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第200・156・188号土坑と重複する。本土坑は第200号土坑より新しいが、第156・188号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕 平面形状は、検出面が不整楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は158cm、短軸は140cmである。底面の長軸は200cm、短軸は198cmである。深さは128cm、底面積は3.174㎡であった。

〔堆積土〕 1層は黒褐色土、2層はローム土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層c～d式の破片が出土しており、下位から出土した破片が、第122号土坑から出土した土器と接合している（図225-210）。また、縄文時代後期前葉の破片も出土しており、第188号土坑から出土した破片と接合している（図236-307）。石器は磨石が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第109号土坑（図173、写真95）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-207グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は104cm、短軸は96cmである。底面の長軸は218cm、短軸は206cmである。深さは128cm、底面積は3.62m²であった。

〔堆積土〕 黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は磨製石斧が出土した。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第110号土坑（図174、写真95）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-208グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第11号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 断面形状は下部がフラスコ状であるが、上部は壁がほぼ垂直に立ち上がっており、第43号竪穴住居跡の一部であった可能性が考えられる。

〔堆積土〕 1層は褐色土、2層は黄褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第111号土坑（図175、写真96）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI I-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第33号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕 確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で92cm、短軸は80cm、底面の長軸は126cm、短軸は122cmで、深さは92cm、底面積は1.259m²である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混じる。人為堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から、円筒下層d式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末頃と考えられる。

第112号土坑（図175・222、写真96・189）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-213グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第113号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は、検出面が楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は228cm、短軸は182cmである。底面の長軸は232cm、短軸は210cmである。深さは134cm、底面積

は3.782㎡であった。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2式と考えられる土器が出土した（188）。石器はスクレイパー類と磨石が出土した（189）。また、磨石は第58号土坑から出土した破片と接合している（図208-75）。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第113号土坑（図175・223、写真96・189）

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-213グリッドに位置しており、V層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第112号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は200cm残存しており、短軸は184cmである。底面の長軸は234cm、短軸は206cmである。深さは126cm、底面積は3.919㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した（190）。190は北側の検出面付近から出土しており、口縁を西に向け、横位で潰れた状態であった。石器はスクレイパー類が出土した。土製品はミニチュア土器の細片が2点出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第114号土坑（図176・223、写真96・97・189）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-210グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第67・202号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は146cm、短軸は114cmである。底面の長軸は156cm、短軸は150cmである。深さは138cm、底面積は1.853㎡であった。底面の中央から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、下位にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d2式の破片が出土した。石器はスクレイパー類と磨製石斧が出土した（191）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第115号土坑（図176・223、写真97・189）

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-210グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第67号土坑と第11号竪穴住居跡と重複しており、第115号土坑、第67号土坑、第11号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は202cm、短軸は146cm残存している。底面の長軸は192cm、短軸は180cmである。深さは102cm、底面積は2.678㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2式と考えられる土器が出土した(197)。197は東壁寄りの底面直上から出土しており、横位で底部を南西に向け、上部を欠損し潰れた状態であった。また、出土した底部が、第190号土坑から出土した土器と接合している(図238-314)。石器は石鏃2点、半円状扁平打製石器、石錘、台石が出土した(192~196)。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代前期末と考えられる。

第116号土坑(図176・224、写真97・189)

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-210グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第120・5号土坑と重複しており、第120号土坑、第116号土坑、第5号土坑の順に新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は126cm、短軸は96cm残存している。底面の長軸は200cm、短軸は190cmである。深さは158cm、底面積は3.098㎡であった。

〔堆積土〕褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、下位にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕西側の底面から5層を主体に、散在した状況で出土した。土器は主に円筒上層a1式が出土した(198~200)。石器は半円状扁平打製石器が2点出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第117号土坑(図176、写真97・98)

〔位置・確認〕南側調査区、VI I-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第31・33号堅穴住居跡と重複すると考えられるが、新旧関係は不明である。

〔構造〕確認面・底面ともに円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は100cm、短軸は84cm、底面の長軸は134cm、短軸は118cmで、深さは34cm、底面積は1.254㎡ほどである。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混じる。人為堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d~上層a式土器が出土している。

〔時期〕堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第118号土坑(図177・224、写真98・190)

〔位置・確認〕南側調査区、VIH-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第122号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕第122号土坑に切られているため、明確ではないが、確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で144cm、短軸は残存部分で96cm、底面の長軸は244cm、短軸は240cmで、深さは170cm、底面積は4.567㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d式土器が出土している(205)。また、底面から円筒下層d1式に

比定される土器が出土している（203・204）。204は、本遺構底面から底部を欠失した状態で出土し、直線距離で約4m離れた第134号土坑の堆積土から出土した底部と接合関係にある。石器は、打製石斧、石匙が出土した（201・202）。

〔時期〕底面出土遺物から、縄文時代前期末（円筒下層d1式期）と考えられる。

第119号土坑（図177、写真98）

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-208グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第100号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は楕円形と推定される。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は134cm残存しており、短軸は112cmである。底面の長軸は112cm残存しており、短軸は88cmである。深さは38cmであった。

〔堆積土〕黒褐色土や暗褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d1式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第120号土坑（図177、写真98）

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-210グリッドに位置しており、第5号土坑の底面で黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第116・5号土坑と重複しており、第120号土坑、第116号土坑、第5号土坑の順に新しい。

〔構造〕平面形状は円形と推定される。検出面の長軸は220cm残存しており、短軸は190cm残存している。底面の長軸は204cm残存しており、短軸170cm残存している。深さは30cm残存しており、底面積は2.662㎡と推定される。

〔堆積土〕黄褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒土器と思われる破片が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第121号土坑（図177・225、写真98・99・190）

〔位置・確認〕南側調査区、VIJ-210グリッドに位置する。周囲は攪乱が著しく、確認面から50cmほど掘り下げ、V層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第105号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕確認面・底面ともにやや不整な円形を呈する。確認時における長軸は94cm、短軸は88cm、底面の長軸は202cm、短軸は184cmで、残存する深さは152cm、底面積は2.970㎡ほどである。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。底面ほぼ中央に、小ピットが付属する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している（206）。そのほか、土器片利用円盤（207）や石製品（208）が出土している。

〔時期〕堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第122号土坑 (図177・225、写真98・190)

〔位置・確認〕南側調査区、VI I-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第118号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕確認面は不整形、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で168cm、短軸は88cm残存する。底面の長軸は186cm、短軸は178cmで、深さは168cm、底面積は2.6㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。堆積土最上部には、赤褐色を呈した、焼土が堆積する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層c～d式土器が出土している(209・210)。210は、円筒下層d1式に比定される。器形や口縁部の文様等から円筒下層c式に比定される可能性があるが、遺構の重複関係や共伴する遺物から、円筒下層d1式に比定した。また、本個体は、直線距離で約40m離れた第108号土坑の堆積土から出土した破片および重複する第118号土坑の堆積土から出土した破片と接合した。石器は、凹石2点、半円状扁平打製石器が出土した(213)。そのほか、ミニチュア土器(211)、土器片利用円盤(212)が出土している。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期末(円筒下層d1式期)以降と考えられる。

第123号土坑 (図178・225・226、写真99・190)

〔位置・確認〕南側調査区、VI I-213グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第8号溝状土坑、第36号竪穴住居跡と重複する。第8号溝状土坑より古く、第36号竪穴住居跡との新旧は不明である。

〔構造〕第8号溝状土坑に切られているため、明確ではないが、確認面は楕円形、底面は円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は106cm、短軸は残存部分で69cm、底面の長軸は134cm、短軸は109cm残存し、深さは63cm、残存部分の底面積は1.409㎡ほどである。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土や黒褐色土を主体とし、ロームブロックが混入する、人為堆積である。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している(215・216)。石器は、石鏃(214)が底面近くから出土している。

〔時期〕堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭頃と考えられる。

第124号土坑 (図178、写真99)

〔位置・確認〕南側調査区、VI J-211グリッドに位置する。IV層で黒褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕確認面は楕円形を呈すると考えられ、底面がやや不整な円形を呈する。確認時における長軸は110cm、短軸は96cm、底面の長軸は198cm、短軸は190cmで、深さは104cm、底面積は2.872㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d式土器が出土している。

〔時期〕形状及び堆積土出土遺物から、縄文時代前期末頃と考えられる。

第125号土坑 (図178、写真99)

〔位置・確認〕南側調査区、VI K-211グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕確認面、底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は146cm、短軸は142cm、底面の長軸

は残存部分で122cm、短軸は124cm、深さは34cm、底面積は0.238㎡ほどである。断面形状は、底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる、箱形を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。人為堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から縄文土器が出土している。

〔時期〕 確認層位および堆積土出土遺物から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第126号土坑（図178、写真100）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-211グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面、底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は78cm、短軸は72cm、底面の長軸は216cm、短軸は214cmで、深さは158cm、底面積は3.818㎡である。断面形状は、底部が張り出す、フラスコ状を呈する。底面やや北西よりに深さ3cmの小ピット、北側壁寄りに深さ8cmの小ピットがそれぞれ確認されている。

〔堆積土〕 遺構下部には暗褐色土および黒褐色土と黄褐色土が縞状に堆積し、凸状を呈している。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期と考えられるが、詳細は不明である。

第127号土坑（図178、写真100）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面、底面ともに楕円形を呈する。確認時における長軸は187cm、短軸は170cm、底面の長軸は165cm、短軸は148cmで、深さは30cm、底面積は2.016㎡ほどである。断面形状は、底面から壁が外傾して立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。自然堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から縄文土器が出土している。

〔時期〕 遺構の確認層位および堆積土出土遺物から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第128号土坑（図179・226、写真100・190・191）

〔位置・確認〕 南側調査区、VII-213グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第130号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕 確認面は第130号土坑に切られているため、明確では無いが、円形を呈すると考えられ、底面は、円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で118cm、短軸は64cm残存する。底面の長軸は188cm、短軸は176cmで、深さは140cm、底面積は2.655㎡である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。また、第14層中には炭化物の薄層が確認されている。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 底面および底面直上から円筒下層d1式土器が出土した（217～219）。15層からは円筒下層d式土器（220）、14層からは円筒下層d1式土器（221）が出土しているほか、堆積土中からは表館X群（222）、土器片利用円盤（223）が出土している。

〔時期〕 底面出土遺物から、縄文時代前期末（円筒下層d1式期）と考えられる。

第129号土坑 (図178・227、写真101・191)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-212グリッドに位置する。IV層で、暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 攪乱のため、明確ではないが、確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は160cm、短軸は106cm残存する。底面の長軸は216cm、短軸は204cmで、深さは104cm、底面積は3.363㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックを含む。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。石器は、堆積土中から石鏃、石匙が出土している。(224・225)

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末～中期前葉頃と考えられるが、詳細は不明である。

第130号土坑 (図179、写真100)

〔位置・確認〕 南側調査区、VI I -213グリッドに位置する。IV層で、にぶい黄褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第128号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕 確認面、底面ともに、円形を呈する。確認時における長軸は106cm、短軸は96cm残存し、底面の長軸は180cm、短軸は170cmで、深さは64cm、底面積は2.433㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混じる。下位には暗褐色土の凸状の堆積が見られ、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土した。また、出土した破片が第182号土坑の底面出土遺物と接合した(図236-303)。石器は、スクレイパー類が出土している。

〔時期〕 遺構の重複関係、および堆積土出土遺物の接合関係から、縄文時代前期末と考えられる。

第131号土坑 (図179・227、写真101・191)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-210グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第132号土坑、ピットと重複し、本遺構が最も新しい。

〔構造〕 確認面、底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は124cm、短軸は120cm、底面の長軸は110cm、短軸は104cmで、深さは36cm、底面積は0.949㎡である。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がる、箱形を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。人為堆積の可能性があるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層c～d式土器が出土した(226)。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期後葉から末頃と考えられる。

第132号土坑 (図179、写真101)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-209グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第131号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕 第131号土坑および攪乱のため、明確ではないが、確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で118cm、短軸は71cm残存する。底面の長軸は190cm、短軸は180cmで、深さは102cm、底面積は2.681㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。石器は、敲石が一点出土している。

〔時期〕 遺構の重複関係から、縄文時代前期後葉以前と考えられるが、詳細は不明である。

第133号土坑（図179、写真101）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI J-210グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面は楕円形、底面は円形を呈する。確認時における長軸は100cm、短軸は70cm、底面の長軸は184cm、短軸は168cmで、深さは140cm、底面積は2.439㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。底面中央に、深さ7cmの小ピットが付属する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第134号土坑（図179、写真101）

〔位置・確認〕 南側調査区、VI I-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第36号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕 確認面、底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は94cm、短軸は92cm、底面の長軸は166cm、短軸は150cmで、深さは94cm、底面積は1.924㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土や褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混入する。下位層は凸状に堆積し、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d2～十腰内I式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から後期前葉頃と考えられる。

第135号土坑（図180、写真102）

〔位置・確認〕 南側調査区、VII L-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は86cm、短軸は78cm残存する。底面の長軸は160cm、短軸は160cmで、深さは104cm、底面積は2.058㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土および黄褐色土を主体とする、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第136号土坑（図180、写真102）

〔位置・確認〕 南側調査区、VII L-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 攪乱により、明確ではないが、確認面は楕円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は88cm、短軸は残存部分で53cm、底面の長軸は138cm、短軸は138cm残存し、深さは52cm、底面積は1.438㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土および黄褐色土を主体とする。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第137号土坑 (図180、写真102)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIJ-214グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第35号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕 確認面・底面ともに楕円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は残存部分で96cm、短軸は100cm、底面の長軸は残存部分で84cm、短軸は82cmで、深さは26cm、底面積は0.774㎡である。断面形状は、底面からほぼ垂直に立ち上がる、箱形を呈する。

〔堆積土〕 底面には、薄く褐色土が堆積し、上位に暗褐色土が堆積する。自然堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒下層d式土器が出土している。石器は、スクレイパー類が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末頃と考えられる。

第138号土坑 (図180・227、写真102・103・191)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-214グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 第35号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。また、第28号竪穴住居跡の新旧は不明である。

〔構造〕 確認面は楕円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で99cm、短軸は138cm残存する。底面の長軸は186cm、短軸は186cmで、深さは88cm、底面積は2.646㎡である。攪乱により明確ではないが、断面形状は、底部が張り出す、フラスコ状を呈すると考えられる。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混じる。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 底面から円筒下層d1式土器が出土している (227・228)。227と228は、胎土や焼成等の特徴から、同一個体と考えられる。石器は、半円状扁平打製石器が出土している (229)。

〔時期〕 底面出土遺物から、縄文時代前期末 (円筒下層d1式期) と考えられる。

第139号土坑 (図180、写真103)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIK-213グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は110cm、短軸は108cm、底面の長軸は80cm、短軸は78cmで、深さは60cm、底面積は0.512㎡である。断面形状は、壁が外傾気味に立ち上がる、逆台形を呈する。また、底面北西側に深さ4.8cmの小ピットが付属する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒が混じる。人為堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から、円筒下層d～上層a式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第140号土坑 (図180、写真103)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-214グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面・底面ともに楕円形を呈する。確認時における長軸は88cm、短軸は80cm、底面の長軸は76cm、短軸は56cmで、深さは33cm、底面積は0.358㎡である。断面形状は、壁が外傾気味に立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕 黒色土や黒褐色土を主体とする。自然堆積の可能性はあるが、不明である。

〔出土遺物〕 堆積土中から、円筒下層d式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末頃と考えられる。

第141号土坑（図180・227、写真103・191）

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-207グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第44号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は不整楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は188cm、短軸は134cmである。底面の長軸は164cm、短軸は116cmである。深さは32cm、底面積は1.41m²であった。

〔堆積土〕褐色土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられるが、判断し難い。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石鏃とスクレイパー類が出土した（230・231）。土製品はミニチュア土器の細片が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第142号土坑（図181・227・228、写真103・104・191）

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-207グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第50・154号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は170cm、短軸は88cm残存している。底面の長軸は210cm、短軸は206cmである。深さは142cm、底面積は3.453m²であった。

〔堆積土〕灰黄褐色土や褐灰色土を主体に、底部や壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は主に円筒上層a式が出土した（232～234）。232は東壁際の底面から出土しており、倒立した破片と横位の破片が重なった状態であった。石製品は石棒が出土しており、第148号土坑から出土した破片と接合している（図229-245）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第143号土坑（図181・228、写真104・191）

〔位置・確認〕南側調査区、VIL-209グリッドに位置しており、IV層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は96cm残存しており、短軸は100cmである。底面の長軸は90cm残存しており、短軸は80cmである。深さは20cm、底面積は0.59m²と推定される。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられるが、判断し難い。

〔出土遺物〕半円状扁平打製石器が出土した（235）。

〔時期〕出土遺物や堆積土から、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第144号土坑（図181・228、写真104・192）

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-216グリッド外に位置する。第41号竪穴住居跡の床面精査時に、暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第41号竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は残存部分で84cm、短軸は80cm残存する。底面の長軸は190cm、短軸は180cmで、残存する深さは140cm、底面積は

2.720m²である。断面形状は、底部が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。堆積土中に多量のロームブロックを含み、7層は暗褐色土と黄褐色土が縞状に堆積する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している(237)。石器は、堆積土中から石鏃(236)が出土している。

〔時期〕遺構の重複関係から縄文時代前期末以前と考えられる。

第145号土坑 (図181・228、写真104・192)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-209グリッドに位置しており、V層で褐灰色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が不整形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は86cm残存しており、短軸は80cmである。底面の長軸は164cm、短軸は152cmである。深さは80cm、底面積は2.012m²であった。

〔堆積土〕黒褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器はR・Fと磨製石斧が出土した(238)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第146号土坑 (図181・228・229、写真105・192)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-210グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形、底面が不整形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は94cm、短軸は90cmである。底面の長軸は230cm、短軸は220cmである。深さは126cm、底面積は3.994m²であった。

〔堆積土〕灰黄褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕下位を主体に出土した。主に円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(239～244)。244は底面に穿孔と考えられる痕跡がみられる。石器は石匙と台石が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第147号土坑 (図181、写真105)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-209グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形、底面が楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は56cm残存しており、短軸は64cmである。底面の長軸は52cm残存しており、短軸は46cmである。深さは20cm、底面積は0.203m²と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。堆積状況から、自然堆積と考えられるが、判断し難い。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第148号土坑 (図182・229、写真105、192)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-210グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は82cm残存しており、短軸は40cm残存している。底面の長軸は190cm、短軸は188cmである。深さは142cm、底面積は3.007㎡であった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土を主体に、底部の壁際にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は石匙が出土した(246)。土製品は土偶の腕部(247)、石製品は石棒が出土した(245)。石棒は底面から出土しており、第142号土坑から出土した破片と接合している。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第149号土坑 (図182・229、写真105・106・192)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-209グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第95号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整形と推定され、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は164cm、短軸は134cm残存している。底面の長軸は188cm、短軸は172cmである。深さは142cm、底面積は2.636㎡であった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土や灰黄褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a～b式の破片が出土した。石器は石鏃、スクレイパー類、R・Fが出土した(248)。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第150号土坑 (図182、写真106)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第94号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は楕円形である。断面は平坦な底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる形状である。検出面の長軸は122cm、短軸は94cmである。底面の長軸は114cm、短軸は84cmである。深さは28cm、底面積は0.822㎡と推定される。

〔堆積土〕灰黄褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積の可能性が考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物や重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第151号土坑 (図182、写真106)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-208グリッドに位置しており、V層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第161号土坑とピットと重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕検出面の平面形状は不明であるが、底面は不整楕円形と推定される。断面形状はフラスコ状

である。検出面の長軸は136cm残存しており、短軸は108cm残存している。底面の長軸は136cm残存しており、短軸は120cm残存している。深さは92cm、底面積は1.38㎡と推定される。

〔堆積土〕褐色土や黄褐色土を主体に、底部にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第152号土坑（図182・229、写真106・192）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-209グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕ピットと重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は円形、検出面は推定である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は134cm残存しており、短軸は146cmである。底面の長軸は192cm、短軸は184cmである。深さは132cm、底面積は2.865㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器はスクレイパー類、半円状扁平打製石器、砥石が出土した（249～251）。また、砥石は第1号捨て場から出土した破片と接合している（251）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第153号土坑（図183・230、写真106・107・124・193）

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-213グリッドに位置しており、漸移層であるIV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第220号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は検出面が円形と推定され、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は120cm残存し、短軸は39cm残存している。底面の長軸は194cm、短軸は184cmである。深さは140cm、底面積は2.791㎡である。

〔堆積土〕褐色土を主体に黄褐色土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2式が出土した（252）。

〔時期〕出土遺物から縄文時代前期末と考えられる。

第154号土坑（図183・230、写真107）

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-207グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第142・172号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は楕円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は82cm残存しており、短軸は80cm残存している。底面の長軸は144cm、短軸は118cmである。深さは134cm、底面積は1.401㎡と推定される。

〔堆積土〕灰黄褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、底部にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d～上層a式と考えられる土器が出土した（253）。253は南西壁寄りの下位から出土した。上部は欠損しており、底部を南西に向け、横位の状態であった。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉と考えられる。

第155号土坑（図183、写真107）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-214グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 南側が試掘トレンチに削平されており、全容は不明である。平面形状は検出面・底面共に不整形と推定され、断面形状は底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は63cm残存、短軸は27cm残存している。底面の長軸は71cm残存、短軸は57cm残存している。深さは28cm、底面積は0.158㎡と推定される。

〔堆積土〕 褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 縄文時代の可能性が考えられるが、詳細は不明である。

第156号土坑（図183・230、写真107・108・193）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-208グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第11号竪穴住居跡と第108号土坑と重複する。本土坑は第11号竪穴住居跡より古いが、第108号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕 平面形状は、検出が円形、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は102cm、短軸は90cmである。底面の長軸は154cm残存しており、短軸は162cm残存している。深さは66cm、底面積は2.073㎡と推定される。

〔堆積土〕 黒褐色土や灰黄褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は敲石と磨石2点が出土した。（254）。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第157号土坑（図183・230、写真108・193）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIP-215グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は検出面が不整形であり、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は151cm、短軸は114cmである。底面の長軸は167cm、短軸は162cmである。深さは120cm、底面積は2.004㎡である。

〔堆積土〕 上位は褐色土・黄褐色土が堆積する。下位は黒褐色土を主体に、黄褐色土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d1式の破片が出土した（255）。石器はスクレイパー類が出土した（256）。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第158号土坑 (図184・230・231、写真108・193)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-212グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第211号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は検出面が不整形であり、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は246cm、短軸は171cmである。底面の長軸は221cm、短軸は220cmである。深さは168cm、底面積は2.546㎡である。

〔堆積土〕 黒褐色土を主体に黄褐色土、炭化物、焼土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d2～上層a1式土器が出土した(257・259)。石器は凹石が1点出土した(258)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第159号土坑 (図184・231、写真108・193)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-205グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第160号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は、検出面が不整形円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は76cm、短軸は70cmである。底面の長軸は172cm、短軸は150cm残存している。深さは116cm、底面積は2.014㎡と推定される。

〔堆積土〕 黒褐色土や暗褐色土を主体に、中位にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器はスクレイパー類が出土した(260)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第160号土坑 (図184、写真109)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-206グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第7号焼土遺構、第159号土坑、ピットと重複する。本土坑は第7号焼土遺構と第159号土坑より新しく、ピットより古い。

〔構造〕 南側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は136cm残存しており、短軸は68cm残存している。底面の長軸は208cm残存しており、短軸は86cm残存している。深さは176cmであった。

〔堆積土〕 にぶい黄褐色土や暗褐色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第161号土坑 (図184、写真109)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-208グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第91・95・151号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は、検出面が円形、底面が不整形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は116cm、短軸は108cmである。底面の長軸は192cm、短軸は188cmである。深さは152cm、底面積は2.733㎡であった。

〔堆積土〕 灰黄褐色土や黒褐色土を主体に、底部の壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器はR・Fが出土した。

〔時期〕 出土遺物や重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第162号土坑 (図185・231、写真109・193)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-209グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は不整形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は102cm、短軸は94cmである。底面の長軸は170cm、短軸は154cmである。深さは118cm、底面積は2.052㎡であった。

〔堆積土〕 褐色土や灰黄褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(264)。石器は石鏃、スクレイパー類2点、台石が出土した(261～263)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第163号土坑 (図185、写真109)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIS-212グリッドに位置しており、第2号竪穴建物跡の床面で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第2号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は検出面が不整形であり、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は129cm、短軸は98cmである。底面の長軸は183cm、短軸は180cmである。深さは83cm、底面積は2.441㎡である。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、炭化物が混入する。堆積状況から、自然堆積の可能性が高い。

〔出土遺物〕 円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕 出土遺物や重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第164号土坑 (図185、写真109・110)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-211グリッドに位置しており、第2号竪穴住居跡の精査中に確認した。

〔重複〕 第2号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は検出面・底面共に円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は112cm、短軸は109

cmである。底面の長軸は121cm、短軸は119cmである。深さは44cm、底面積は1.121m²である。底面からピットを1基検出した。深さは6cmである。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、炭化物が混入する。堆積状況から、人為堆積の可能性が高いと考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期初頭以降と考えられる。

第165号土坑（図185、写真110）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-214グリッドに位置しており、漸移層であるIV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第173号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は検出面・底面共に円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は90cm、短軸は85cmである。底面の長軸は129cm、短軸は119cmである。深さは108cm、底面積は1.241m²である。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に黄褐色土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕遺構の重複関係及び出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第166号土坑（図185、写真110）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-211グリッドに位置しており、漸移層であるIV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第2号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は検出面が円形を呈すると考えられ、底面は不整形円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は160cm、短軸は156cmである。底面の長軸は246cm、短軸は194cmである。深さは99cm、底面積は3.4m²である。底面からピットを2基検出した。深さは43cm、深さは21cmである。

〔堆積土〕暗褐色土、褐色土を主体に明黄褐色土が混入する。壁際ににぶい黄褐色土が堆積し、7層に炭化物が筋状に混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕遺構の重複関係及び出土遺物から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第167号土坑（図186・231・232、写真110・111・193・194）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-214グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は検出面・底面共に円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は213cm、短軸は207cmである。底面の長軸は232cm、短軸は218cmである。深さは135cm、底面積は4.059m²である。

〔堆積土〕暗褐色土、褐色土を主体に明黄褐色土が混入する。4・5層に褐色土が堆積している。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は底面から堆積土下層を主体に円筒下層d2～上層a1式土器が出土した（268～271）。268は横位で潰れた状態、270は直立した状態で底面南側から出土した。石器は半円状扁平打製石器が

2点出土した(265・266)。土製品は、ミニチュア土器が出土している(267)。

[時期] 底面出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第168号土坑 (図186・233、写真111・194)

[位置・確認] 南側調査区、VIQ-215グリッドに位置しており、IV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は検出面・底面共に円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は187cm、短軸は160cmである。底面の長軸は187cm、短軸は180cmである。深さは116cm、底面積は2.559m²である。

[堆積土] 暗褐色土を主体に炭化物、明黄褐色土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層d2～上層a1式土器が出土した(272)。272は、第113号土坑出土破片と接合関係にある。石製品は石棒が出土した(273)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第169号土坑 (図186・233、写真111・194)

[位置・確認] 南側調査区、VIP-207グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第178号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

[構造] 平面形状は、検出面が不整形円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は146cm、短軸は134cmである。底面の長軸は220cm、短軸は210cmである。深さは136cm、底面積は3.517m²であった。

[堆積土] 灰黄褐色土や黒褐色土を主体に、上位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層d1式が出土した(274)。石器は磨石が出土した(275)。土製品はミニチュア土器の細片が出土した。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第170号土坑 (図186・233、写真112・194)

[位置・確認] 南側調査区、VIP-208グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は、検出面が楕円形、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は130cm残存しており、短軸は108cmである。底面の長軸は174cm、短軸は170cmである。深さは75cm、底面積は2.464m²であった。

[堆積土] 黒褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土土器] 土器は円筒下層d式の破片が出土した。石器は敲石と半円状扁平打製石器が出土した(278・279)。土製品はミニチュア土器と土器片利用円盤が出土した(276・277)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第171号土坑 (図187・233、写真112・194)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-207グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第178号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面は円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は150cm残存しており、短軸は98cmである。底面の長軸は188cm、短軸172cmである。深さは90cm、底面積は2.665㎡であった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器は礫器、敲石、凹石、半円状扁平打製石器、砥石が出土した(280)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第172号土坑 (図187・234、写真112・195)

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-207グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第154号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は90cm、短軸は78cmである。底面の長軸は212cm、短軸は210cmである。深さは154cm、底面積は3.609㎡であった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土や黒褐色土を主体に、中位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器はスクレイパー類、凹石、石錘が出土した(281・282)。石製品は石棒が出土した(283)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第173号土坑 (図185、写真110)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-214グリッドに位置しており、漸移層であるIV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第165号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は検出面・底面共に不整円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は96cm残存、短軸は75cm残存している。底面の長軸は114cm、短軸は91cm残存している。深さは105cm、底面積は0.88㎡と推定される。

〔堆積土〕3・5層は黒褐色土を主体に明黄褐色土が混入、4層は褐色土が主体である。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉と考えられる。

第174号土坑 (図187、写真112)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-214グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は検出面が楕円形と思われ、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は97cm、短軸は72cm残存している。底面の長軸は142cm、短軸は121cmである。深さは109cm、底面積は1.337㎡である。

〔堆積土〕 にぶい黄褐色土を主体に炭化物、黒褐色土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層式と思われる破片が出土した。

〔時期〕 出土遺物から縄文時代前期の可能性が考えられるが、詳細は不明である。

第175号土坑 (図187・234、写真113・195)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-213グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は検出面が円形、底面は不整形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は143cm、短軸は125cmである。底面の長軸は205cm、短軸は197cmである。深さは131cm、底面積は2.961㎡である。

〔堆積土〕 1～4層は明褐色土・にぶい黄褐色土が堆積する。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d2式土器が出土した (284)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第176号土坑 (図188・234、写真113・195)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-214グリッドに位置しており、IV層で明黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は検出面が楕円形、底面は不整形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は154cm、短軸は152cmである。底面の長軸は190cm、短軸は185cmである。深さは127cm、底面積は2.811㎡である。底面の中央から、ピットを1基検出した。平面形状は円形であり、検出面の長軸は32cm、短軸は27cm、深さは8cmであった。

〔堆積土〕 1～3層は明黄褐色土・暗褐色土が堆積する。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中より細石刃石核が出土している (285)。

〔時期〕 堆積土の特徴などから縄文時代の可能性が考えられるが、詳細は不明である。

第177号土坑 (図188・234・235、写真113・195)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-215グリッドに位置しており、IV層で明黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は検出面が楕円形、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は249cm、短軸は208cmである。底面の長軸は261cm、短軸は260cmである。深さは150cm、底面積は5.515㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体とし、黄褐色土が混入する。堆積状況から自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は主に円筒下層d～上層a1式土器が出土した(286～296)。289は、大木5～6式系と考えられる。石器は敲石と凹石(297・298)が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第178号土坑(図186、写真111)

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-207グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第169・171号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形と推定される。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は78cm残存しており、短軸は40cm残存している。底面の長軸は94cm残存しており、短軸は146cm残存している。深さは64cmであった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土を主体に、下位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕重複関係から、縄文時代前期末以前と考えられる。

第179号土坑(図188・235・236、写真113・195)

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-213グリッドに位置しており、IV層で黒黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第180号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕平面形状は検出面・底面共に不整形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は175cm、短軸は158cmである。底面の長軸は238cm、短軸は200cmである。深さは137cm、底面積は3.612㎡である。

〔堆積土〕黒褐色土・暗褐色土を主体とし、明黄褐色土が混入している。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕主に円筒上層a1式土器が出土した(299～301)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第180号土坑(図189、写真114)

〔位置・確認〕南側調査区、VIR-213グリッド外に位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第179号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は検出面・底面共に不整形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるVI層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は240cm、短軸は227cmである。底面の長軸は205cm、短軸は180cm残存している。深さは80cm、底面積は0.945㎡である。

〔堆積土〕褐色土・暗褐色土を主体とし、黒褐色土や炭化物が混入している。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒上層a1式土器の破片が出土した。

〔時期〕遺構の重複関係と出土遺物から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第181号土坑 (図189・236、写真114・195)

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-213グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第37号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕確認面は楕円形、底面は円形を呈する。確認時における長軸は84cm、短軸は66cm、底面の長軸は168cm、短軸は164cmで、深さは104cm、底面積は2.12m²である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、焼土ブロックやロームブロック等を含む。また、焼土が多量に含まれる9層には微細な骨片の可能性のあるものが含まれる。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から円筒下層d～上層a式土器が出土している。石器は、石匙、スクレイパー類、敲石、磨石が出土している(302)。

〔時期〕遺構の重複関係から、縄文時代前期後葉以降と考えられる。

第182号土坑 (図189・236、写真114・195)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-214グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第28・29号竪穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。また、第45号竪穴住居跡と重複していると考えられるが、詳細は不明である。

〔構造〕確認面は円形、底面はやや不整な楕円形を呈する。確認時における長軸は122cm、短軸は118cm、底面の長軸は196cm、短軸は178cm、深さは72cm、底面積は2.694m²である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とし、ロームブロックやローム粒を含む。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕底面やや南東側の壁寄りから、胴部上半の一部を欠失した、円筒下層d2式土器(303)が倒立状態で出土している。なお、欠失した部分は、直線距離で約36m離れた、第130号土坑の堆積土中から出土している。

〔時期〕底面出土遺物から、縄文時代前期末(円筒下層d2式期)と考えられる。

第183号土坑 (図189・236、写真114・115・195)

〔位置・確認〕南側調査区、VIK-215グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第28号竪穴住居跡と重複し、本遺構が古い。

〔構造〕確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は102cm、短軸は残存部分で62cm、底面の長軸は134cm、短軸は134cmで、深さは124cm、底面積は1.372m²である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする、人為堆積と考えられる。8層中には炭化物を多量に含む薄層(9層)が介在する。

〔出土遺物〕土坑のほぼ中央付近の底面直上から、円筒下層d2式土器(304)が横転し、つぶされたような状態で出土した。口縁部は、南側を向く。また、9層中からは、土器片利用円盤(305)が1点出土した。石器は、スクレイパー類が1点出土した。

〔時期〕底面直上の出土遺物から、縄文時代前期末(円筒下層d2式期)と考えられる。

第184号土坑 (図189、写真115)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-213グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕 ピットと重複し、本遺構が新しい。

〔構造〕 確認面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は56cm、短軸は52cm、底面の長軸は36cm、短軸は36cmで、深さは50cm、底面積は0.109㎡である。断面形状は、底面からやや外傾して立ち上がる、逆台形を呈する。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。下部にはロームブロックが混入し、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から、円筒下層d～上層a式土器が出土している。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第185号土坑 (図190、写真115)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-215グリッドに位置しており、漸移層であるIV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第40号住居跡と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は検出面が楕円形、底面は円形で、断面形状はフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面での長軸は229cm、短軸193cm、底面では長軸179cm、短軸167cm、深さ113cmである。底面積は2.426㎡であった。

〔堆積土〕 黒褐色土主体の土層である。堆積土中位以下では、V層土粒・ブロックの含有量が異なる互層状となっており、人為堆積による所産と思われる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 他遺構との重複関係から、縄文時代前期末か、それ以降である。

第186号土坑 (図190・237、写真115・116・196)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、V層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第20号土坑とピットと重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は楕円形である。断面は平坦な底面から壁が外傾する形状である。検出面の長軸は110cm、短軸は76cmである。底面の長軸は90cm、短軸は52cmである。深さは25cm、底面積は0.391㎡であった。

〔堆積土〕 褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(309)。309は横位で潰れた状態であり、310は同一個体の可能性が考えられる。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第187号土坑 (図190・236、写真116・196)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-208グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 平面形状は、検出面が隅丸方形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は72cm、短軸は60cmである。底面の長軸は126cm、短軸は118cmである。深さは82cm、底面積は1.176㎡であった。

〔堆積土〕 にぶい黄褐色土や黒褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒下層c～d式の破片が出土した。石器は石槍が出土した(306)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期後葉以降と考えられる。

第188号土坑 (図190・236、写真116・196)

[位置・確認] 南側調査区、VIR-208グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第43号竪穴住居跡と第108・200号土坑と重複する。本土坑は第43号竪穴住居跡より新しいが、第108・200号土坑との新旧関係は不明である。

[構造] 平面形状は楕円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は144cm残存しており、短軸は180cm残存している。底面の長軸は184cm残存しており、短軸は190cm残存している。深さは76cmであった。

[堆積土] 黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から人為堆積と考えられ、2基の土坑が重複する可能性が考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。また、縄文時代後期前葉の破片が出土しており、第108号土坑から出土した破片と接合している(307)。石器は礫器が出土した(308)。

[時期] 重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第189号土坑 (図191・237、写真116・196)

[位置・確認] 南側調査区、VIR-209グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

[重複] 第83号土坑とピットと重複しており、本土坑が新しい。

[構造] 平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は90cm残存しており、短軸は96cmである。底面の長軸は198cm、短軸は192cmである。深さは152cm、底面積は3.111m²であった。

[堆積土] にぶい黄褐色土や黒褐色土を主体に、底部にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 土器は円筒上層a1式が出土した(311・312)。311・312は同一個体の可能性が考えられる。石器は磨石が2点出土した(313)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第190号土坑 (図191・238、写真116・196)

[位置・確認] 南側調査区、VIP-210グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[構造] 平面形状は、検出面が不整楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は120cm、短軸は104cmである。底面の長軸は156cm、短軸152cmである。深さは82cm、底面積は1.949m²であった。

[堆積土] 黒褐色土や黒色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

[出土遺物] 円筒下層d2式の土器が出土しており、第115号土坑から出土した底部と接合している(314)。

[時期] 出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第191号土坑 (図191、写真117)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-210に位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は100cm、短軸は74cmである。底面の長・短軸は148cmである。深さは80cm、底面積は1.821㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土やにぶい黄褐色土を主体に、中位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第192号土坑 (図191、写真117)

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-207グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が隅丸方形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長・短軸は106cmである。底面の長軸は136cm、短軸は126cmである。深さは64cm、底面積は1.393㎡であった。

〔堆積土〕灰黄褐色土や黒褐色土を主体に、壁際や上位にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d～上層a式の破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第193号土坑 (図191・238、写真117・196)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-212グリッドに位置する。IV層上面で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第194号土坑と平面上で重複するが、深度が異なるため、実際には重複していない。

〔構造〕確認面、底面ともに楕円形を呈すると考えられる。確認時における長軸は残存部分で100cm、短軸は102cm、底面の長軸は残存部分で100cm、短軸は102cmで、深さは36cm、底面積は1.13㎡ほどである。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。ロームブロックや焼土ブロックが混入し、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕2層上面(1層)から、円筒上層a2式土器(315)が出土した。出土状況は、1個体が横位に置かれて土圧等によりつぶされたような状況では無く、破片が集積したような印象を受ける。

〔時期〕堆積土出土遺物から、縄文時代中期前葉頃と考えられる。

第194号土坑 (図191・239、写真117・196)

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔重複〕第193号土坑と平面上で重複するが、深度が異なるため、実際には重複していない。

〔構造〕確認面・底面ともに円形を呈する。確認時における長軸は80cm、短軸は76cm、底面の長軸は154cm、短軸は136cmで、深さは128cm、底面積は1.71㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。また、底面中央に深さ13cmの小ピットが付属する。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。焼土粒や炭化物等が混入し、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中から、スクレイパー類(316)、柱状節理の棒状礫、ミニチュア土器(317)が出土している。

〔時期〕形状および堆積土出土遺物から、縄文時代前期後葉から中期前葉頃と考えられる。

第195号土坑（図192・239、写真117・118・196）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-211グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は不整形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は90cm、短軸は88cmである。底面の長軸は180cm、短軸は170cmである。深さは108cm、底面積は2.516㎡であった。

〔堆積土〕黒褐色土や褐灰色土を主体に、壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d2が出土した（320）。320は南側の下位から散在した状況で出土した。石器は石鏃と半円状扁平打製石器が出土した（318・319）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末と考えられる。

第196号土坑（図192・239、写真118・197）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-211グリッドに位置しており、V層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第198号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は不整形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は84cm、短軸は80cmである。底面の長軸は178cm残存しており、短軸は190cmである。深さは136cm、底面積は2.765㎡と推定される。

〔堆積土〕上位は暗褐色土、中位はローム土、下位は黒褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d式の破片が出土した。石器は石鏃と磨石が出土した（321・322）。

〔時期〕重複関係から、縄文時代前期末から中期初頭以前と考えられる。

第197号土坑（図192・239、写真118・197）

〔位置・確認〕南側調査区、VIP-210グリッドに位置しており、V層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整形、底面が円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は128cm、短軸は114cmである。底面の長軸は170cm、短軸は164cmである。深さは140cm、底面積は2.298㎡であった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d2式の破片が出土した（323）。土製品はミニチュア土器が出土した（324）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第198号土坑（図193・239・240・241、写真118・197）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-211グリッドに位置しており、V層で灰黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第196号土坑と重複しており、本土坑が新しい。

〔構造〕 平面形状は不整形円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は134cm、短軸は114cmである。底面の長軸は184cm、短軸は174cmである。深さは150cm、底面積は2.476㎡であった。

〔堆積土〕 灰黄褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d2～上層a1式と考えられる土器が出土した(327～332)。328～332は西壁と南壁寄りの下位から出土した。330は口縁を南西に向け、横位で潰れた状態であった。332は口縁を北に向け、横位の状態であった。石器は凹石と磨石が出土した。土製品は土器片利用円盤と思われる破片が出土した(326)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第199号土坑 (図193・239、写真119・198)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIS-211グリッドに位置しており、V層で確認した。

〔構造〕 平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が不整形円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は126cm、短軸は92cm残存している。底面の長軸は212cm、短軸は202cmである。深さは132cm、底面積は3.648㎡であった。

〔堆積土〕 灰黄褐色土や黒褐色土を主体に、底部の壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は円筒上層a式の破片が出土した。石器は凹石2点と半円状扁平打製石器が出土した(325)。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第200号土坑 (図174、写真95)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-207グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第107・108・188号土坑と重複する。本土坑は第107号土坑より新しく、第108号土坑より古い。第188号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕 検出面の平面形状は円形、底面は不明である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は200cm、短軸は178cmである。深さは128cmであった。

〔堆積土〕 黒褐色土や暗褐色土を主体に、壁際にローム土が堆積及び混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 円筒下層d式の破片が出土した。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第201号土坑 (図193・242、写真119・198)

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-212グリッドに位置する。IV層で暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 確認面は楕円形、底面は円形を呈する。確認時における長軸は82cm、短軸は72cm、底面の長軸は176cm、短軸は158cmで、深さは88cm、底面積は2.166㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。また、底面北西の壁際に深さ14.9cmの不整形な小ピットが付属する。

〔堆積土〕 暗褐色土や褐色土が堆積する。ローム粒や炭化物等を含み、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 堆積土中から円筒上層a式土器(333)、石鏃(334)、スクレイパー類が出土した。

〔時期〕 堆積土出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉頃と考えられる。

第202号土坑（図193・写真119）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-210グリッドに位置しており、IV層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第114号土坑と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は、検出面が不整形と推定され、底面が楕円形と推定される。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は116cm残存しており、短軸は92cm残存している。底面の長軸は134cm残存しており、短軸は140cmである。深さは88cm、底面積は1.744m²と推定される。

〔堆積土〕褐色土や黒褐色土を主体に、下位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕形状や堆積土から、縄文時代前期後葉以降と考えられるが、詳細は不明である。

第203号土坑（図194、写真119・120）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-212グリッドに位置しており、IV層でにぶい黄褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が円形と推定され、底面が不整形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は88cm残存しており、短軸は84cmである。底面の長軸は166cm、短軸は150cmである。深さは80cm、底面積は2.018m²であった。

〔堆積土〕にぶい黄褐色土や黒褐色土を主体に、ローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕同一個体を含む円筒下層d2～上層a1式と考えられる破片が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第204号土坑（図194・242、写真120・198）

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-212グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は調査区外に延びていることから不明な部分もあるが、検出面・底面共に円形と思われる。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は104cm残存、短軸は67cm残存している。底面の長軸は188cm残存、短軸は103cm残存している。深さは136cm、底面積は1.55m²と推定される。

〔堆積土〕暗褐色土を主体とする。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒上層a1式土器が出土した（335）。石器は砥石が出土した（336）。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第205号土坑（図194、写真120）

〔位置・確認〕南側調査区、VIN-215グリッドに位置する。第40号竪穴住居跡床面において貼床の落ち込みとして確認した。

〔重複〕第40号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は検出面・底面ともに円形で、断面形状はフラスコ形である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面では長軸82cm、短軸方向の残存長49cm、底面で長軸182cm、短軸156cmである。深さは116cm、底面積は1.911m²である。

〔堆積土〕 上面に第40号竪穴住居跡の貼床構築土、底面直上土に黒褐色土が堆積する他は、大半がV層の黄褐色砂礫土で構成される。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 他遺構との重複関係から、縄文時代前期末か、それ以前である。

第206号土坑（図194、写真120）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-209グリッドに位置しており、第43号竪穴住居跡の床面で淡黄色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第101号土坑と第43号竪穴住居跡と重複しており、第206号土坑、第101号土坑、第43号竪穴住居跡の順に新しい。

〔構造〕 平面形状は楕円形、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は212cm残存しており、短軸は194cmである。底面の長軸は214cm残存しており、短軸は186cmである。深さは34cm残存しており、底面積は3.043㎡と推定される。

〔堆積土〕 2層はローム土、3層は黒褐色土を主体とする。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第207号土坑（図194、写真120）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-211グリッドに位置しており、第2号竪穴住居跡の床面で明黄褐色土、暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第2号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕 平面形状は不整形である。断面形状は、皿形であり、V層を底面とする。検出面の長軸は127cm、短軸は81cmである。底面の長軸は89cm、短軸は84cmである。深さは27cm、底面積は0.604㎡である。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とする。堆積状況から自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第208号土坑（図195・242、写真121・198）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIR-205グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕 西側が調査区外に及び、全容は不明である。検出面の平面形状は不明であるが、底面は円形と推定される。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は92cm残存しており、短軸は40cm残存している。底面の長軸は134cm残存しており、短軸は214cm残存している。深さは160cmであった。底面から、ピットを1基検出した。

〔堆積土〕 黒褐色土や褐色土を主体に、下位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 土器は同一個体を含む円筒上層a式の破片が出土した。石器は石鏃、打製石斧、磨石が出土した（337・338）。

〔時期〕 出土遺物から、縄文時代中期初頭から前葉と考えられる。

第209号土坑（図195、写真121）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-206グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は、検出面が楕円形と推定され、底面が不整円形である。断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は68cm残存しており、短軸は64cm残存している。底面の長軸は161cm、短軸は148cmである。深さは82cm、底面積は1.91m²であった。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、壁際にローム土が混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式の破片が出土した。石器はスクレイパー類と台石が出土した。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末以降と考えられる。

第210号土坑（図195・242、写真121・198）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-212グリッドに位置する。IV層で褐色土とそれを同心円状に囲む暗褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕攪乱のため、明確ではないが、確認面は円形を呈すると考えられ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は90cm、短軸は残存部分で46cm、底面の長軸は168cm、短軸は156cmで、深さは88cm、底面積は2.002m²である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕褐色土や暗褐色土を主体とし、焼土ブロックや焼土層が混在する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d式～上層a式期頃に比定される（小笠原2017など）、沈線や細沈線により文様を描出した土偶（339）が堆積土上位から、全面に磨り・擦痕が観察される、粗粒玄武岩製の石製品（341）が堆積土下位から出土している。

〔時期〕堆積土出土遺物から、縄文時代前期末から中期前葉頃と考えられる。

第211号土坑（図195、写真121・122）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-212グリッドに位置しており、IV層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第158号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は検出面では不明である。底面は不整円形と思われる。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は80cm残存、短軸は18cm残存している。底面の長軸は180cm残存、短軸は135cm残存である。深さは67cm残存している。底面積は1.552m²と推定される。

〔堆積土〕黒褐色土を主体とする。堆積状況から自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期初頭以前と考えられる。

第212号土坑（図195、写真122）

〔位置・確認〕南側調査区、VIM-216グリッドに位置しており、ローム層であるV層上面において黄褐色・暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第23号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕平面形状は検出面・底面ともに不整な円形で、断面形は底面から壁が外傾する逆台形である。底面はローム土であるV層を掘り込み、鍋底状の底面が形成されている。検出面では長軸109cm、短軸94cm、底面で長軸88cm、短軸76cmである。深さは50cm、底面積は0.312m²である。

〔堆積土〕暗褐色を主体に、V層由来と思われるローム土粒と褐色土ブロックを含有する。堆積状況から、人為堆積の可能性も考えられるが、判断し難い。

〔出土遺物〕図示しなかったが、底面から縄文時代前期末頃の土器が出土した。

〔時期〕出土土器と他遺構との重複関係から、縄文時代前期末である。

第213号土坑（図196、写真122）

〔位置・確認〕南側調査区、VIO-205グリッドに位置しており、第8号竪穴住居跡の床面で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第8号竪穴住居跡と第19号土坑と重複する。本土坑は第8号竪穴住居跡より古いが、第19号土坑との新旧関係は不明である。

〔構造〕西側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は86cm残存しており、短軸は120cm残存している。底面の長軸は156cm残存しており、短軸は204cm残存している。深さは102cm残存する。

〔堆積土〕黒褐色土を主体に、中位にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕出土していない。

〔時期〕重複関係から、縄文時代中期前葉以前と考えられる。

第214号土坑（図196・242、写真122・198）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-220グリッドに位置しており、ローム層のV層で暗褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕北東側が調査区外のため不明だが、平面形状は検出面・底面ともに円形と推測される。断面形状はフラスコ形である。底面はローム土のV層を平坦に掘り込んでいるが、全体の北西方向への傾斜が認められる。底面はほぼ全面に鉄・マンガンが沈着する。検出範囲での検出面長軸は124cm、短軸76cm、底面は長軸174cm、短軸113cmである。深さは146cm、計測可能な底面積は1.083㎡である。

〔堆積土〕暗褐色を主体に、V層由来と思われるローム土・ブロックを含有する。底面中央では、薄く、環状に堆積する灰白色粘土も検出された。これら堆積状況から、中位以下が人為堆積である可能性が考えられる。

〔出土遺物〕堆積土中位から、円筒上層a1式にあたる深鉢2個体が出土している。

〔時期〕出土土器から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第215号土坑（図196、写真122・123）

〔位置・確認〕南側調査区、VIQ-221グリッドに位置しており、ローム層のV層中において暗褐色・黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第48号竪穴住居跡と重複し、本土坑が古い。

〔構造〕東側が調査区外のため不明だが、平面形状は検出面・底面ともに円形と推測される。断面形状はフラスコ形である。底面はローム土のV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出範囲での検出面長軸は109cm、短軸49cm、底面では長軸169cm、短軸90cmである。深さは124cm、計測可能な底面積は1.330㎡である。底面中央部からは、開口部34×31cm、深さ17cmの円形ピットが1基検出されている。

〔堆積土〕暗褐色土を主体に、V層由来と思われる浮石とローム粒が混入する。上面からは、第48号竪穴住居跡の貼床と考えられるローム土が落ち込んでいる。堆積状況から、人為堆積の可能性も考え

られるが、判断し難い。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 他遺構との重複関係から、縄文時代前期末か、それ以前である。

第216号土坑（図197、写真123）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIO-214グリッドに位置する。IV層で黄褐色土の広がりを確認した。

〔構造〕 攪乱のため、明確ではないが、確認面は円形を呈するものと思われ、底面は円形を呈する。確認時における長軸は46cm、残存部分の短軸は26cm、底面の長軸は173cm、短軸は164cmで、深さは114cm、底面積は2.273㎡である。断面形状は、底面が張り出す、フラスコ状を呈する。

〔堆積土〕 黄褐色や褐色を呈したローム質土が主体的に堆積する。人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 出土していない。

〔時期〕 遺構の確認層位や堆積土の特徴などから、縄文時代と考えられるが、詳細は不明である。

第217号土坑（図197・243、写真123・198）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-215グリッドに位置する。第40号竪穴住居跡の床面で黒褐色土の落ち込みとして確認した。

〔重複〕 第28・40号竪穴住居跡と重複しているが、新旧関係は不明である。

〔構造〕 平面形状は検出面・底面ともに円形で、断面形状は壁がほぼ垂直に立ち上がる箱形である。底面はローム土であるV層を掘り込み、若干の起伏をもって形成されている。検出面での長軸219cm、短軸200cm、底面では長軸213cm、短軸195cmである。深さは40cm、底面積は3.275㎡である。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体とし、下位ではローム土を多く含有する。堆積状況から下位は人為堆積の可能性も考えられるが、判断し難い。

〔出土遺物〕 堆積土から石槍が出土している(344)。

〔時期〕 縄文時代前期末～中期初頭か、それ以降と推定されるが詳細不明である。

第218号土坑（図197・243、写真123・124・198）

〔位置・確認〕 南側調査区、VIN-216グリッドに位置する。第40号竪穴住居跡床面において暗褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕 第40号竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は不明である。

〔構造〕 平面形状は検出面が楕円形、底面は円形で、断面形状はフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に形成されている。検出面での長軸は97cm、短軸76cm、底面での長軸162cm、短軸156cm、深さ127cm、底面積1.925㎡である。

〔堆積土〕 暗褐色土を主体に、ローム土と黄褐色土のブロックが混入する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕 底面から、横位・倒立状態で円筒下層d2～上層a1式の深鉢土器(347～349)が出土した。他に3層からは敲石(345)、6層からは半円状扁平打製石器(346)が出土している。

〔時期〕 7層出土土器から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。

第219号土坑 (図197・244、写真124・198)

〔位置・確認〕南側調査区、VIT-210グリッドに位置しており、V層で黒褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第47号竪穴住居跡と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕北側が調査区外に及び、全容は不明である。平面形状は円形と推定され、断面形状はフラスコ状である。検出面の長軸は216cm残存しており、短軸は142cm残存している。底面の長軸は290cm残存しており、短軸は158cm残存している。深さは168cmであった。

〔堆積土〕黒褐色土や黒色土を主体に、底部や壁際にローム土が堆積する。堆積状況から、人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒上層a1式の土器が出土した(350・351)。350は中位から出土しており、横位で潰れた状態であった。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代中期初頭と考えられる。

第220号土坑 (図198・244、写真124・198)

〔位置・確認〕南側調査区、VIS-212グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔重複〕第153号土坑と重複しており、本土坑が古い。

〔構造〕平面形状は検出面が不整形円形になると思われ、底面は円形である。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は121cm、短軸は80cm残存している。底面の長軸は186cm、短軸は178cmである。深さは108cm、底面積は2.689㎡である。

〔堆積土〕褐色土、黄褐色土を主体とする。堆積状況から人為堆積と考えられる。

〔出土遺物〕土器は円筒下層d～上層a式と思われる破片が出土した。石器は石鏃が出土した(352)。

〔時期〕重複関係から、縄文時代前期末以前と考えられる。

第221号土坑 (図198・244、写真124)

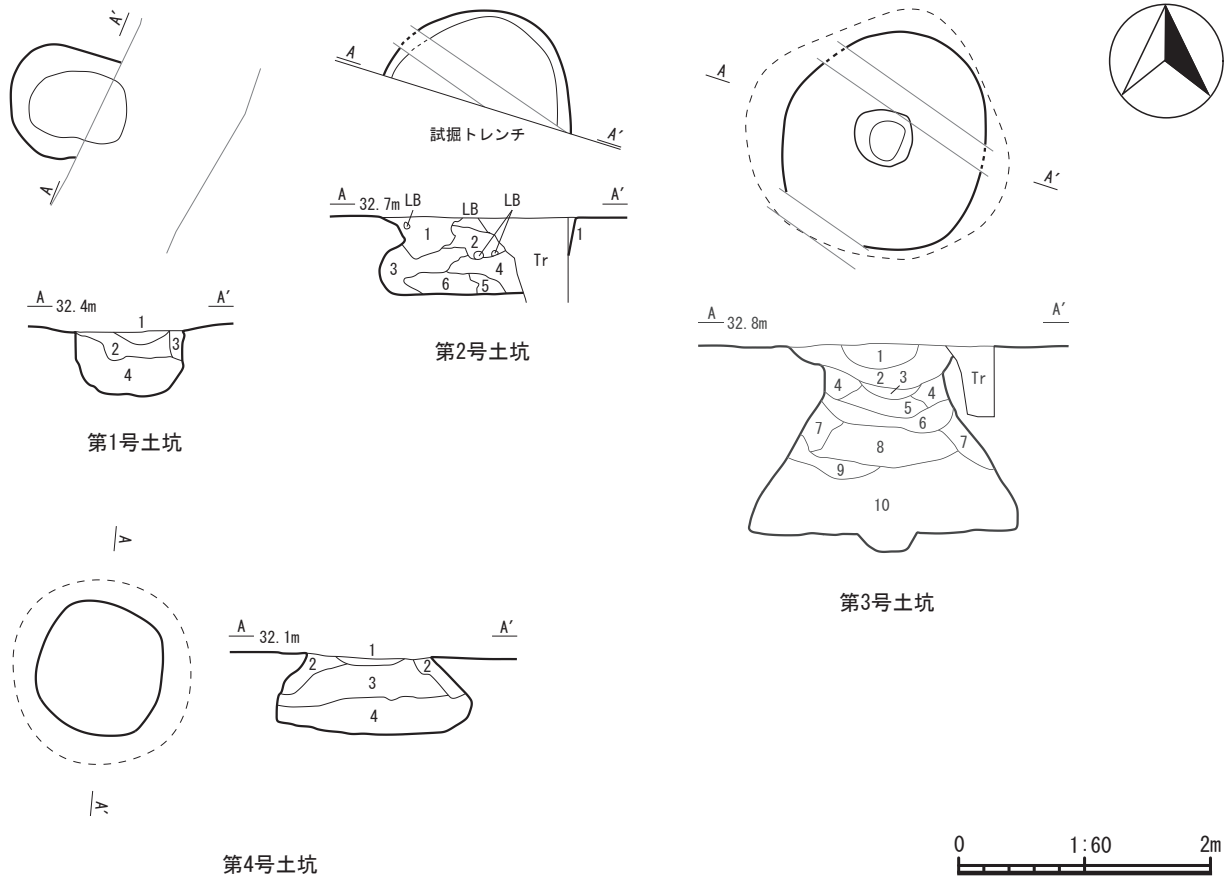
〔位置・確認〕南側調査区、VIR-215グリッドに位置しており、IV層で褐色土の広がりとして確認した。

〔構造〕平面形状は調査区外に延びていることと攪乱が著しいことから不明な部分もあるが、検出面、底面共に円形と思われる。断面形状は、底部が張り出すフラスコ状である。底面はローム土であるV層を掘り込み、平坦に仕上げられている。検出面の長軸は123cm、短軸は70cm残存している。底面の長軸は209cm、短軸は127cm残存している。深さは91cm、底面積は2.322㎡と推定される。

〔堆積土〕黒褐色土を主体とする。堆積状況から自然堆積と考えられる。

〔出土遺物〕円筒下層d2～上層a1式土器が出土した(353)。

〔時期〕出土遺物から、縄文時代前期末から中期初頭と考えられる。



第1号土坑

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1層 | 10YR2/1黒色土 | 千曳軽石1~3mm1%、中掬軽石1% |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR2/1黒色土15%、千曳軽石1~5mm1%、中掬軽石1% |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR2/2黒褐色土30%、千曳軽石1~2mm1% |
| 4層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/4褐色土20%、10YR5/6黄褐色土10%、千曳軽石1~20mm3%、中掬軽石1% |

第2号土坑

- | | | |
|----|-------------|------------------------------|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR2/3黒褐色土5%、中掬軽石1% |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 中掬軽石1% |
| 3層 | 10YR4/6褐色土 | 5YR6/8橙色焼土1%、中掬軽石1%、炭化物5mm1% |
| 4層 | 10YR5/6黄褐色土 | 中掬軽石1% |
| 5層 | 10YR4/6褐色土 | 中掬軽石1% |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | 中掬軽石1% |

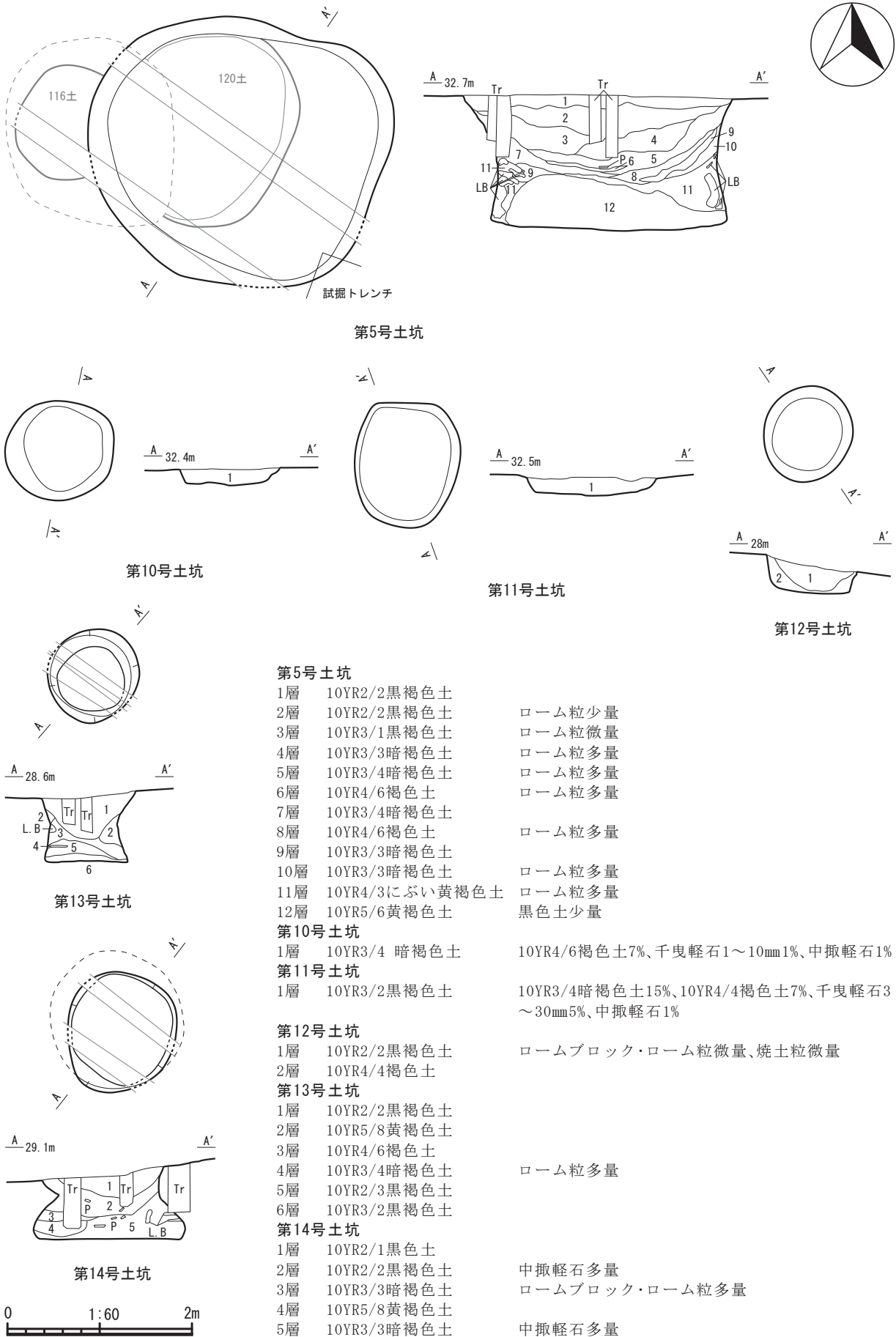
第3号土坑

- | | | |
|-----|------------------|---|
| 1層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR3/3暗褐色土5% |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR3/3暗褐色土7%、千曳軽石2~4mm2%、炭化物1~3mm1% |
| 3層 | 7. 5YR6/4にぶい橙色粘土 | 炭化物2mm1% |
| 4層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR8/6黄橙色土3%、千曳軽石1mm1%、炭化物2mm1% |
| 5層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR8/6黄橙色土7%、10YR3/4暗褐色土3%、7. 5YR6/4にぶい橙色粘土1%、炭化物1mm1% |
| 6層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土2%、千曳軽石1mm1%、炭化物1~3mm1% |
| 7層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%、千曳軽石1mm1%、炭化物1~5mm1% |
| 8層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR4/4褐色土5%、千曳軽石3~10mm2% |
| 9層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土7%、千曳軽石4~6mm2%、炭化物2~30mm2% |
| 10層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土15%、千曳軽石5~10mm2%、炭化物5~50mm7% |

第4号土坑

- | | | |
|----|----------------|---------------------------------------|
| 1層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR3/4暗褐色土2%、炭化物8mm2% |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、炭化物2~7mm3% |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、千曳軽石2~60mm5%、炭化物3~50mm3% |
| 4層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR5/8黄褐色土5%、炭化物2~5mm3% |

図148 土坑



第5号土坑

- | | | |
|-----|----------------|--------|
| 1層 | 10YR2/2黒褐色土 | |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土 | ローム粒少量 |
| 3層 | 10YR3/1黒褐色土 | ローム粒微量 |
| 4層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒多量 |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | ローム粒多量 |
| 6層 | 10YR4/6褐色土 | ローム粒多量 |
| 7層 | 10YR3/4暗褐色土 | |
| 8層 | 10YR4/6褐色土 | ローム粒多量 |
| 9層 | 10YR3/3暗褐色土 | |
| 10層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒多量 |
| 11層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | ローム粒多量 |
| 12層 | 10YR5/6黄褐色土 | 黒色土少量 |

第10号土坑

- | | | |
|----|--------------|----------------------------------|
| 1層 | 10YR3/4 暗褐色土 | 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石1~10mm1%、中掬軽石1% |
|----|--------------|----------------------------------|

第11号土坑

- | | | |
|----|-------------|---|
| 1層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR3/4暗褐色土15%、10YR4/4褐色土7%、千曳軽石3~30mm5%、中掬軽石1% |
|----|-------------|---|

第12号土坑

- | | | |
|----|-------------|----------------------|
| 1層 | 10YR2/2黒褐色土 | ロームブロック・ローム粒微量、焼土粒微量 |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | |

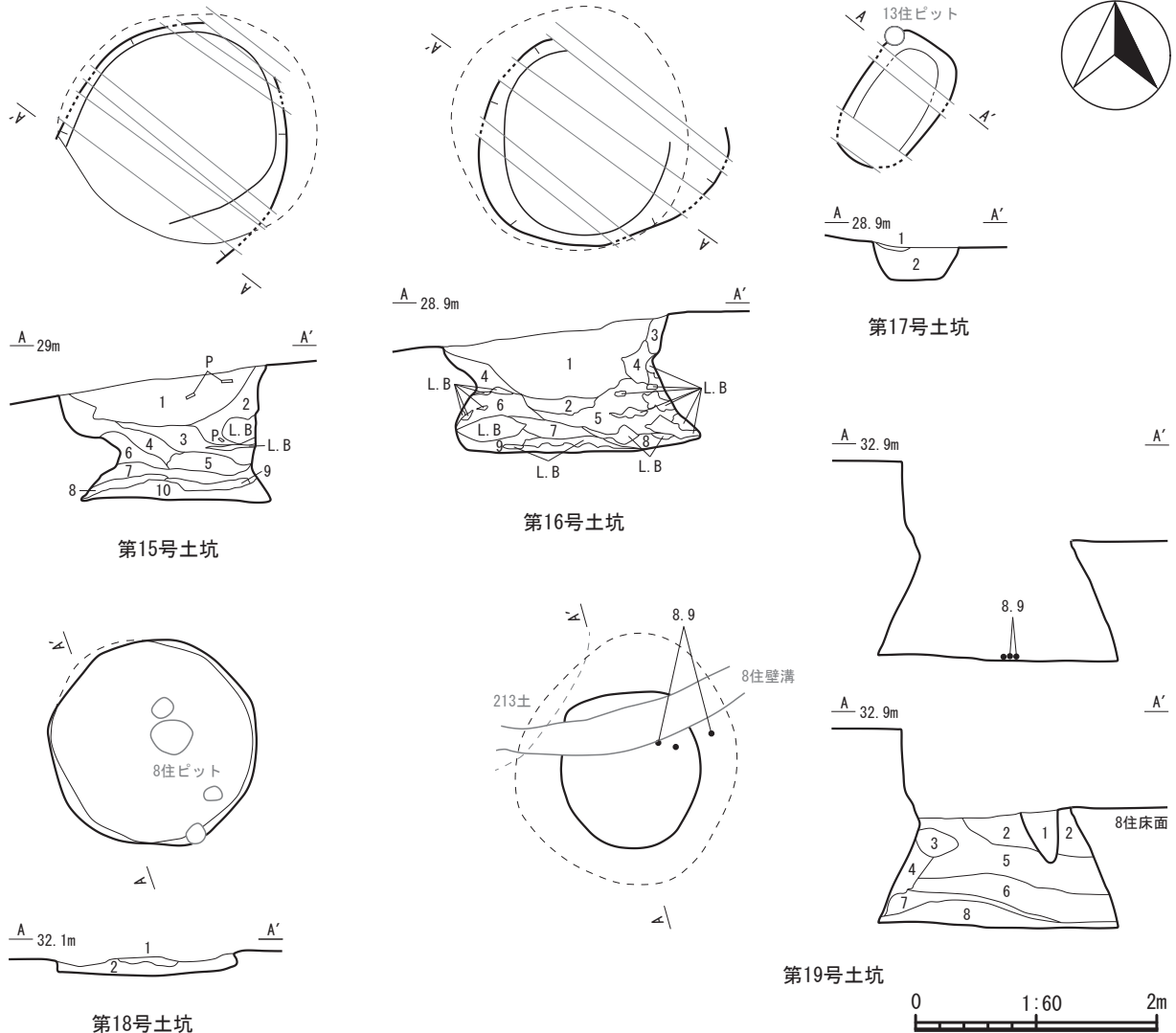
第13号土坑

- | | | |
|----|-------------|--------|
| 1層 | 10YR2/2黒褐色土 | |
| 2層 | 10YR5/8黄褐色土 | |
| 3層 | 10YR4/6褐色土 | |
| 4層 | 10YR3/4暗褐色土 | ローム粒多量 |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | |
| 6層 | 10YR3/2黒褐色土 | |

第14号土坑

- | | | |
|----|-------------|----------------|
| 1層 | 10YR2/1黒色土 | |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土 | 中掬軽石多量 |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | ロームブロック・ローム粒多量 |
| 4層 | 10YR5/8黄褐色土 | |
| 5層 | 10YR3/3暗褐色土 | 中掬軽石多量 |

図149 土坑



第15号土坑

- | | | |
|-----|--------------|---------------|
| 1層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒含有、中礫軽石含有 |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | ロームブロック含有 |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒含有、中礫軽石含有 |
| 4層 | 10YR4/6褐色土 | |
| 5層 | 10YR4/4褐色土 | ロームブロック含有 |
| 6層 | 10YR5/8黄褐色土 | |
| 7層 | 10YR5/8黄褐色土 | |
| 8層 | 10YR5/6黄褐色土 | |
| 9層 | 10YR6/6明黄褐色土 | |
| 10層 | 10YR6/8明黄褐色土 | |

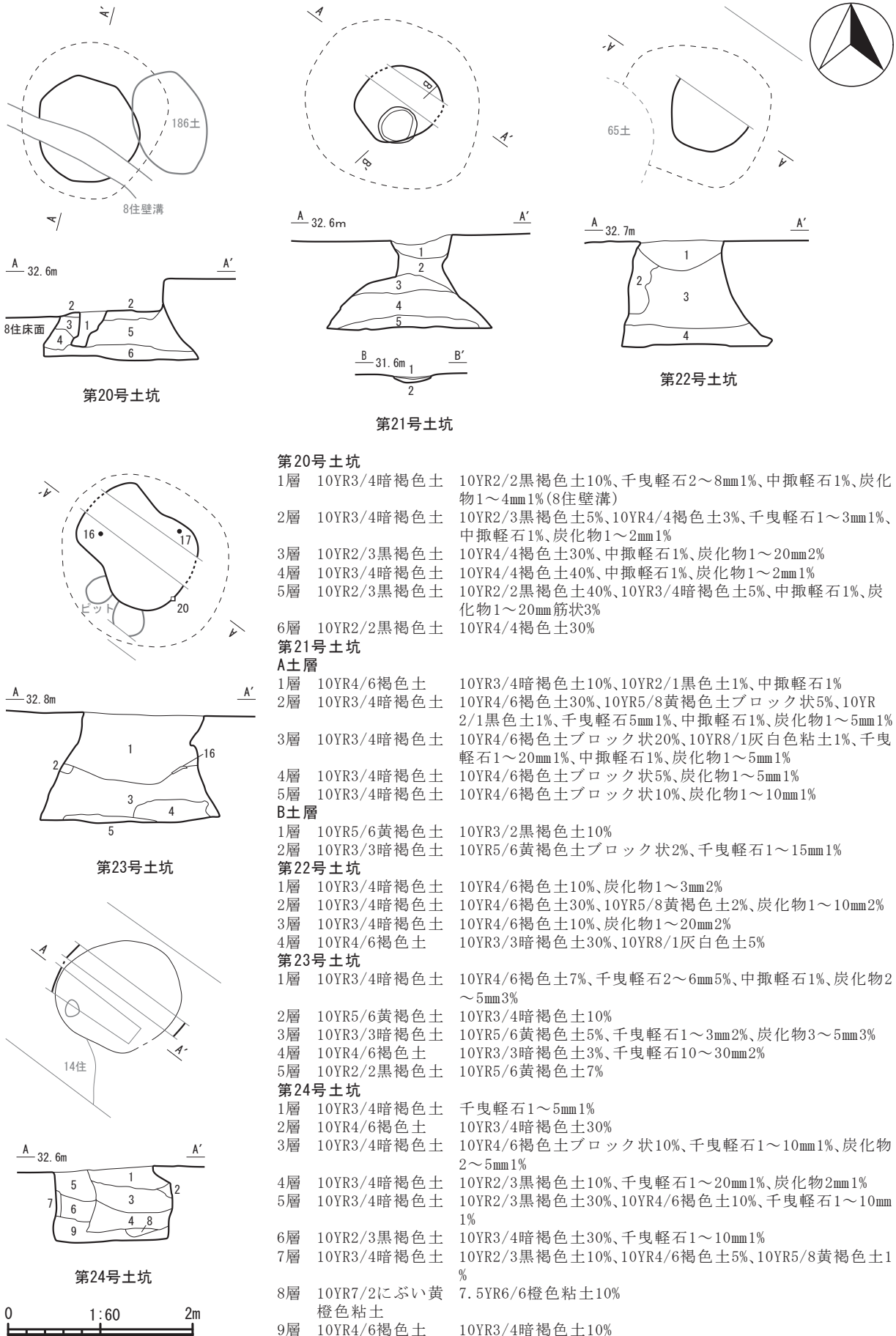
第17号土坑

- | | | |
|----|-------------|---------|
| 1層 | 10YR4/6褐色土 | (13住床面) |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土 | ローム粒微量 |

第19号土坑

- | | | |
|----|----------------|--|
| 1層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、千曳軽石2~3mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~7mm5% (8住壁溝) |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm3% |
| 3層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR4/4褐色土40%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1% |
| 4層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm5% |
| 5層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、千曳軽石1~5mm2%、炭化物1~10mm筋状3% |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%、10YR3/2黒褐色土5%、千曳軽石1~20mm2%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm2% |
| 7層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR3/3暗褐色土30%、炭化物1~2mm1% |
| 8層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR3/1黒褐色土15%、7.5YR3/4暗褐色土5%、10YR5/6黄褐色土筋状5%、炭化物1mm1% |

図150 土坑



第20号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 10YR2/2黒褐色土10%、千曳軽石2~8mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~4mm1%(8住壁溝)
- 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR2/3黒褐色土5%、10YR4/4褐色土3%、千曳軽石1~3mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~2mm1%
- 3層 10YR2/3黒褐色土 10YR4/4褐色土30%、中掬軽石1%、炭化物1~20mm2%
- 4層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色土40%、中掬軽石1%、炭化物1~2mm1%
- 5層 10YR2/3黒褐色土 10YR2/2黒褐色土40%、10YR3/4暗褐色土5%、中掬軽石1%、炭化物1~20mm筋状3%
- 6層 10YR2/2黒褐色土 10YR4/4褐色土30%

第21号土坑

- A土層
- 1層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土10%、10YR2/1黒色土1%、中掬軽石1%
 - 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土30%、10YR5/8黄褐色土ブロック状5%、10YR2/1黒色土1%、千曳軽石5mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~5mm1%
 - 3層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状20%、10YR8/1灰白色粘土1%、千曳軽石1~20mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~5mm1%
 - 4層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状5%、炭化物1~5mm1%
 - 5層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状10%、炭化物1~10mm1%

B土層

- 1層 10YR5/6黄褐色土 10YR3/2黒褐色土10%
- 2層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状2%、千曳軽石1~15mm1%

第22号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、炭化物1~3mm2%
- 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土30%、10YR5/8黄褐色土2%、炭化物1~10mm2%
- 3層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、炭化物1~20mm2%
- 4層 10YR4/6褐色土 10YR3/3暗褐色土30%、10YR8/1灰白色土5%

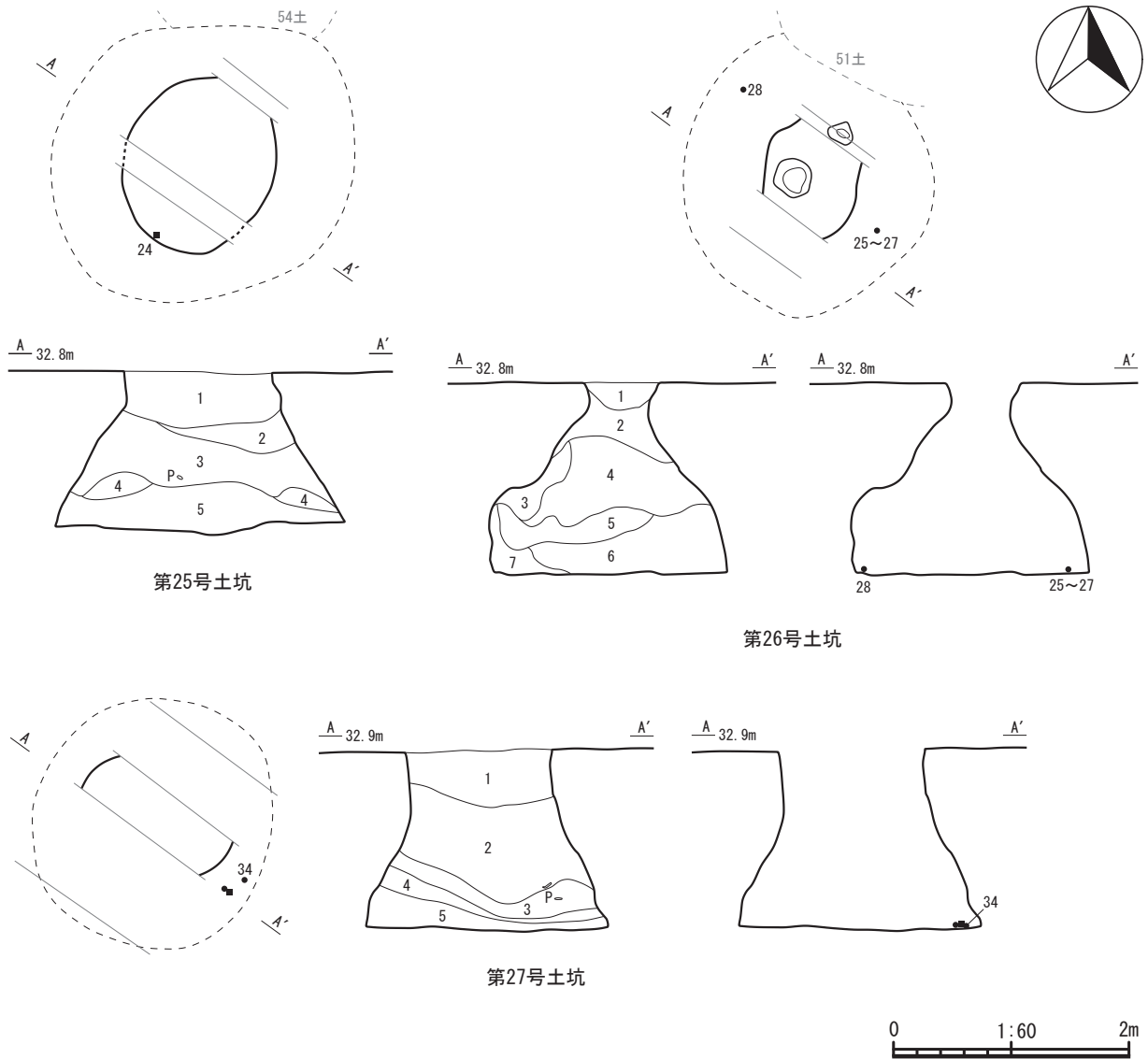
第23号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石2~6mm5%、中掬軽石1%、炭化物2~5mm3%
- 2層 10YR5/6黄褐色土 10YR3/4暗褐色土10%
- 3層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/6黄褐色土5%、千曳軽石1~3mm2%、炭化物3~5mm3%
- 4層 10YR4/6褐色土 10YR3/3暗褐色土3%、千曳軽石10~30mm2%
- 5層 10YR2/2黒褐色土 10YR5/6黄褐色土7%

第24号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 千曳軽石1~5mm1%
- 2層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土30%
- 3層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~10mm1%、炭化物2~5mm1%
- 4層 10YR3/4暗褐色土 10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~20mm1%、炭化物2mm1%
- 5層 10YR3/4暗褐色土 10YR2/3黒褐色土30%、10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%
- 6層 10YR2/3黒褐色土 10YR3/4暗褐色土30%、千曳軽石1~10mm1%
- 7層 10YR3/4暗褐色土 10YR2/3黒褐色土10%、10YR4/6褐色土5%、10YR5/8黄褐色土1%
- 8層 10YR7/2にぶい黄 7.5YR6/6橙色粘土10%
橙色粘土
- 9層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土10%

図 151 土坑



第25号土坑

- | | | |
|----|-------------|---|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状7%、千曳軽石2~5mm3%、中礫軽石1%、炭化物3~8mm3% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR3/1黒褐色土10%、10YR5/8黄褐色土7%、千曳軽石5~20mm3%、中礫軽石1%、炭化物1~2mm1% |
| 3層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石5~80mm5%、炭化物2~30mm2% |
| 4層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR2/1黒色土5% |
| 5層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、炭化物3~10mm3% |

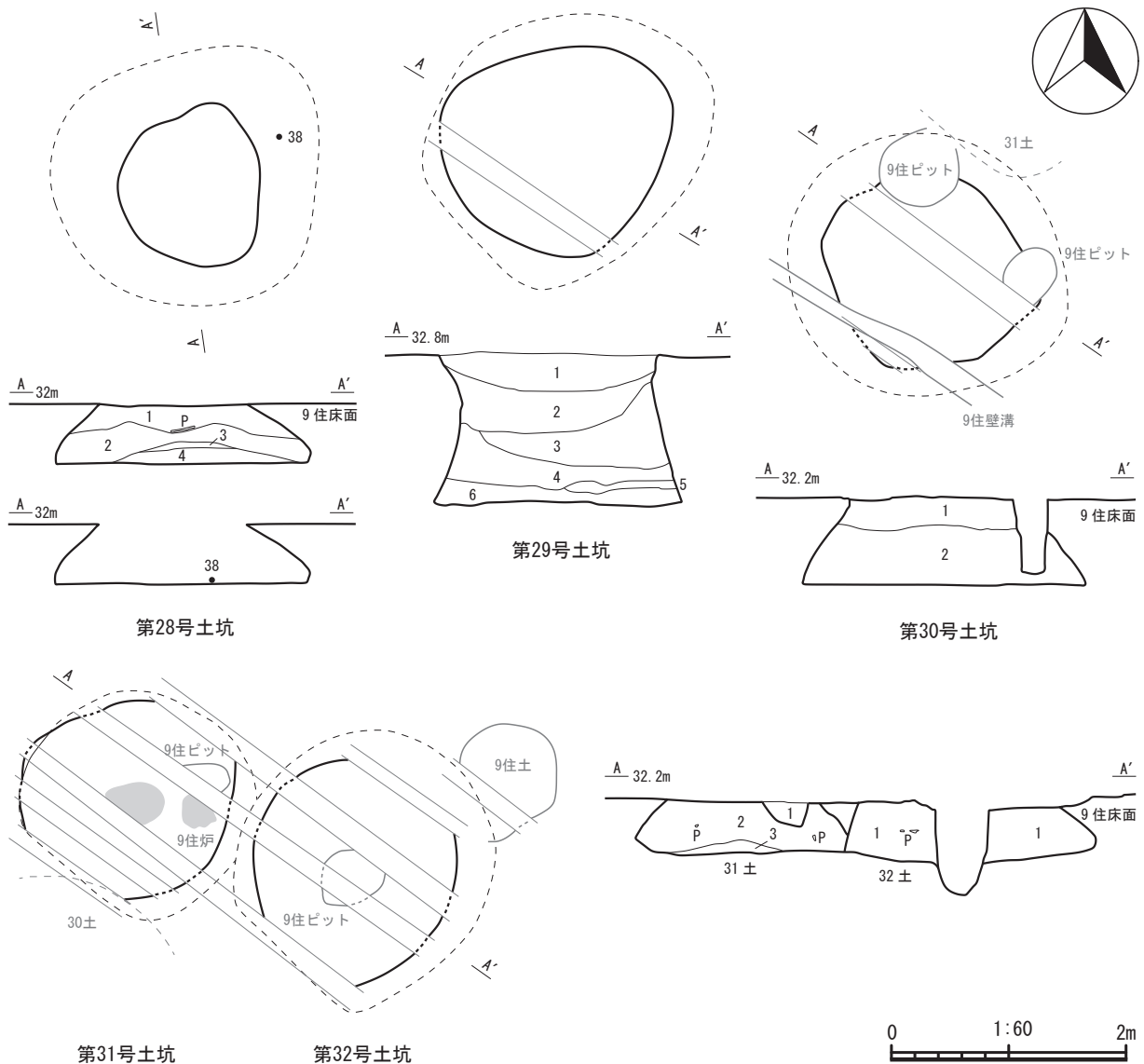
第26号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR2/1黒色土5%、10YR5/6黄褐色土3%、炭化物1mm1% |
| 2層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR3/2黒褐色土7%、10YR5/8黄褐色土3%、千曳軽石2~5mm2% |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10% |
| 4層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/6褐色土3%、炭化物2~4mm2% |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/4にぶい黄褐色土10%、10YR5/8黄褐色土5%、炭化物3~10mm2% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR3/1黒褐色土30%、10YR8/4浅黄橙色土2%、炭化物5~10mm2% |
| 7層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/4褐色土30%、10YR8/4浅黄橙色土10% |

第27号土坑

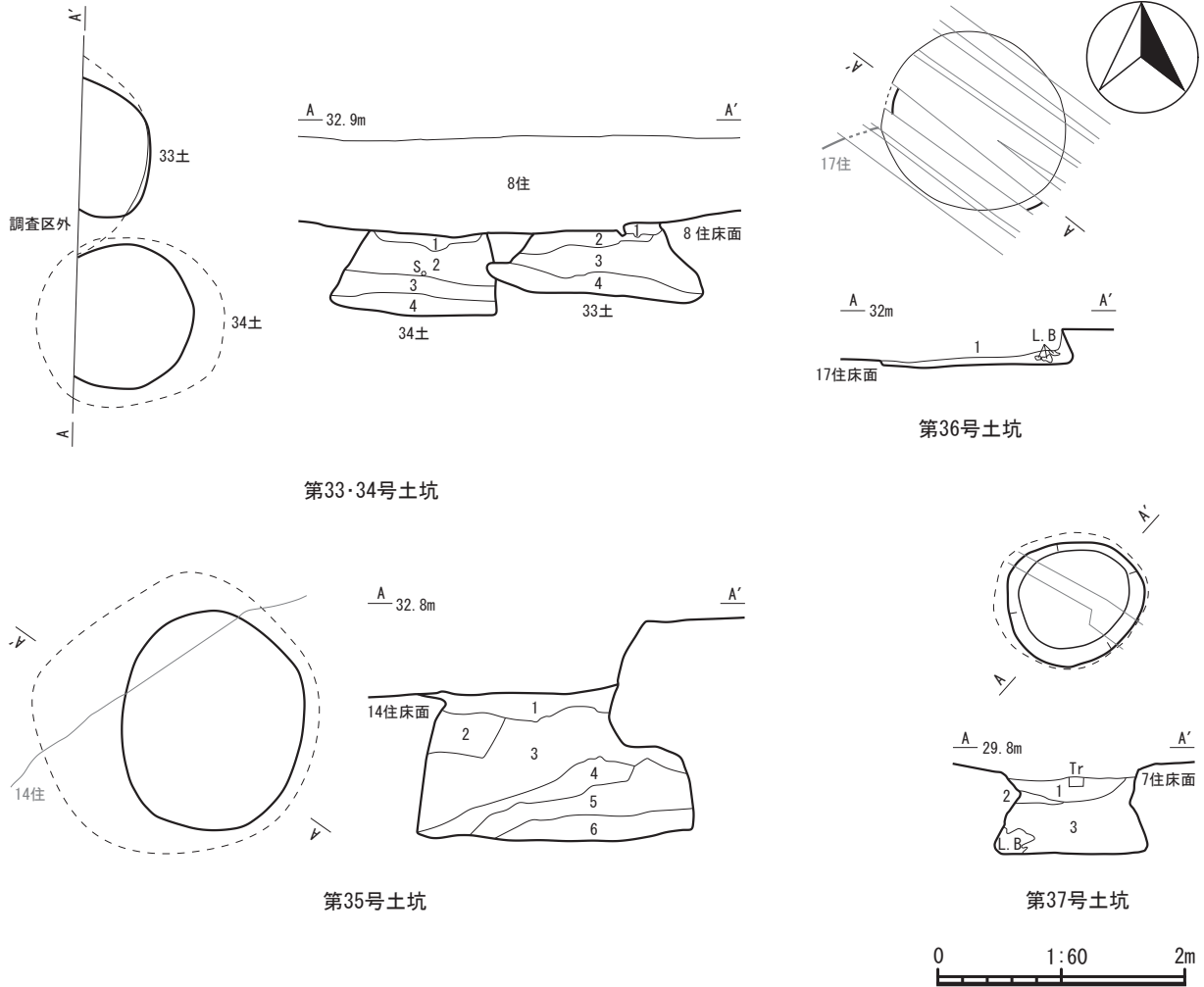
- | | | |
|----|-------------|---|
| 1層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石5~10mm3%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm2% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状10%、千曳軽石5~50mm5%、炭化物2~40mm3% |
| 3層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR3/3暗褐色土7%、炭化物2~4mm3% |
| 4層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR5/8黄褐色土15%、千曳軽石2~50mm5%、炭化物2~5mm2% |
| 5層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、炭化物3~40mm3% |

図 152 土坑



- 第28号土坑**
- 1層 10YR4/1褐灰色土 10YR3/1黒褐色土5%、10YR8/3浅黄橙色土ブロック状2%、千曳軽石5mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 2層 10YR6/3にぶい黄橙色土 10YR4/1褐灰色土5%、千曳軽石5mm1%、炭化物2~5mm1%
- 3層 10YR4/1褐灰色土 炭化物5~10mm20%
- 4層 10YR4/1褐灰色土 炭化物2mm1%
- 第29号土坑**
- 1層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土30%、10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1mm1%
- 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1mm1%
- 3層 10YR6/6明黄褐色土 10YR3/4暗褐色土30%、千曳軽石1~20mm1%、炭化物1~5mm1%
- 4層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~50mm1%、炭化物1~10mm1%
- 5層 10YR6/6明黄褐色土 10YR3/4暗褐色土10%
- 6層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土5%、炭化物1~10mm1%
- 第30号土坑**
- 1層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、10YR5/8黄褐色土ブロック状5%、10YR7/1灰白色粘土ブロック状1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1%
- 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状30%、10YR2/3黒褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm1%
- 第31号土坑**
- 1層 10YR3/3暗褐色土 10YR2/3黒褐色土15%、10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~4mm2%、中礫軽石1%、炭化物1~4mm2%(9住ビット)
- 2層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/4褐色土20%、10YR5/6黄褐色土ブロック状7%、10YR2/1黒色土5%、焼土2~3mm1%、千曳軽石1~13mm2%、炭化物1~10mm3%
- 3層 10YR5/4にぶい黄褐色土 10YR5/6黄褐色土20%、10YR4/4褐色土7%、千曳軽石1mm1%
- 第32号土坑**
- 1層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、10YR4/4褐色土10%、千曳軽石2~7mm3%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm5%

図 153 土坑



第33号土坑

- 1層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土30%、10YR5/4にぶい黄褐色粘土20% (8住貼床)
- 2層 10YR3/2黒褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状5%、炭化物1~8mm2%
- 3層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土30%、10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm2%
- 4層 10YR3/4暗褐色土 10YR2/3黒褐色土7%、千曳軽石2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~7mm2%

第34号土坑

- 1層 10YR5/6黄褐色土 10YR4/4褐色土40%、10YR3/2黒褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm2% (8住貼床)
- 2層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状7%、千曳軽石1~2mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm5%
- 3層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状7%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm5%
- 4層 10YR3/2黒褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状15%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm2%

第35号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 10YR6/3にぶい黄橙色土ブロック状10%、10YR4/4褐色土ブロック状7%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm1%
- 2層 10YR4/4褐色土 10YR3/4暗褐色土2%
- 3層 10YR2/3黒褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状2%、10YR3/4暗褐色土1%、中礫軽石1%、炭化物5~20mm1%
- 4層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土2%、炭化物2~5mm1%
- 5層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土1%、炭化物2mm1%
- 6層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土5%、10YR3/4暗褐色土3%

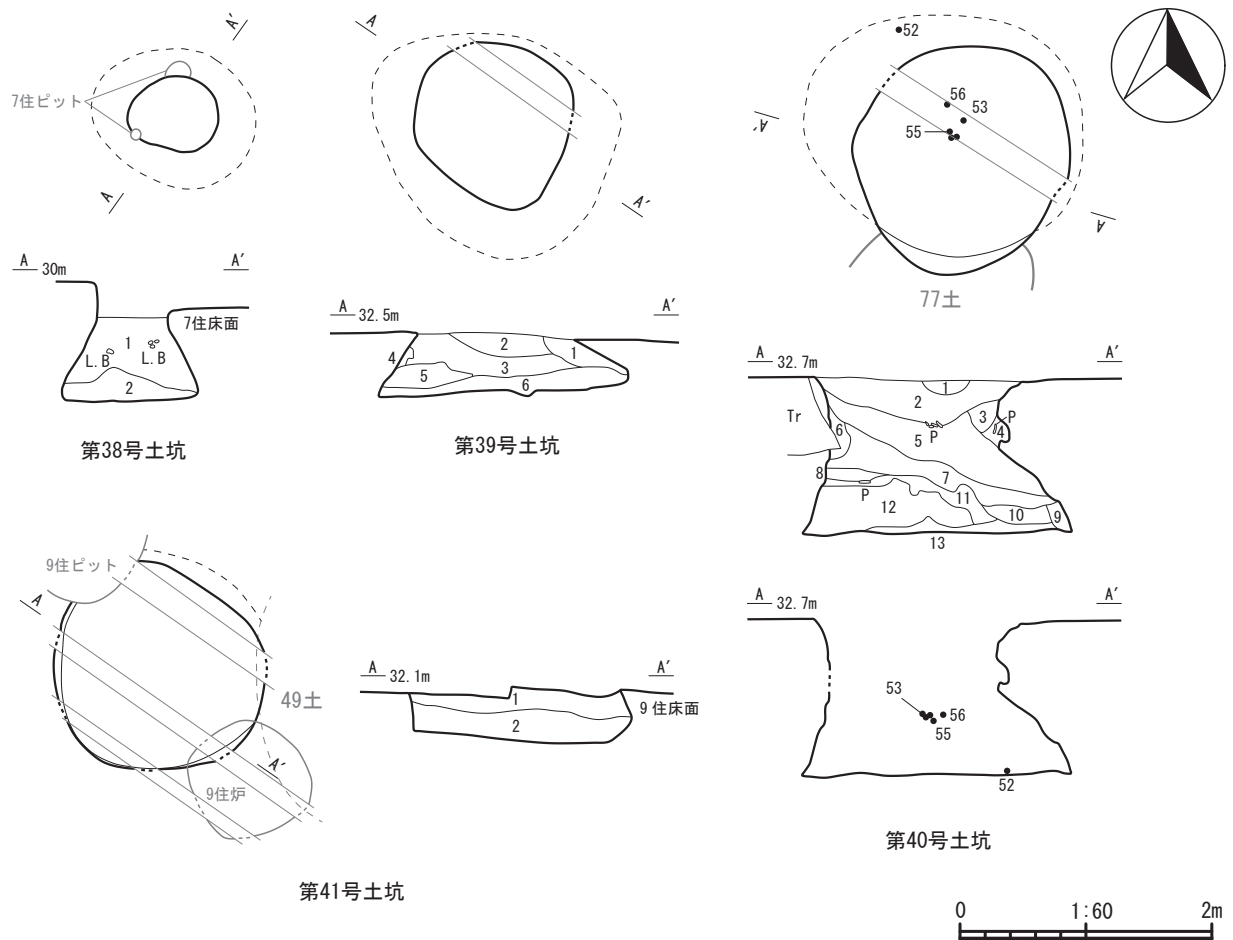
第36号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒微量

第37号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 中礫軽石含有
- 2層 10YR2/3黒褐色土 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 3層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒多量

図 154 土坑



第38号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック多量
- 2層 10YR2/3黒褐色土 ロームブロック少量

第39号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/6褐色土30%、千曳軽石1~5mm2%、中礫軽石1%、炭化物1mm1%
- 2層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/6褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物1~4mm2%
- 3層 10YR2/2黒褐色土 10YR3/3暗褐色土15%、10YR5/8黄褐色土5%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~4mm2%
- 4層 10YR6/8明黄褐色土 10YR3/3暗褐色土20%
- 5層 10YR5/6黄褐色土 10YR3/2黒褐色土7%、炭化物1~2mm1%
- 6層 10YR3/2黒褐色土 10YR2/2黒褐色土30%、10YR5/8黄褐色土2%、中礫軽石1%、炭化物1~2mm1%

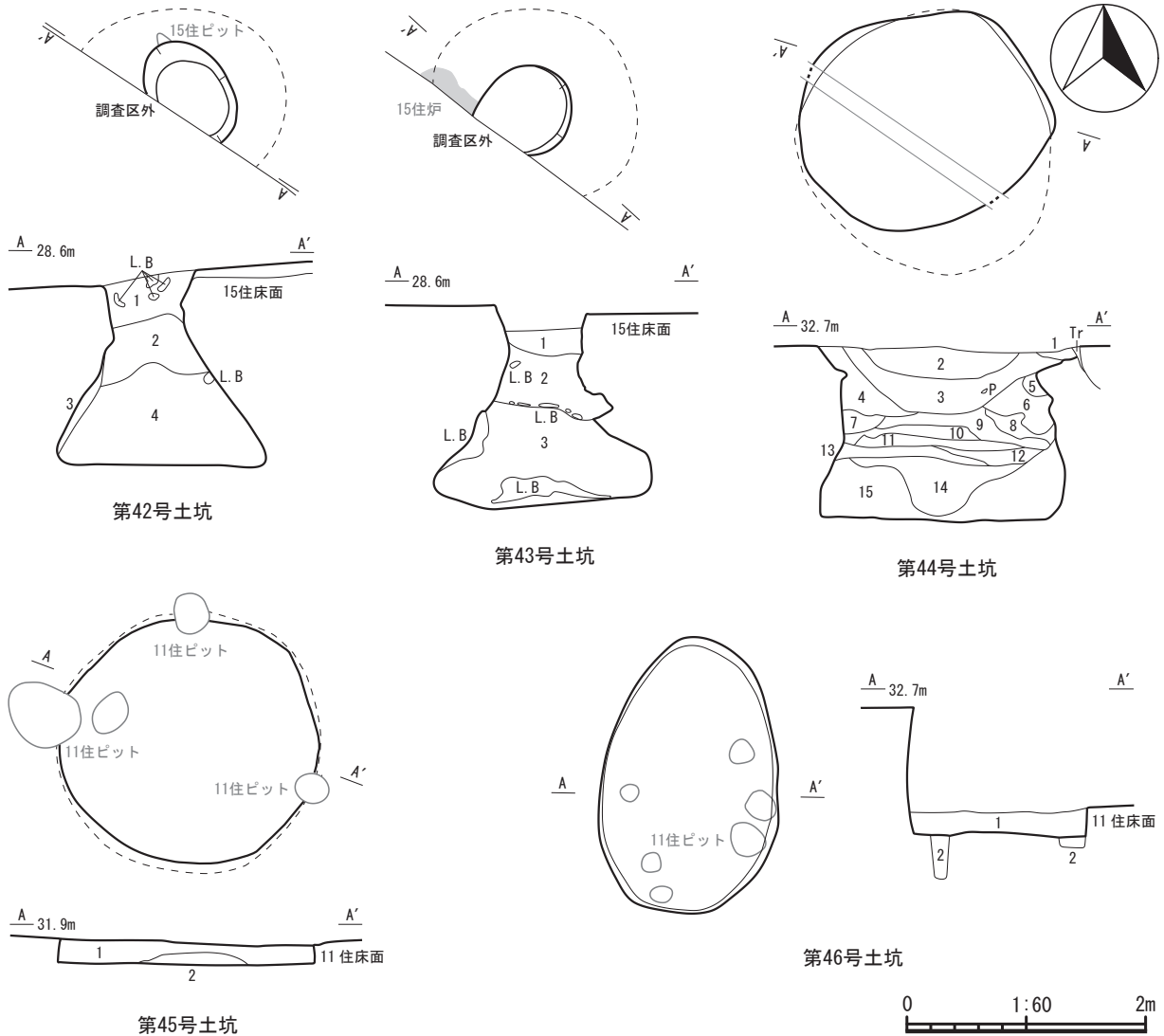
第40号土坑

- 1層 10YR4/4褐色土 10YR3/3暗褐色土5%
- 2層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/4褐色土3%、千曳軽石1~6mm2%、中礫軽石1%、炭化物2~6mm2%
- 3層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm3%
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR4/4褐色土5%、千曳軽石2mm2%、中礫軽石1%
- 5層 10YR3/4暗褐色土 10YR3/1黒褐色土7%、5YR明赤褐色焼土3%、千曳軽石1~8mm2%、中礫軽石1%、炭化物2~6mm2%
- 6層 10YR4/6褐色土 10YR3/4暗褐色土10%、千曳軽石2mm1%
- 7層 10YR3/2黒褐色土 10YR4/4褐色土15%、千曳軽石2~10mm3%、中礫軽石1%、炭化物3~8mm5%
- 8層 10YR4/4褐色土 10YR3/2黒褐色土5%
- 9層 10YR2/2黒褐色土
- 10層 10YR4/6褐色土 10YR3/2黒褐色土2%
- 11層 10YR3/2黒褐色土 中礫軽石1%、炭化物2~10mm2%
- 12層 10YR4/4褐色土 10YR3/2黒褐色土3%
- 13層 10YR2/3黒褐色土 中礫軽石1%、炭化物2mm2%

第41号土坑

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR3/4暗褐色土30%、5YR5/8明赤褐色焼土5%、千曳軽石2~10mm2%、中礫軽石1%
- 2層 10YR2/2黒褐色土 10YR3/4暗褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm1%

図 155 土坑



第42号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック・ローム粒多量
- 2層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック・ローム粒中量
- 3層 10YR5/6黄褐色土
- 4層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック・ローム粒多量

第44号土坑

- 1層 10YR2/3黒褐色土 中礫軽石1%、炭化物2~10mm1%
- 2層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/4褐色土5%、千曳軽石φ2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm1%
- 3層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色土ブロック状2%、千曳軽石5~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物5~20mm1%
- 4層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色土ブロック状2%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm1%
- 5層 10YR4/6褐色土 10YR3/3暗褐色土ブロック状25%、中礫軽石1%、炭化物1~2mm1%
- 6層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm1%
- 7層 10YR4/4褐色土 10YR3/4暗褐色土7%、炭化物2~10mm1%
- 8層 10YR4/4褐色土 10YR3/3暗褐色土10%
- 9層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色土ブロック状7%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%
- 10層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色土ブロック状5%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 11層 10YR4/4褐色土 10YR3/4暗褐色土7%
- 12層 10YR4/6褐色土 10YR2/3黒褐色土5%
- 13層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状20%、千曳軽石1~5mm2%、中礫軽石1%
- 14層 10YR5/6黄褐色土 10YR3/4暗褐色土7%、千曳軽石3~6mm3%、炭化物2~5mm2%
- 15層 10YR5/8黄褐色土 10YR3/1黒褐色土2%、千曳軽石3~10mm7%

第45号土坑

- 1層 10YR4/6褐色土 10YR3/3暗褐色土15%、10YR5/4にぶい黄褐色土10%、10YR5/8黄褐色土7%、千曳軽石1~40mm7%、炭化物2~5mm3%

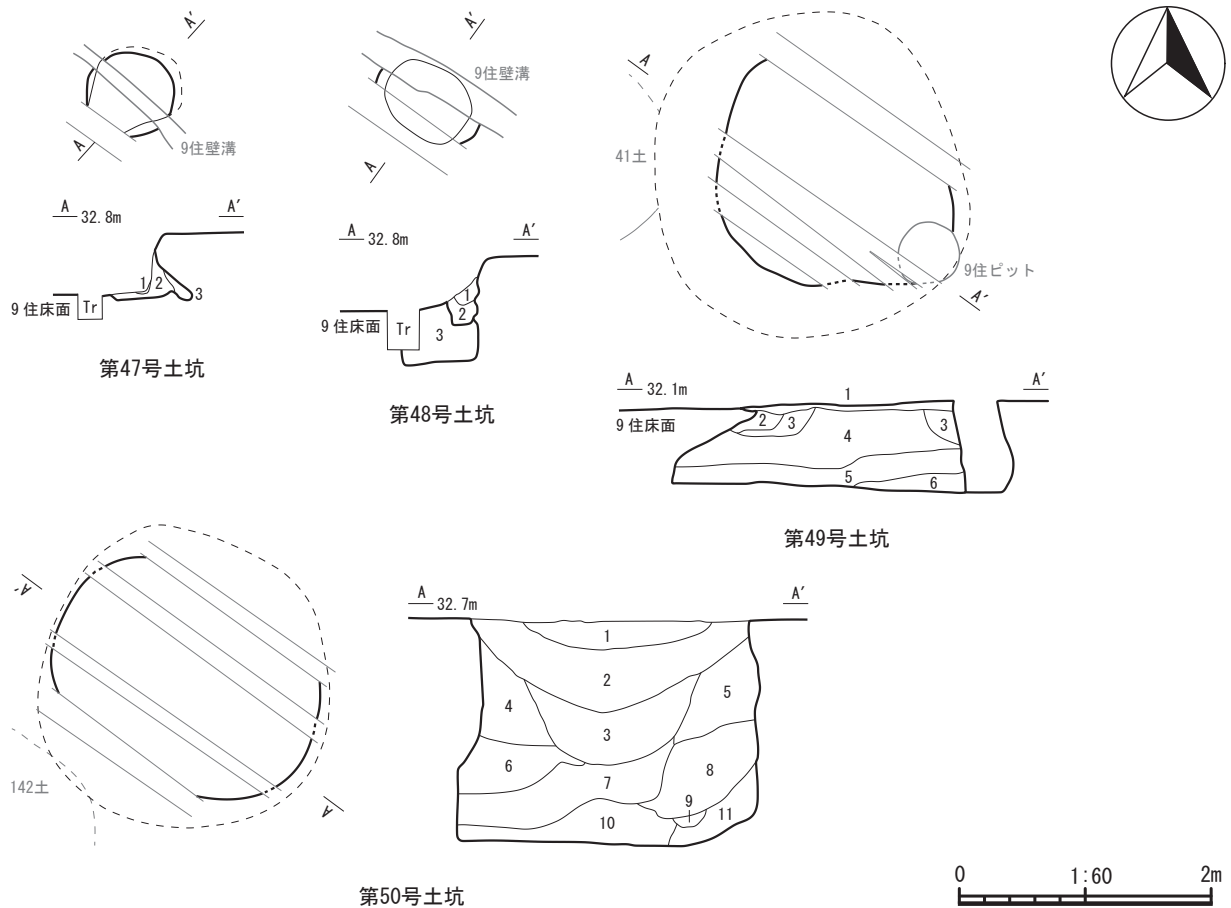
2層 10YR3/3暗褐色土

- 10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、炭化物1~10mm2%

第46号土坑

- 1層 10YR4/4褐色土 10YR3/4暗褐色土15%、10YR7/8黄橙色土ブロック状1%、千曳軽石2~40mm7%、炭化物5~20mm1%
- 2層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色土25%、炭化物10mm1%(11住ピット)

図 156 土坑



第47号土坑

1層 10YR5/3にぶい黄褐色土 (9住壁溝)

2層 10YR4/4褐色土 10YR3/4暗褐色土10%、10YR6/8明黄褐色土2%、千曳軽石1~2mm2%、中礫軽石1~3mm1%、炭化物1~2mm2%

3層 10YR4/6褐色土 10YR5/8黄褐色土15%

第48号土坑

1層 10YR4/6褐色土 10YR6/8明黄褐色土10%、中礫軽石1%、炭化物1mm1% (9住壁溝)

2層 10YR4/6褐色土 10YR5/8黄褐色土ブロック状7%、10YR3/3暗褐色土7%、千曳軽石2~15mm2%、中礫軽石1% (9住壁溝)

3層 10YR4/6褐色土 10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石2~15mm3%、中礫軽石1%、炭化物1mm1%

第49号土坑

1層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/8黄褐色土ブロック状3%、中礫軽石1%

2層 10YR2/3黒褐色土 10YR5/8黄褐色土ブロック状5%、中礫軽石1%

3層 10YR3/4暗褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状25%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%

4層 10YR3/3暗褐色土 10YR5/8黄褐色土ブロック状7%、中礫軽石1%、炭化物2~6mm3%

5層 10YR4/4褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロック状5%、千曳軽石2~5mm2%、中礫軽石1%、炭化物1mm1%

6層 10YR3/2黒褐色土 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロック状5%、炭化物1mm1%

第50号土坑

1層 10YR2/2黒褐色土 千曳軽石1~15mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1%

2層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1%

3層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~15mm1%

4層 10YR4/6褐色土 10YR3/2黒褐色土2%、千曳軽石1~15mm1%、炭化物1~15mm1%

5層 10YR4/6褐色土 10YR5/6黄褐色土5%、千曳軽石5~30mm1%

6層 10YR5/6黄褐色土 10YR4/6褐色土30%

7層 10YR4/4褐色土 10YR5/6黄褐色土30%、千曳軽石5~15mm1%

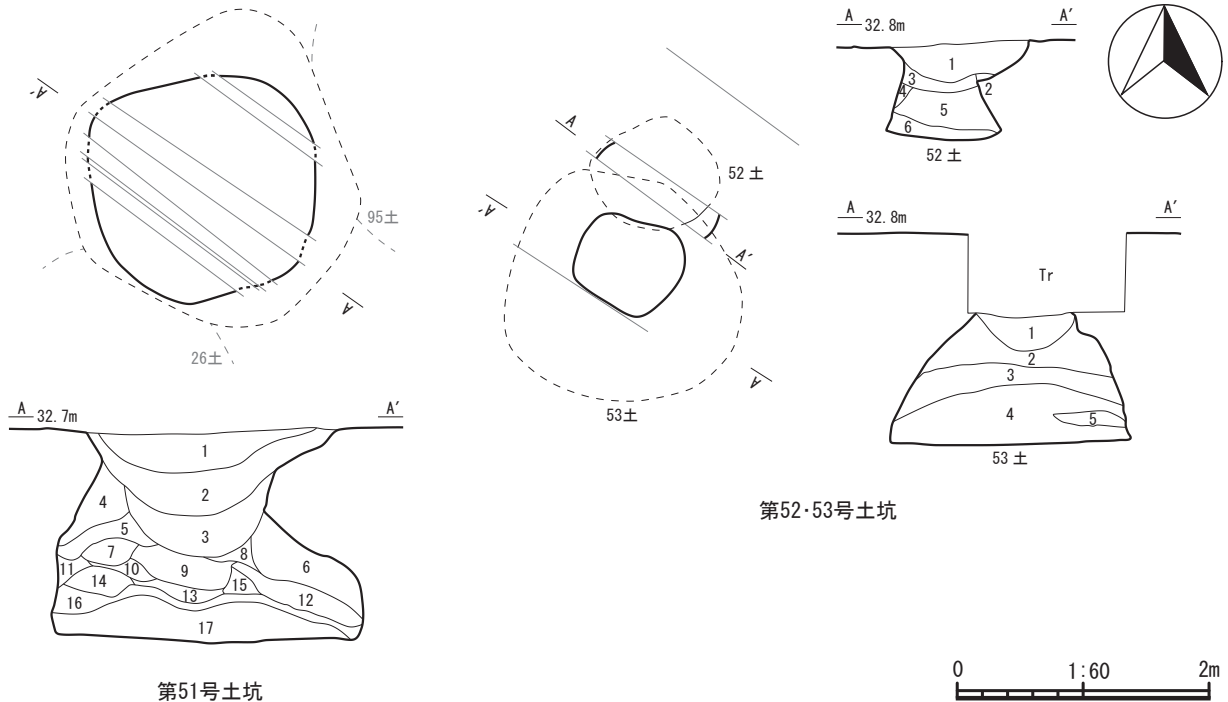
8層 10YR8/3浅黄橙色土 10YR5/4にぶい黄褐色土30%、千曳軽石5~10mm1%

9層 10YR8/4浅黄橙色土 10YR5/6黄褐色土30%

10層 10YR3/4暗褐色土 10YR5/6黄褐色土10%、千曳軽石5mm1%

11層 10YR7/4にぶい黄橙色土

図 157 土坑



第52・53号土坑

第51号土坑

第51号土坑

- | | | |
|-----|----------------|--|
| 1層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR3/3暗褐色土5%、千曳軽石1~5mm3%、中礫軽石1%、炭化物2~4mm2% |
| 2層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状5%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm2% |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状7%、千曳軽石3mm2%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm5% |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR3/3暗褐色土15% |
| 5層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状7%、中礫軽石1%、炭化物3~5mm2% |
| 6層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状7%、炭化物2~5mm3% |
| 7層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/3暗褐色土5%、千曳軽石20mm2% |
| 8層 | 10YR3/4暗褐色土 | 中礫軽石1%、炭化物3mm2% |
| 9層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状3%、千曳軽石2mm2%、中礫軽石1%、炭化物2~8mm7% |
| 10層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロック状5%、炭化物2mm2% |
| 11層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状3%、炭化物5mm2% |
| 12層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR3/4暗褐色土3% |
| 13層 | 10YR3/1黒褐色土 | 5YR4/6赤褐色焼土2%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm10% |
| 14層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、炭化物2~3mm2% |
| 15層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR4/4褐色土10%、炭化物3mm2% |
| 16層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、中礫軽石1% |
| 17層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/4暗褐色土10%、炭化物3~5mm3% |

第52号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 千曳軽石1~5mm3%、中礫軽石1%、炭化物2~3mm2% |
| 2層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | 千曳軽石1~3mm2%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm2% |
| 4層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物2~3mm2% |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~7mm3%、中礫軽石1%、炭化物3~5mm2% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状5%、千曳軽石2~6mm2%、中礫軽石1%、炭化物3~5mm2% |

第53号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR2/3黒褐色土 | 千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物5~15mm1% |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物5mm1% |
| 3層 | 10YR2/2黒褐色土 | 中礫軽石1%、炭化物5~20mm1% |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土ブロック状5%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm1% |
| 5層 | 10YR6/4にぶい黄褐色土 | 千曳軽石1~20mm1% |

図 158 土坑

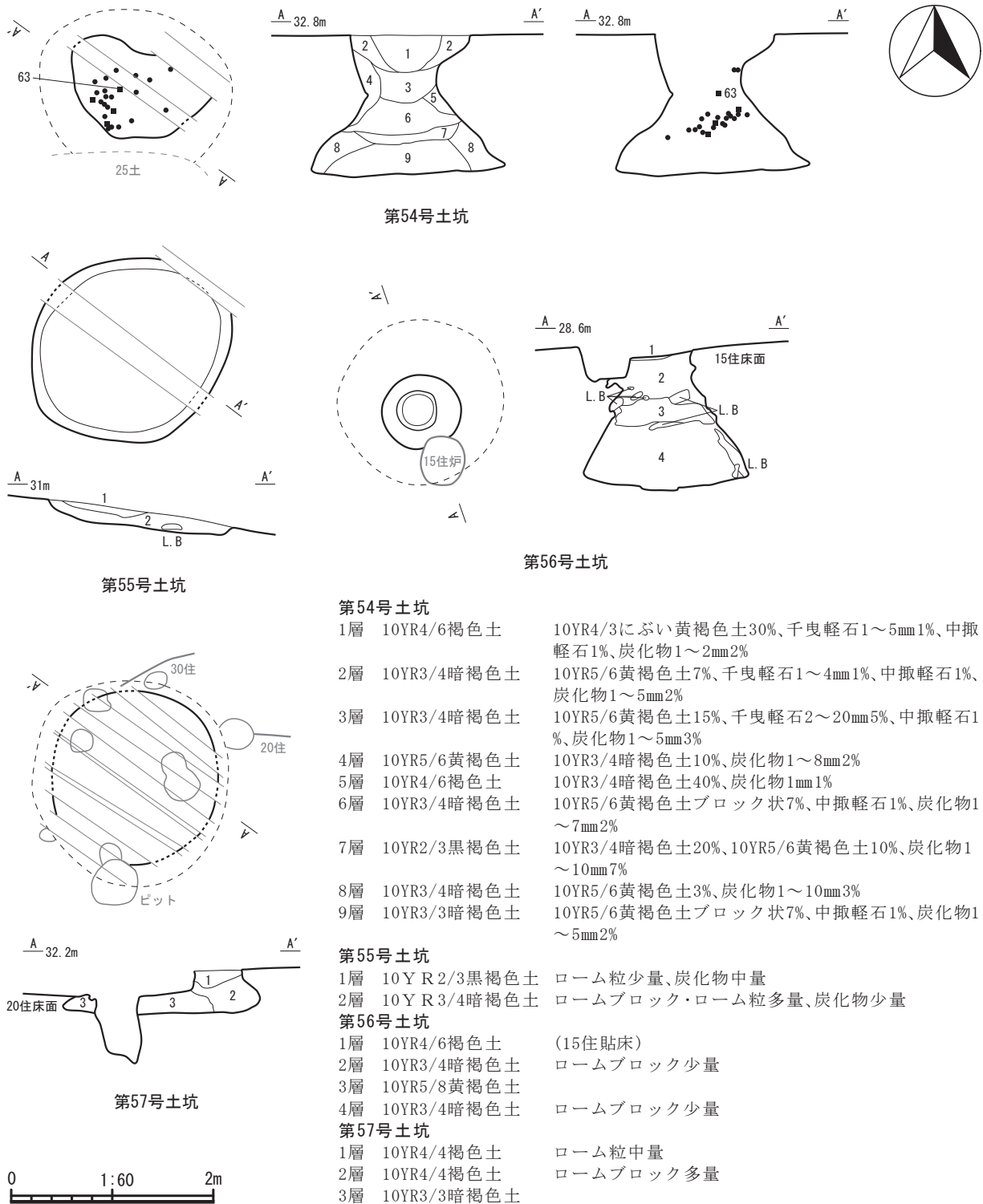


図 159 土坑

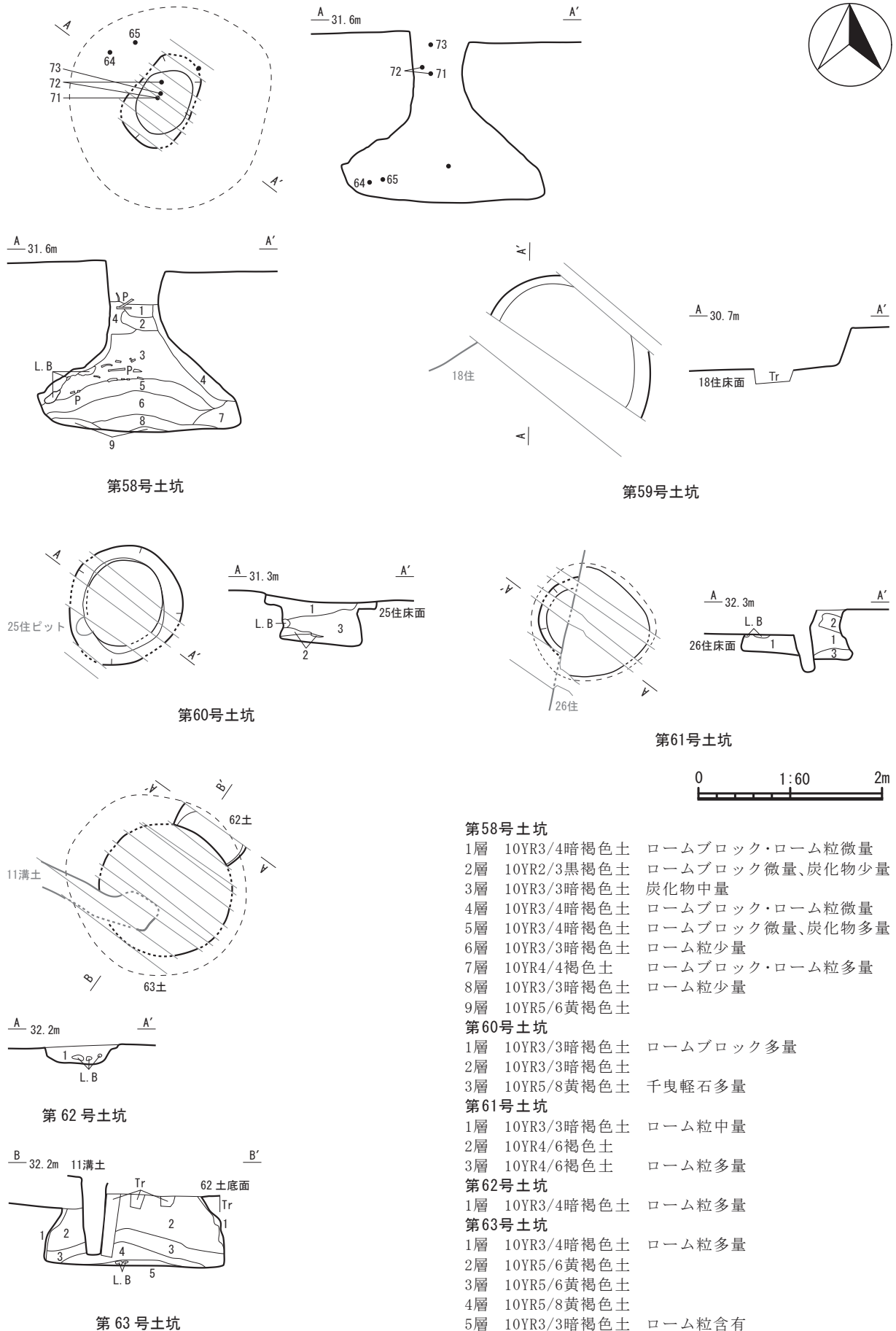
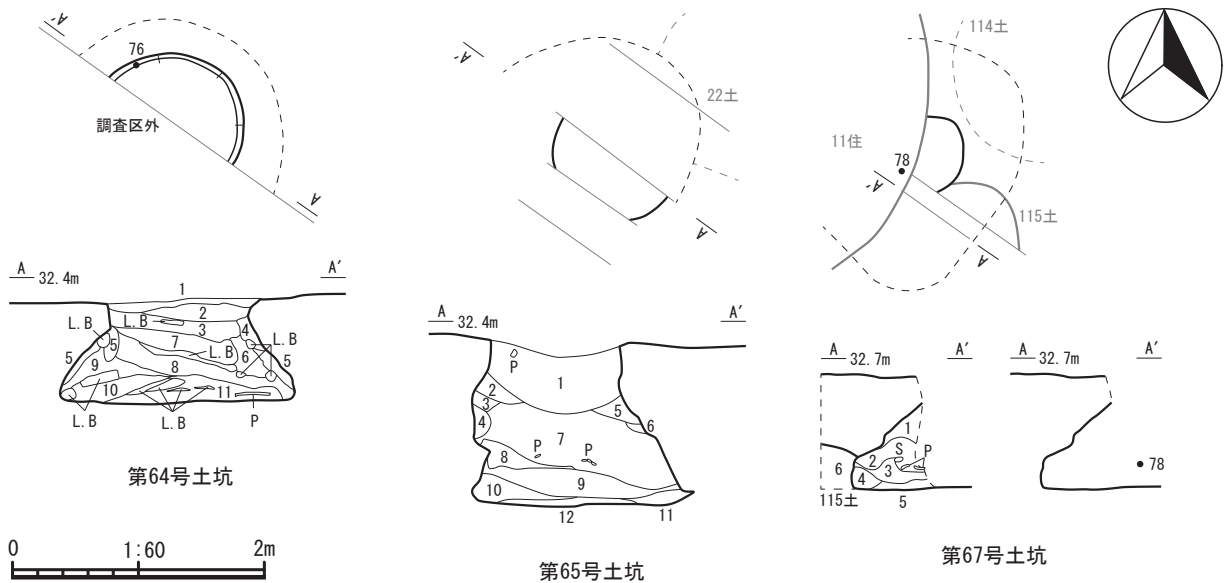


図160 土坑



第64号土坑

- | | | |
|-----|-------------|------------|
| 1層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒微量 |
| 2層 | 10YR2/3黒褐色土 | ローム粒微量 |
| 3層 | 10YR4/4褐色土 | ロームブロック多量 |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | ロームブロック多量 |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | ローム粒多量 |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | ローム粒多量 |
| 7層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒を水平に含有 |
| 8層 | 10YR4/4褐色土 | ローム粒を水平に含有 |
| 9層 | 10YR3/4暗褐色土 | |
| 10層 | 10YR3/3暗褐色土 | |
| 11層 | 10YR4/6褐色土 | |

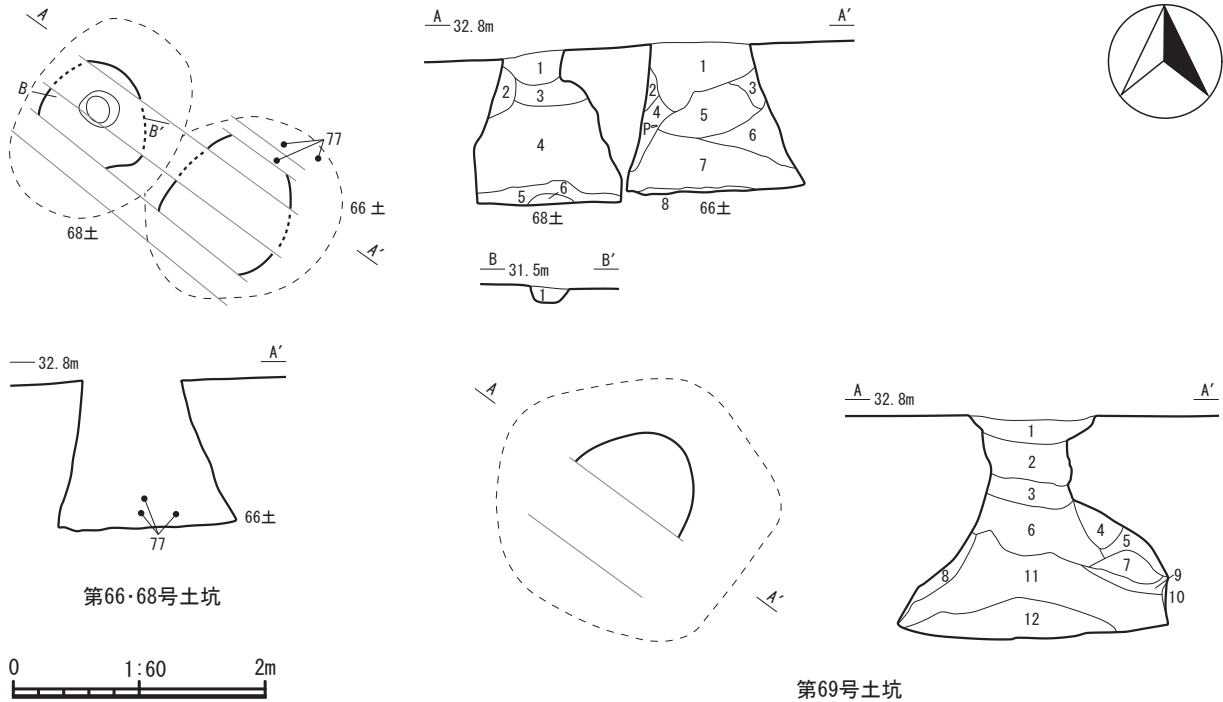
第65号土坑

- | | | |
|-----|--------------|---|
| 1層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR4/4褐色土5%、10YR5/6黄褐色土ブロック状2%、中礫軽石1% |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土7%、10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、中礫軽石1% |
| 3層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/3暗褐色土10%、中礫軽石1%、炭化物2mm1% |
| 4層 | 10YR8/3浅黄橙色土 | 10YR5/2灰黄褐色土10%、10YR3/2黒褐色土5%、千曳軽石30mm1%、中礫軽石1%以下、炭化物20mm1% |
| 5層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土3%、中礫軽石1%以下、炭化物2mm2% |
| 6層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR3/3暗褐色土10%、中礫軽石1% |
| 7層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状7%、千曳軽石2mm2%、中礫軽石2%、炭化物1~10mm5% |
| 8層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR3/2黒褐色土筋状10%、中礫軽石1% |
| 9層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状5%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm2% |
| 10層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR2/3黒褐色土筋状3%、千曳軽石1~5mm2% |
| 11層 | 10YR8/4浅黄橙色土 | |
| 12層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状1%、中礫軽石1% |

第67号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR3/1黒褐色土5%、10YR6/8明黄褐色土3% |
| 2層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状7%、5YR5/8明赤褐色焼土3%、中礫軽石1%、炭化物3~6mm5% |
| 3層 | 10YR6/8明黄褐色土 | 10YR3/4暗黄褐色土40%、炭化物5mm2% |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土7%、千曳軽石5mm2%、炭化物7mm2% |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | 5YR5/8明赤褐色焼土2%、中礫軽石1%以下、炭化物1mm1%以下 |
| 6層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | (115土) |

図 161 土坑



第66号土坑

- | | | |
|----|-------------|---|
| 1層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR3/2黒褐色土10%、千曳軽石5~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物5mm1% |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土30%、千曳軽石5mm1%、中礫軽石1% |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、中礫軽石1% |
| 4層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土40%、千曳軽石5~20mm1%、中礫軽石1%炭化物5~15mm1% |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状5%、千曳軽石5~15mm1%、中礫軽石1%、炭化物5~10mm1% |
| 6層 | 10YR2/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土3%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1% |
| 7層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR4/4褐色土20%、千曳軽石5~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1% |
| 8層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/2黒褐色土30% |

第68号土坑

A土層

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1層 | 10YR4/6褐色土 | 千曳軽石5~20mm1%、中礫軽石1% |
| 2層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR4/6褐色土30% |
| 3層 | 10YR5/6黄褐色土 | 千曳軽石5~20mm1% |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR3/4暗褐色土20%、10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石5~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物5~20mm1% |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状5%、千曳軽石5~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1% |
| 6層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状2% |

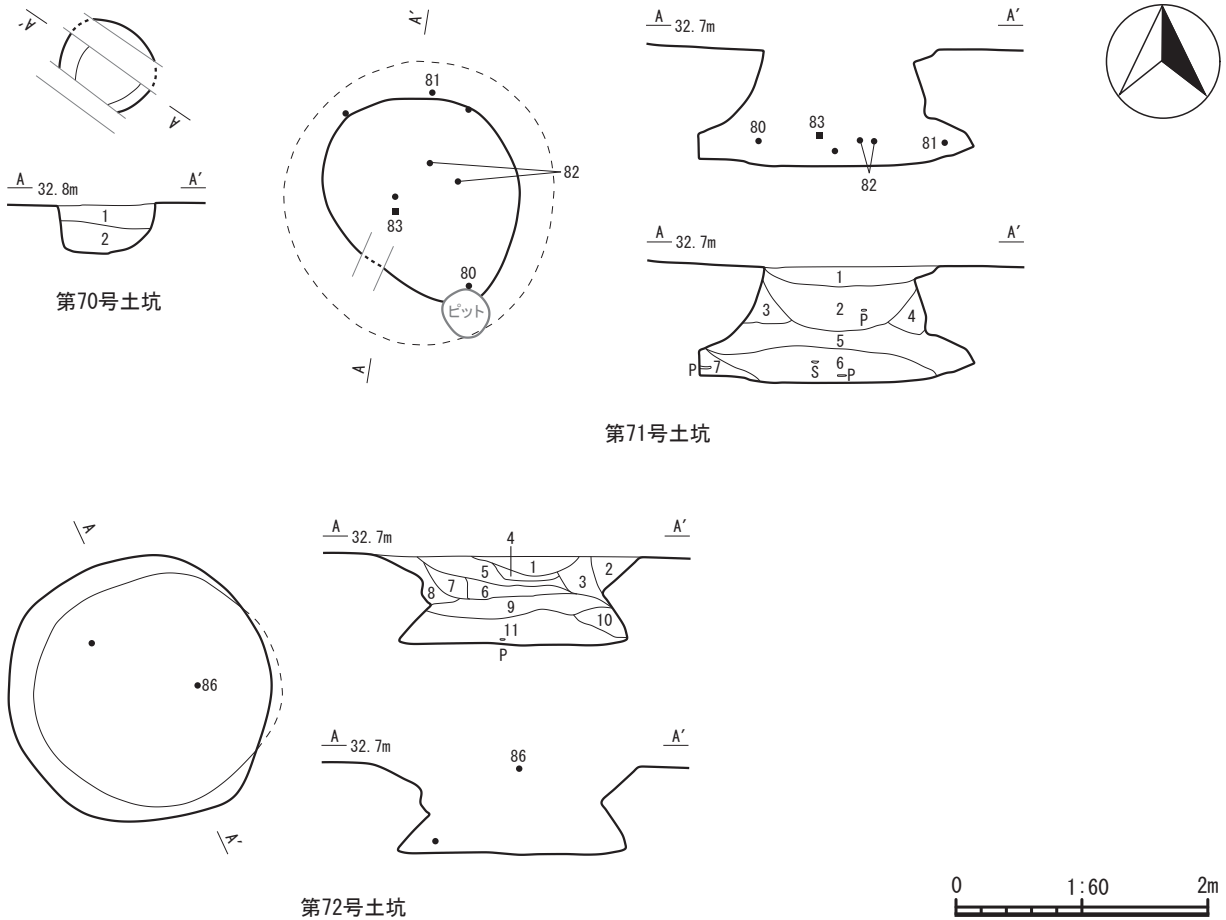
B土層

- | | | |
|----|------------|----------------|
| 1層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/1黒褐色土10% |
|----|------------|----------------|

第69号土坑

- | | | |
|-----|-------------|--|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土3%、10YR2/2黒褐色土2%、千曳軽石2~10mm1%、中礫軽石1%以下 |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状7%、千曳軽石2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物3~10mm1% |
| 3層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR3/4暗褐色土20%、10YR4/6褐色土7%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm1% |
| 4層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR4/6褐色土15% |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土5% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状7%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm1% |
| 7層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR5/6黄褐色土7% |
| 8層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状3% |
| 9層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR3/4暗褐色土ブロック状30% |
| 10層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6暗褐色土30% |
| 11層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/4暗褐色土30% |
| 12層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR3/4暗褐色土10%、10YR4/6褐色土ブロック状7% |

図162 土坑



第70号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR3/4暗褐色土

10YR4/4褐色土30%、10YR5/6黄褐色土ブロック状7%、千曳軽石1~2mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~3mm2%
 10YR5/6黄褐色土5%、千曳軽石1~2mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~2mm1%

第71号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土
- 2層 10YR4/6褐色土
- 3層 10YR5/8黄褐色土
- 4層 10YR5/8黄褐色土
- 5層 10YR3/3暗褐色土
- 6層 10YR3/4暗褐色土
- 7層 10YR4/6褐色土

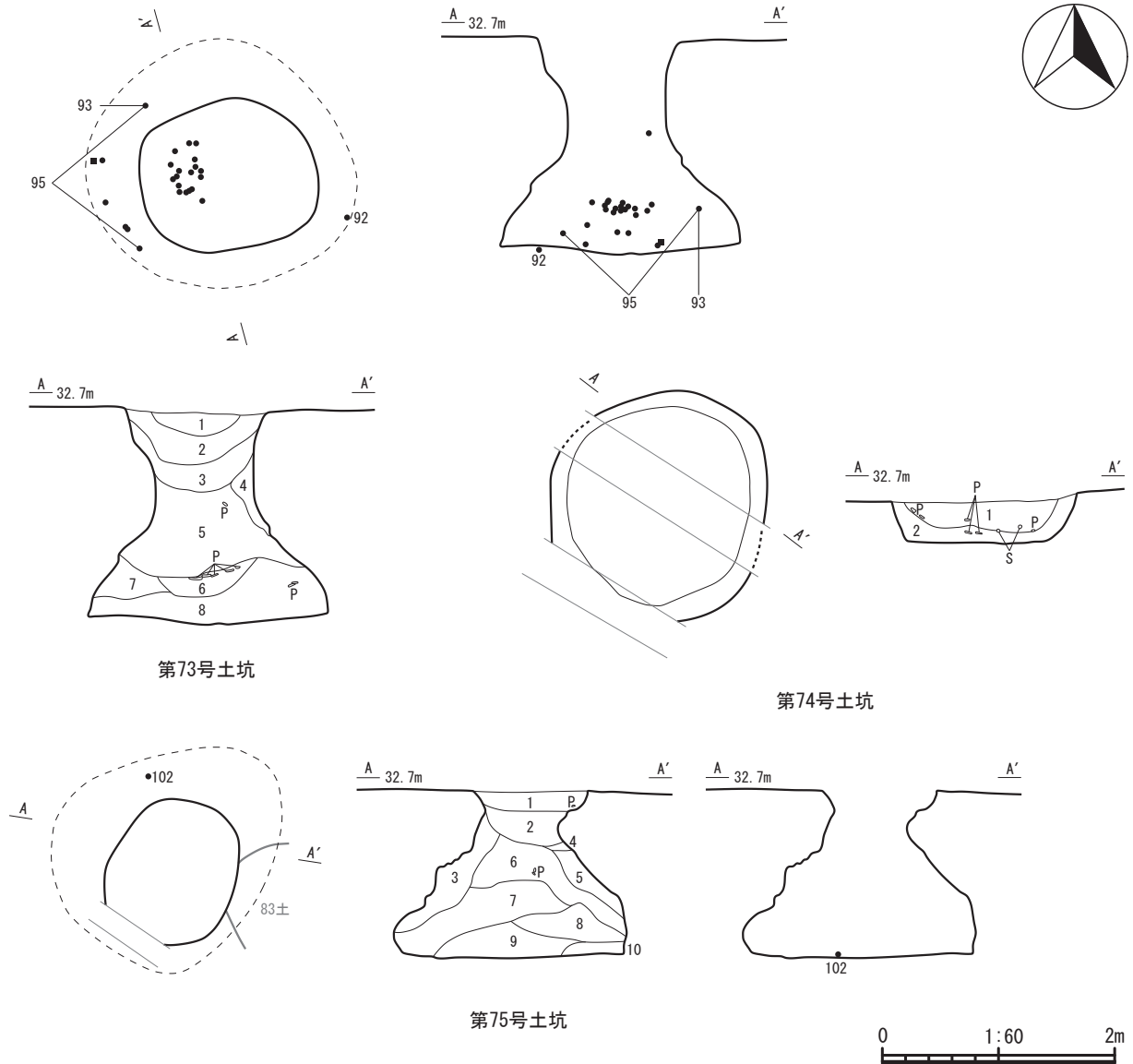
10YR2/3黒褐色土5%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm1%
 10YR3/3暗褐色土20%、10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~40mm1%
 10YR4/6褐色土30%、10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~30mm5%、中礫軽石1mm1%
 10YR3/4暗褐色土30%、中礫軽石1%
 10YR4/6褐色土30%、10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm1%
 10YR6/8明黄褐色土ブロック状20%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm1%

第72号土坑

- 1層 10YR4/4褐色土
- 2層 10YR4/6褐色土
- 3層 10YR3/4暗褐色土
- 4層 10YR5/6黄褐色土
- 5層 10YR4/4褐色土
- 6層 10YR5/8黄褐色土
- 7層 10YR2/3黒褐色土
- 8層 10YR3/4暗褐色土
- 9層 10YR3/3暗褐色土
- 10層 10YR3/4暗褐色土
- 11層 10YR3/4暗褐色土

中礫軽石1%、炭化物1~2mm1%
 千曳軽石1~2mm1%、中礫軽石1%
 10YR7/6明黄褐色土ブロック状1%、中礫軽石1%、炭化物1~2mm1%
 10YR4/4褐色土5%
 10YR3/3暗褐色土20%、中礫軽石1%、炭化物2~15mm1%
 10YR4/6褐色土ブロック状15%、中礫軽石1%
 千曳軽石1~2mm1%、中礫軽石1%
 10YR4/6褐色土20%、千曳軽石1~15mm2%、中礫軽石1%
 10YR4/6褐色土ブロック状20%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~20mm5%
 10YR4/6褐色土30%、中礫軽石1%、炭化物10mm1%
 10YR6/8明黄褐色土ブロック状5%、中礫軽石1%、炭化物5~20mm1%

図 163 土坑



第73号土坑

- 1層 10YR2/1黒色土
- 2層 10YR3/1黒褐色土
- 3層 10YR3/4暗褐色土
- 4層 10YR3/3暗褐色土
- 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 6層 10YR3/3暗褐色土
- 7層 10YR4/4褐色土
- 8層 10YR3/4暗褐色土

- 千曳軽石2~7mm2%、中掀軽石1%
- 10YR3/4暗褐色土10%、千曳軽石2~20mm5%、中掀軽石1%、炭化物3~10mm3%
- 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石3~25mm5%、中掀軽石1%、炭化物2~5mm2%
- 10YR4/6褐色土10%、炭化物2~5mm2%
- 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石3~7mm3%、中掀軽石1%、炭化物2~7mm5%
- 10YR6/6明黄褐色粘土7%、炭化物10~60mm10%
- 10YR3/4暗褐色土5%、炭化物10mm2%
- 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石3mm2%、炭化物2~6mm3%

第74号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR4/4褐色土

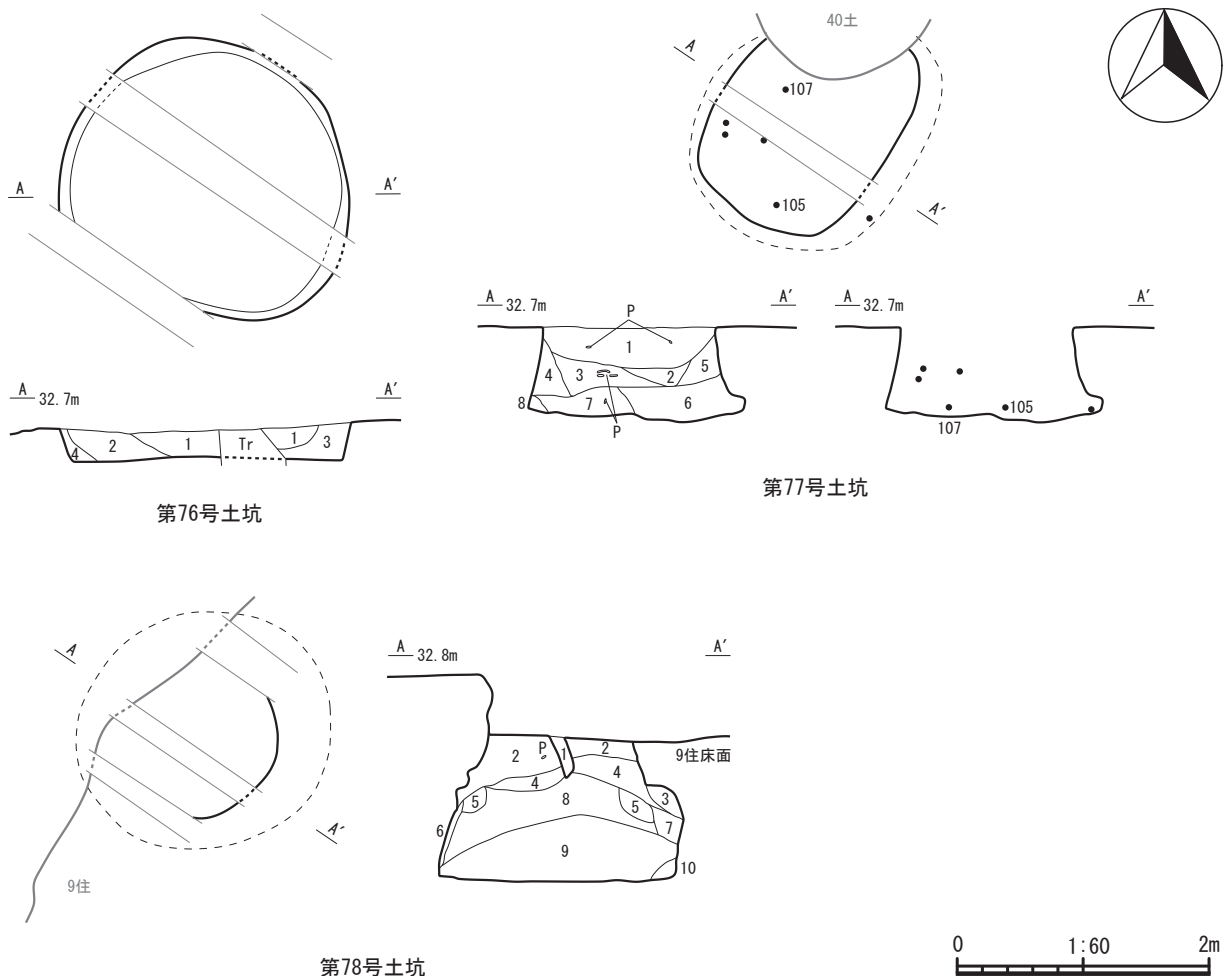
- 5YR4/6赤褐色土10%、千曳軽石2~30mm1%、中掀軽石1%、炭化物2~15mm1%
- 千曳軽石2~10mm1%、炭化物2~5mm1%

第75号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土
- 2層 10YR3/2黒褐色土
- 3層 10YR3/1黒褐色土
- 4層 10YR4/6褐色土
- 5層 10YR3/3暗褐色土
- 6層 10YR3/1黒褐色土
- 7層 10YR3/4暗褐色土
- 8層 10YR2/3黒褐色土
- 9層 10YR3/3暗褐色土
- 10層 10YR4/3にぶい黄褐色土

- 千曳軽石2~10mm3%、中掀軽石1%、炭化物1~5mm2%
- 10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~7mm2%、中掀軽石1%、炭化物2~4mm3%
- 10YR4/6褐色土ブロック状15%、中掀軽石1%、炭化物1~3mm3%
- 10YR3/3暗褐色土7%、中掀軽石1%
- 10YR4/6褐色土ブロック状7%、千曳軽石1~2mm2%、中掀軽石1%、炭化物3~5mm3%
- 10YR4/4褐色土5%、千曳軽石3~6mm3%、中掀軽石1%、炭化物2~5mm3%
- 10YR4/6褐色土7%、千曳軽石1~3mm2%、炭化物2~5mm5%
- 5YR5/8明赤褐色焼土筋状10%、千曳軽石5mm2%、炭化物3~5mm3%
- 10YR4/6褐色土3%、炭化物8~15mm7%
- 10YR4/6褐色土ブロック状5%、炭化物7mm3%

図164 土坑



第76号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土
- 2層 10YR4/4褐色土
- 3層 10YR3/3暗褐色土
- 4層 10YR3/2黒褐色土

- 中礫軽石1%
- 中礫軽石1%
- 10YR4/6褐色土ブロック状10%、千曳軽石2~10mm1%、中礫軽石1%
- 10YR4/6褐色土ブロック状5%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%

第77号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR4/6褐色土
- 3層 10YR4/4褐色土
- 4層 10YR5/6黄褐色土
- 5層 10YR3/4暗褐色土
- 6層 10YR3/3暗褐色土
- 7層 10YR2/3黒褐色土
- 8層 10YR5/8黄褐色土

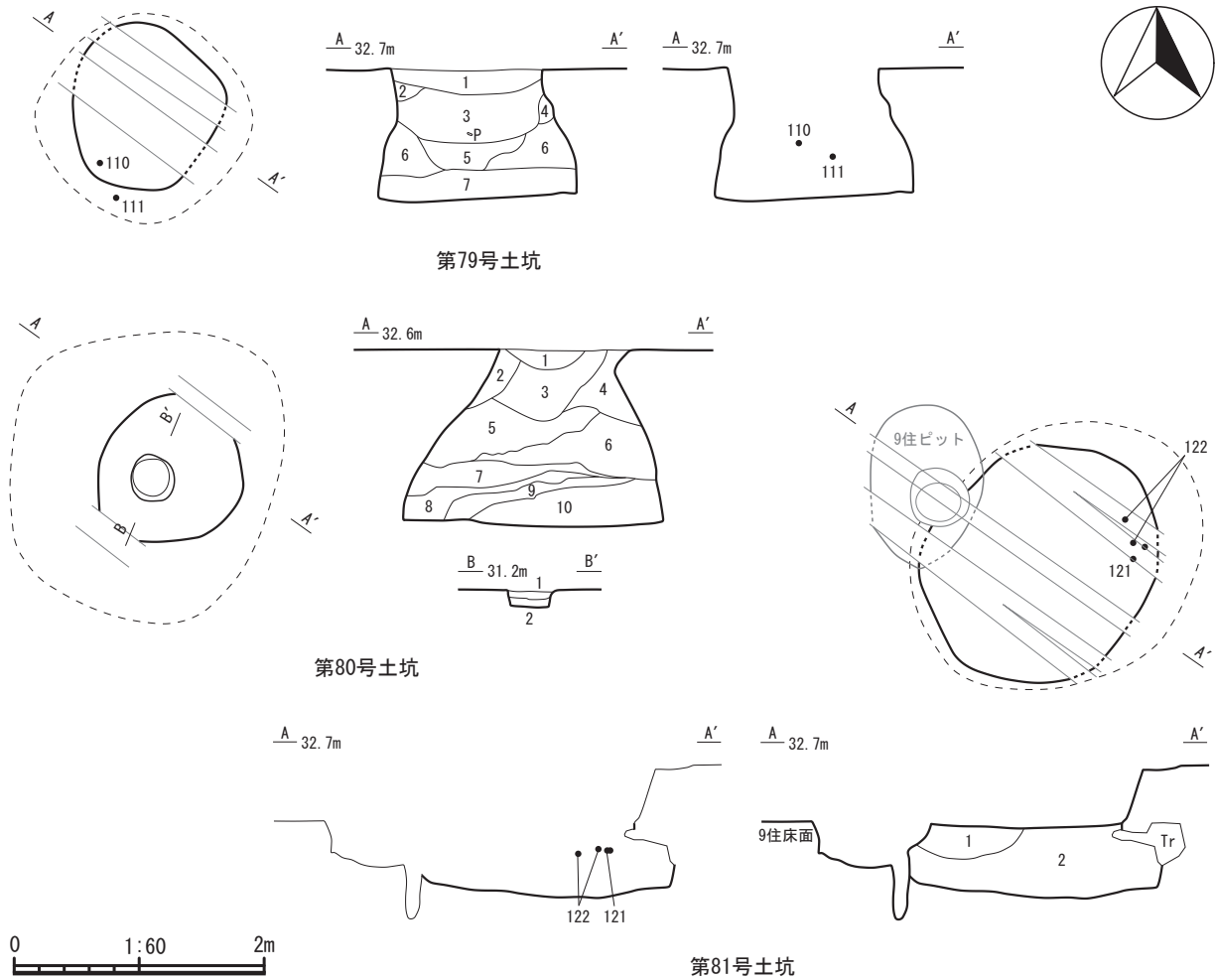
- 10YR4/4褐色土10%、千曳軽石1~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~15mm1%
- 10YR3/3暗褐色土30%、千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1%
- 千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1%
- 10YR3/4暗褐色土30%、炭化物1~20mm1%

第78号土坑

- 1層 10YR4/4褐色土
- 2層 10YR3/4暗褐色土
- 3層 10YR7/3にぶい黄橙色土
- 4層 10YR4/4褐色土
- 5層 10YR7/3にぶい黄橙色土
- 6層 10YR4/4褐色土
- 7層 10YR4/2灰黄褐色土
- 8層 10YR5/6黄褐色土
- 9層 10YR2/3黒褐色土
- 10層 10YR7/3にぶい黄橙色土

- 10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~20mm2%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1% (9住壁溝)
- 10YR4/6褐色土ブロック状5%、千曳軽石1~20mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1%
- 10YR4/4褐色土10%、千曳軽石1~15mm1%
- 10YR5/8黄褐色土ブロック状30%、千曳軽石1~40mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
- 10YR4/4褐色土30%、千曳軽石1~20mm1%
- 10YR5/6黄褐色土ブロック状30%
- 10YR7/3にぶい黄橙色土10%
- 10YR6/6明黄褐色土20%、千曳軽石1~30mm1%
- 千曳軽石1~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~10mm1%

図 165 土坑



第79号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~2mm2%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm3% |
| 2層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/4暗褐色土5% |
| 3層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/4褐色土10%、千曳軽石3~10mm5%、中礫軽石1%、炭化物2~6mm3% |
| 4層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色土20%、炭化物2mm2% |
| 5層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR5/6褐色土ブロック状7%、千曳軽石1~2mm2%、中礫軽石1%、炭化物2~8mm3% |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土15%、千曳軽石2~3mm2%、炭化物2~5mm5% |
| 7層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状3%、炭化物1~3mm2% |

第80号土坑

A土層

- | | | |
|-----|-------------|---|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 中礫軽石1%、炭化物5~10mm1% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR3/4暗褐色土30%、10YR5/6黄褐色土30%、中礫軽石1% |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm1% |
| 4層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土30%、中礫軽石1% |
| 5層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、10YR3/3暗褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm1% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR3/3暗褐色土30%、10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、10YR2/3黒褐色土3%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm1% |
| 7層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土40%、10YR2/3黒褐色土2%、中礫軽石1% |
| 8層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR3/4暗褐色土10%、10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、中礫軽石1% |
| 9層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR3/4暗褐色土5%、10YR2/3黒褐色土1% |
| 10層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR3/3暗褐色土5% |

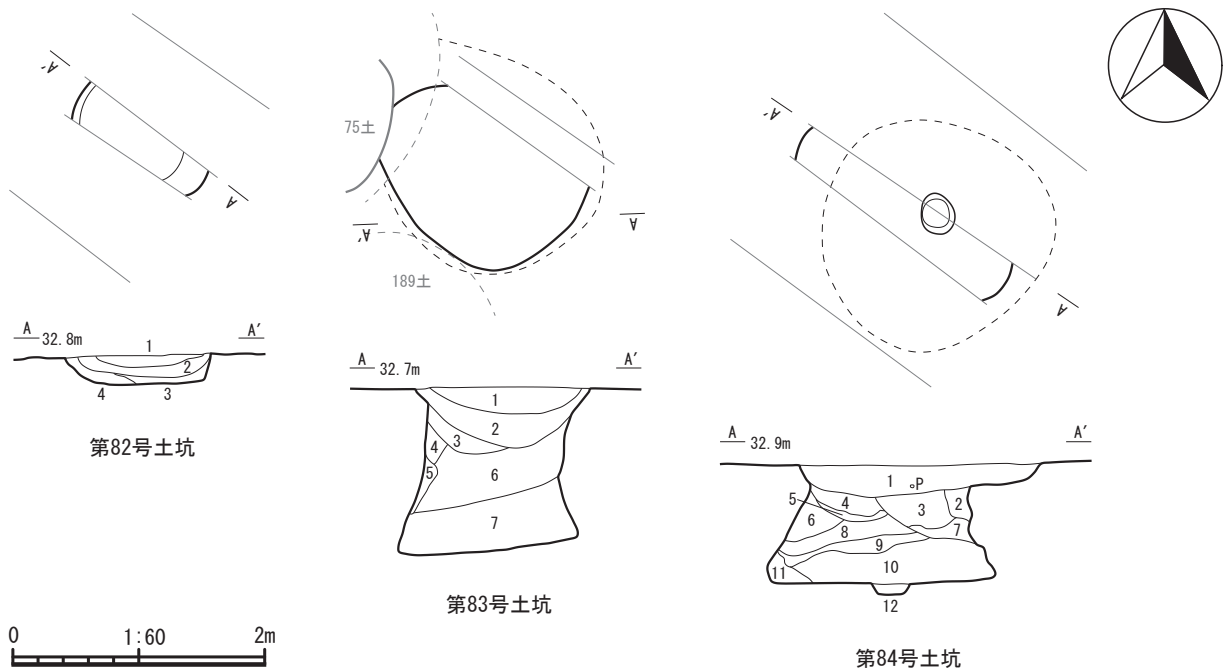
B土層

- | | | |
|----|-------------|-----------------------------|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/8黄褐色土20%、10YR3/1黒色土5% |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 千曳軽石20mm3% |

第81号土坑

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/6褐色土30%、中礫軽石1% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石2~50mm5%、中礫軽石1%、炭化物3~7mm3% |

図 166 土坑



第82号土坑

- 1層 10YR4/6褐色土
- 2層 10YR3/4暗褐色土
- 3層 10YR5/6黄褐色土
- 4層 10YR4/6褐色土

- 10YR5/6黄褐色土5%、千曳軽石1~5mm1%、炭化物1~10mm1%
- 10YR5/6黄褐色土ブロック状2%、千曳軽石1~5mm1%、炭化物1~10mm1%
- 10YR3/4暗褐色土30%
- 10YR3/4暗褐色土20%

第83号土坑

- 1層 10YR3/2黒褐色土
- 2層 10YR3/1黒褐色土
- 3層 10YR4/6褐色土
- 4層 10YR5/8黄褐色土
- 5層 10YR6/6明黄褐色土
- 6層 10YR4/2灰黄褐色土
- 7層 10YR3/4暗褐色土

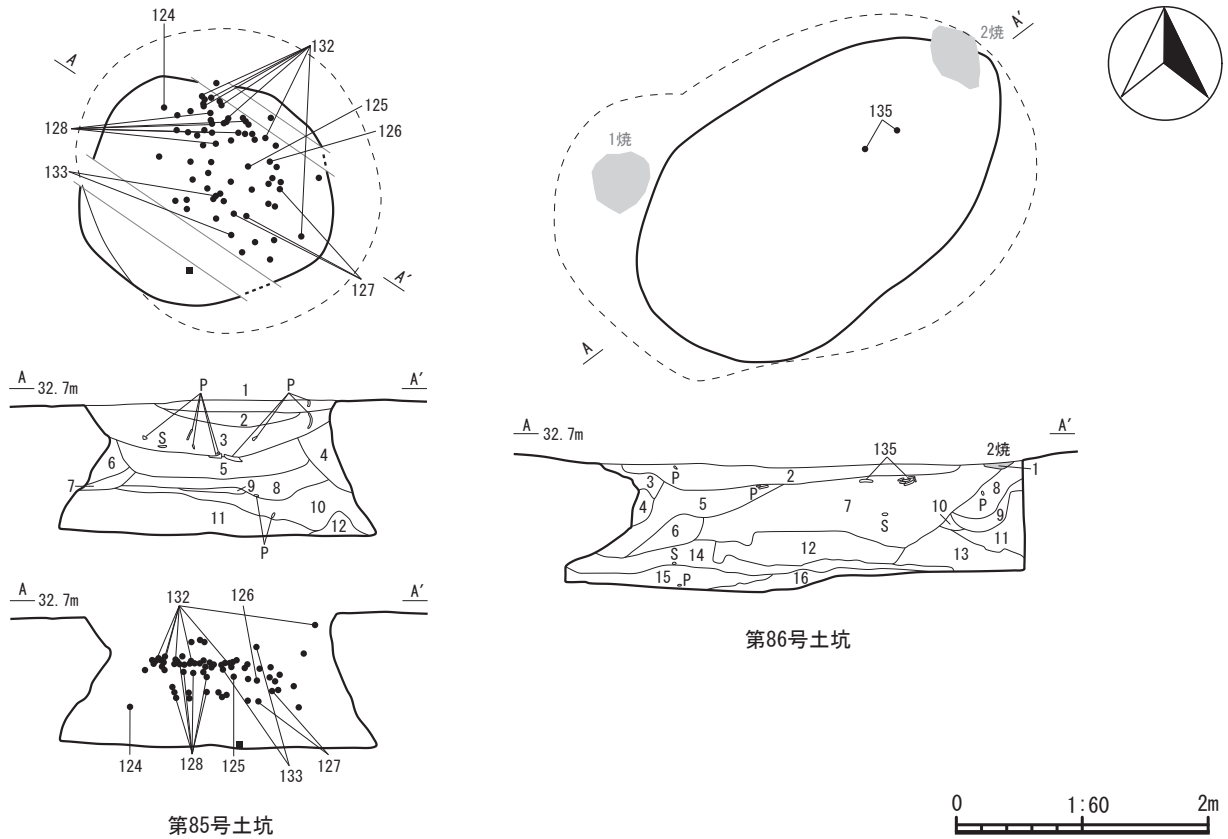
- 10YR4/3にぶい黄褐色土10%、千曳軽石1~5mm1%、炭化物1~10mm1%
- 10YR4/3にぶい黄褐色土20%、10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、中撤軽石1%、炭化物1~10mm1%
- 10YR2/3黒褐色土30%、千曳軽石1~20mm1%、炭化物1~10mm1%
- 10YR4/6褐色土15%、10YR8/3浅黄橙色土10%、炭化物1~5mm1%
- 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~20mm1%、炭化物1~20mm1%
- 10YR5/4にぶい黄褐色土ブロック状20%、10YR6/4にぶい黄橙色土ブロック状20%、千曳軽石1~30mm1%、炭化物1~5mm1%

第84号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR4/6褐色土
- 3層 10YR4/4褐色土
- 4層 10YR3/3暗褐色土
- 5層 10YR5/8黄褐色土
- 6層 10YR3/4暗褐色土
- 7層 10YR3/4暗褐色土
- 8層 10YR5/6黄褐色土
- 9層 10YR4/6褐色土
- 10層 10YR2/3黒褐色土
- 11層 10YR4/4褐色土
- 12層 10YR4/4褐色土

- 10YR2/3黒褐色土10%、10YR4/6褐色土5%、炭化物1~10mm1%
- 10YR3/4暗褐色土15%
- 10YR5/6黄褐色土ブロック状15%
- 10YR2/3黒褐色土30%、千曳軽石1~4mm2%、炭化物1~5mm1%
- 10YR3/4暗褐色土10%
- 10YR5/8黄褐色土ブロック状5%、炭化物1~5mm1%
- 10YR4/6褐色土10%
- 10YR4/6褐色土10%、10YR5/4にぶい黄褐色土5%、千曳軽石1~20mm2%
- 10YR3/4暗褐色土10%、10YR5/4にぶい黄褐色土5%
- 10YR4/4褐色土10%、10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、炭化物1~40mm2%
- 10YR5/6黄褐色土ブロック状30%、10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~20mm1%、炭化物1~20mm1%

図 167 土坑



第85号土坑

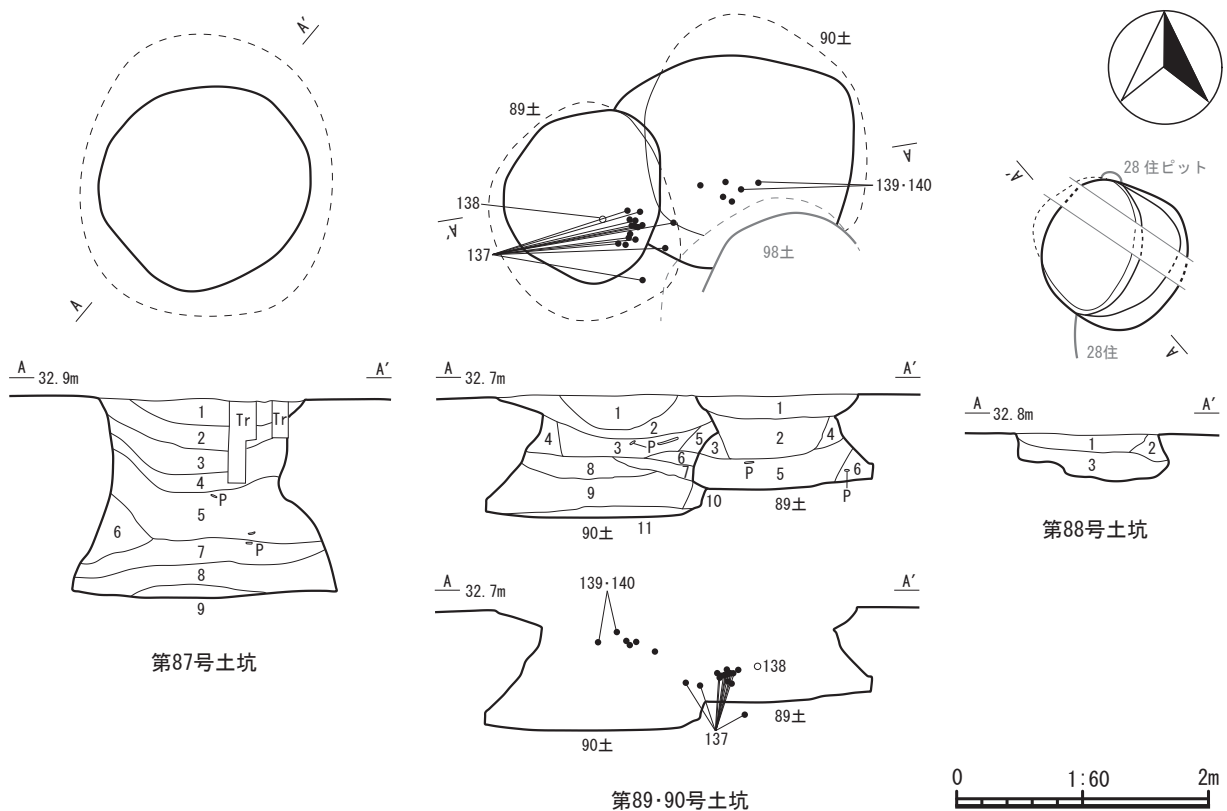
1層	10YR3/4暗褐色土	10YR5/8黄褐色土5%、5YR5/8明赤褐色焼土1%、中掬軽石1%、炭化物1~3mm2%
2層	10YR4/3にぶい黄褐色土	10YR6/8明黄褐色土20%、炭化物1~5mm3%
3層	10YR4/4褐色土	10YR5/8黄褐色土7%、5YR5/8明赤褐色焼土2%、千曳軽石1~3mm5%、中掬軽石1%、炭化物2~6mm3%
4層	10YR5/6黄褐色土	10YR4/4褐色土15%、千曳軽石5~30mm3%、中掬軽石1%
5層	10YR3/3暗褐色土	10YR5/6黄褐色土10%、5YR5/8明赤褐色焼土2%、千曳軽石2~6mm2%、炭化物2~70mm7%
6層	10YR3/2黒褐色土	10YR6/6明黄褐色土15%、炭化物3~10mm3%
7層	10YR6/6明黄褐色土	10YR4/3にぶい黄褐色土10%、炭化物7mm2%
8層	10YR3/1黒褐色土	10YR4/4褐色土5%、炭化物2~8mm3%
9層	10YR5/8黄褐色土	10YR3/4暗褐色土3%、5YR5/8明赤褐色焼土2%
10層	10YR3/3暗褐色土	10YR5/8黄褐色土5%、炭化物3~20mm3%
11層	10YR6/8明黄褐色土	10YR3/4暗褐色土10%

12層	10YR6/2灰黄褐色土	10YR6/6明黄褐色土20%
-----	--------------	-----------------

第86号土坑

1層	10YR3/2黒褐色土	5YR4/4にぶい赤褐色土10%、千曳軽石1~20mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~5mm1%(2焼)
2層	10YR3/2黒褐色土	10YR5/6黄褐色土ブロック状30%、千曳軽石1~20mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~20mm2%
3層	10YR5/4にぶい黄褐色土	10YR3/3暗褐色土5%、千曳軽石1~5mm1%
4層	10YR4/6褐色土	10YR3/2黒褐色土30%、千曳軽石1~20mm1%
5層	10YR3/3暗褐色土	10YR4/6褐色土ブロック状5%、千曳軽石1~20mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~20mm1%
6層	10YR5/6黄褐色土	10YR3/2黒褐色土20%
7層	10YR2/3黒褐色土	10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~20mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~30mm1%
8層	10YR4/3にぶい黄褐色土	10YR5/6黄褐色土40%、千曳軽石1~30mm1%、炭化物1~20mm1%
9層	10YR6/8明黄褐色土	10YR4/4褐色土5%、千曳軽石1~20mm1%
10層	10YR3/3暗褐色土	炭化物1~30mm5%
11層	10YR5/6黄褐色土	炭化物1~10mm1%
12層	10YR5/6黄褐色土	10YR3/3暗褐色土5%、千曳軽石1~5mm1%
13層	10YR3/3暗褐色土	10YR5/8黄褐色土10%、千曳軽石1~30mm1%、中掬軽石1%、炭化物1~10mm1%
14層	10YR4/4褐色土	炭化物1~5mm2%
15層	10YR2/3黒褐色土	炭化物1~30mm1%
16層	10YR6/8明黄褐色土	10YR4/3にぶい黄褐色土5%

図 168 土坑



第87号土坑

1層	10YR3/4暗褐色土	10YR4/4褐色土20%、10YR2/2黒色土2%
2層	10YR4/3にぶい黄褐色土	10YR2/2黒色土5%、10YR5/8黄褐色土3%、千曳軽石2~4mm2%、炭化物2~5mm2%
3層	10YR6/8明黄褐色土	10YR3/3暗褐色土20%、10YR2/2黒褐色土3%、10YR6/1褐灰色土2%
4層	10YR6/8明黄褐色土	10YR3/3暗褐色土10%、炭化物10mm2%
5層	10YR3/3暗褐色土	10YR2/2黒褐色土20%、10YR4/6褐色土ブロック状10%、千曳軽石40~50mm3%
6層	10YR4/6褐色土	10YR3/3暗褐色土
7層	10YR3/4暗褐色土	10YR5/8黄褐色土ブロック状10%、10YR2/3黒褐色土7%、中掀軽石1%
8層	10YR4/4褐色土	10YR5/8黄褐色土20%、10YR2/3黒褐色土7%、炭化物5mm2%
9層	10YR2/3黒褐色土	10YR6/8明黄褐色土7%、10YR4/4褐色土5%

第88号土坑

1層	10YR3/3暗褐色土	10YR2/1黒色土20%、焼土1~3mm1%、ローム1~2mm1%、炭化物1~2mm1%
2層	10YR4/4褐色土	10YR5/6黄褐色土15%、ローム1~10mm3%、炭化物1~3mm1%
3層	10YR3/3暗褐色土	10YR5/6黄褐色土5%、ローム1~5mm2%、焼土3mm1%、炭化物1~3mm2%

第89号土坑

1層	10YR2/2黒褐色土	10YR4/6褐色土5%、千曳軽石1~5mm1%、中掀軽石1%、炭化物1~5mm1%
2層	10YR3/3暗褐色土	10YR2/3黒褐色土20%、千曳軽石1~30mm1%、中掀軽石1%以下、炭化物1~5mm1%
3層	10YR3/4暗褐色土	10YR4/6褐色土2%、千曳軽石1~15mm1%、中掀軽石1%
4層	10YR4/4褐色土	10YR5/8黄褐色土10%、中掀軽石1%
5層	10YR3/2黒褐色土	千曳軽石1~20mm1%、中掀軽石1%、炭化物1~5mm1%
6層	10YR4/4褐色土	10YR5/8黄褐色土30%、千曳軽石1~10mm1%

第90号土坑

1層	10YR3/3暗褐色土	10YR4/6褐色土30%、千曳軽石1~10mm1%、中掀軽石1%、炭化物1~20mm1%
2層	10YR2/3黒褐色土	千曳軽石1~15mm1%、中掀軽石1%、炭化物1~10mm1%
3層	10YR2/2黒褐色土	千曳軽石1~15mm1%、中掀軽石1%、炭化物1~5mm1%
4層	10YR2/3黒褐色土	10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~5mm1%
5層	10YR4/4褐色土	10YR5/8黄褐色土20%、千曳軽石1~10mm1%、炭化物1~5mm1%
6層	10YR5/6黄褐色土	10YR4/4褐色土10%、千曳軽石1~10mm1%、炭化物1~15mm1%
7層	10YR2/2黒褐色土	10YR4/6褐色土30%、中掀軽石1%
8層	10YR2/3黒褐色土	10YR4/6褐色土10%、千曳軽石1~5mm1%、炭化物1~20mm1%
9層	10YR4/6褐色土	10YR3/4暗褐色土20%、千曳軽石1~40mm3%
10層	10YR3/3暗褐色土	10YR4/6褐色土10%
11層	10YR3/4暗褐色土	

図 169 土坑

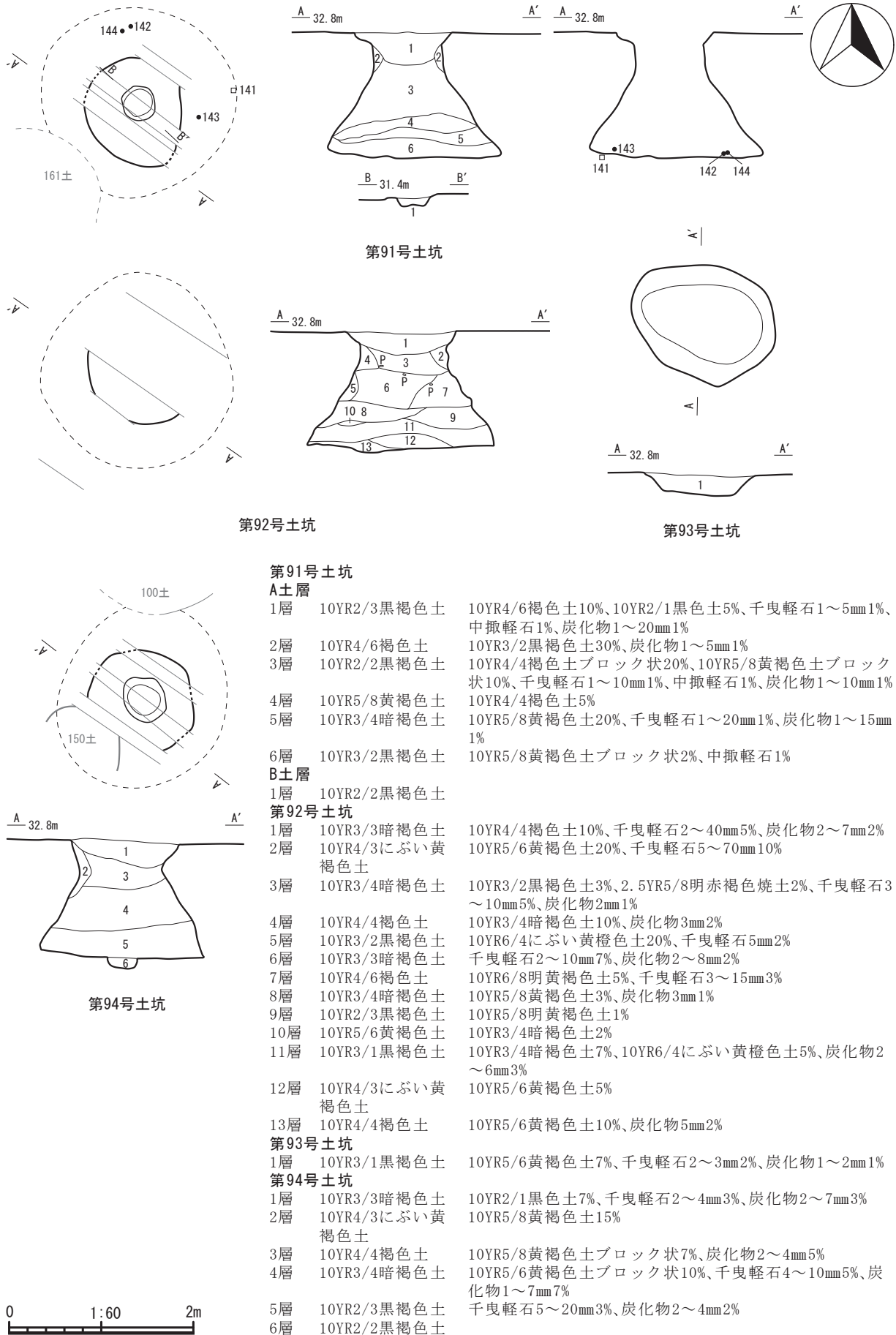


図 170 土坑

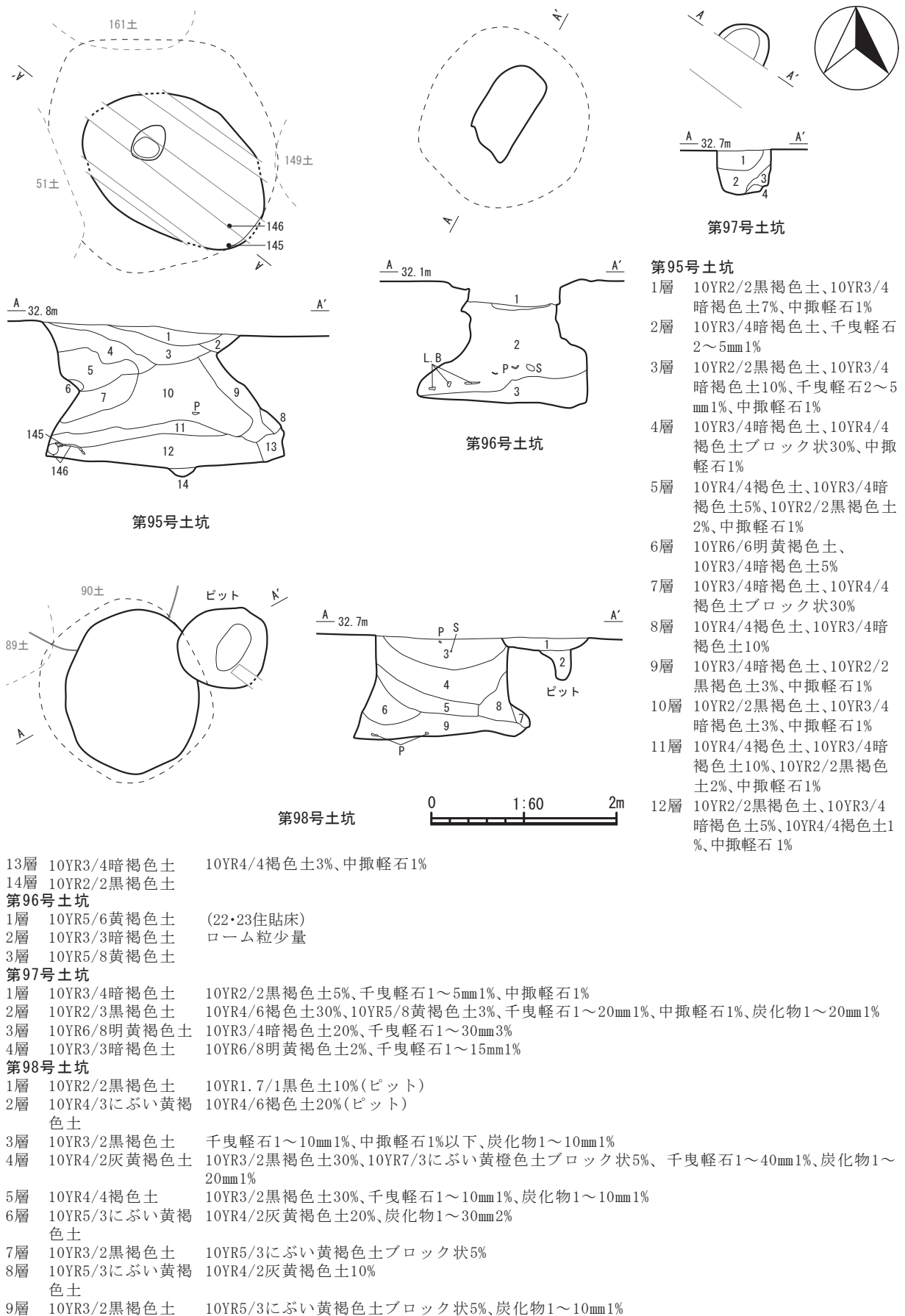
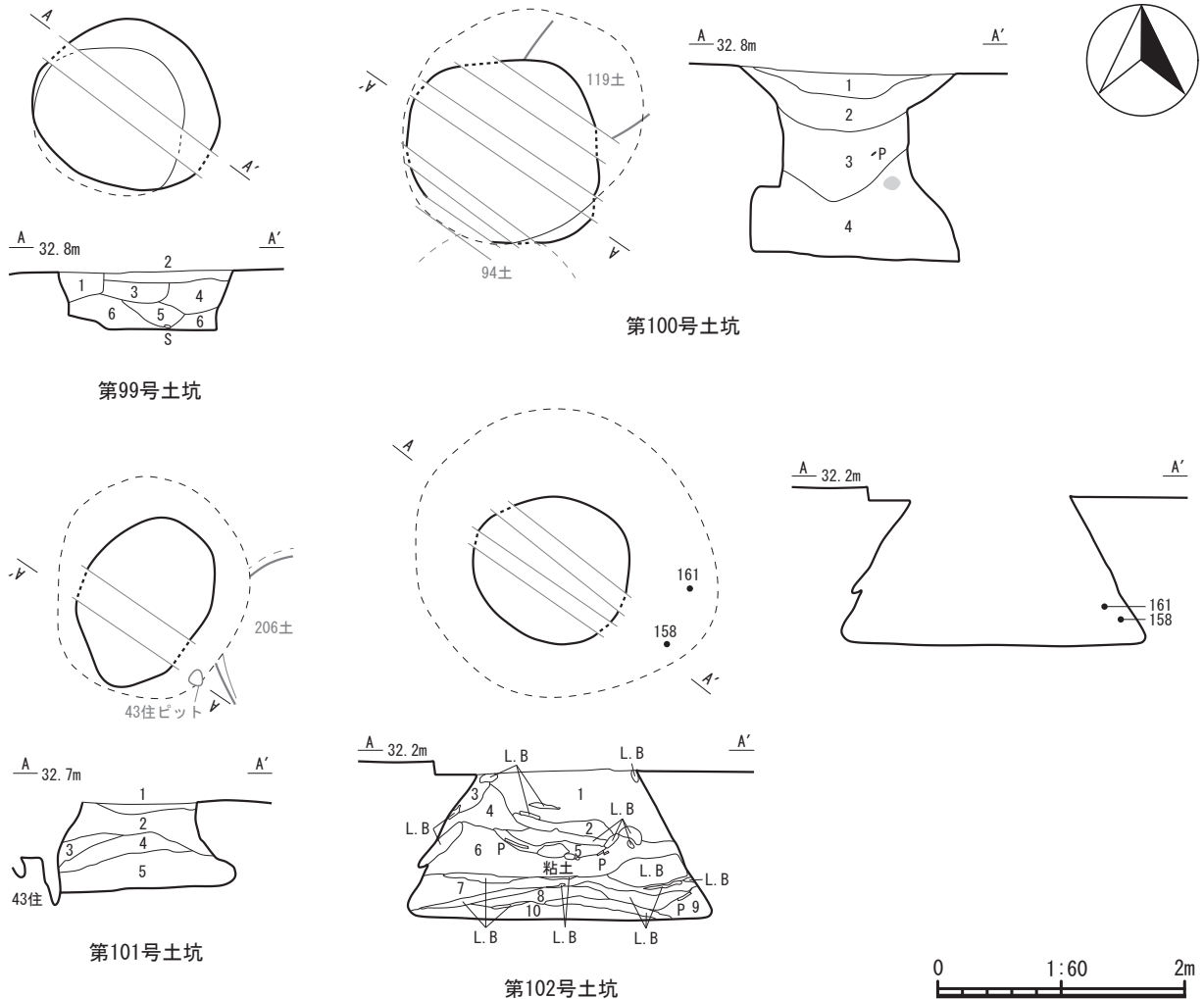


図 171 土坑



- 第99号土坑**
- | | | |
|----|----------------|--|
| 1層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/4暗褐色土7%、10YR3/1黒褐色土2%、5YR4/8赤褐色焼土1%、中礫軽石1%以下 |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR3/1黒褐色土5%、中礫軽石1%以下、炭化物1~3mm2% |
| 3層 | 10YR3/1黒褐色土 | 5YR4/8赤褐色焼土1%、千曳軽石7~20mm3%、中礫軽石1%、炭化物1~2mm1% |
| 4層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR3/1黒褐色土7%、5YR4/8赤褐色焼土1% |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土5%、5YR4/8赤褐色焼土3%、中礫軽石1%以下、炭化物2~50mm7% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土15%、5YR4/8赤褐色焼土2%、千曳軽石2~6mm5%、中礫軽石1%以下、炭化物1~2mm1% |
- 第100号土坑**
- | | | |
|----|-------------|--|
| 1層 | 10YR2/1黒色土 | 千曳軽石1~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~20mm1% |
| 2層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/3にぶい黄褐色土20%、10YR2/1黒褐色土10%、千曳軽石1~20mm1%、炭化物1~5mm1% |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR4/6褐色土10%、炭化物1~15mm1% |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 5YR4/8赤褐色土10%、焼土塊50mm1%、千曳軽石1~40mm1%、炭化物1~5mm1% |
- 第101号土坑**
- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/4にぶい黄褐色土20%、炭化物1~10mm1% |
| 2層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR2/3黒褐色土5%、炭化物1~10mm |
| 3層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR3/4暗褐色土20% |
| 4層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR2/1黒色土5%、千曳軽石1~10mm1%、炭化物1~10mm1% |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/6褐色土ブロック状10%、千曳軽石1~10mm1%、炭化物1~10mm1% |
- 第102号土坑**
- | | | |
|-----|-------------|--------------|
| 1層 | 10YR3/3暗褐色土 | ロームブロック少量 |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | |
| 3層 | 10YR4/6褐色土 | ローム粒多量 |
| 4層 | 10YR3/4暗褐色土 | 炭化物微量 |
| 5層 | 5YR3/4暗赤褐色土 | 焼土含有 |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | ローム粒少量、炭化物多量 |
| 7層 | 10YR5/6黄褐色土 | |
| 8層 | 10YR4/6褐色土 | ロームを層状に含有 |
| 9層 | 10YR3/4暗褐色土 | ローム粒少量 |
| 10層 | 10YR3/4暗褐色土 | |

図 172 土坑

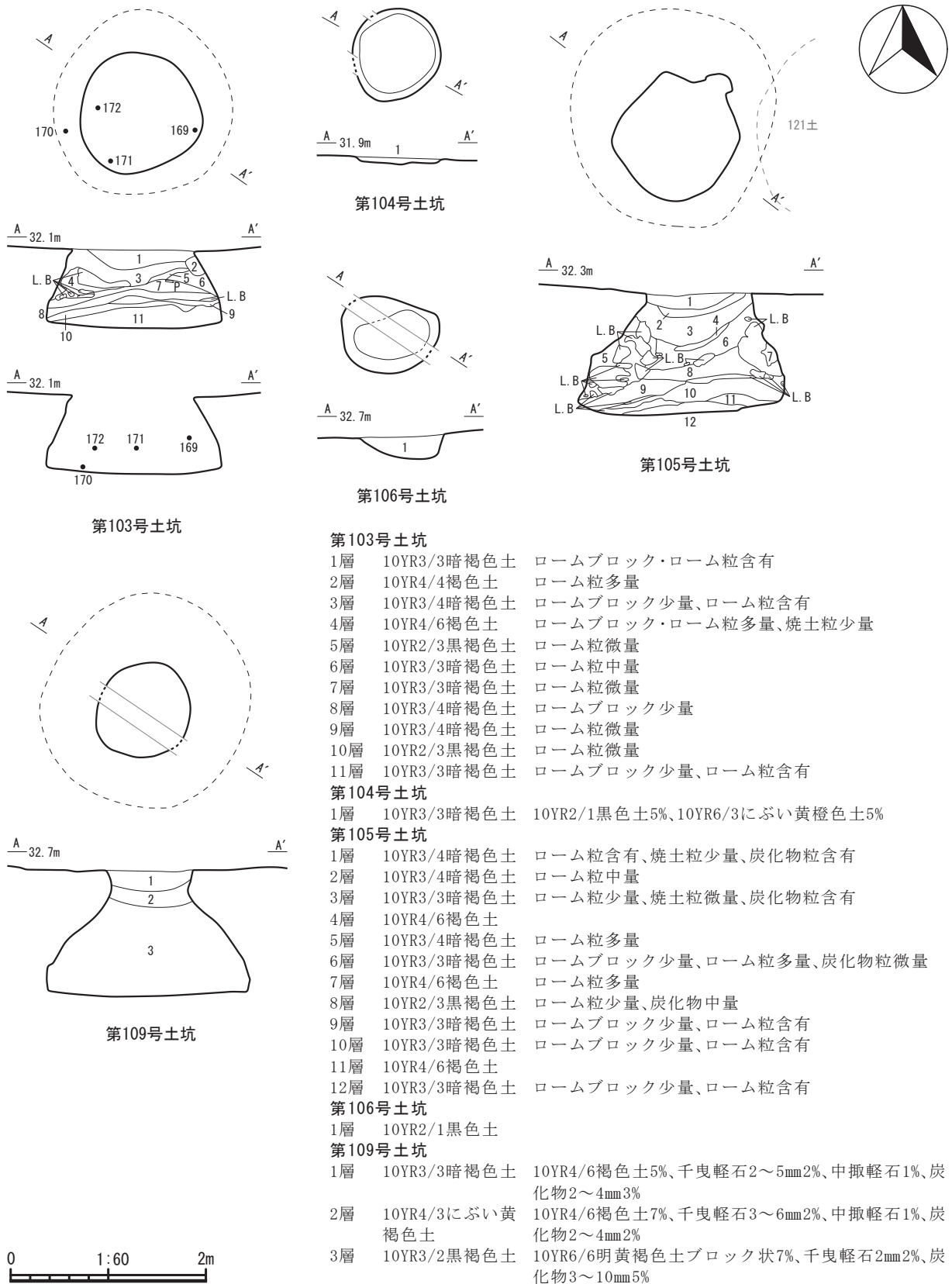
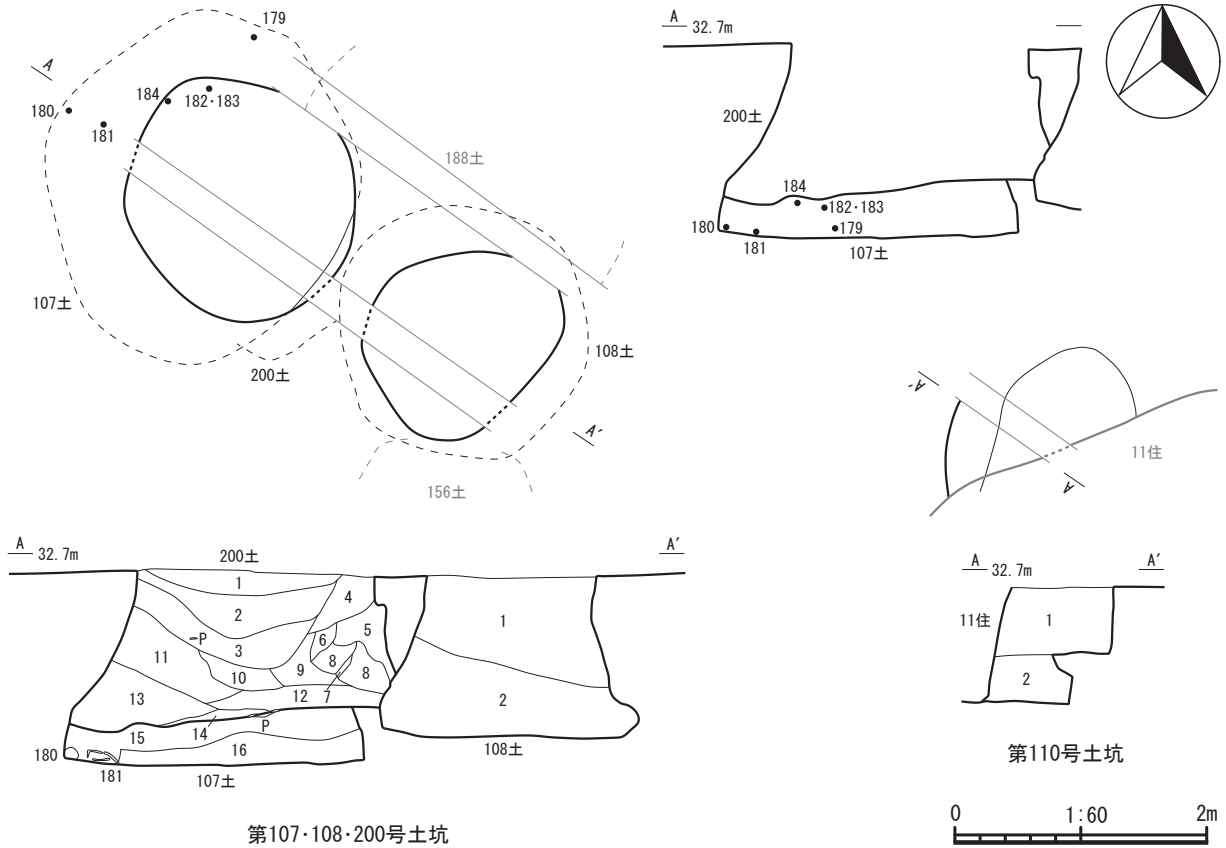


図 173 土坑



第107・108・200号土坑

第110号土坑

第107・200号土坑

1層	10YR2/3黒褐色土	10YR2/1黒色土5%、5YR5/8明赤褐色焼土2%、千曳軽石2~5mm2%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm3%
2層	10YR3/3暗褐色土	10YR4/4褐色土7%、5YR5/8明赤褐色焼土2%、千曳軽石2~4mm3%、中礫軽石1%、炭化物3~6mm5%
3層	10YR3/2黒褐色土	10YR4/6褐色土10%、10YR6/8明黄褐色土5%、5YR5/8明赤褐色焼土2%、中礫軽石1%、炭化物3~5mm3%
4層	10YR4/6褐色土	10YR2/1黒色土7%、10YR5/6黄褐色土5%、5YR5/8明赤褐色焼土2%、千曳軽石2~20mm3%、中礫軽石1%、炭化物3~5mm2%
5層	10YR3/4暗褐色土	10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、5YR5/8明赤褐色焼土7%、10YR2/1黒色土5%、千曳軽石5~10mm3%、中礫軽石1%
6層	10YR6/6明黄褐色土	10YR4/3にぶい黄褐色土7%、千曳軽石3mm2%
7層	10YR3/2黒褐色土	
8層	10YR7/8黄橙色土	10YR3/2黒褐色土2%、千曳軽石3~5mm5%
9層	10YR3/2黒褐色土	5YR4/8赤褐色焼土7%、10YR6/6明黄褐色土ブロック状3%、中礫軽石1%、炭化物2~7mm10%
10層	10YR3/3暗褐色土	10YR4/4褐色土5%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm3%
11層	10YR4/4褐色土	10YR6/8明黄褐色土ブロック状10%、10YR2/3黒褐色土7%、千曳軽石2~30mm3%、中礫軽石1%
12層	10YR4/3にぶい黄褐色土	10YR5/8黄褐色土ブロック状7%、5YR4/8赤褐色焼土5%、炭化物2~4mm2%
13層	10YR3/4暗褐色土	10YR6/4にぶい黄橙色土15%、10YR6/8明黄褐色土ブロック状10%、10YR2/1黒色土5%、炭化物5~8mm2%
14層	10YR2/3黒褐色土	5YR4/8赤褐色土10%、炭化物5~10mm20%
15層	10YR3/4暗褐色土	10YR3/1黒褐色土15%、10YR5/6黄褐色土7%、千曳軽石2~5mm2%、炭化物2~6mm3%
16層	10YR4/4褐色土	10YR6/6明黄褐色土ブロック状10%、10YR2/3黒褐色土7%、千曳軽石3~7mm3%、炭化物2~4mm2%

1~14層は200土、15・16層は107土

第108号土坑

1層	10YR3/1黒褐色土	10YR4/2灰黄褐色土40%、10YR5/6黄褐色土10%、中礫軽石2%、千曳軽石5mm1%、炭化物2~10mm1%
2層	10YR5/6黄褐色土	10YR3/1黒褐色土30%、炭化物1mm1%

第110号土坑

1層	10YR4/6褐色土	10YR2/3黒褐色土10%、千曳軽石1~30mm1%、中礫軽石1%、炭化物1~5mm1%
2層	10YR5/6黄褐色土	千曳軽石1~60mm10%、中礫軽石1%

図174 土坑

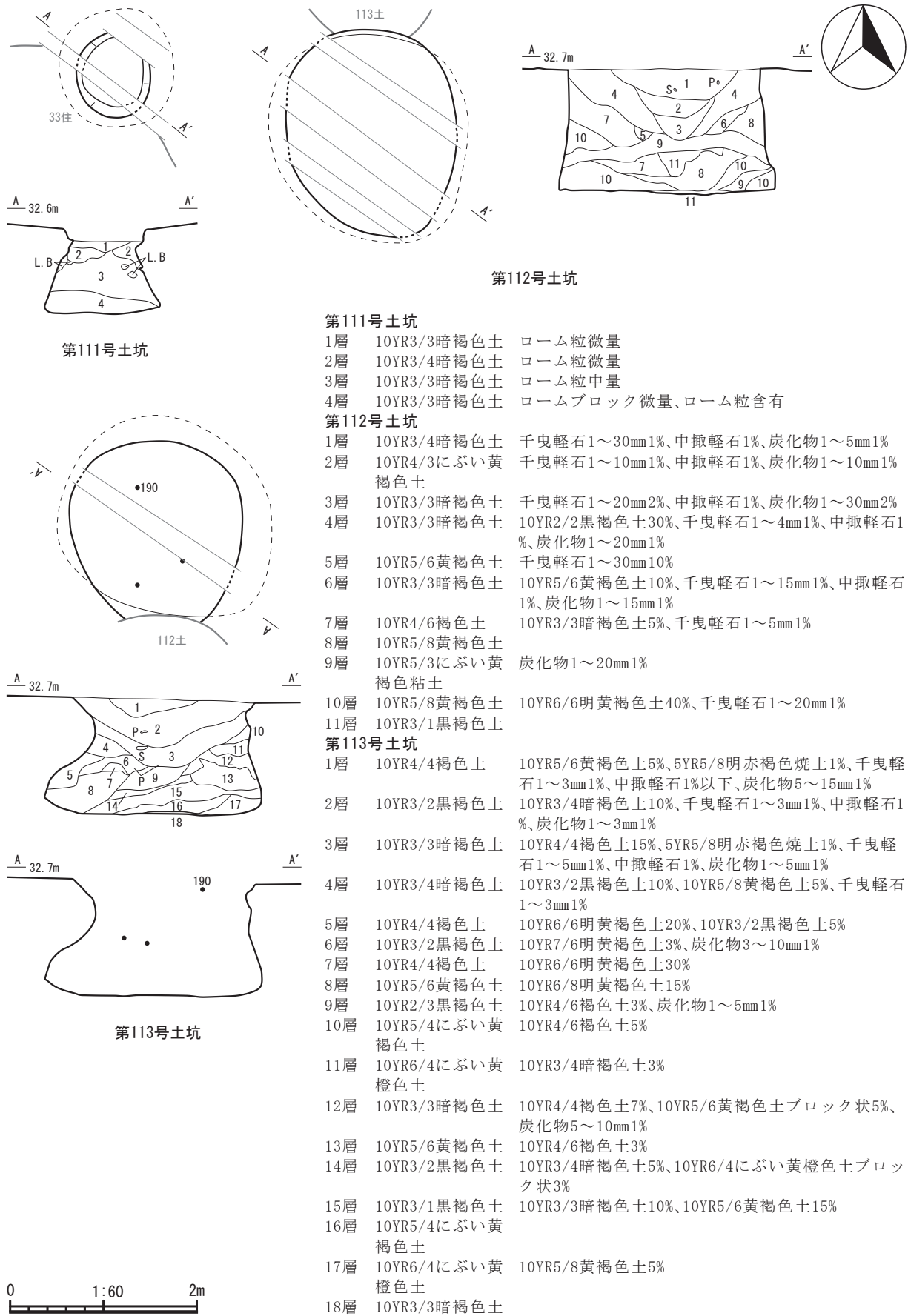


図 175 土坑

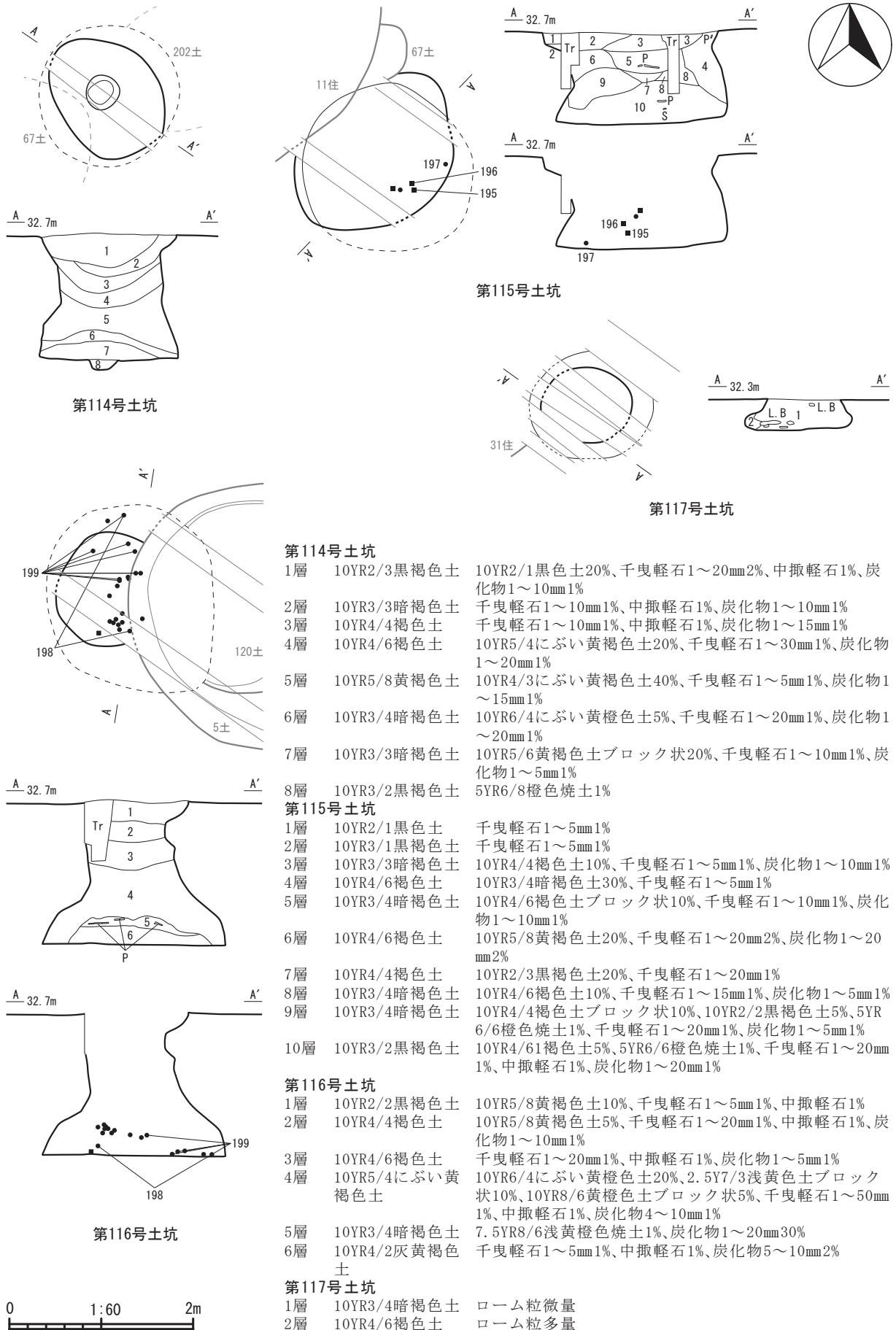


図 176 土坑

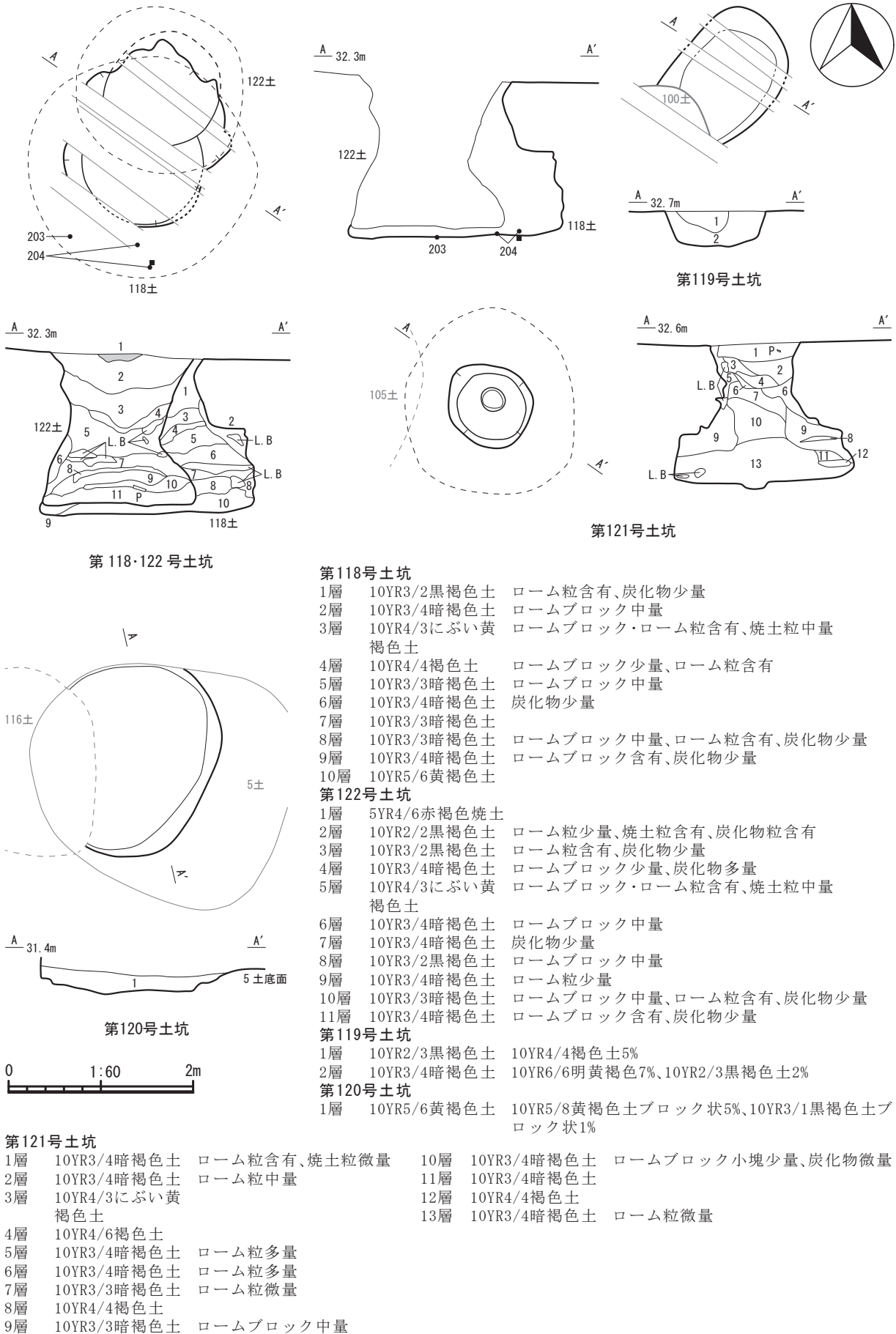
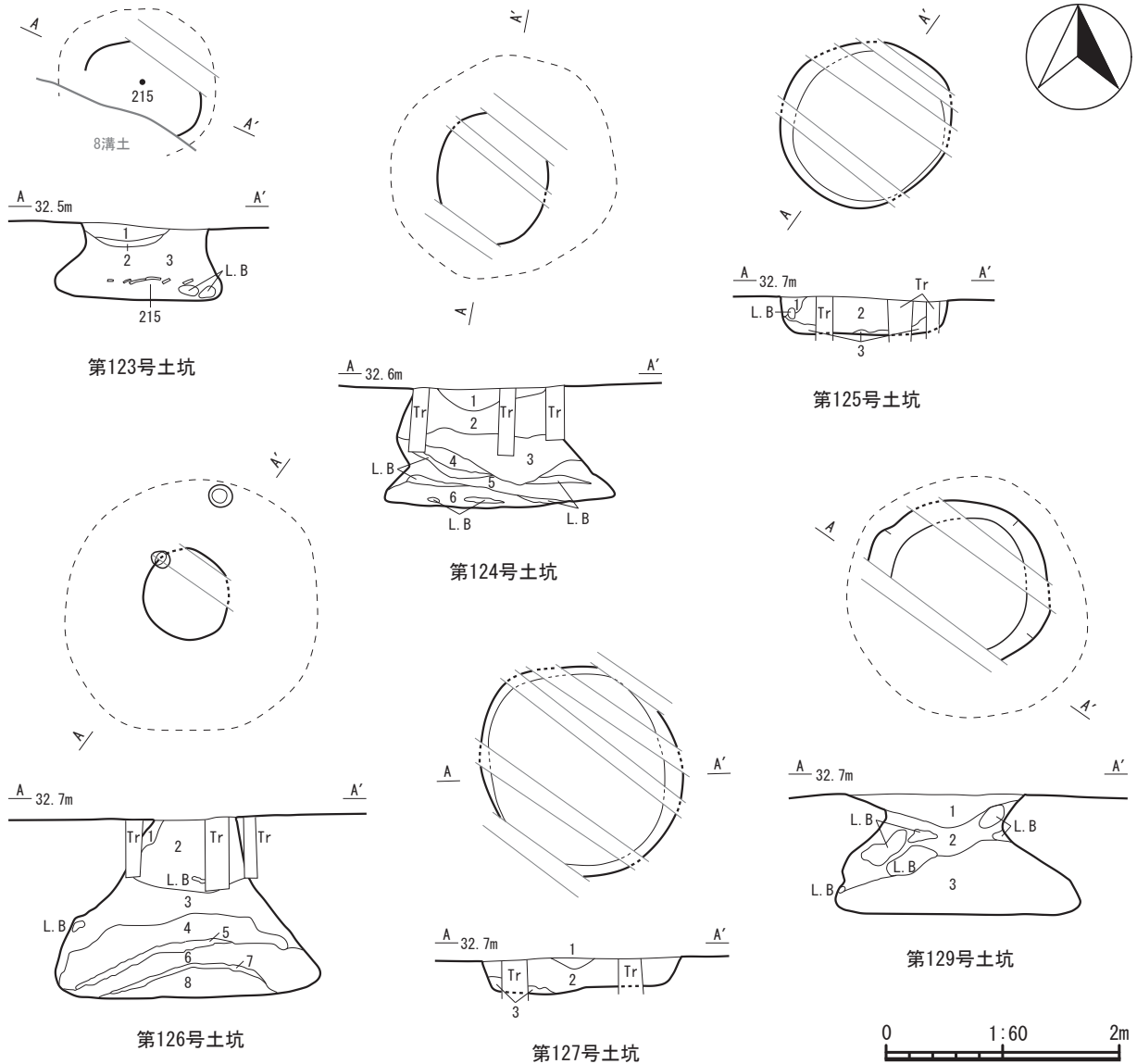


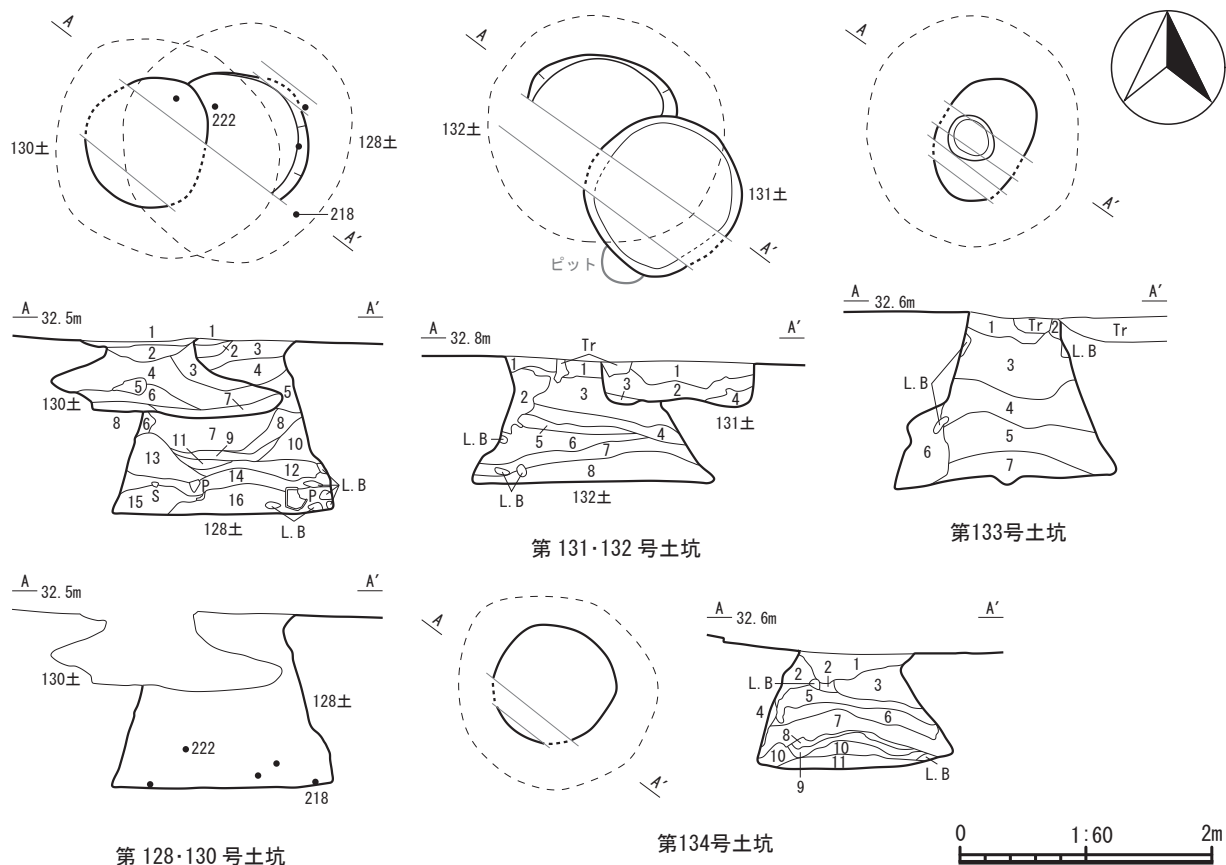
図177 土坑



- 第123号土坑**
 1層 10YR3/4暗褐色土
 2層 10YR4/4褐色土
 3層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック少量
- 第124号土坑**
 1層 10YR2/3黒褐色土
 2層 10YR3/3暗褐色土
 3層 10YR3/3暗褐色土
 4層 10YR4/4褐色土
 5層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒多量
 6層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒含有

- 第125号土坑**
 1層 10YR3/4暗褐色土
 2層 10YR3/3暗褐色土
 3層 10YR4/4褐色土
- 第126号土坑**
 1層 10YR4/4褐色土
 2層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
 3層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
 4層 10YR5/6黄褐色土
 5層 10YR5/6黄褐色土
 6層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒含有
 7層 10YR5/6黄褐色土
 8層 10YR2/3黒褐色土 ローム粒少量
- 第127号土坑**
 1層 10YR2/3黒褐色土
 2層 10YR3/3暗褐色土
 3層 10YR4/4褐色土
- 第129号土坑**
 1層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量
 2層 10YR4/4褐色土 ロームブロック多量、ローム粒含有
 3層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量

図 178 土坑



第128号土坑

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 2層 10YR2/3黒褐色土 中礫軽石含有
- 3層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 4層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量
- 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土 ローム粒中量
- 6層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 7層 10YR2/3黒褐色土 ローム粒少量
- 8層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量
- 9層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒含有
- 10層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 11層 10YR2/3黒褐色土 焼土粒含有
- 12層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量
- 13層 10YR4/3にぶい黄褐色土 壁際にロームブロック多量
- 14層 10YR3/4暗褐色土 炭化物を層状に含有
- 15層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック含有
- 16層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量

第130号土坑

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 2層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 3層 10YR3/3暗褐色土 炭化物少量
- 4層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量、炭化物含有
- 5層 10YR4/4褐色土
- 6層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック少量
- 7層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量、炭化物含有
- 8層 10YR4/4褐色土

第131号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 2層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒少量

- 3層 10YR5/8黄褐色土
- 4層 10YR4/6褐色土

第132号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR4/4褐色土
- 3層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック微量
- 4層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック微量
- 5層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック微量
- 6層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック微量
- 7層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック少量
- 8層 10YR4/4褐色土 ロームブロック多量

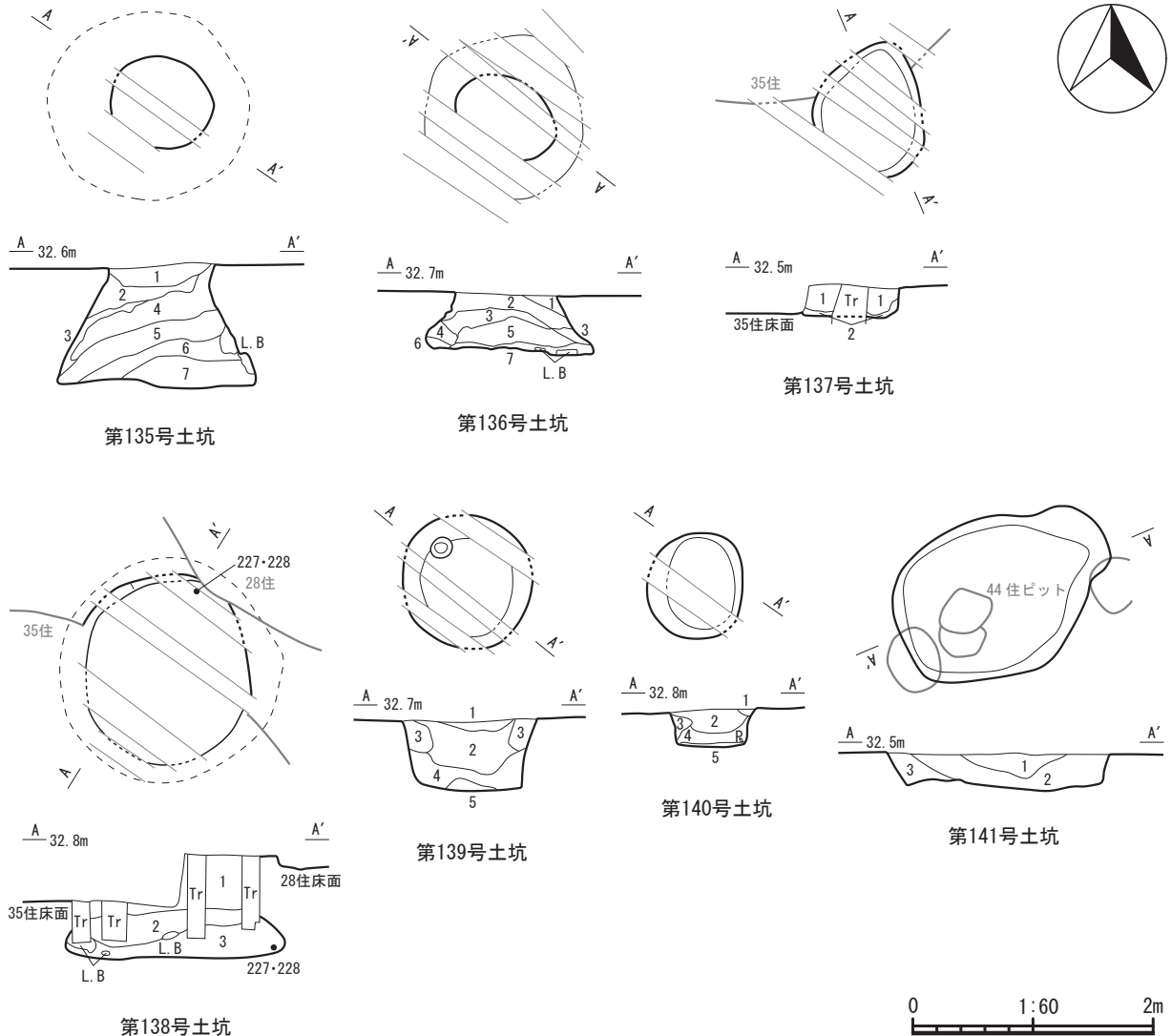
第133号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 中礫軽石多量
- 2層 10YR4/4褐色土
- 3層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック少量
- 4層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック微量
- 5層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック中量
- 6層 10YR4/4褐色土 ローム粒多量
- 7層 10YR3/4暗褐色土

第134号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土
- 2層 10YR4/4褐色土 ローム粒多量
- 3層 10YR4/6褐色土
- 4層 10YR4/6褐色土 ローム粒中量
- 5層 10YR4/4褐色土
- 6層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック多量、ローム粒含有
- 7層 10YR5/8黄褐色土
- 8層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック中量、ローム粒含有
- 9層 10YR5/8黄褐色土
- 10層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック中量
- 11層 10YR4/4褐色土 ロームブロック少量、ローム粒多量

図 179 土坑



第135号土坑
 1層 10YR3/4暗褐色土
 2層 10YR5/6黄褐色土 ロームブロック多量
 3層 10YR5/6黄褐色土
 4層 10YR5/8黄褐色土
 5層 10YR5/8黄褐色土
 6層 10YR3/3暗褐色土 中礫軽石多量
 7層 10YR3/3暗褐色土 中礫軽石中量

第136号土坑
 1層 10YR2/3黒褐色土 ローム粒微量
 2層 10YR3/4暗褐色土 焼土粒含有、中礫軽石少量
 3層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量、中礫軽石少量
 4層 10YR4/4褐色土
 5層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒微量、中礫軽石中量
 6層 10YR4/4褐色土
 7層 10YR3/4暗褐色土

第137号土坑
 1層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量、中礫軽石少量
 2層 10YR4/4褐色土

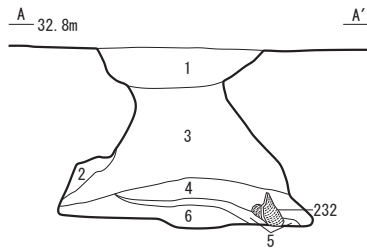
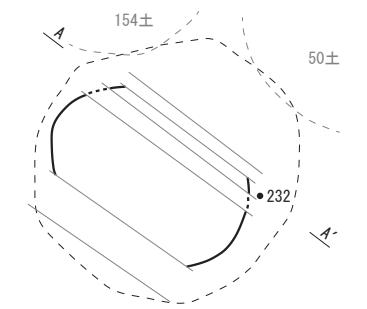
第138号土坑
 1層 10YR3/3暗褐色土 中礫軽石多量
 2層 10YR4/4褐色土 ロームブロック多量
 3層 10YR3/4暗褐色土 中礫軽石少量

第139号土坑
 1層 10YR3/3暗褐色土
 2層 10YR3/4暗褐色土
 3層 10YR4/4褐色土
 4層 10YR4/4褐色土 ロームブロック少量、ローム粒含有
 5層 10YR4/6褐色土

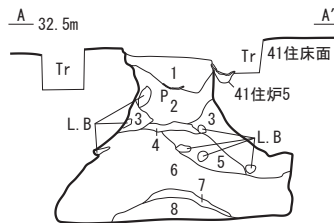
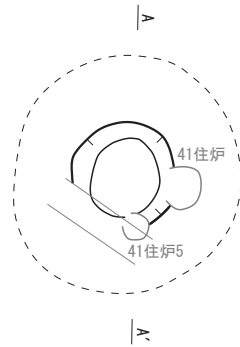
第140号土坑
 1層 10YR1.7/1黒色土
 2層 10YR2/1黒色土
 3層 10YR2/2黒褐色土 ローム粒少量
 4層 10YR2/3黒褐色土
 5層 10YR4/4褐色土

第141号土坑
 1層 10YR2/1黒色土 10YR4/4褐色土10%、中礫軽石1%、千
 曳軽石2~5mm1%以下、炭化物2mm1%
 以下
 2層 10YR4/4褐色土 10YR2/1黒色土30%、千曳軽石2mm1%
 以下、中礫軽石1%以下
 3層 10YR4/4褐色土 10YR6/3にぶい黄橙色土30%、10YR2
 /1黒色土10%

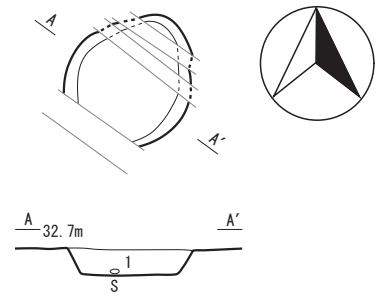
図 180 土坑



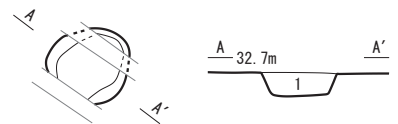
第142号土坑



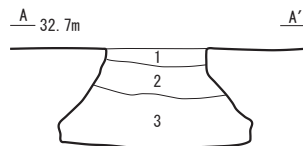
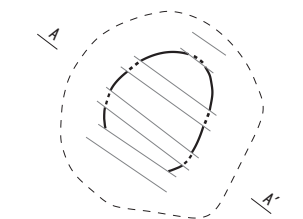
第144号土坑



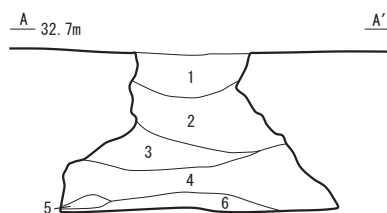
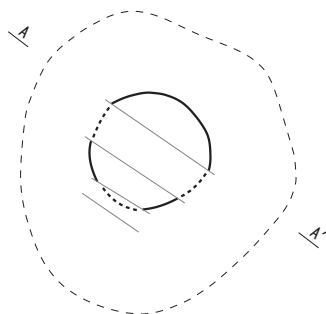
第143号土坑



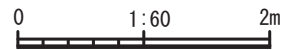
第147号土坑



第145号土坑



第146号土坑



第142号土坑

- 1層 10YR5/4にぶい黄褐色土 10YR7/6明黄褐色土10%
- 2層 10YR6/4にぶい黄橙色土 2. 5Y8/4淡黄色土ブロック状20%
- 3層 10YR4/2灰黄褐色土 10YR6/6明黄褐色土10~30mm5%、炭化物10mm2%
炭化物2mm1%
- 4層 10YR4/1褐灰色土
- 5層 10YR3/2黒褐色土 5YR6/6橙色焼土20mm1%、炭化物20mm2%
- 6層 10YR4/1褐灰色土 10YR8/6黄橙色土ブロック状20%、炭化物5mm1%

第143号土坑

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR7/6明黄褐色土10%、焼土1~5mm1%以下、炭化物1mm1%以下

第144号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック多量
- 2層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック中量
- 3層 10YR4/4褐色土 ロームブロック少量
- 4層 10YR5/8黄褐色土 焼土ブロック含有
- 5層 10YR3/4暗褐色土 ロームブロック多量

暗褐色土を縞状に含有

第145号土坑

- 1層 10YR4/1褐灰色土 10YR7/4にぶい黄橙色土10%、10YR3/1黒褐色土5%、焼土2~10mm1%以下、中礫軽石1%以下、炭化物1~10mm1%以下
- 2層 10YR3/1黒褐色土 10YR6/6明黄褐色土2%、焼土5mm1%以下、千曳軽石5mm1%、中礫軽石1%、炭化物1mm1%以下
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR6/6明黄褐色土ブロック状10%、焼土3mm1%以下、千曳軽石2mm1%以下、中礫軽石1%、炭化物5~20mm1%

第146号土坑

- 1層 10YR4/2灰黄褐色土 中礫軽石1%
- 2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 2. 5Y8/6黄色土筋状5%、千曳軽石10~30mm1%、中礫軽石1%
- 3層 10YR5/3にぶい黄褐色土 10YR8/6黄橙色土ブロック状40%
- 4層 10YR4/4褐色土 焼土5~20mm1%、炭化物1~10mm3%
- 5層 10YR8/6黄橙色土
- 6層 10YR4/2灰黄褐色土 焼土5~10mm1%、炭化物1~5mm1%

第147号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物2mm1%以下

図 181 土坑

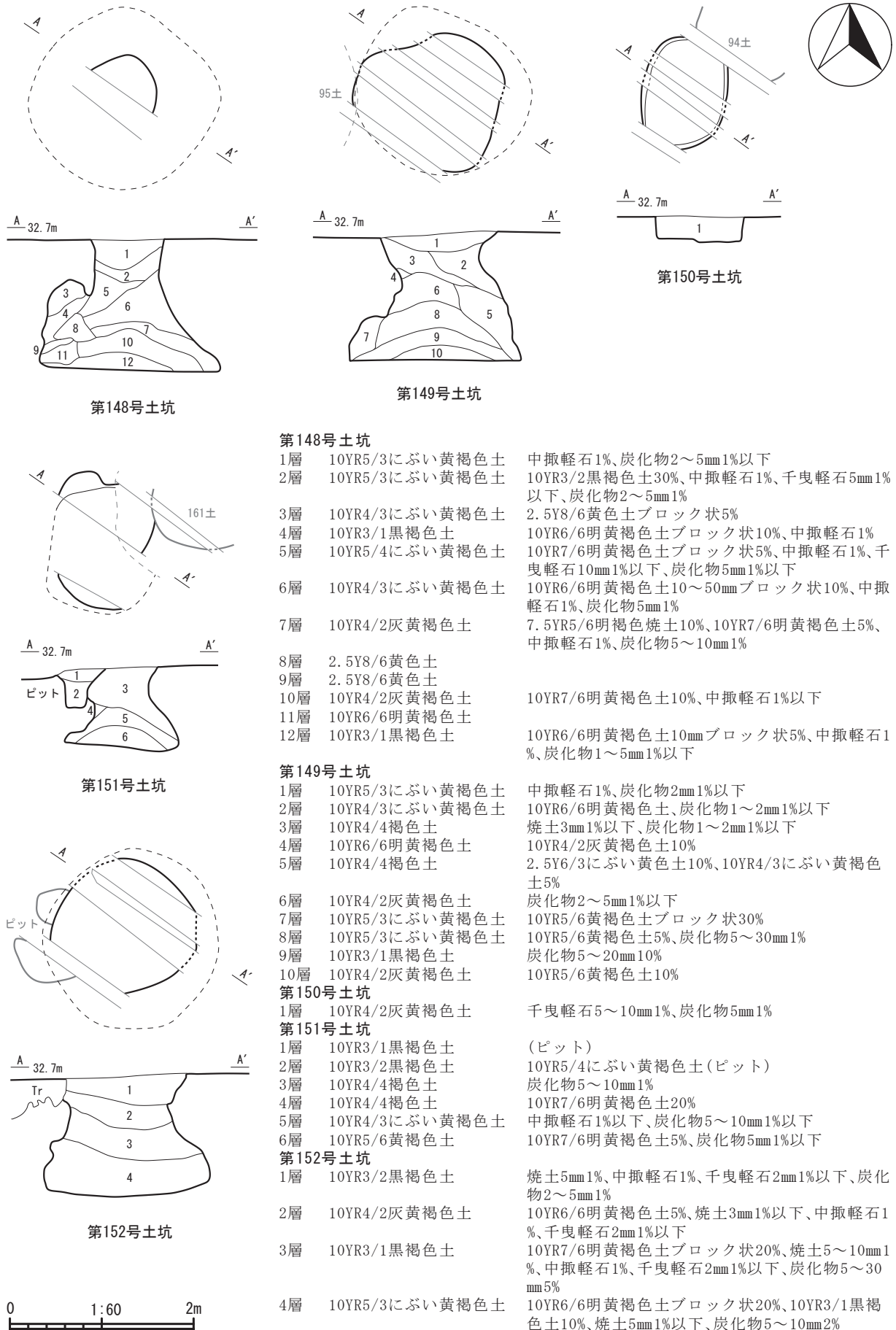


図 182 土坑

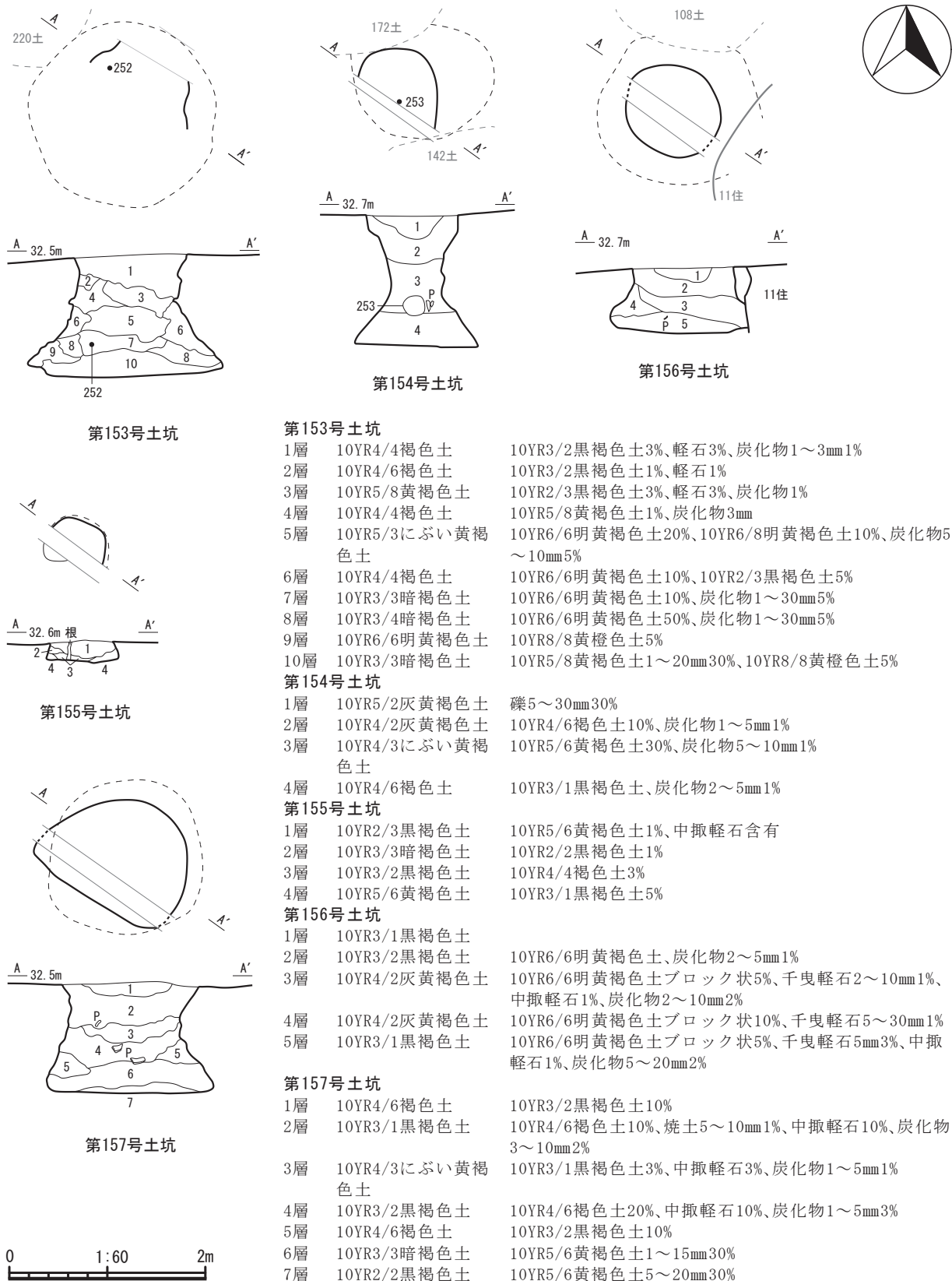
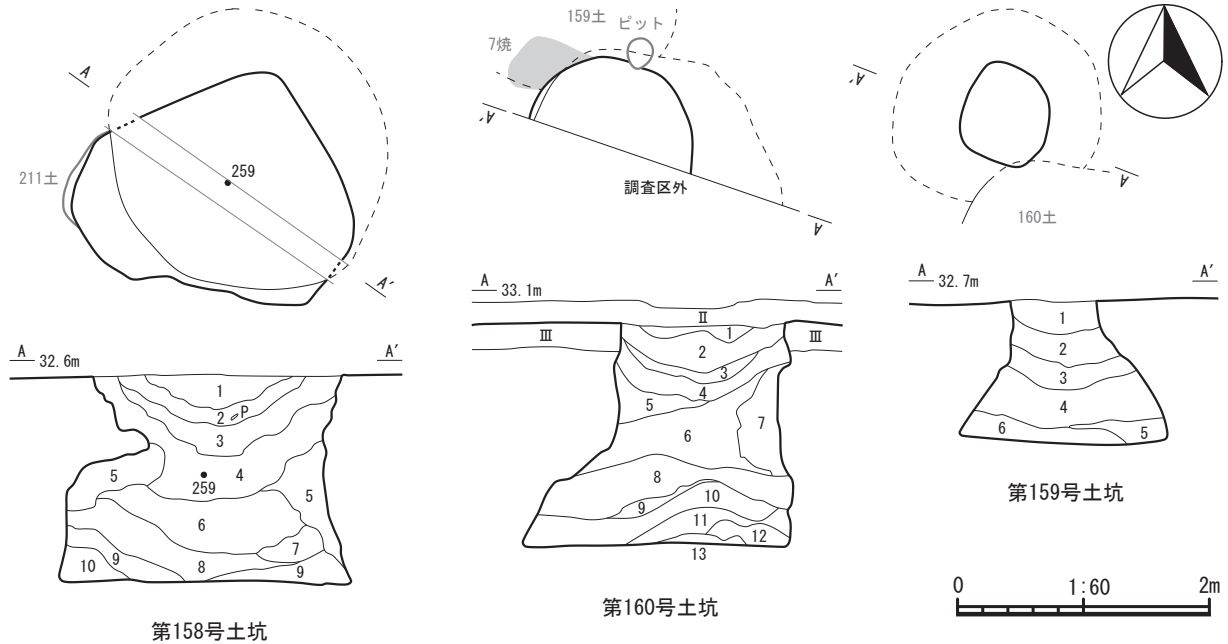


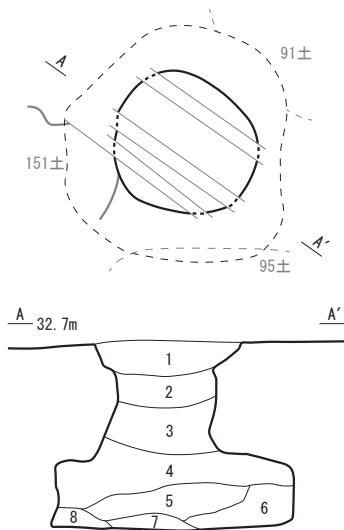
図 183 土坑



第158号土坑

第160号土坑

第159号土坑



第161号土坑

第158号土坑

- | | | |
|-----|----------------|-----------------------------------|
| 1層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土3%、千曳軽石1%、炭化物1% |
| 2層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR2/2黒褐色土3%、千曳軽石3%、炭化物1% |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR2/3黒褐色土3%、10YR5/6黄褐色土1%、炭化物1% |
| 4層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、焼土1%、炭化物10% |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/8黄褐色土10%、焼土1% |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土1~20mm5%、炭化物3% |
| 7層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土1~5mm3% |
| 8層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR2/3黒褐色土3% |
| 9層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土3%、10YR5/6黄褐色土2% |
| 10層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR3/2黒褐色土3% |

第159号土坑

- | | | |
|----|----------------|--------------------------------|
| 1層 | 10YR5/3にぶい黄褐色土 | 中撒軽石1%、千曳軽石5mm1%以下 |
| 2層 | 10YR3/2黒褐色土 | 中撒軽石2%、千曳軽石2~10mm1%、炭化物2~5mm1% |
| 3層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土30%、中撒軽石1%、炭化物5mm1% |
| 4層 | 10YR3/3暗褐色土 | 千曳軽石10mm1%以下、中撒軽石1%以下 |
| 5層 | 10YR5/3にぶい黄褐色土 | 10YR7/6明黄褐色土10% |
| 6層 | 10YR3/1黒褐色土 | 千曳軽石5mm1% |

第160号土坑

- | | | |
|-----|----------------|--|
| 1層 | 10YR3/1黒褐色土 | |
| 2層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 千曳軽石2~5mm1% |
| 3層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土30%、炭化物2~5mm1% |
| 4層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 千曳軽石50mm1%、千曳軽石2~5mm1%、中撒軽石1% |
| 5層 | 10YR5/3にぶい黄褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土20% |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土ブロック状5%、千曳軽石2~5mm1%、中撒軽石1%、炭化物2~5mm2% |
| 7層 | 10YR8/6黄橙色土 | 10YR6/6明黄褐色土20%、10YR4/2灰黄褐色土20%、千曳軽石5~50mm5% |
| 8層 | 10YR7/4にぶい黄褐色土 | 10YR4/2灰黄褐色土20%、10YR6/6明黄褐色土10%、中撒軽石筋状5%、千曳軽石2~5mm2% |
| 9層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR8/6黄橙色土5%、炭化物2~5mm1% |
| 10層 | 10YR6/4にぶい黄橙色土 | 10YR8/6黄橙色土ブロック状10%、10YR7/3にぶい黄褐色粘土ブロック状3% |
| 11層 | 10YR4/1褐灰色土 | 10YR6/6明黄褐色土10%、炭化物5mm1% |
| 12層 | 10YR8/6黄褐色土 | |
| 13層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR8/6黄褐色土5%、10YR6/6明黄褐色土2% |

第161号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR5/3にぶい黄褐色土 | 中撒軽石1%以下 |
| 2層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 10YR5/3にぶい黄褐色土10%、千曳軽石5~10mm1%、中撒軽石1% |
| 3層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、中撒軽石1%、炭化物1~5mm1% |
| 4層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土30%、千曳軽石2~5mm1%、中撒軽石1%、炭化物5~30mm1% |
| 5層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、中撒軽石1%、炭化物5~10mm1% |
| 6層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR8/6黄褐色土30% |
| 7層 | 10YR3/2黒褐色土 | 焼土5mm1%、中撒軽石1%以下、炭化物5mm1%以下 |
| 8層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR3/2黒褐色土5% |

図184 土坑

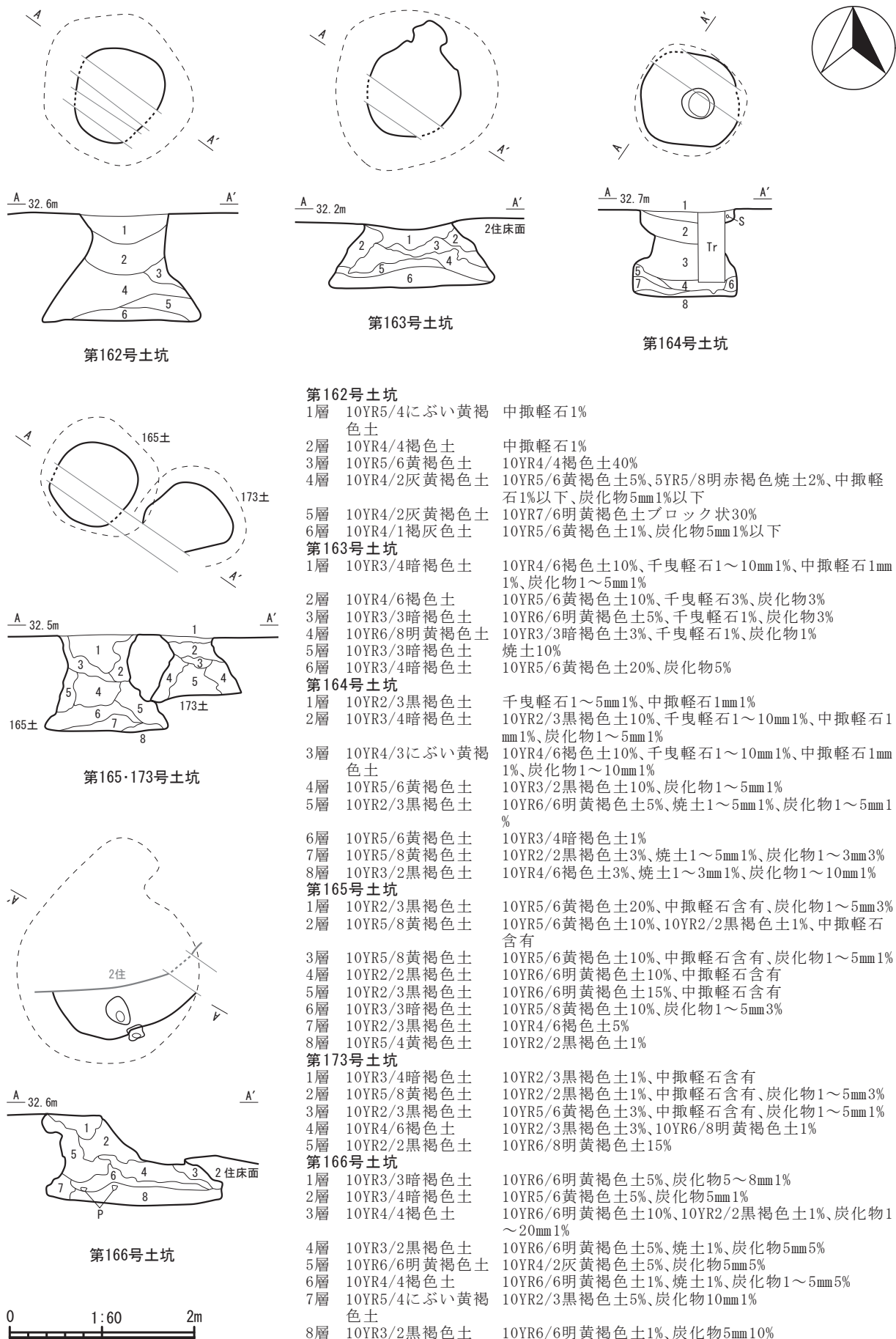


図 185 土坑

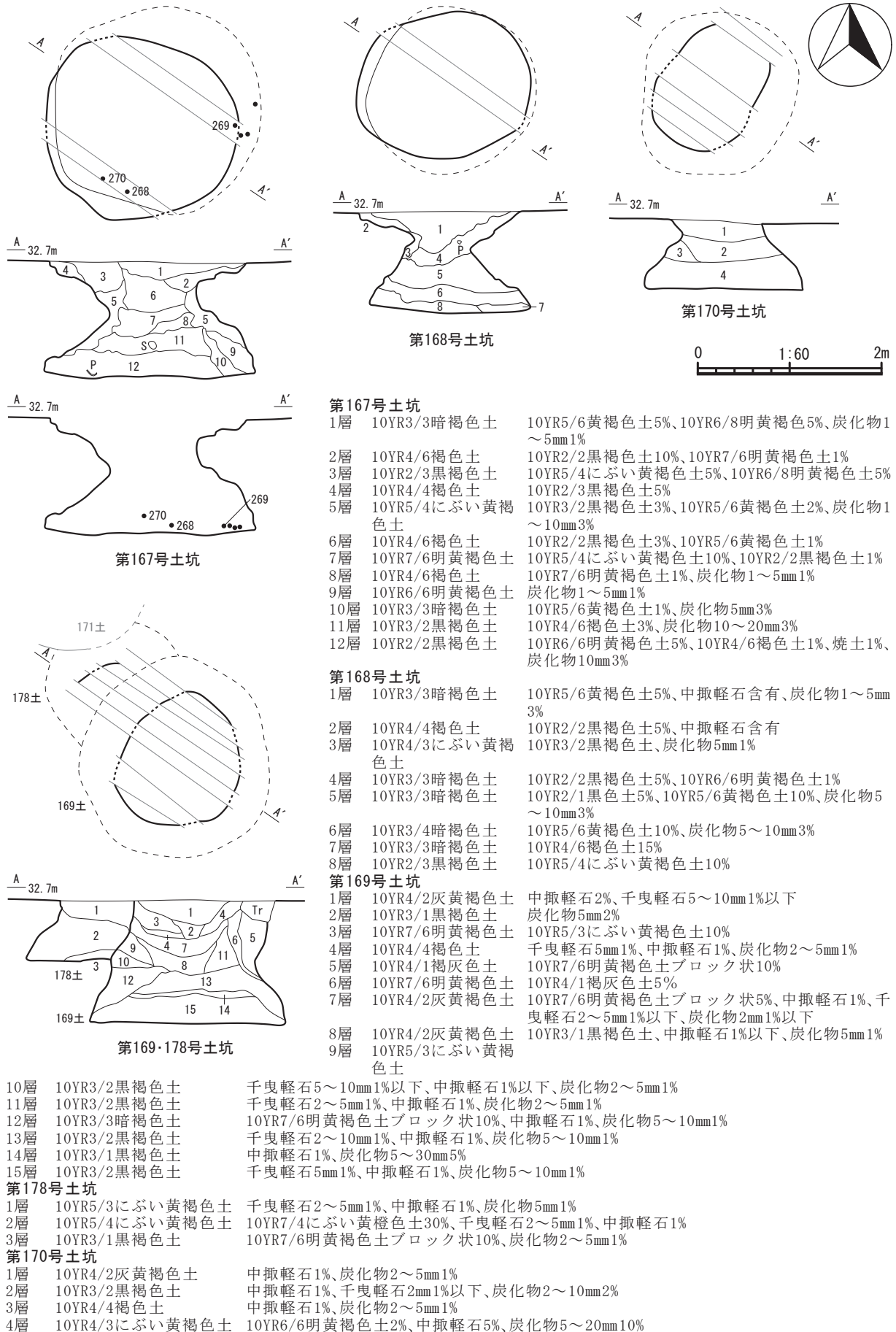
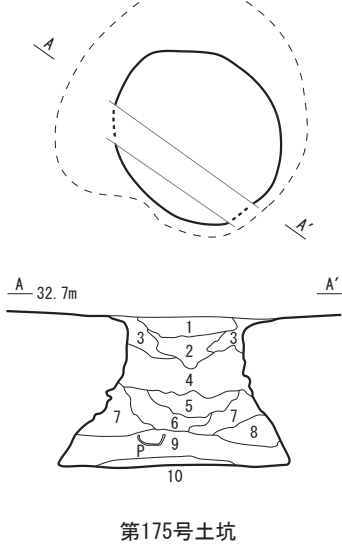
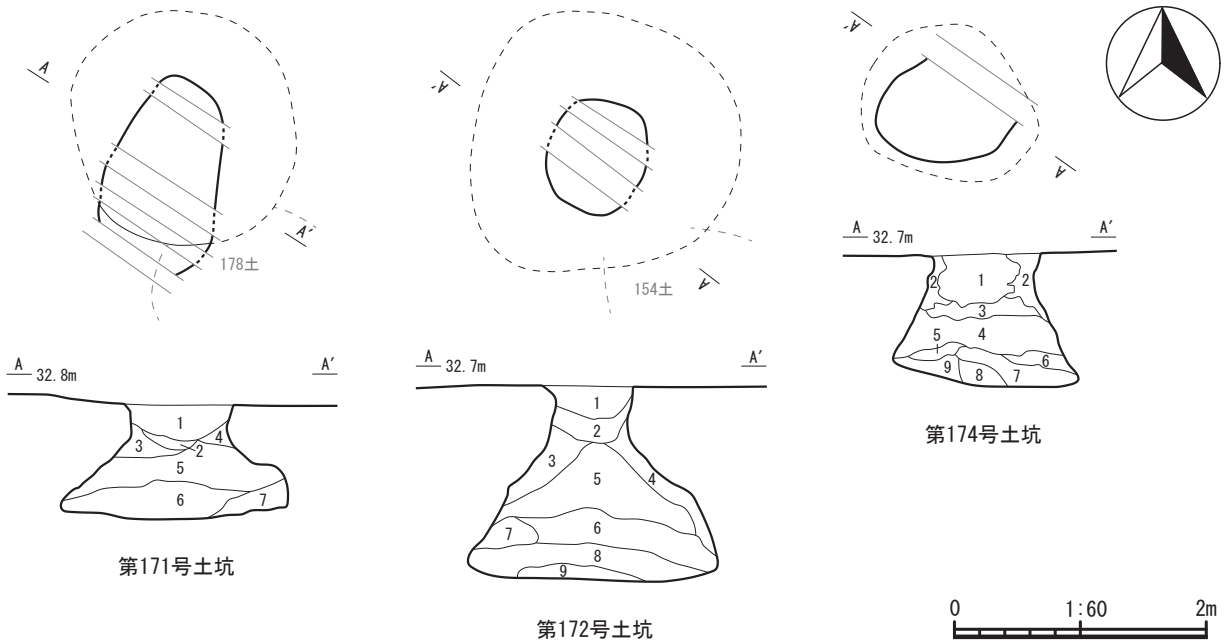


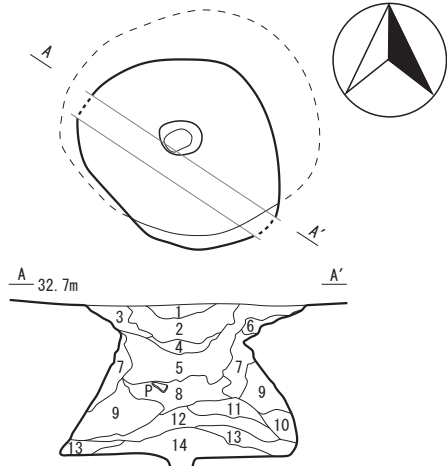
図 186 土坑



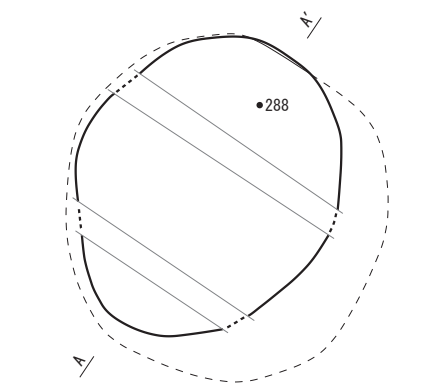
- 第175号土坑**
- 1層 10YR7/6明黄褐色土
 - 2層 10YR6/6明黄褐色土
 - 3層 10YR5/4にぶい黄褐色土
 - 4層 2.5Y7/6明黄褐色土
 - 5層 10YR2/2黒褐色土
 - 6層 10YR3/2黒褐色土
 - 7層 10YR3/2黒褐色土
 - 8層 10YR7/6明黄褐色土
 - 9層 10YR3/1黒褐色土
 - 10層 10YR8/3浅黄橙色土

- 第171号土坑**
- 1層 10YR5/4にぶい黄褐色土 中礫軽石1%、千曳軽石3mm1%以下、炭化物3mm1%以下
 - 2層 10YR3/1黒褐色土 中礫軽石1%、炭化物2~10mm1%
 - 3層 10YR4/2灰黄褐色土 10YR6/6明黄褐色土10%、中礫軽石1%、千曳軽石5mm1%以下、炭化物3mm1%以下
 - 4層 10YR5/4にぶい黄褐色土 10YR6/6明黄褐色土10%、中礫軽石1%以下
 - 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR6/6明黄褐色土ブロック状20%、千曳軽石2~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物5~10mm2%
 - 6層 10YR3/1黒褐色土 10YR6/6明黄褐色土ブロック状20%、中礫軽石2%、千曳軽石5mm1%、炭化物5~20mm5%
 - 7層 10YR7/6明黄褐色土 10YR4/3にぶい黄褐色土3%、千曳軽石10~30mm1%
- 第172号土坑**
- 1層 10YR4/2灰黄褐色土 千曳軽石3mm1%以下、中礫軽石1%以下、炭化物5mm1%
 - 2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 千曳軽石5mm1%以下、中礫軽石1%以下、炭化物5mm1%
 - 3層 10YR4/4褐色土 千曳軽石3mm1%以下、中礫軽石1%以下、炭化物5mm1%
 - 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR7/3にぶい黄褐色土ブロック状1%、千曳軽石5mm1%、中礫軽石1%以下、炭化物5~10mm1%
 - 5層 10YR7/3にぶい黄褐色土 10YR4/3にぶい黄褐色土30%、千曳軽石5~10mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~5mm1%
 - 6層 10YR3/2黒褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状10%、10YR3/1黒褐色土5%、炭化物5~10mm1%
 - 7層 10YR5/6黄褐色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、炭化物10~30mm2%

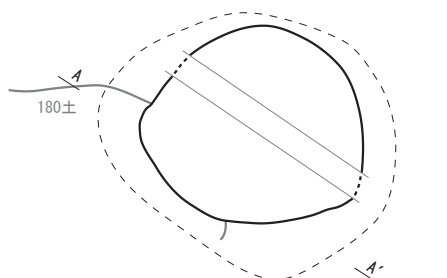
図 187 土坑



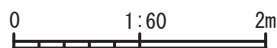
第176号土坑



第177号土坑



第179号土坑



第176号土坑

- | | | |
|-----|----------------|---|
| 1層 | 10YR7/6明黄褐色土 | 10YR8/6黄橙色土5% |
| 2層 | 10YR6/6明黄褐色土 | 10YR3/2黑褐色土5% |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR8/6黄橙色土1% |
| 4層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR8/6黄橙色土5%、炭化物5mm1% |
| 5層 | 10YR2/2黑褐色土 | 10YR8/6黄橙色土10% |
| 6層 | 10YR7/4にぶい黄褐色土 | 10YR2/3黑褐色土5% |
| 7層 | 10YR2/3黑褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土10%、炭化物5~10mm3% |
| 8層 | 10YR2/2黑褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、10YR7/6明黄褐色土3%、炭化物1~3mm1% |
| 9層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土10%、10YR7/6明黄褐色土5% |
| 10層 | 10YR2/2黑褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土5% |
| 11層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土10%、炭化物5mm1% |
| 12層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土5%、10YR2/2黑褐色土1% |
| 13層 | 2.5Y8/6黄色土 | |
| 14層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | |

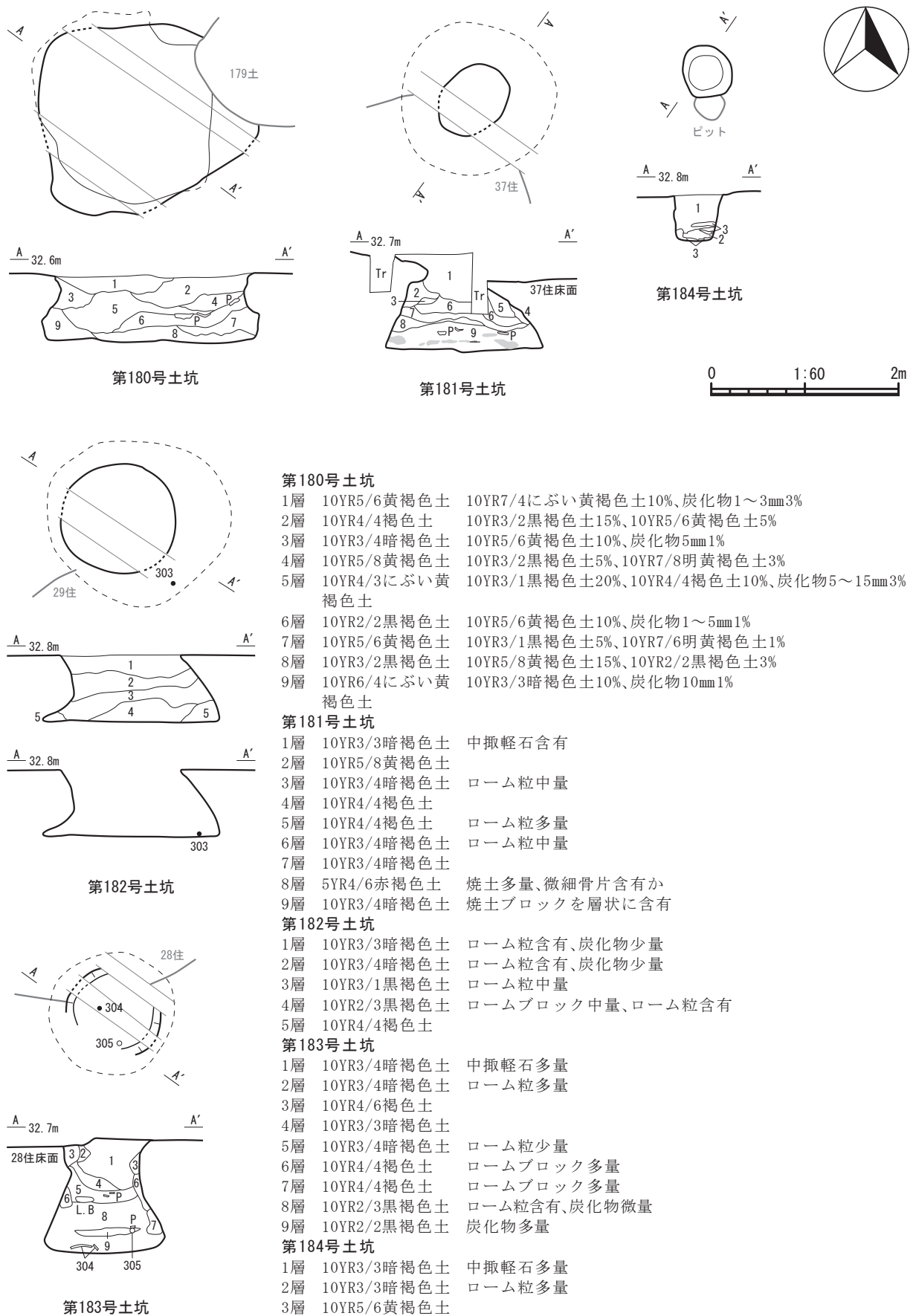
第177号土坑

- | | | |
|-----|----------------|---|
| 1層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR5/3にぶい黄褐色土5%、10YR5/8黄褐色土3%、中礫軽石含有、炭化物1~10mm1% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土1%、中礫軽石含有 |
| 3層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR3/2黑褐色土5%、10YR5/8黄褐色土3%、中礫軽石含有 |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、炭化物10mm3% |
| 5層 | 10YR2/2黑褐色土 | 10YR4/6褐色土5%、中礫軽石含有、炭化物1~5mm1% |
| 6層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR3/2黑褐色土10% |
| 7層 | 10YR2/2黑褐色土 | 10YR3/3暗褐色土15%、10YR5/8黄褐色土10%、炭化物1~30mm10% |
| 8層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR5/6黄褐色土5%、2.5Y6/6明黄褐色土1%、炭化物5mm1% |
| 9層 | 10YR6/6明黄褐色土 | 10YR3/2黑褐色土20%、炭化物5~10mm1% |
| 10層 | 2.5Y7/4浅黄色土 | 10YR6/4にぶい黄褐色土5%、10YR6/6明黄褐色土3% |
| 11層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR5/6黄褐色土1%、炭化物5mm1% |

第179号土坑

- | | | |
|-----|----------------|---|
| 1層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土5%、10YR7/6明黄褐色土1% |
| 2層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR5/6黄褐色土15%、炭化物5mm1% |
| 3層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR3/1黑褐色土10%、10YR6/8明黄褐色土1% |
| 4層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土5%、炭化物5~10mm3% |
| 5層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR2/2黑褐色土10%、10YR6/8明黄褐色土5%、炭化物1~10mm1% |
| 6層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土5%、炭化物3~5mm1% |
| 7層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR2/2黑褐色土1% |
| 8層 | 10YR3/1黑褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土5%、10YR6/4にぶい黄褐色土1% |
| 9層 | 10YR5/6黄褐色土 | 炭化物1~5mm1% |
| 10層 | 10YR6/4にぶい黄褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土10%、炭化物5~10mm1% |
| 11層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%、10YR6/8明黄褐色土5% |
| 12層 | 10YR3/3暗褐色土 | 5Y6/6オリーブ色土10% |
| 13層 | 10YR6/4にぶい黄褐色土 | 10YR2/2黑褐色土5% |
| 14層 | 10YR7/6明黄褐色土 | 5Y6/6オリーブ色土5% |
| 15層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR6/8明黄褐色土10%、炭化物5~10mm5% |
| 16層 | 10YR6/6明黄褐色土 | 炭化物5mm5% |
| 17層 | 10YR2/2黑褐色土 | 10YR6/6明黄褐色土10%、炭化物5~10mm5% |
| 18層 | 10YR3/2黑褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10% |

図 188 土坑



第180号土坑

- 1層 10YR5/6黄褐色土 10YR7/4にぶい黄褐色土10%、炭化物1~3mm3%
- 2層 10YR4/4褐色土 10YR3/2黒褐色土15%、10YR5/6黄褐色土5%
- 3層 10YR3/4暗褐色土 10YR5/6黄褐色土10%、炭化物5mm1%
- 4層 10YR5/8黄褐色土 10YR3/2黒褐色土5%、10YR7/8明黄褐色土3%
- 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10YR3/1黒褐色土20%、10YR4/4褐色土10%、炭化物5~15mm3%
- 6層 10YR2/2黒褐色土 10YR5/6黄褐色土10%、炭化物1~5mm1%
- 7層 10YR5/6黄褐色土 10YR3/1黒褐色土5%、10YR7/6明黄褐色土1%
- 8層 10YR3/2黒褐色土 10YR5/8黄褐色土15%、10YR2/2黒褐色土3%
- 9層 10YR6/4にぶい黄褐色土 10YR3/3暗褐色土10%、炭化物10mm1%

第181号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 中礫軽石含有
- 2層 10YR5/8黄褐色土
- 3層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒中量
- 4層 10YR4/4褐色土
- 5層 10YR4/4褐色土 ローム粒多量
- 6層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒中量
- 7層 10YR3/4暗褐色土
- 8層 5YR4/6赤褐色土 焼土多量、微細骨片含有か
- 9層 10YR3/4暗褐色土 焼土ブロックを層状に含有

第182号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒含有、炭化物少量
- 2層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒含有、炭化物少量
- 3層 10YR3/1黒褐色土 ローム粒中量
- 4層 10YR2/3黒褐色土 ロームブロック中量、ローム粒含有
- 5層 10YR4/4褐色土

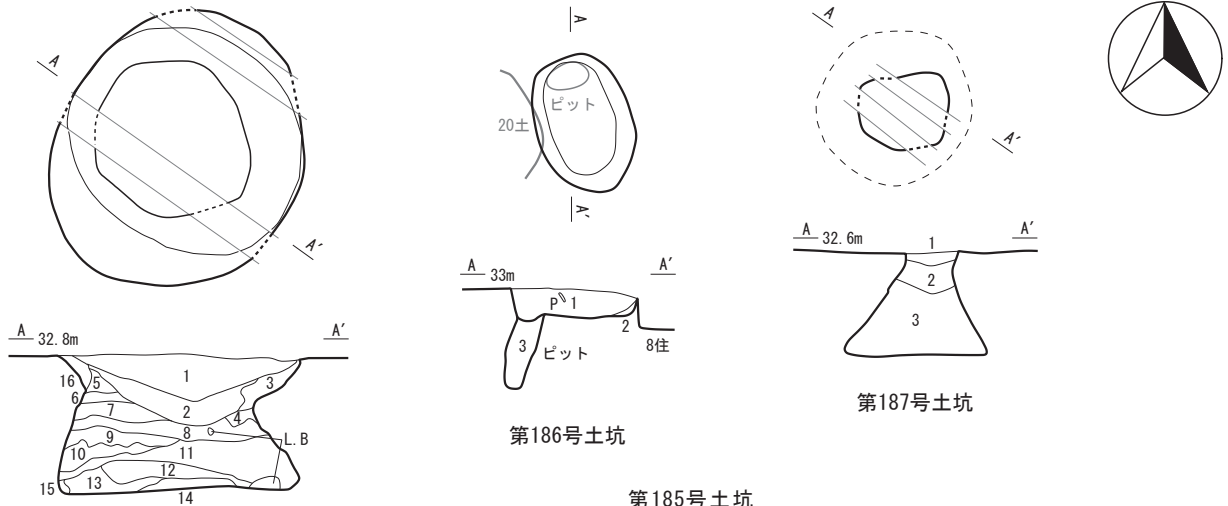
第183号土坑

- 1層 10YR3/4暗褐色土 中礫軽石多量
- 2層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒多量
- 3層 10YR4/6褐色土
- 4層 10YR3/3暗褐色土
- 5層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 6層 10YR4/4褐色土 ロームブロック多量
- 7層 10YR4/4褐色土 ロームブロック多量
- 8層 10YR2/3黒褐色土 ローム粒含有、炭化物微量
- 9層 10YR2/2黒褐色土 炭化物多量

第184号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 中礫軽石多量
- 2層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒多量
- 3層 10YR5/6黄褐色土

図 189 土坑



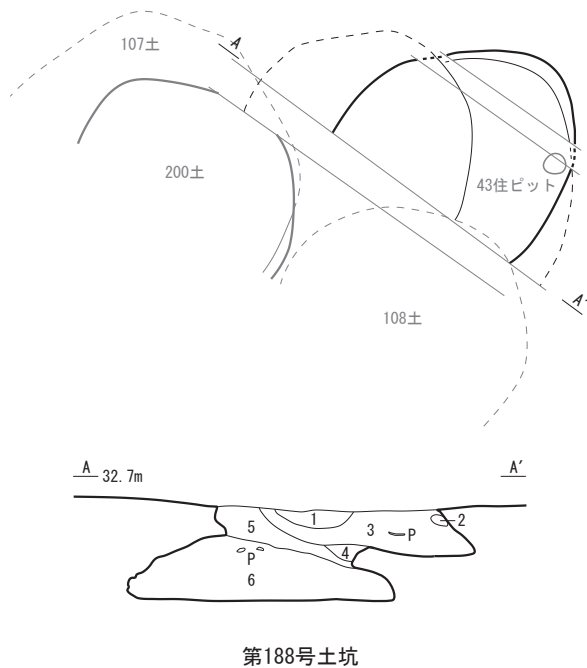
第185号土坑

第186号土坑

第187号土坑

第185号土坑

- | | | |
|-----|--------------|---|
| 1層 | 10YR2/3黒褐色土 | V層ローム土粒1~12mm1%、軽石粒0.5~22mm3%、炭化粒1~8mm1%、土器片含有 |
| 2層 | 10YR2/2黒褐色土 | V層ローム土粒1~7mm5%、軽石粒0.5~20mm5%、炭化粒1~8mm1%、土器片含有 |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | V層ローム土粒3~20mm15%、軽石粒0.5~32mm2%、炭化粒1~3mm1% |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | V層ローム土粒4~15mm25%、軽石粒0.5~12mm1%、炭化粒1~3mm1% |
| 5層 | 10YR2/3黒褐色土 | V層ローム土粒1~8mm3%、軽石粒0.5~10mm3%、炭化粒1~2mm1% |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | V層ローム土粒3~16mm25%、軽石粒0.5~6mm1%、炭化粒1~3mm1%以下 |
| 7層 | 10YR2/3黒褐色土 | 2層との境界と壁際でV層ローム土粒25%となる以外は5層と同質 |
| 8層 | 10YR4/4褐色土 | V層ローム土粒3~20mm15%、軽石粒0.5~3mm1%、炭化粒3~20mm2% |
| 9層 | 10YR2/3黒褐色土 | V層ローム土粒5~30mm10%、軽石粒0.5~5mm1%、炭化粒1~3mm1% |
| 10層 | 10YR4/6褐色土 | V層シルト土粒5~120mm50%、軽石粒0.5~20mm1%以下、炭化粒5~15mm1%以下 |
| 11層 | 10YR2/3黒褐色土 | V層ローム・シルト土粒5~50mm15%、軽石粒0.5~2mm1%、炭化粒5~20mm2% |
| 12層 | 10YR4/6褐色土 | V層シルト土粒40%、VI層ローム土塊15%、軽石粒0.5~2mm1%以下 |
| 13層 | 10YR4/6褐色土 | VI層ローム土塊20%、軽石粒0.5~2mm1%以下 |
| 14層 | 10YR2/3黒褐色土 | V層シルト土粒3~25mm3%、軽石粒0.5~1mm1%以下、炭化物粒2~5mm3% |
| 15層 | 10YR3/4暗褐色土 | 11層と同質 |
| 16層 | 10YR6/6明黄褐色土 | V層ローム土塊からなる壁面崩落層
土
軽石粒は10YR7/4にぶい黄褐色 |



第188号土坑

第186号土坑

- | | | |
|----|-------------|--|
| 1層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR8/3浅黄橙色土1%、炭化物1~7mm1% |
| 2層 | 10YR5/8黄褐色土 | 10YR7/6明黄褐色土1%、5YR4/8赤褐色土焼土1~5mm1%、炭化物5~10mm1% |
| 3層 | 10YR5/8黄褐色土 | (ピット) |

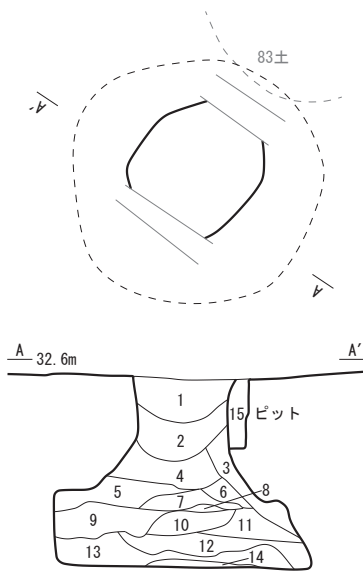
第187号土坑

- | | | |
|----|----------------|------------------------------|
| 1層 | 10YR5/3にぶい黄褐色土 | 炭化物2~5mm1% |
| 2層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 炭化物2~5mm1% |
| 3層 | 10YR3/2黒褐色土 | 焼土5mm1%、千曳軽石2~5mm1%、炭化物5mm2% |

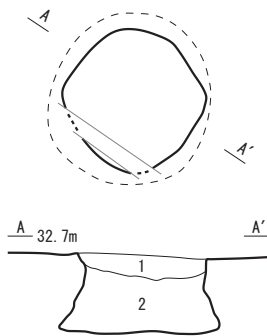
第188号土坑

- | | | |
|----|--------------|---|
| 1層 | 10YR3/1黒褐色土 | 千曳軽石2~5mm2%、中掀軽石1%、炭化物5mm1% |
| 2層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR7/6明黄褐色土10%、炭化物5mm1% |
| 3層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR2/1黒色土10%、10YR5/6明赤褐色焼土5%、中掀軽石3%、千曳軽石2~5mm2%、炭化物2~5mm5% |
| 4層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | |
| 5層 | 10YR3/2黒褐色土 | |
| 6層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状15%、焼土2~20mm3%、中掀軽石5%、千曳軽石2~5mm3%、炭化物2~10mm3% |

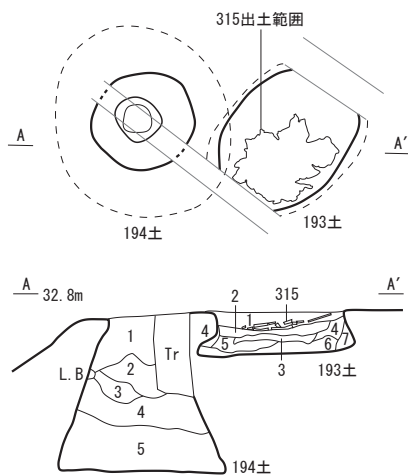
図190 土坑



第189号土坑



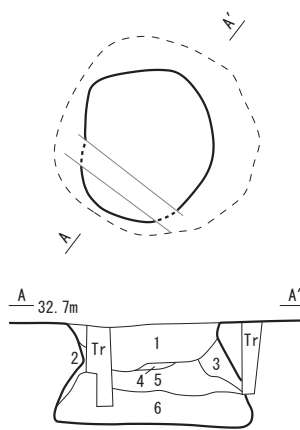
第192号土坑



第193・194号土坑

第193号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR3/4暗褐色土 焼土ブロック含有
- 3層 10YR4/4褐色土 暗褐色土含有
- 4層 10YR3/4暗褐色土 ローム粒少量
- 5層 10YR3/3暗褐色土 ロームブロック微量、中礫軽石中量
- 6層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量



第190号土坑

第189号土坑

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土 千曳軽石2~10mm2%、中礫軽石2%、炭化物1mm1%
- 2層 10YR3/2黒褐色土 千曳軽石5~40mm2%、中礫軽石1%、炭化物5~15mm2%
- 3層 10YR3/1黒褐色土 10YR4/6褐色土ブロック状10%、千曳軽石2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物2~10mm2%
- 4層 10YR4/2灰黄褐色土 千曳軽石2~20mm2%、中礫軽石1%、炭化物5mm2%
- 5層 10YR3/2黒褐色土 千曳軽石2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物5~10mm1%
- 6層 10YR4/2灰黄褐色土 焼土10mm2%、中礫軽石1%、炭化物5mm1%
- 7層 10YR4/1褐灰色土 千曳軽石5mm1%、中礫軽石2%、炭化物5~20mm5%
- 8層 10YR4/2灰黄褐色土 中礫軽石1%
- 9層 10YR5/3にぶい黄褐色土 千曳軽石2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物5mm1%
- 10層 10YR3/1黒褐色土 中礫軽石2%、炭化物5~10mm10%
- 11層 10YR5/2灰黄褐色土 中礫軽石1%
- 12層 10YR3/2黒褐色土 中礫軽石1%、炭化物2~5mm2%
- 13層 10YR7/4にぶい黄橙色土 10YR3/2黒褐色土15%
- 14層 10YR3/1黒褐色土 中礫軽石1%
- 15層 10YR4/2灰黄褐色土 千曳軽石3mm1%、中礫軽石1%(ピット)

第190号土坑

- 1層 10YR3/1黒褐色土 中礫軽石2%、千曳軽石2~5mm1%、炭化物2~10mm1%
- 2層 10YR5/3にぶい黄褐色土 中礫軽石2%、千曳軽石2~5mm1%
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 5YR5/6明赤褐色焼土30%、千曳軽石5mm1%、中礫軽石1%
- 4層 10YR3/1黒褐色土 10YR3/1黒褐色土10%、焼土2~10mm2%、中礫軽石5%、千曳軽石2~5mm2%
- 5層 10YR2/1黒色土 中礫軽石2%、千曳軽石2~5mm1%
- 6層 10YR3/2黒褐色土

第191号土坑

- 1層 10YR3/2黒褐色土 千曳軽石2~5mm1%、中礫軽石1%、炭化物2mm1%
- 2層 10YR7/4にぶい黄橙色土 千曳軽石2~20mm1%
- 3層 10YR3/2黒褐色土 千曳軽石2~5mm1%
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 千曳軽石2~5mm1%、炭化物2mm1%
- 5層 10YR5/3にぶい黄褐色土 炭化物2~5mm1%
- 6層 10YR4/2灰黄褐色土 10YR5/6黄褐色土30%
- 7層 10YR3/2黒褐色土 中礫軽石3%、千曳軽石2~10mm1%、炭化物2~5mm2%

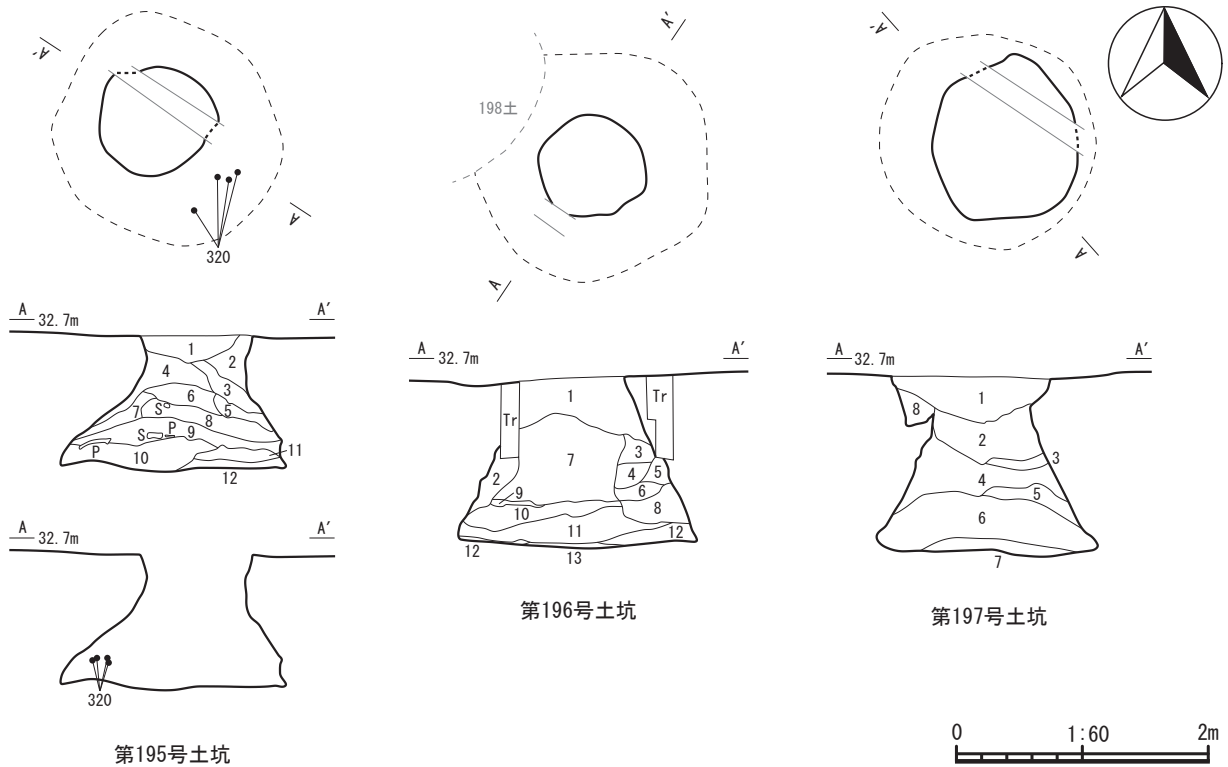
第192号土坑

- 1層 10YR4/2灰黄褐色土 10YR6/6明黄褐色土40%、千曳軽石2~20mm1%、中礫軽石1%
- 2層 10YR3/1黒褐色土 10YR6/6明黄褐色土ブロック状10%、焼土5mm1%、中礫軽石5%、千曳軽石2~5mm2%、炭化物2~5mm2%
- 7層 10YR4/6褐色土

第194号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒多量
- 2層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量
- 3層 10YR3/3暗褐色土 ローム粒微量
- 4層 10YR3/4暗褐色土 焼土粒含有、炭化物微量
- 5層 10YR3/4暗褐色土 焼土粒含有、炭化物微量

図191 土坑



第195号土坑

- 1層 10YR3/2黒褐色土
- 2層 10YR5/4にぶい黄褐色土
- 3層 10YR4/2灰黄褐色土
- 4層 10YR3/1黒褐色土
- 5層 10YR5/4にぶい黄褐色土
- 6層 10YR3/2黒褐色土
- 7層 10YR4/1褐灰色土
- 8層 10YR4/1褐灰色土
- 9層 10YR3/2黒褐色土
- 10層 10YR3/1黒褐色土
- 11層 10YR5/4にぶい黄褐色土
- 12層 10YR5/1褐灰色土

- 中撒軽石5%、千曳軽石2~5mm1%
- 10YR3/2黒褐色土30%、千曳軽石2~5mm1%、中撒軽石1%
- 10YR5/4にぶい黄褐色土10%、千曳軽石2mm1%、中撒軽石1%
- 中撒軽石5%、千曳軽石2~5mm2%、炭化物3mm1%
- 千曳軽石2~5mm1%、中撒軽石1%、炭化物5~10mm1%
- 中撒軽石1%、炭化物10mm1%
- 10YR5/4にぶい黄褐色土20%、中撒軽石2%、千曳軽石2~5mm1%、炭化物2~5mm2%
- 10YR8/4浅黄橙色土ブロック状10%、中撒軽石5%、千曳軽石2~5mm1%、炭化物5mm2%
- 10YR8/4浅黄橙色土ブロック状5%、中撒軽石2%、千曳軽石2~5mm1%、炭化物5mm1%
- 10YR8/4浅黄橙色土40%、10YR4/1褐灰色土2%
- 10YR4/2灰黄褐色土20%

第196号土坑

- 1層 10YR3/3暗褐色土
- 2層 10YR3/2黒褐色土
- 3層 10YR3/3暗褐色土
- 4層 10YR3/2黒褐色土
- 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 6層 10YR8/4浅黄橙色土
- 7層 10YR8/4浅黄橙色土
- 8層 10YR4/2灰黄褐色土
- 9層 10YR2/1黒色土
- 10層 10YR6/6明黄褐色土
- 11層 10YR3/2黒褐色土
- 12層 10YR5/3にぶい黄褐色土
- 13層 10YR3/1黒褐色土

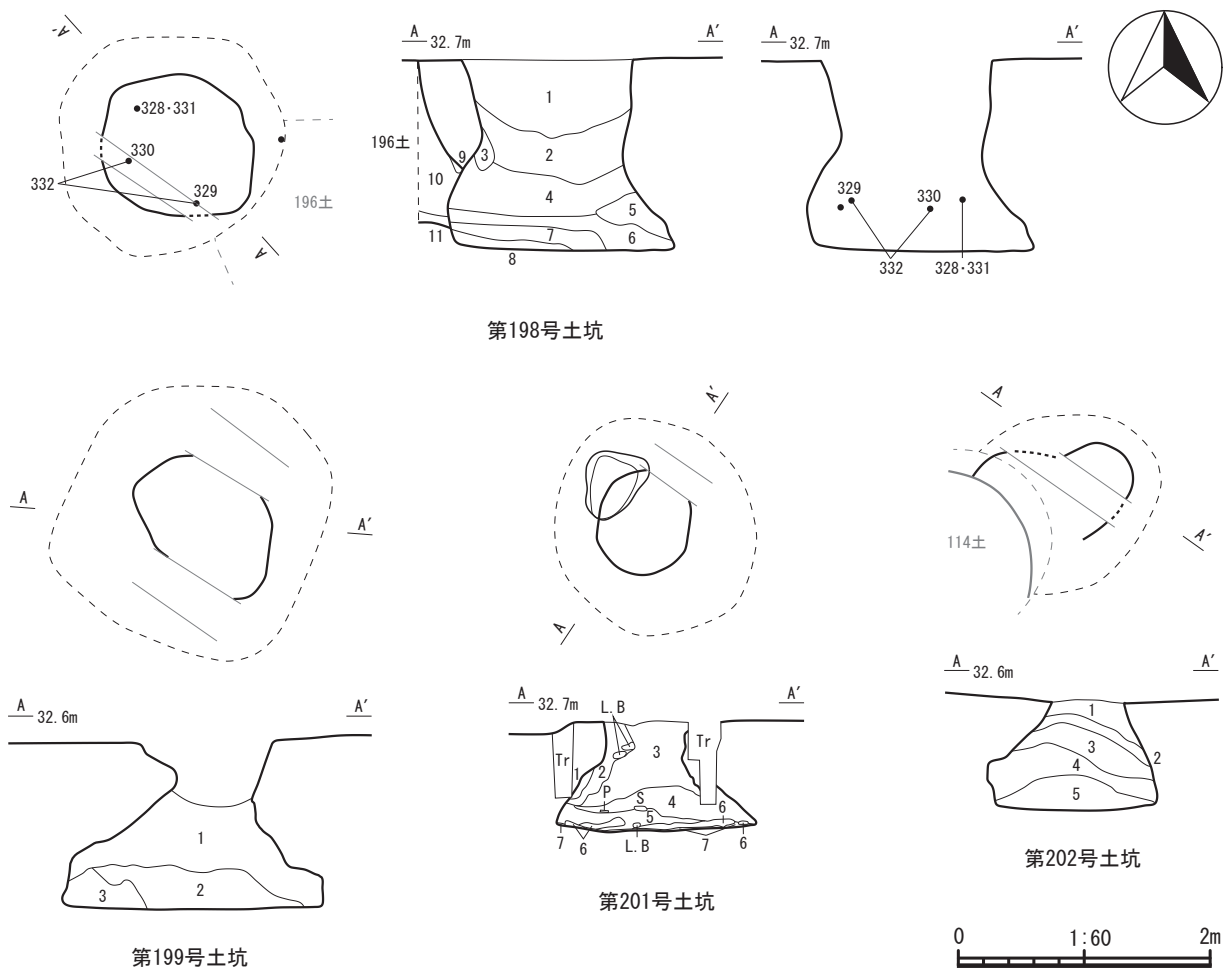
- 10YR3/1黒褐色土10%、中撒軽石5%、千曳軽石5~30mm2%、炭化物2~5mm1%
- 10YR8/4浅黄橙色土20%
- 10YR4/6褐色土20%、千曳軽石2~5mm2%、中撒軽石2%、炭化物2~5mm1%
- 中撒軽石5%、千曳軽石5mm1%、炭化物2~5mm1%
- 中撒軽石5%、千曳軽石2~5mm1%
- 千曳軽石2~5mm2%
- 千曳軽石5~30mm5%
- 中撒軽石1%
- 中撒軽石5%、炭化物5~20mm2%

第197号土坑

- 1層 10YR5/3にぶい黄褐色土
- 2層 10YR4/3にぶい黄褐色土
- 3層 10YR4/1褐灰色土
- 4層 10YR4/4褐色土
- 5層 10YR3/1黒褐色土
- 6層 10YR3/2黒褐色土
- 7層 10YR3/1黒褐色土
- 8層 10YR4/2灰黄褐色土

- 中撒軽石2%、千曳軽石2~5mm1%
- 焼土5mm1%、千曳軽石5~20mm2%、中撒軽石2%
- 中撒軽石2%
- 10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、中撒軽石2%、千曳軽石5~10mm1%
- 中撒軽石2%
- 中撒軽石2%、千曳軽石2~5mm1%
- 10YR6/6明黄褐色土30%、千曳軽石2mm1%(ピットの可能性あり)

図 192 土坑



第198号土坑

- | | | |
|-----|--------------|---|
| 1層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 10YR8/4浅黄橙色土ブロック状20%、5YR6/6橙色焼土筋状10%、千曳軽石2~5mm2%、中掀軽石2%、炭化物2~10mm2% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%、5YR4/6赤褐色焼土5%、中掀軽石2%、千曳軽石2~10mm1%、炭化物2~10mm筋状5% |
| 3層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR4/2灰黄褐色土5% |
| 4層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状20%、中掀軽石5%、千曳軽石2~10mm2%、炭化物2~10mm2% |
| 5層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR4/2灰黄褐色土筋状10% |
| 6層 | 10YR3/1黒褐色土 | 中掀軽石5% |
| 7層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR4/1褐灰色土 |
| 8層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状5% |
| 9層 | 10YR8/4浅黄橙色土 | 10YR4/1褐灰色土筋状10%(196土) |
| 10層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状1%、千曳軽石5~10mm1%、中掀軽石1%(196土) |
| 11層 | 10YR8/4浅黄橙色土 | (196土) |

第199号土坑

- | | | |
|----|--------------|---|
| 1層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、中掀軽石5%、千曳軽石5~30mm2%、炭化物5mm2% |
| 2層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、中掀軽石5%、千曳軽石2~5mm2%、炭化物10mm5% |
| 3層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR8/3浅黄橙色土ブロック状5% |

第201号土坑

- | | | |
|----|-------------|--------------|
| 1層 | 10YR5/6黄褐色土 | ローム粒多量 |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 中掀軽石多量 |
| 3層 | 10YR3/3暗褐色土 | ローム粒少量 |
| 4層 | 10YR2/3黒褐色土 | ローム粒少量、炭化物中量 |
| 5層 | 10YR3/3暗褐色土 | |
| 6層 | 10YR4/6褐色土 | |
| 7層 | 10YR3/3暗褐色土 | |

第202号土坑

- | | | |
|----|----------------|--|
| 1層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 千曳軽石2~5mm2%、中掀軽石2% |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | 千曳軽石2~5mm2%、中掀軽石2%、炭化物5mm2% |
| 3層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR8/3浅黄橙色土ブロック状20%、千曳軽石2~5mm2%、中掀軽石2%、炭化物2~5mm2% |
| 4層 | 10YR8/3浅黄橙色土 | 千曳軽石2~30mm10% |
| 5層 | 10YR3/1黒褐色土 | |

図 193 土坑



図194 土坑

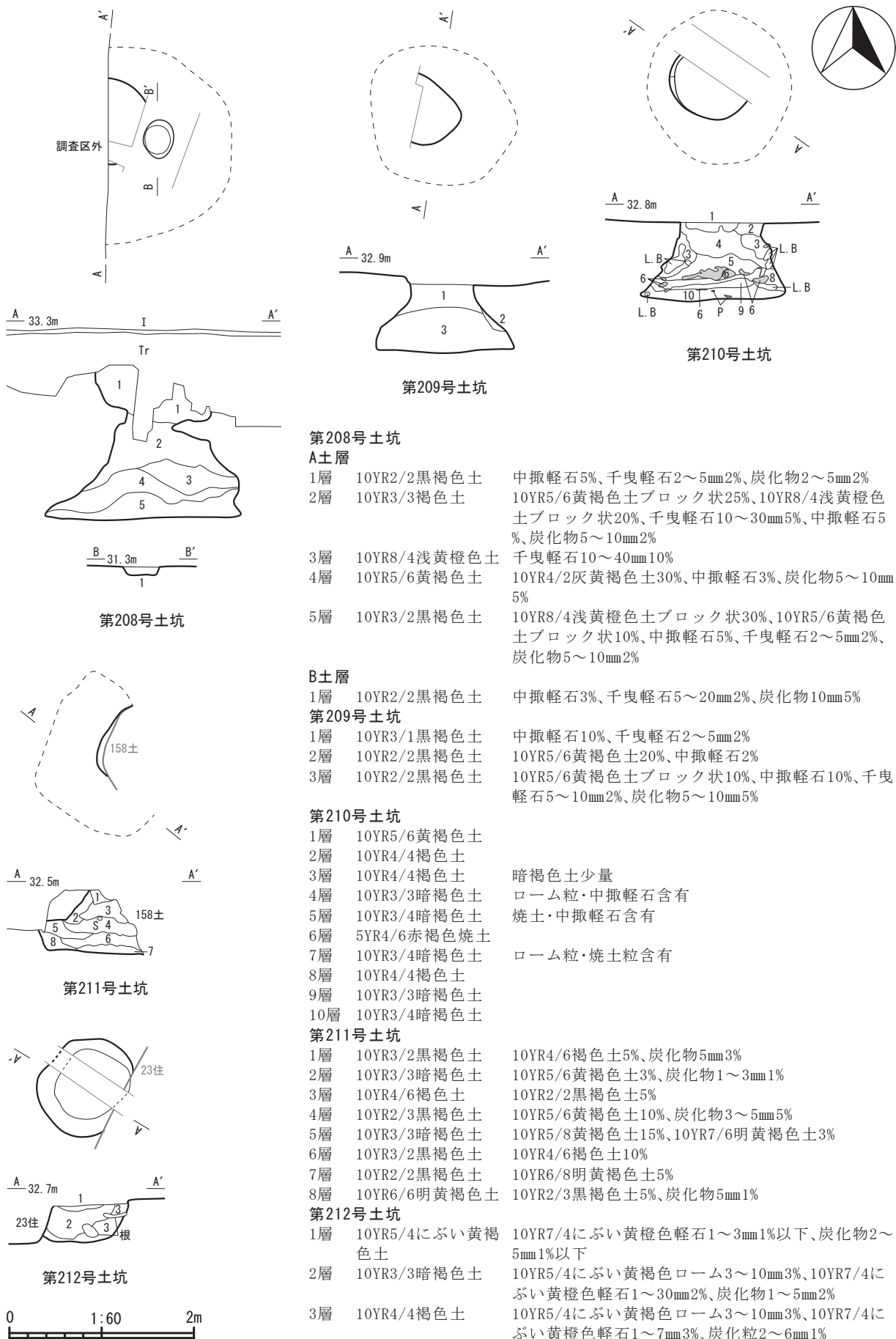
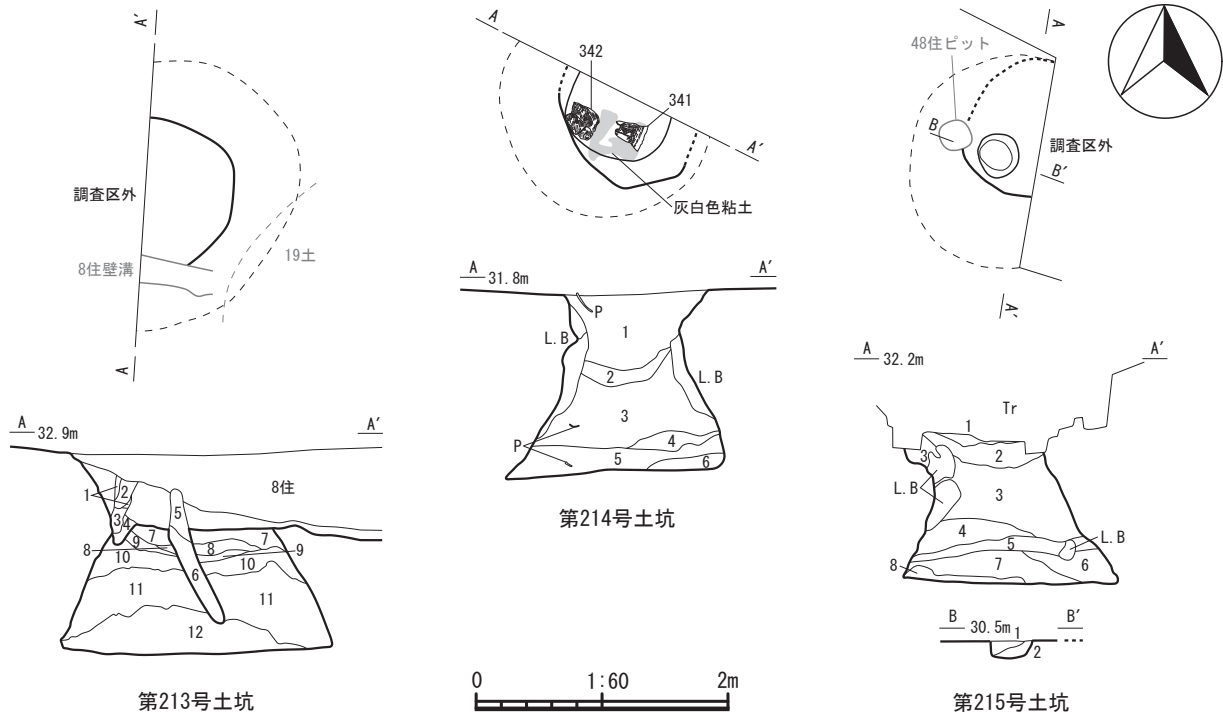


図 195 土坑



第213号土坑

- | | | |
|-----|----------------|--|
| 1層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%(8住) |
| 2層 | 10YR3/3暗褐色土 | (8住) |
| 3層 | 10YR4/4褐色土 | 千曳軽石2~5mm1%、中掀軽石1%(8住壁溝) |
| 4層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 2. 5Y7/4浅黄色土ブロック状10%(8住壁溝) |
| 5層 | 10YR3/1黒褐色土 | 10YR4/2灰黄褐色土30%、千曳軽石2mm1%、中掀軽石1%、炭化物2mm1%(8住ピット) |
| 6層 | 10YR3/3暗褐色土 | 中掀軽石2%(8住ピット) |
| 7層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR8/4浅黄橙色土ブロック状30%、中掀軽石2%、千曳軽石2~5mm1% |
| 8層 | 10YR3/2黒褐色土 | 中掀軽石5%、炭化物2~5mm1% |
| 9層 | 10YR4/2灰黄褐色土 | 10YR4/4褐色土ブロック状10%、中掀軽石1% |
| 10層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR4/4褐色土10%、中掀軽石5%、千曳軽石5~10mm1%、炭化物5~10mm1% |
| 11層 | 10YR7/6明黄褐色土 | 10YR3/1黒褐色土筋状30%、10YR4/4褐色土10%、中掀軽石5%、千曳軽石2~10mm2% |
| 12層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR4/4褐色土ブロック状10%、中掀軽石5%、千曳軽石2~5mm2% |

第214号土坑

- | | | |
|----|-------------|---|
| 1層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色ローム3~90mm3%、10YR7/6明黄褐色砂質シルト3~18mm1%、炭化粒(角状)2~17mm3% |
| 2層 | 10YR3/4暗褐色土 | 炭化物(角状)2~37mm10%混入 |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 1層と同質 |
| 4層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR7/6明黄褐色砂質シルト3~26mm15%、10YR4/6褐色ローム3~20mm7%、炭化物(角状)2~5mm2% |
| 5層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR7/6明黄褐色砂質シルト3~26mm2%、10YR4/6褐色ローム3~8mm2%、炭化物(角状)2~10mm5% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR5/8黄褐色ローム3~14mm25%、炭化粒2~8mm2% |
| 7層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色ローム粒2~7mm15%、炭化物2~10mm2%混入 |

第215号土坑

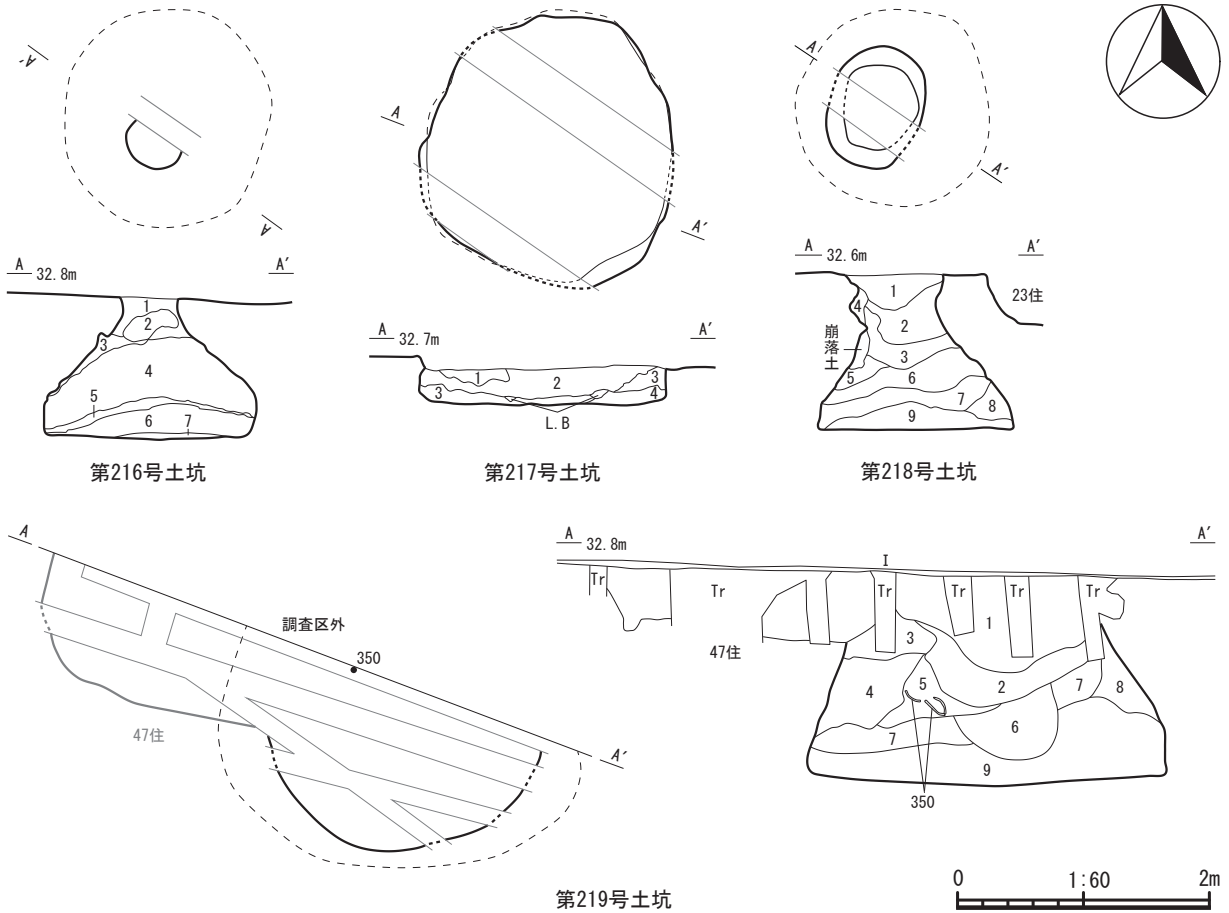
A土層

- | | | |
|----|----------------|--|
| 1層 | 10YR6/8黄褐色土 | V層10YR6/8明黄褐色砂質シルト3~70mm50%以上、48住貼床層に似る |
| 2層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR4/6褐色ロームと10YR6/8明褐色砂質シルトの5~20mmの互相構造あり、炭化粒2~8mm2% |
| 3層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色ローム粒3~35mm15%、10YR6/8明褐色軽石3~50mm5%、炭化物2~16mm2% |
| 4層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色ローム粒3~32mm25%、10YR6/8明褐色軽石3~30mm20%(上位で互相を形成)、炭化粒2~15mm1% |
| 5層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR4/6褐色ローム粒3~85mm20%、炭化粒3~27mm1% |
| 6層 | 10YR3/4暗褐色土 | 10YR4/6褐色ローム粒2~70mm15%、10YR6/8明黄褐色砂質シルト3~13mm2%、炭化物3~10mm2% |
| 7層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR4/6褐色ローム粒3~70mm25%、10YR6/8明黄褐色ローム粒1~30mm5%、炭化粒2~21mm10%(5・6層との境界に集中) |
| 8層 | 10YR4/8黄褐色土 | 10YR6/8明黄褐色砂質シルト3~120mm40%、10YR4/6褐色ローム3~25mm20% |

B土層

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 上位に10YR4/6褐色シルトの薄層かぶる、10YR5/4にぶい黄褐色ローム5~12mm10%、7. 5YR5/6明褐色シルト3~25mm7%、炭化物3~18mm3% |
| 2層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR5/4にぶい黄褐色ローム2~15mm40%、7. 5YR5/6明褐色シルト3~18mm5% |

図 196 土坑



第216号土坑

- 1層 10YR5/6黄褐色土
- 2層 10YR6/8明黄褐色土
- 3層 10YR4/6褐色土
- 4層 10YR5/6黄褐色土
- 5層 10YR3/3暗褐色土
- 6層 10YR5/8黄褐色土
- 7層 10YR3/3暗褐色土

第217号土坑

- 1層 10YR3/2黒褐色土 軽石0.5~5mm3%、焼土粒1~7mm1%以下、草木根2%
- 2層 10YR4/6褐色土 軽石0.5~4mm3%、10YR6/6明黄褐色砂質シルト粒5~15mm10%
- 3層 10YR4/6褐色土 V層10YR6/6明黄褐色砂質シルト粒・ブロック3~70mm40%、軽石0.5~2mm1%以下
- 4層 10YR3/3暗褐色土 軽石0.5~3mm3%、10YR6/6明黄褐色砂質シルト粒3~12mm3%
- 5層 10YR4/6褐色土 10YR6/6明黄褐色砂質シルト粒3~60mm15%、軽石0.5~1mm1%
色調が記載されていない軽石は10YR8/3浅黄橙色

第218号土坑

第218号土坑

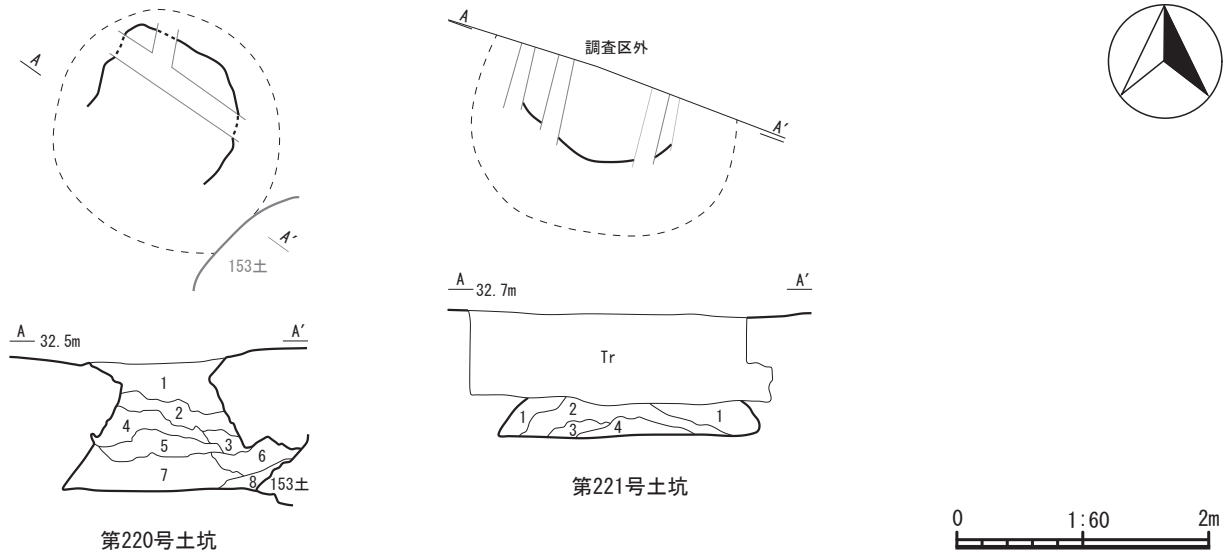
- 1層 10YR3/3暗褐色土 軽石0.5~5mm2%、10YR6/6明黄褐色軽石2~8mm2%、炭化角粒2~10mm2%、土器片1%
- 2層 10YR3/3暗褐色土 軽石0.5~4mm2%、10YR4/4褐色~10YR4/6褐色土粒2~40mm20%、10YR6/6明黄褐色軽石2~6mm5%、炭化角粒2~4mm1%以下
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 軽石0.5~1mm1%以下、10YR4/4褐色~10YR4/6褐色土2~45mm30%、10YR6/6明黄褐色軽石2~70mm2%、炭化角粒2~4mm1%
- 4層 10YR4/4褐色土 軽石0.5~6mm3%、10YR4/4褐色~10YR4/6褐色土粒4~25mm40%、炭化粒1~3mm1%以下
- 5層 10YR4/4褐色土 10YR4/4褐色~10YR4/6褐色土粒3~55mm5%、軽石0.5~2mm1%以下、炭化角粒2~10mm1%
- 6層 10YR3/3暗褐色土 10YR4/4褐色土粒2~12mm15%、10YR6/6明黄褐色軽石2~8mm2%、炭化角粒2~15mm1%、軽石0.5~2mm1%以下、焼土粒2~5mm1%以下
- 7層 10YR3/2黒褐色土 10YR4/4褐色~10YR4/6褐色土粒2~10mm15%、炭化角粒2~18mm7%、倒立を含む完形土器2個体
- 8層 10YR3/4暗褐色土 10YR6/6明黄褐色軽石2~10mm5%、炭化角粒2~32mm3%(9層上面側に集中)
- 9層 10YR3/4暗褐色土 10YR4/4褐色~10YR4/6褐色土粒2~25mm30%、炭化角粒2~35mm5%(層上面に集中)、10YR6/6明黄褐色軽石2~45mm2%

色調が記載されていない軽石は10YR8/3浅黄橙色

第219号土坑

- 1層 10YR3/2黒褐色土 中掀軽石5%、千曳軽石5mm2%、炭化物5~10mm2%
- 2層 10YR5/4にぶい黄褐色土 10YR3/2黒褐色土ブロック状5%、中掀軽石5%、千曳軽石2~5mm2%
- 3層 10YR4/2灰黄褐色土 10YR3/1黒褐色土5%、中掀軽石5%、千曳軽石2mm2%
- 4層 10YR8/6黄橙色土 10YR5/6黄褐色土30%、10YR4/2灰黄褐色土筋状10%、千曳軽石10~50mm2%
- 5層 10YR2/1黒色土 10YR5/6黄褐色土ブロック状5%、中掀軽石2%、千曳軽石5mm1%、炭化物5mm1%
- 6層 10YR4/2灰黄褐色土 焼土10mm1%、中掀軽石5%、千曳軽石2mm1%、炭化物10mm5%
- 7層 10YR3/2黒褐色土 中掀軽石1%、炭化物2~5mm2%
- 8層 10YR3/2黒褐色土 10YR5/6黄褐色土20%
- 9層 10YR8/6黄橙色土 10YR5/6黄褐色土30%、10YR3/2黒褐色土筋状20%、千曳軽石10~30mm2%、中掀軽石2%、炭化物10mm2%

図 197 土坑



第220号土坑

- | | | |
|----|----------------|---|
| 1層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR3/2黒褐色土5%、10YR7/8黄橙色土3%、炭化物1~5mm3% |
| 2層 | 10YR5/6黄褐色土 | 10YR2/3黒褐色土1%、炭化物1~5mm1% |
| 3層 | 10YR5/4にぶい黄褐色土 | 10YR2/3黒褐色土5% |
| 4層 | 10YR3/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%、炭化物1~5mm5% |
| 5層 | 10YR6/6明黄褐色土 | 10YR3/2黒褐色土5% |
| 6層 | 10YR4/6褐色土 | 10YR2/3黒褐色土3%、軽石1% |
| 7層 | 10YR3/3暗褐色土 | 10YR5/6黄褐色土20%、10YR2/2黒褐色土5%、炭化物1~5mm1% |
| 8層 | 10YR4/4褐色土 | 10YR2/3黒褐色土5%、軽石1% |

第221号土坑

- | | | |
|----|----------------|---------------------------------------|
| 1層 | 10YR2/2黒褐色土 | 10YR5/6黄褐色土10%、10YR7/8黄橙色土5%、炭化物5mm1% |
| 2層 | 10YR4/3にぶい黄褐色土 | 10YR7/8黄橙色土15%、10YR2/3黒褐色土5%、炭化物5mm1% |
| 3層 | 2.5Y7/8黄色土 | 10YR2/2黒褐色土10% |
| 4層 | 10YR2/3黒褐色土 | 10YR7/8黄橙色土10%、炭化物3mm1% |

図 198 土坑

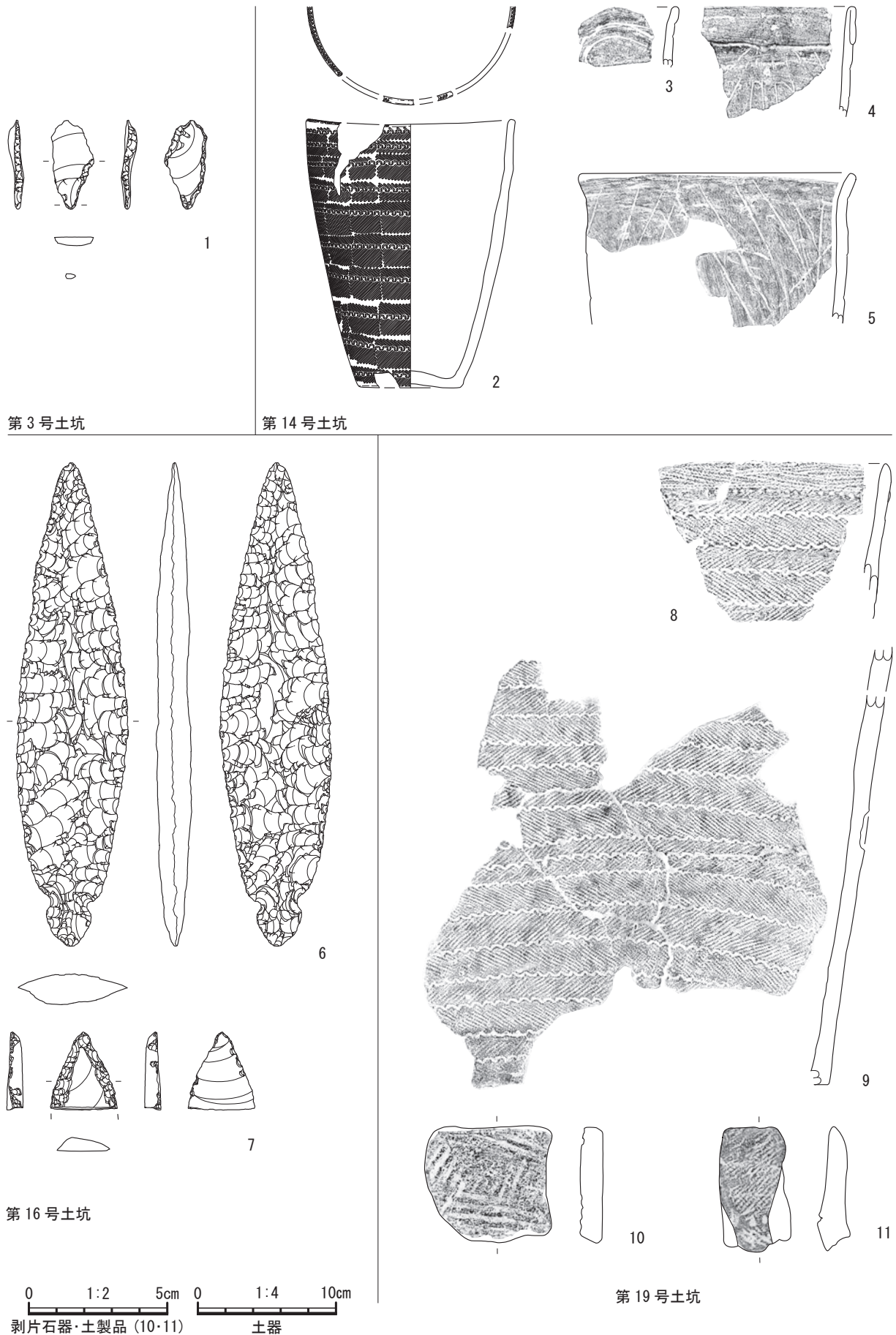
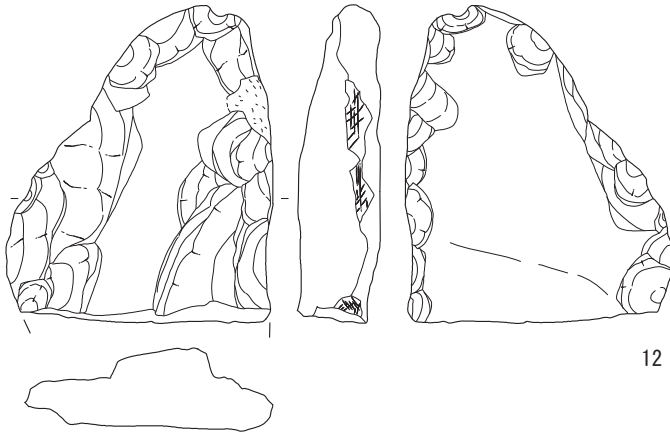
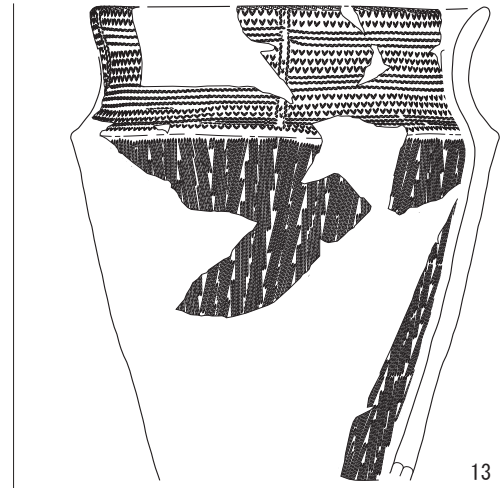


图 199 土坑出土遺物



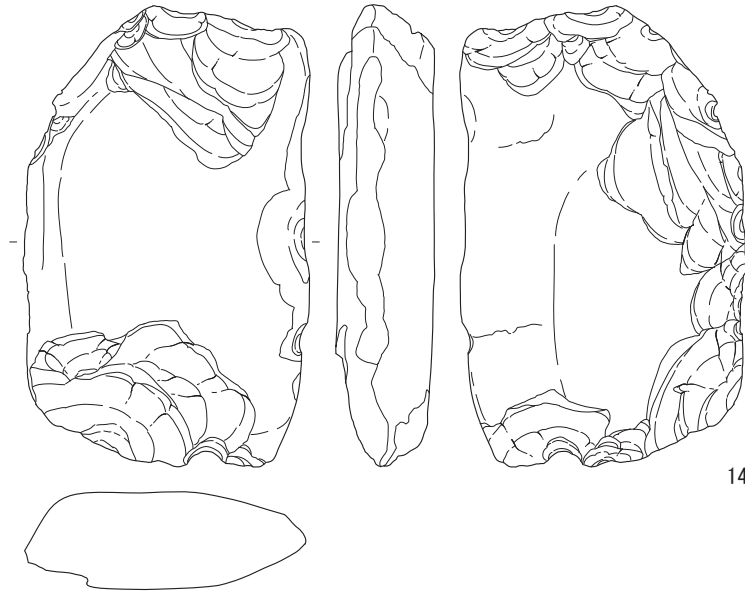
12

第19号土坑



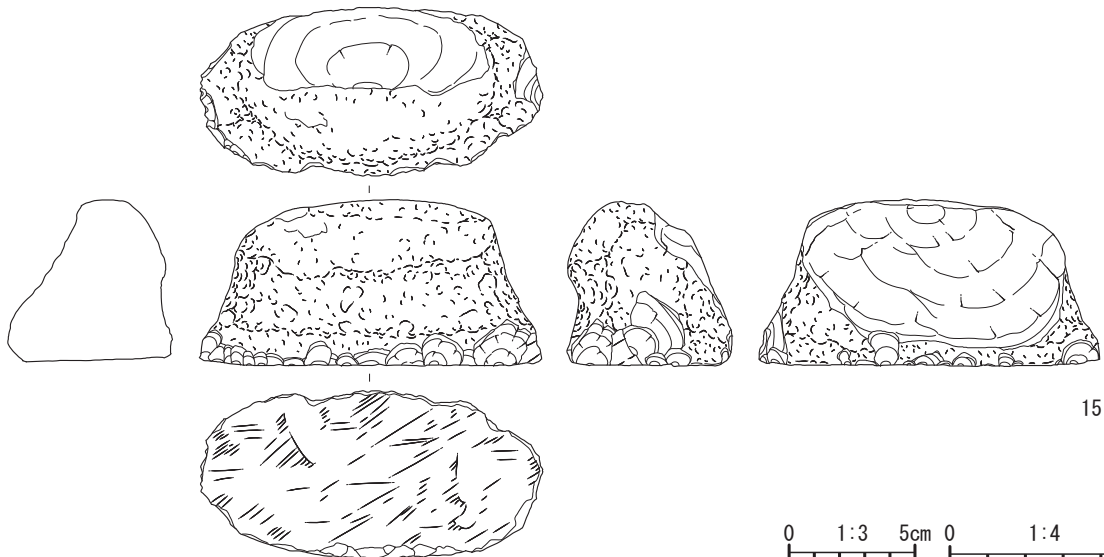
13

第20号土坑



14

第21号土坑



15

第22号土坑

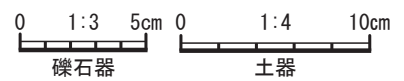
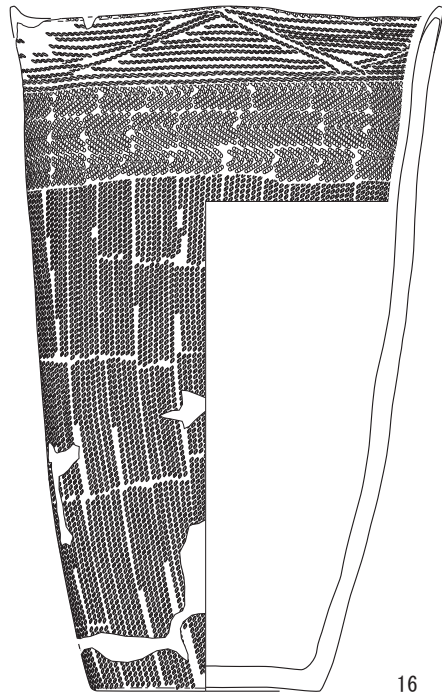
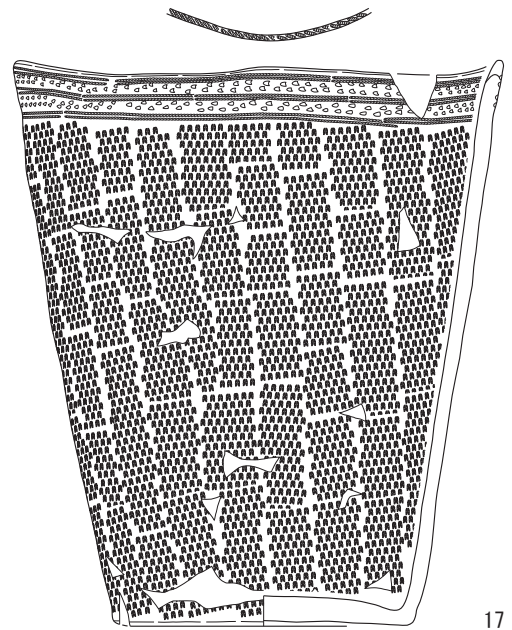


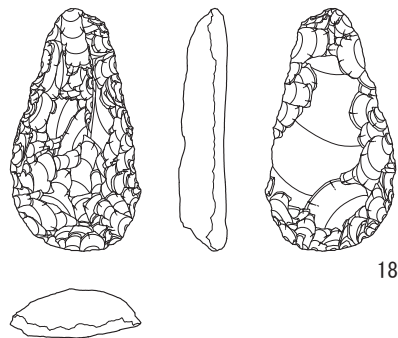
图200 土坑出土遺物



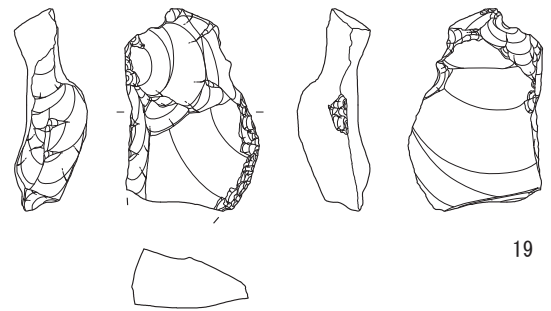
16



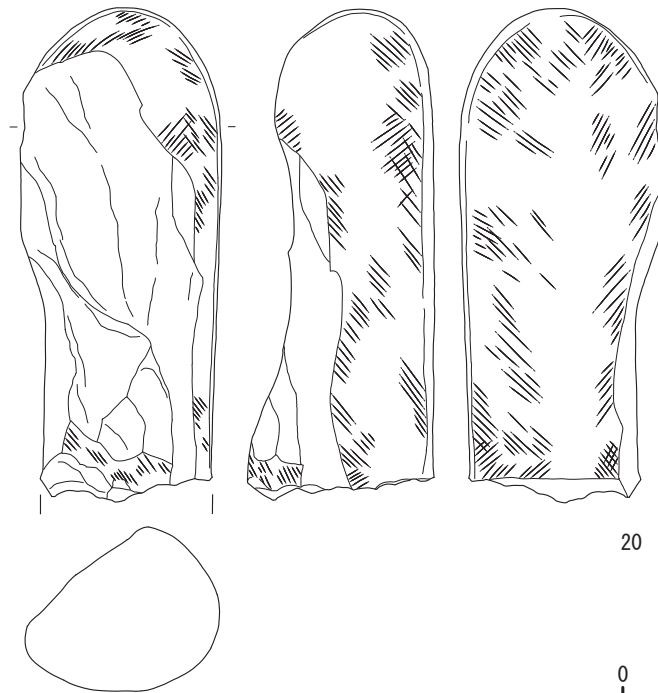
17



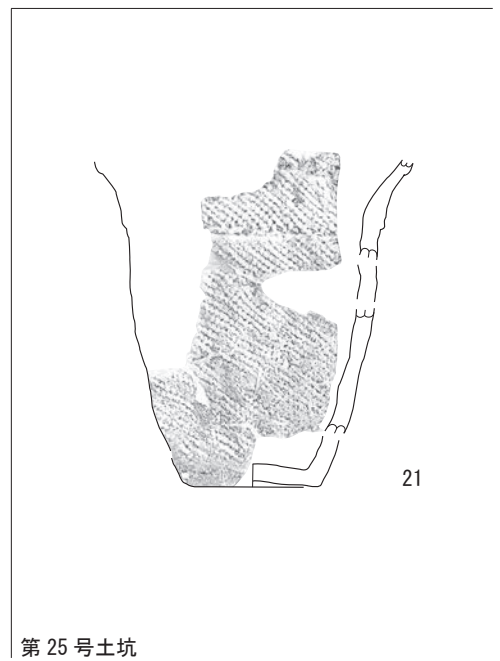
18



19



20



21

第25号土坑

第23号土坑

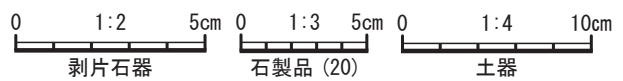
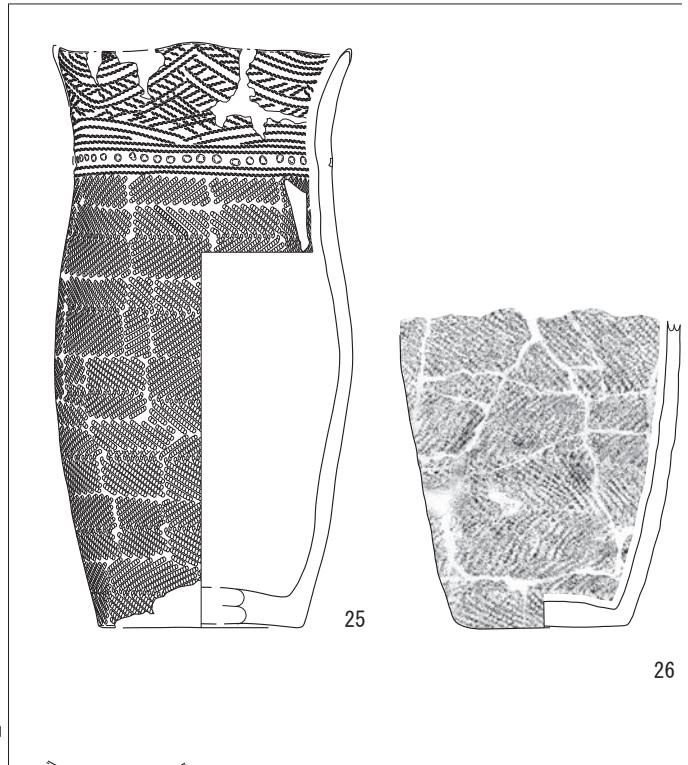
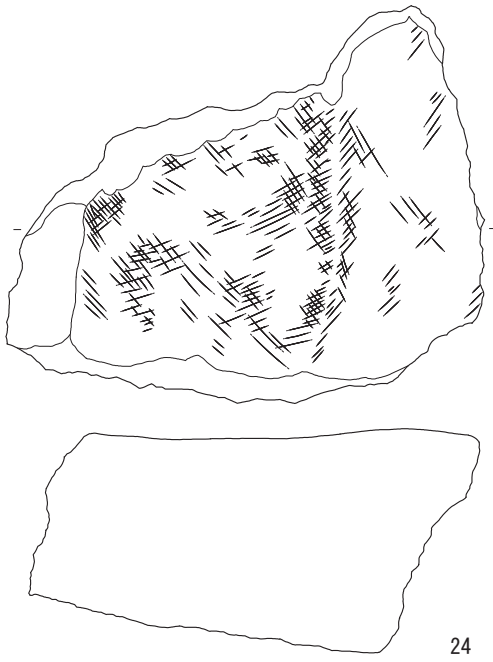
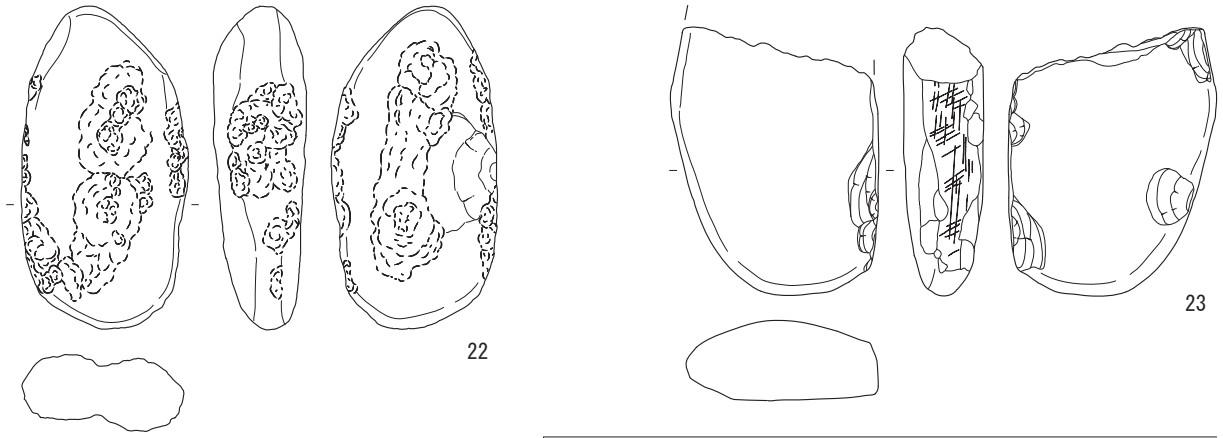
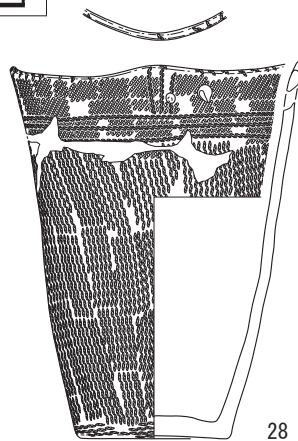


图201 土坑出土遺物



第25号土坑

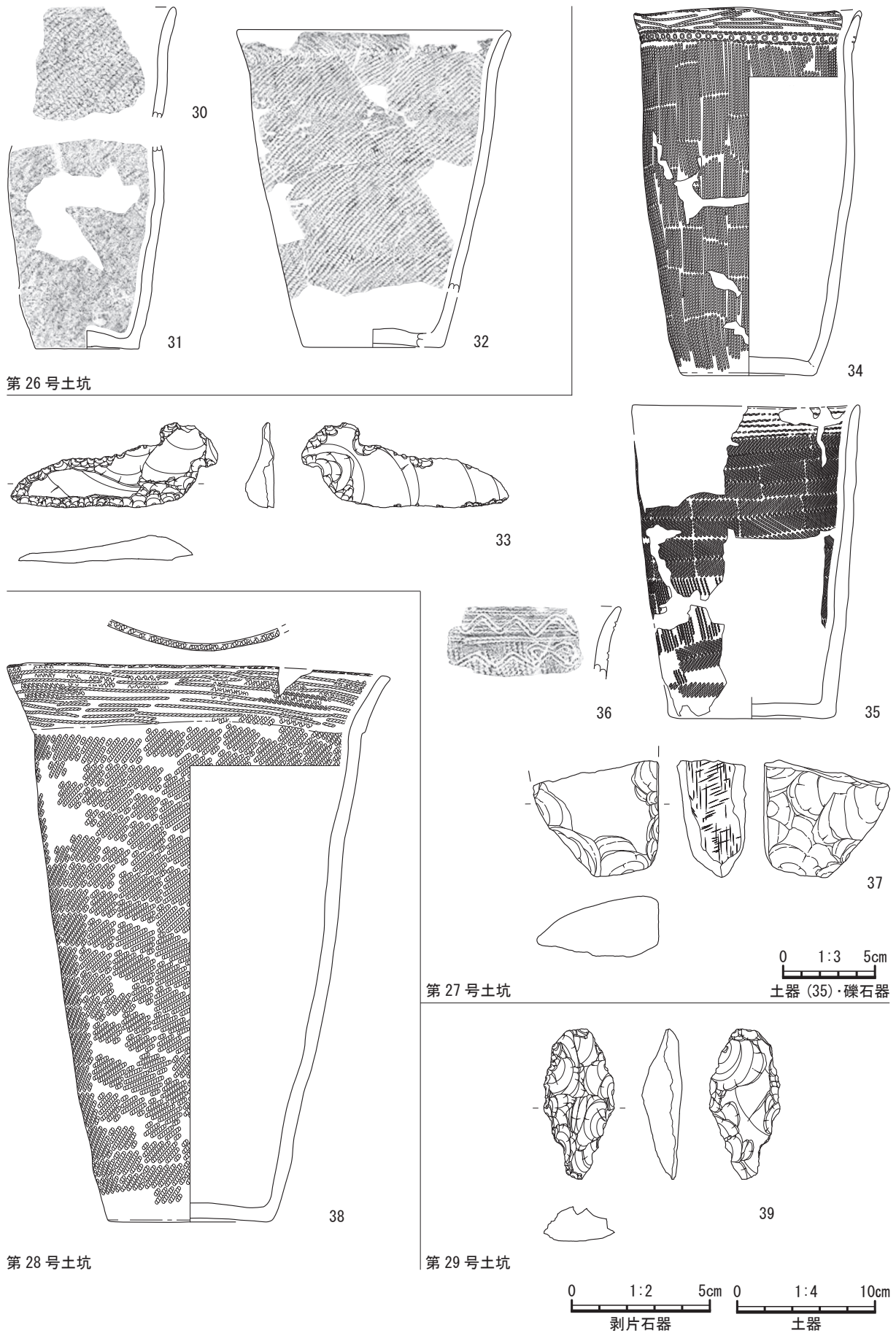
0 1:3 5cm



第26号土坑

0 1:4 10cm

图202 土坑出土遺物



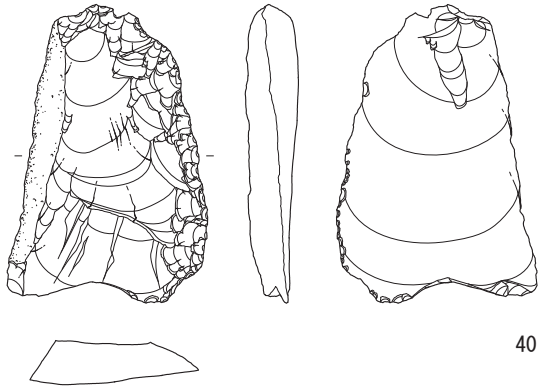
第 26 号土坑

第 27 号土坑

第 28 号土坑

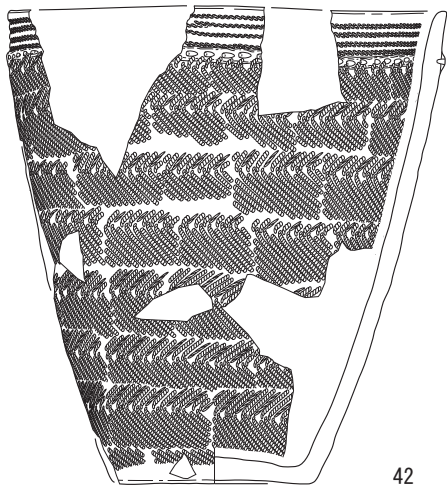
第 29 号土坑

图 203 土坑出土遺物

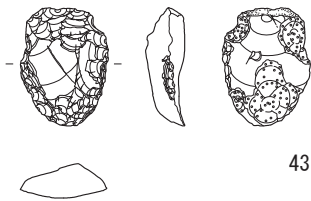


40

第29号土坑

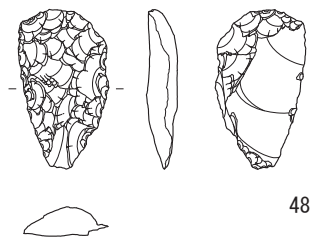


42



43

第31号土坑



48

第37号土坑

0 1:4 10cm

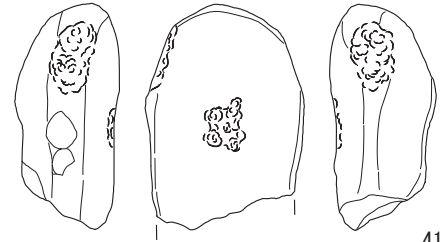
土器

0 1:2 5cm

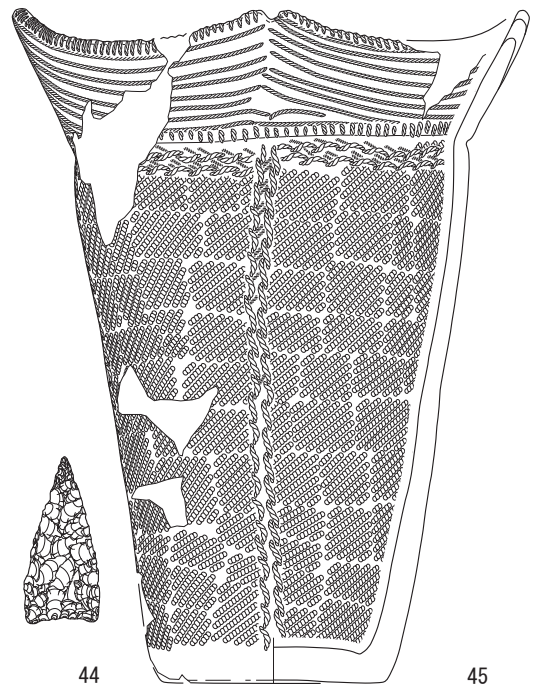
剥片石器

0 1:3 5cm

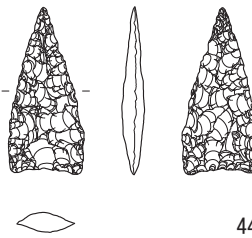
礫石器 (41・47・49)



41

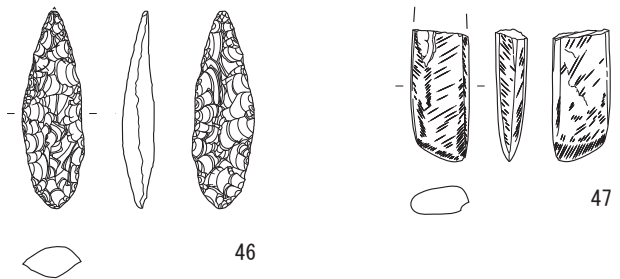


45



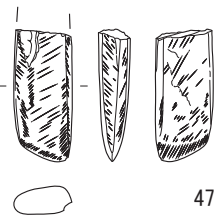
44

第32号土坑

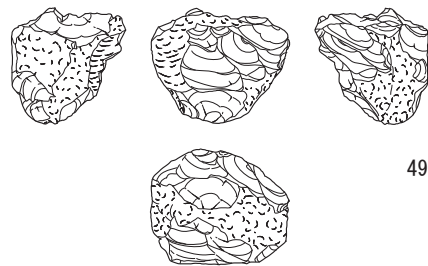


46

第34号土坑



47



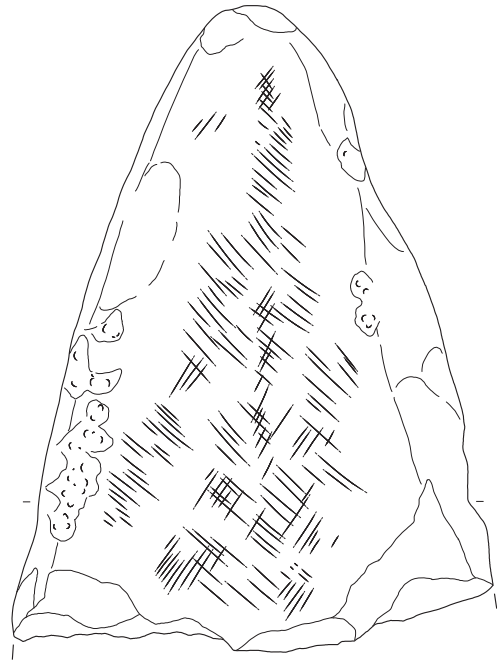
49

第38号土坑

图204 土坑出土遺物

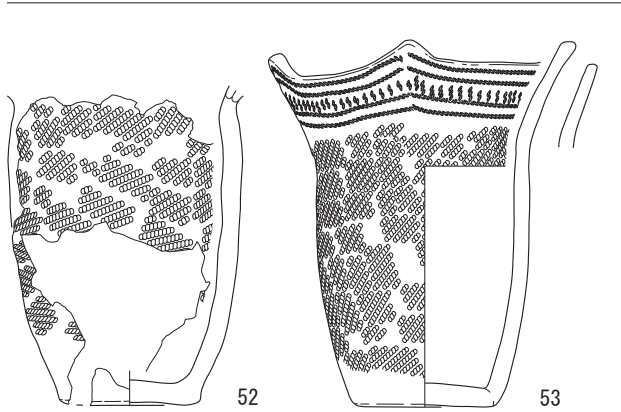


50



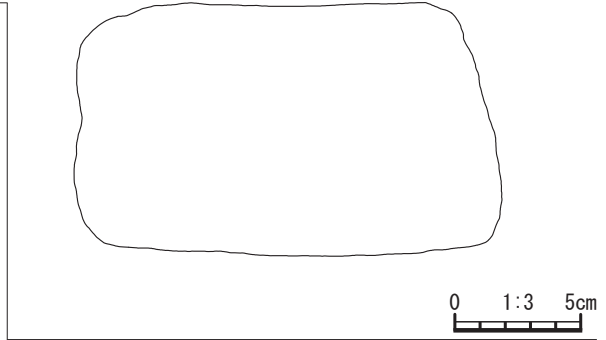
51

第 39 号土坑

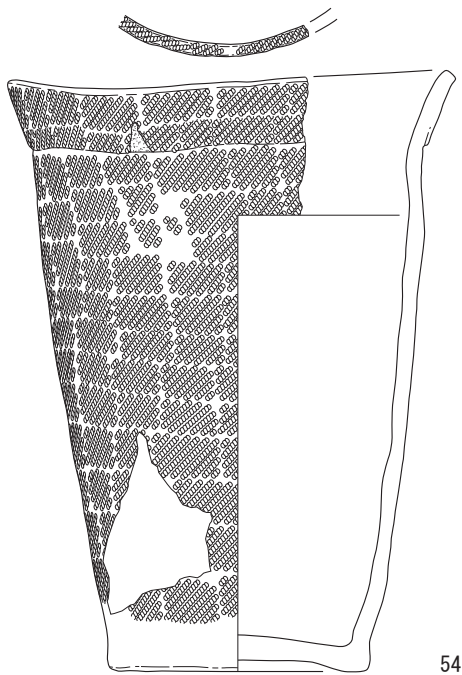


52

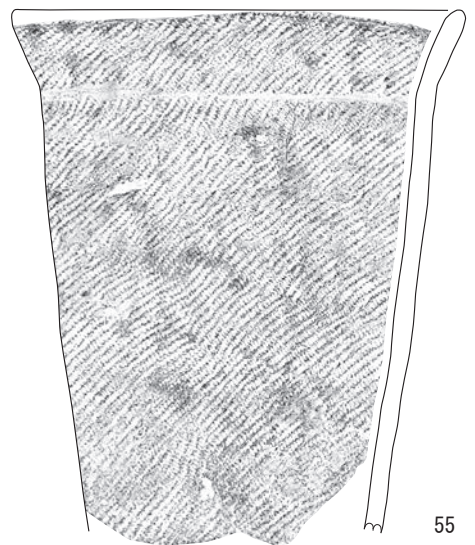
53



0 1:3 5cm



54

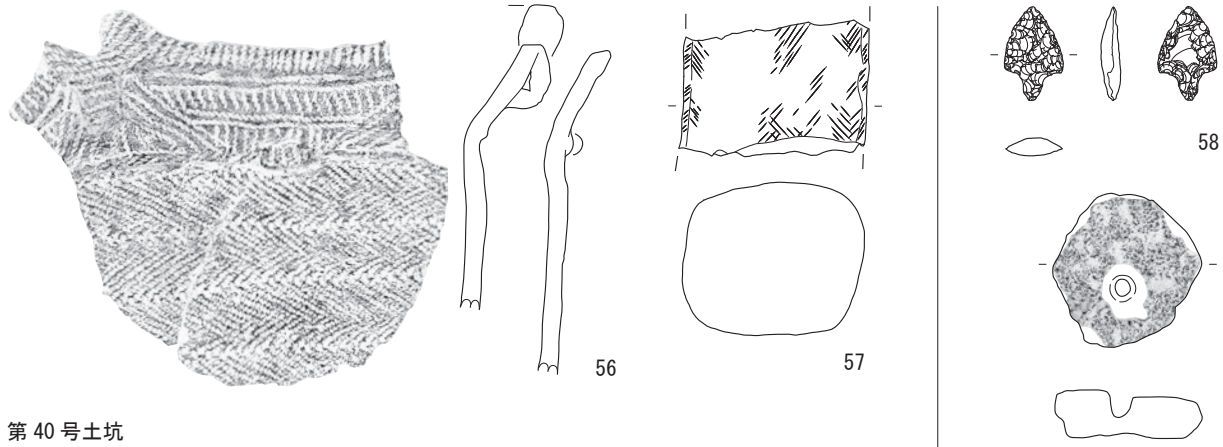


55

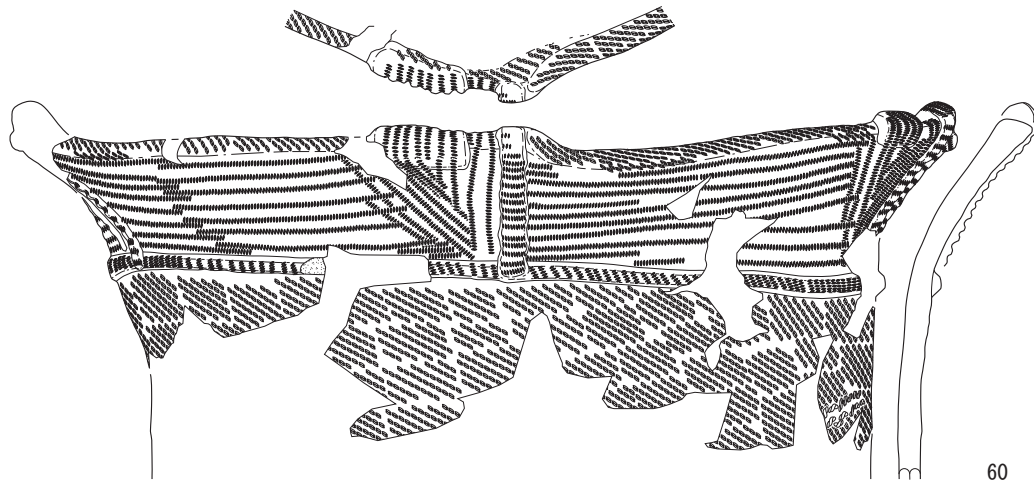
0 1:4 10cm
土器

第 40 号土坑

图 205 土坑出土遺物



第40号土坑

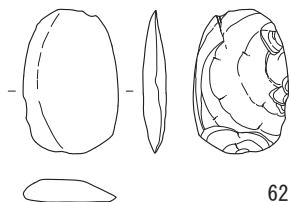


60



61

第49号土坑



62

第52号土坑

0 1:4 10cm

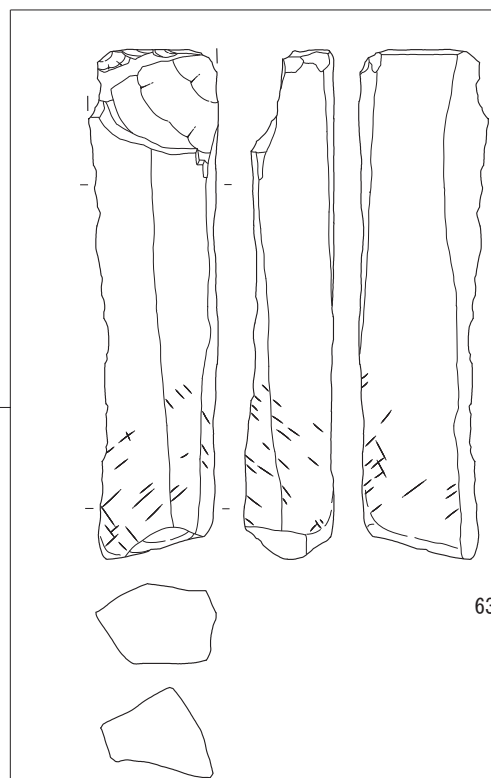
土器

0 1:2 5cm

剥片石器・土製品 (59)

0 1:3 5cm

礫石器 (61 ~ 63)・石製品 (57)



63

第54号土坑

图206 土坑出土遺物

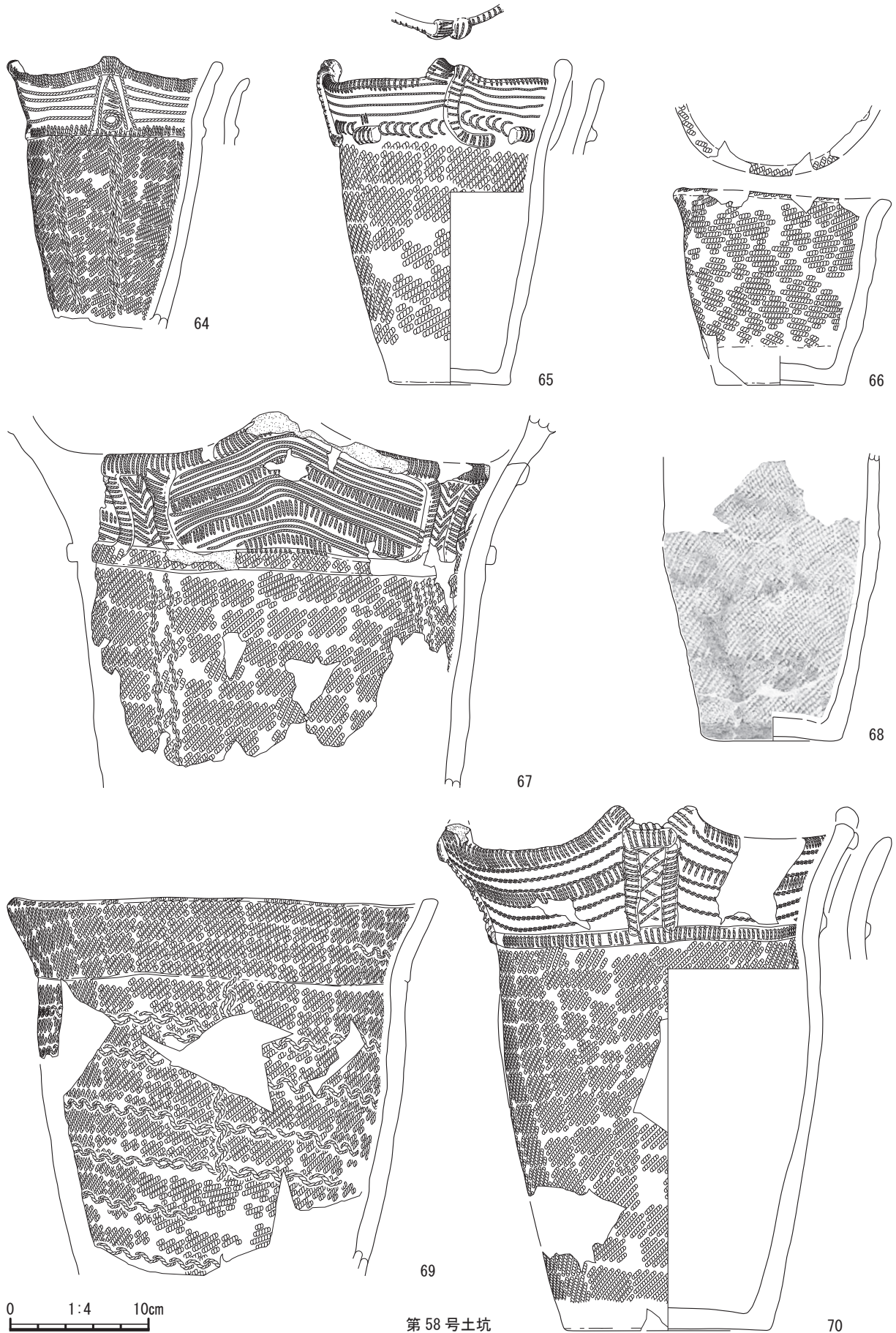
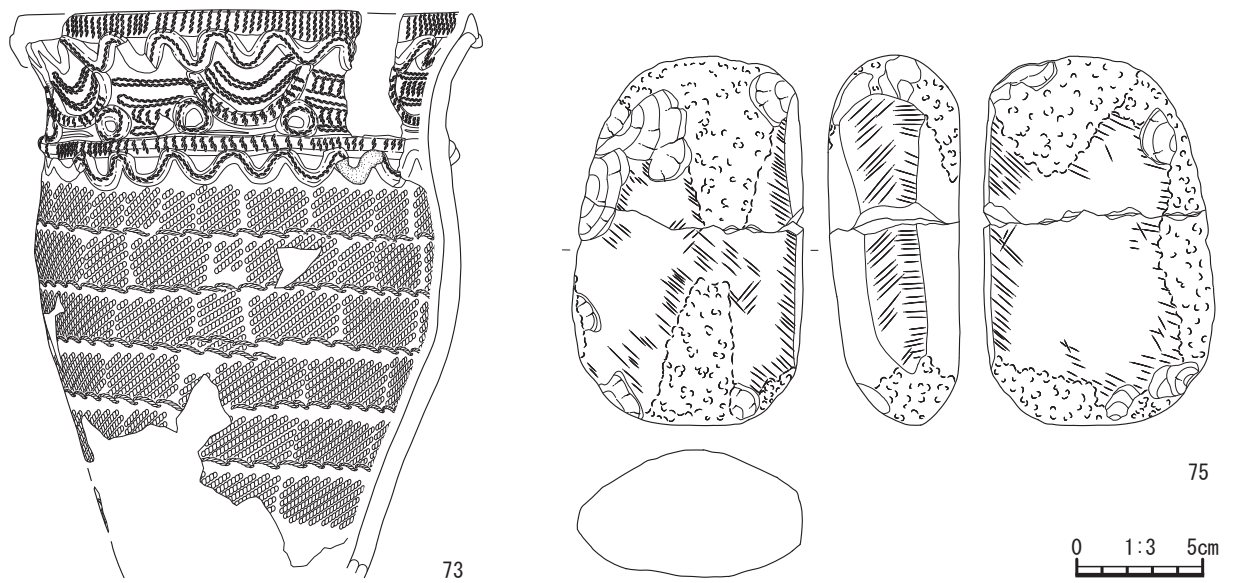
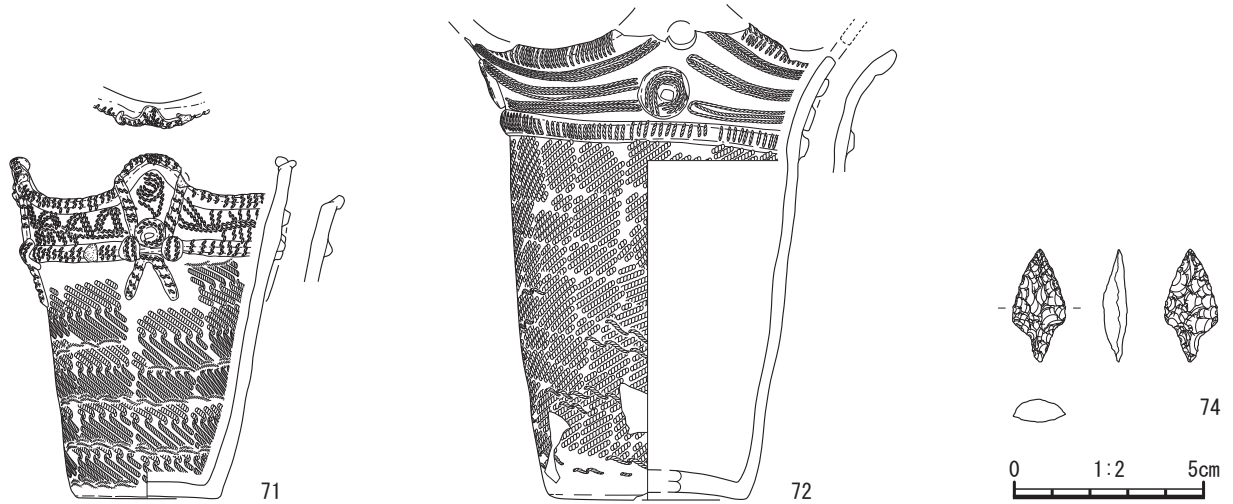
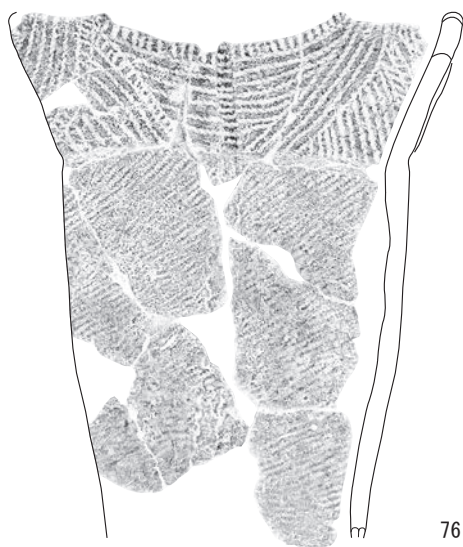


图 207 土坑出土遺物

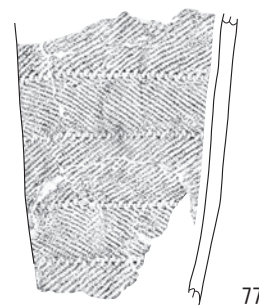


第58号土坑



第64号土坑

76



第66号土坑

77

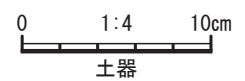
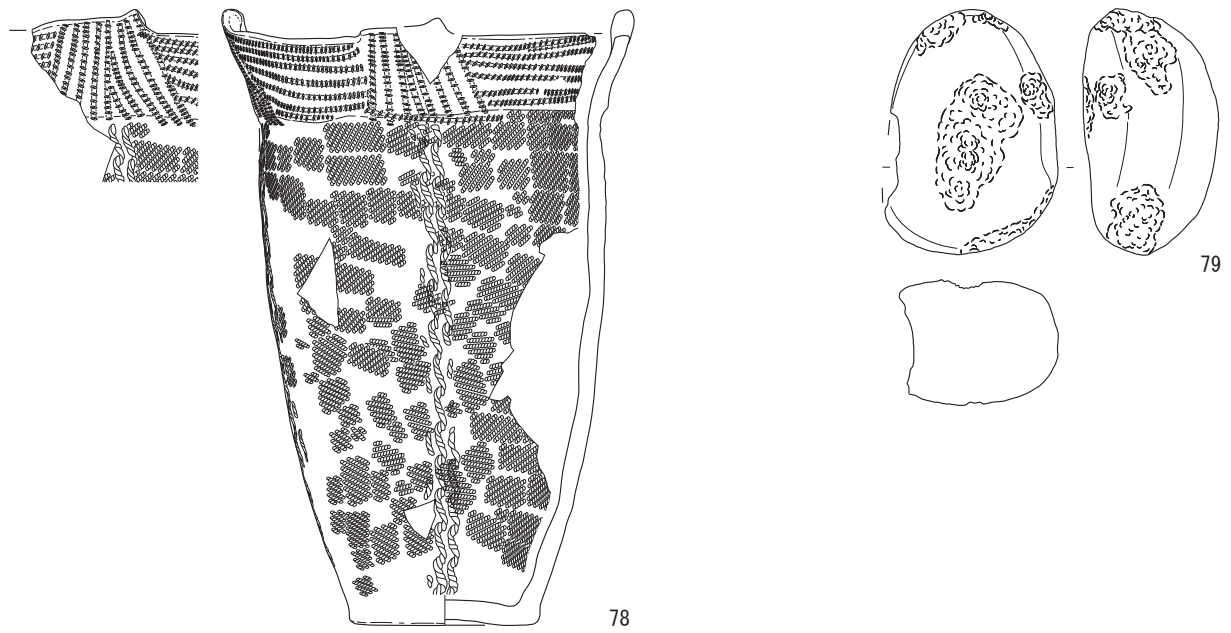
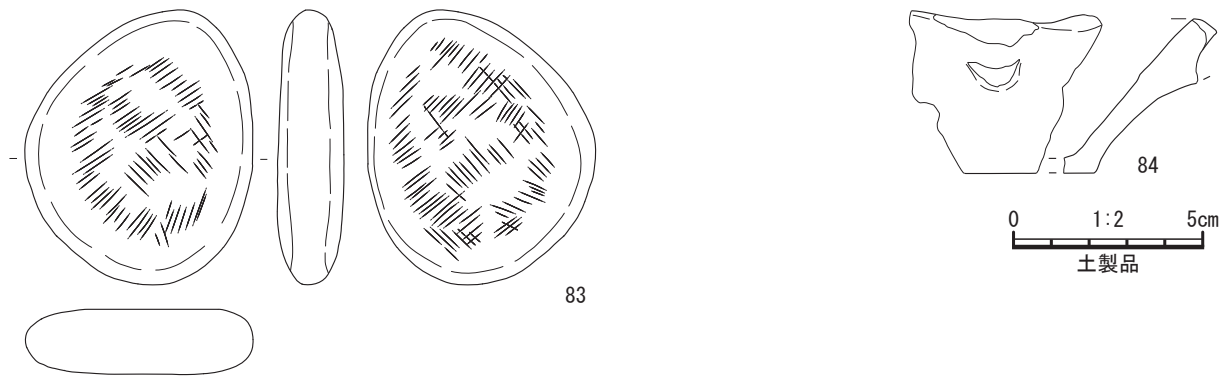
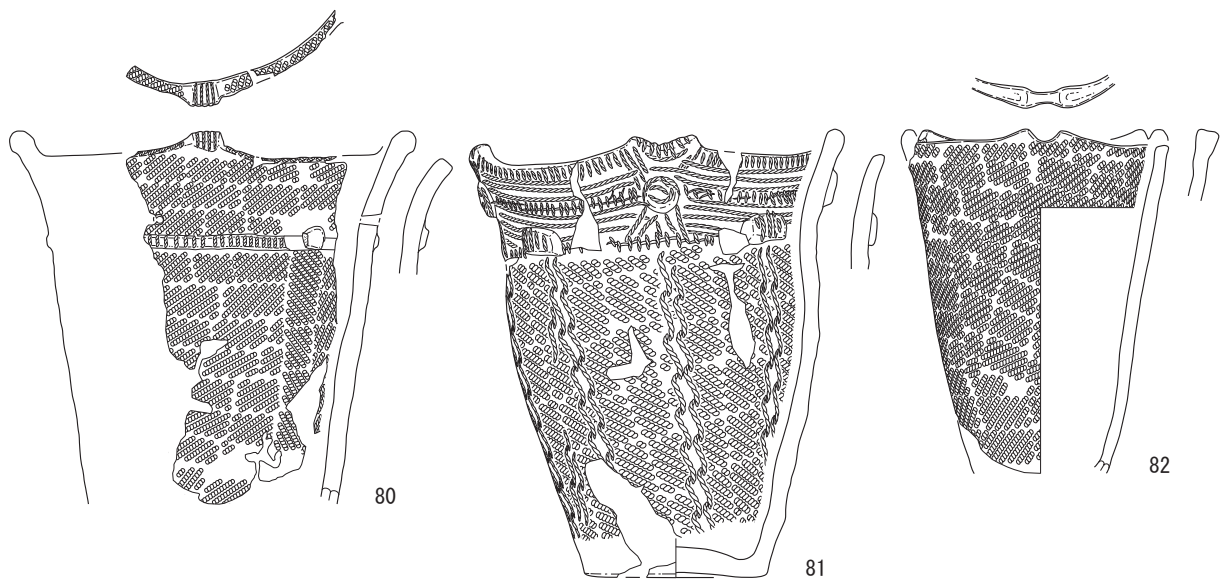


图208 土坑出土遺物



第 67 号土坑



第 71 号土坑



图 209 土坑出土遺物

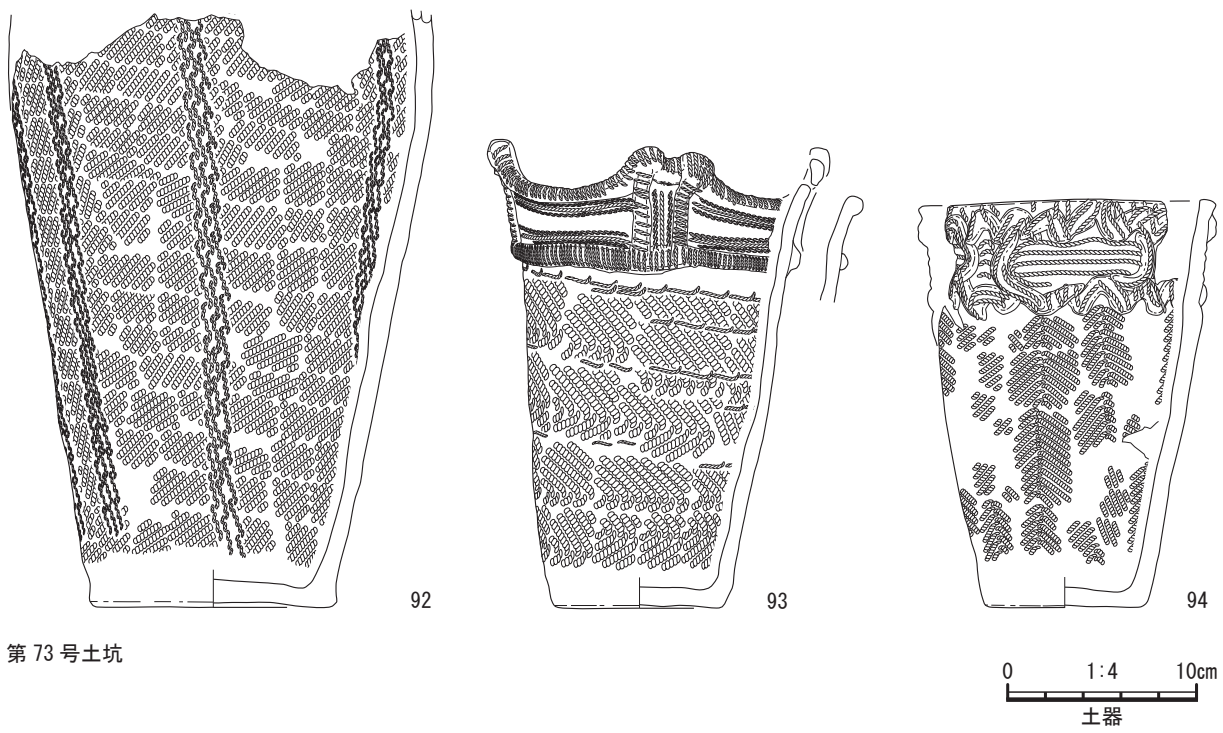
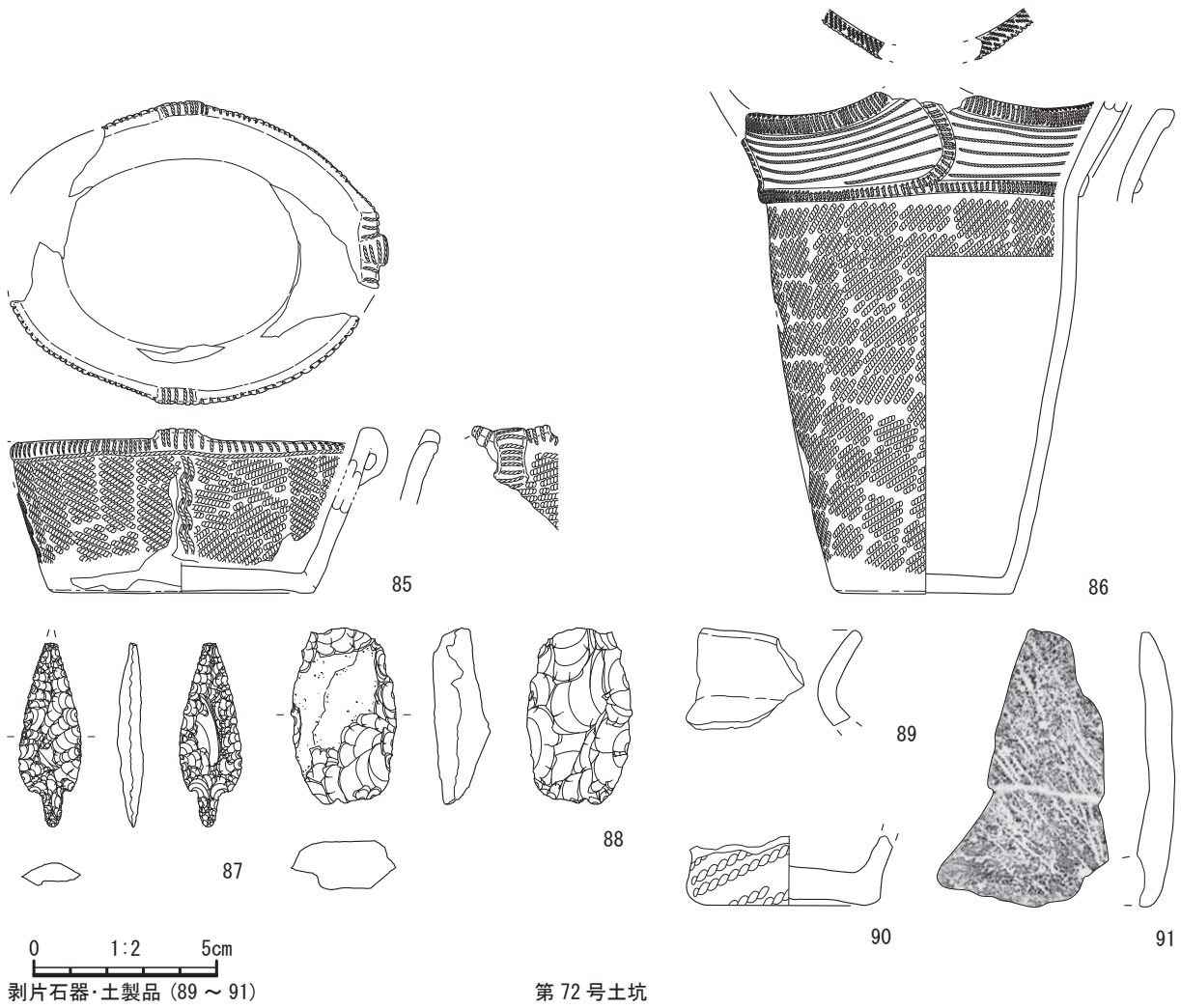
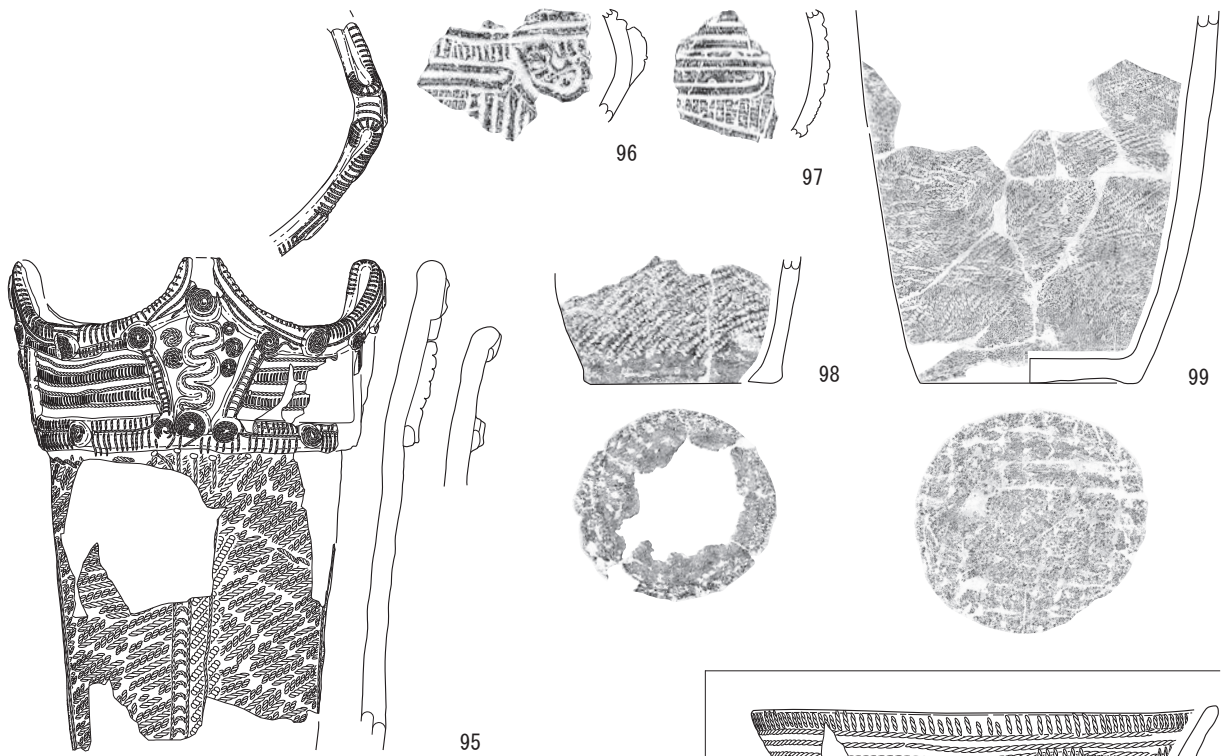
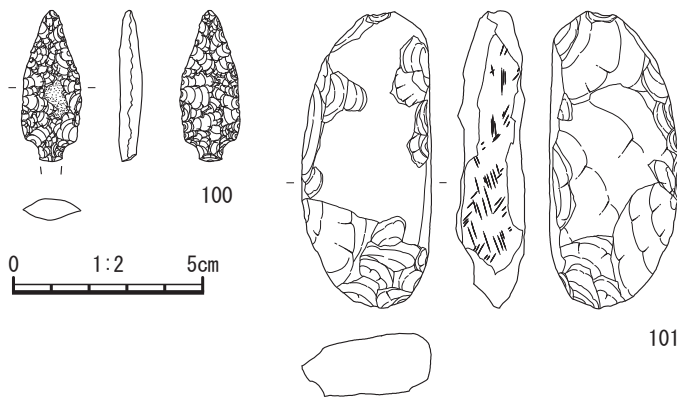


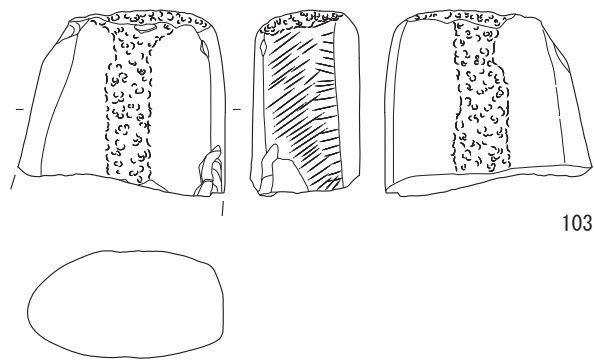
图 210 土坑出土遺物



第 73 号土坑



第 74 号土坑



第 75 号土坑

0 1:3 5cm 0 1:4 10cm
土器 (96·97)·礫石器 土器

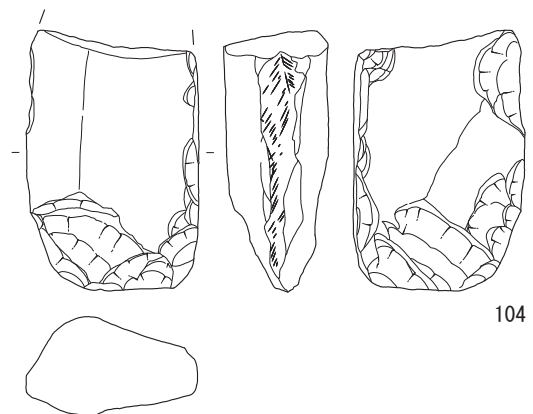
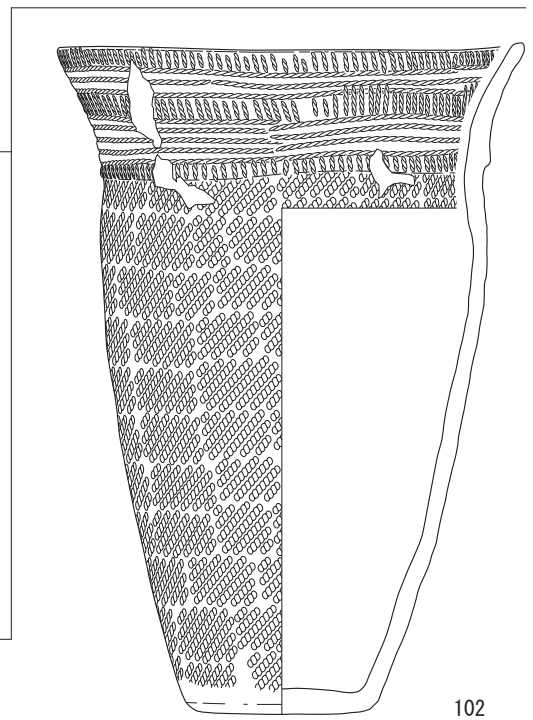
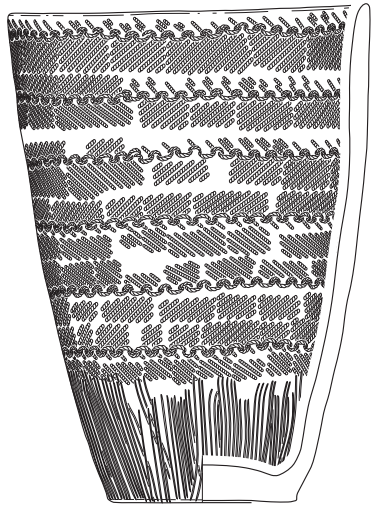
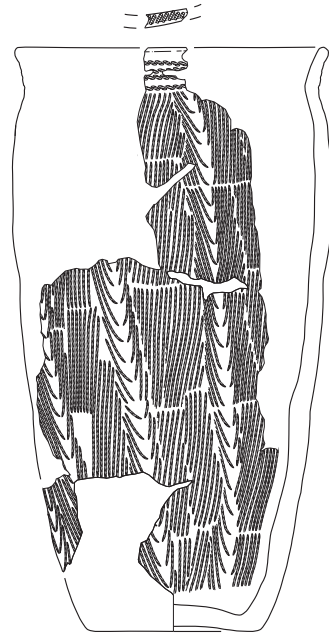


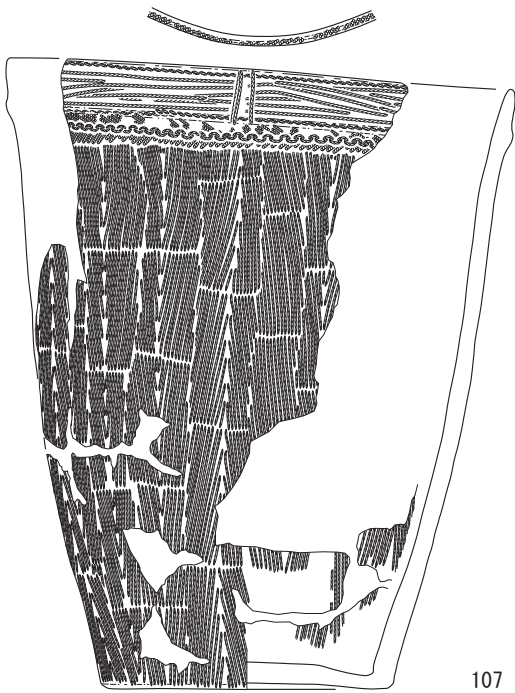
图 211 土坑出土遺物



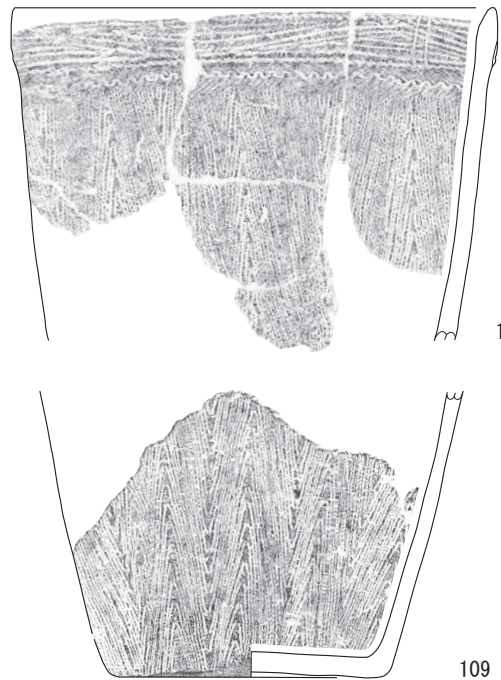
105



106



107



108

109

第77号土坑

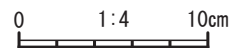
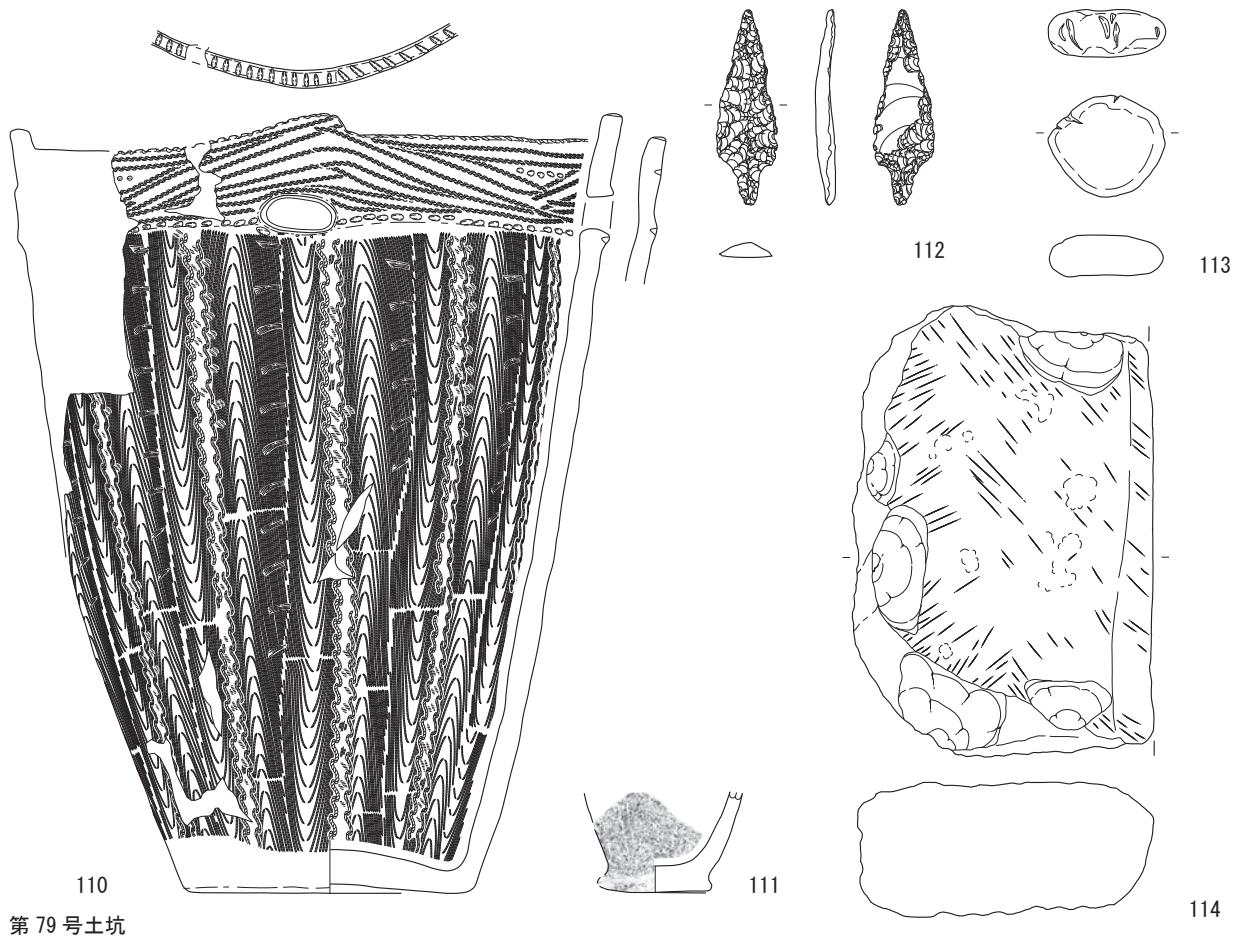
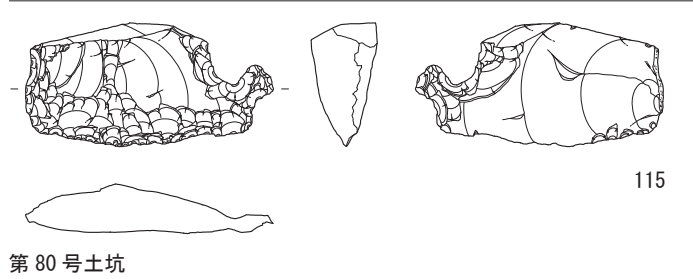


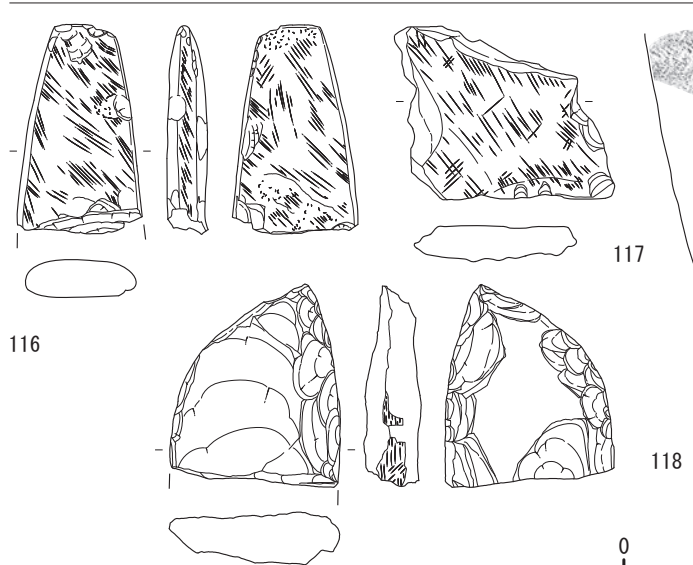
图 212 土坑出土遺物



第 79 号土坑



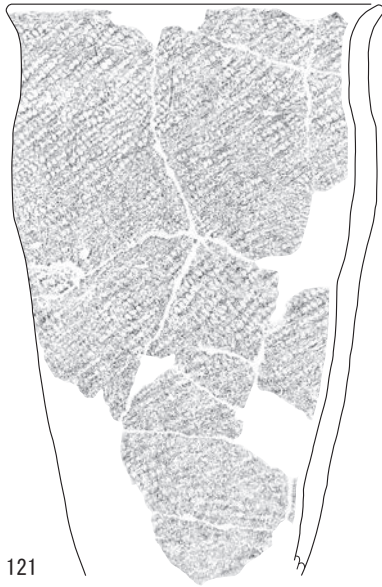
第 80 号土坑



第 81 号土坑

0 1:2 5cm 0 1:3 5cm 0 1:4 10cm
 剥片石器・土製品 (113) 礫石器 土器

图 213 土坑出土遺物

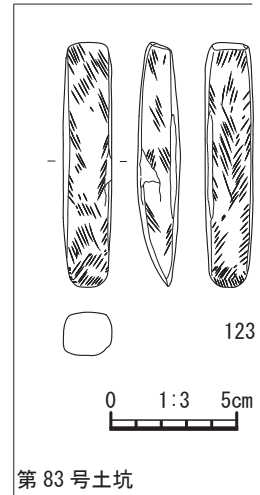


121

第81号土坑



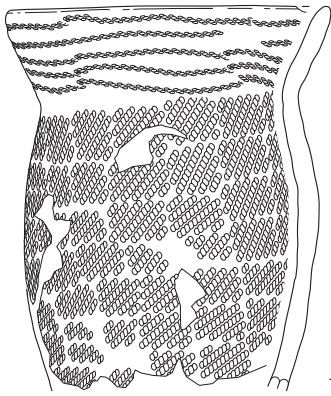
122



123

0 1:3 5cm

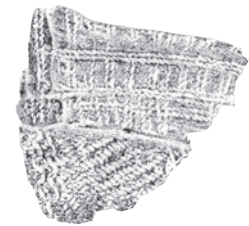
第83号土坑



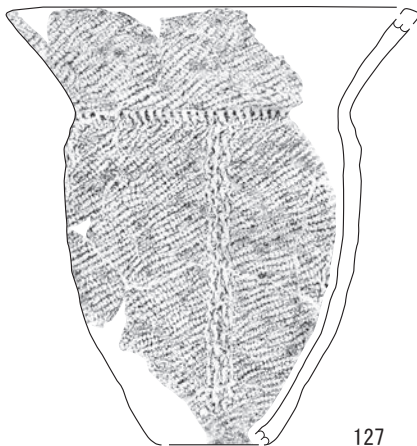
124



125

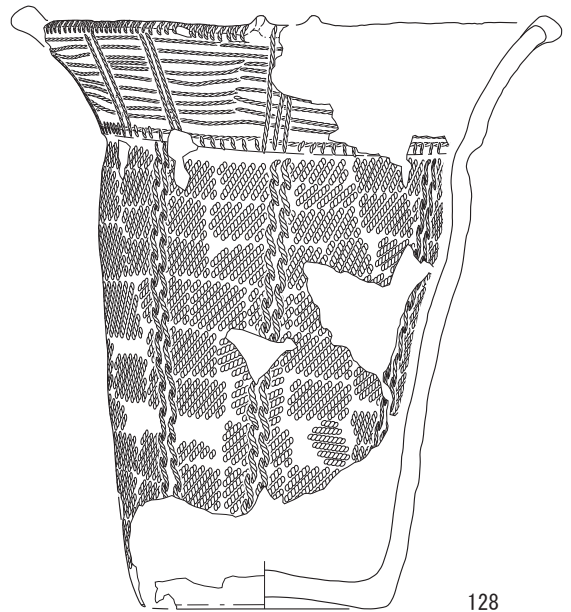


126



127

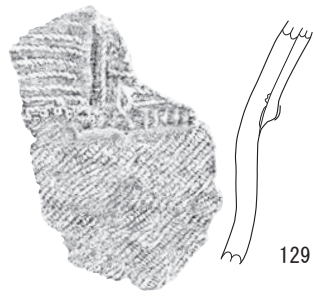
第85号土坑



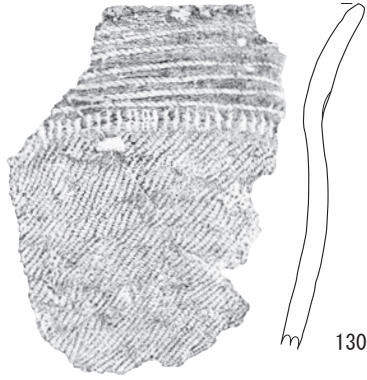
128

0 1:4 10cm
土器

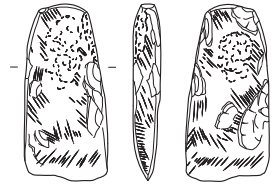
图214 土坑出土遺物



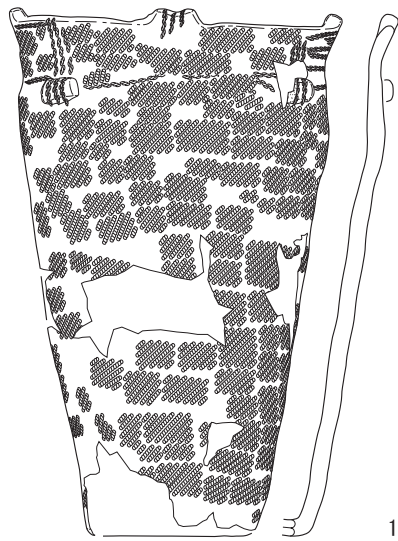
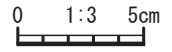
129



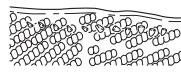
130



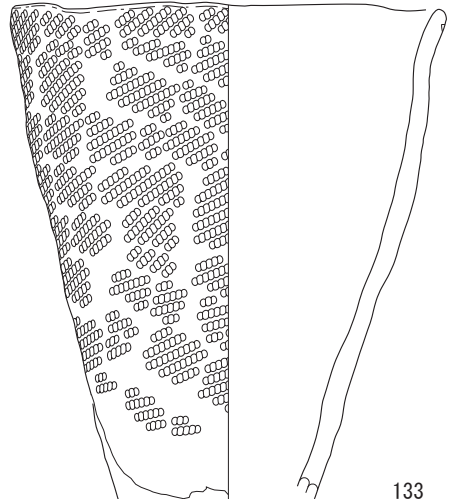
131



132

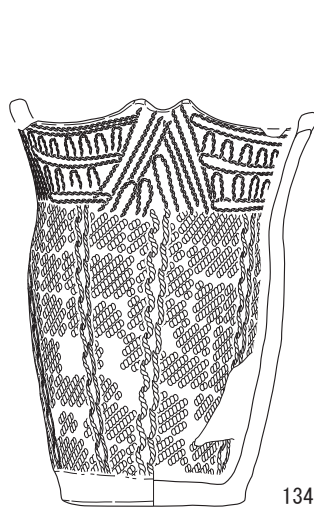


裏面

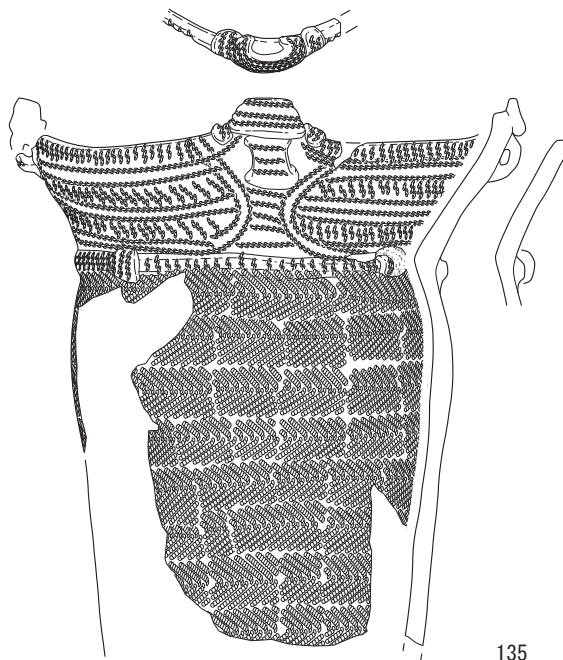


133

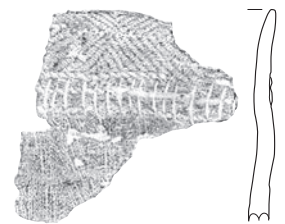
第 85 号土坑



134



135



136

第 86 号土坑

第 87 号土坑

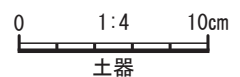
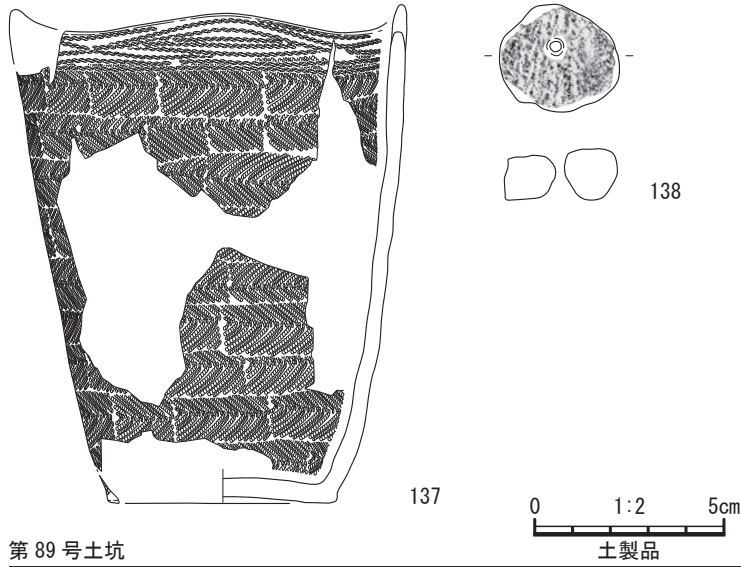
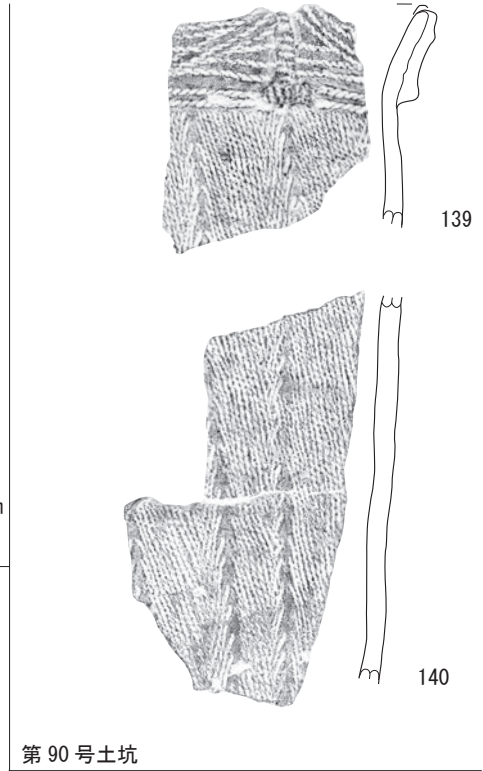


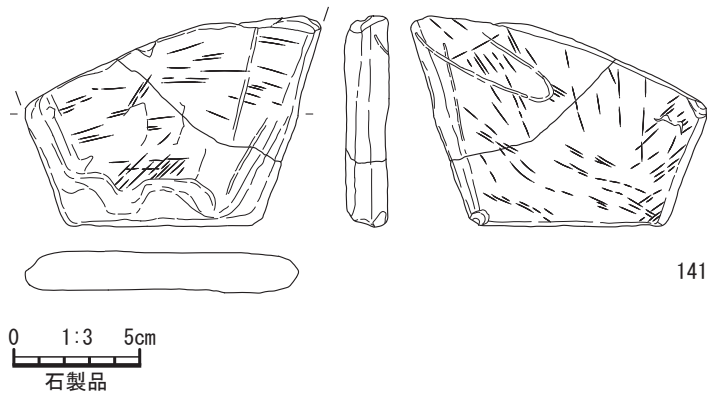
图 215 土坑出土遺物



第89号土坑



第90号土坑



第91号土坑

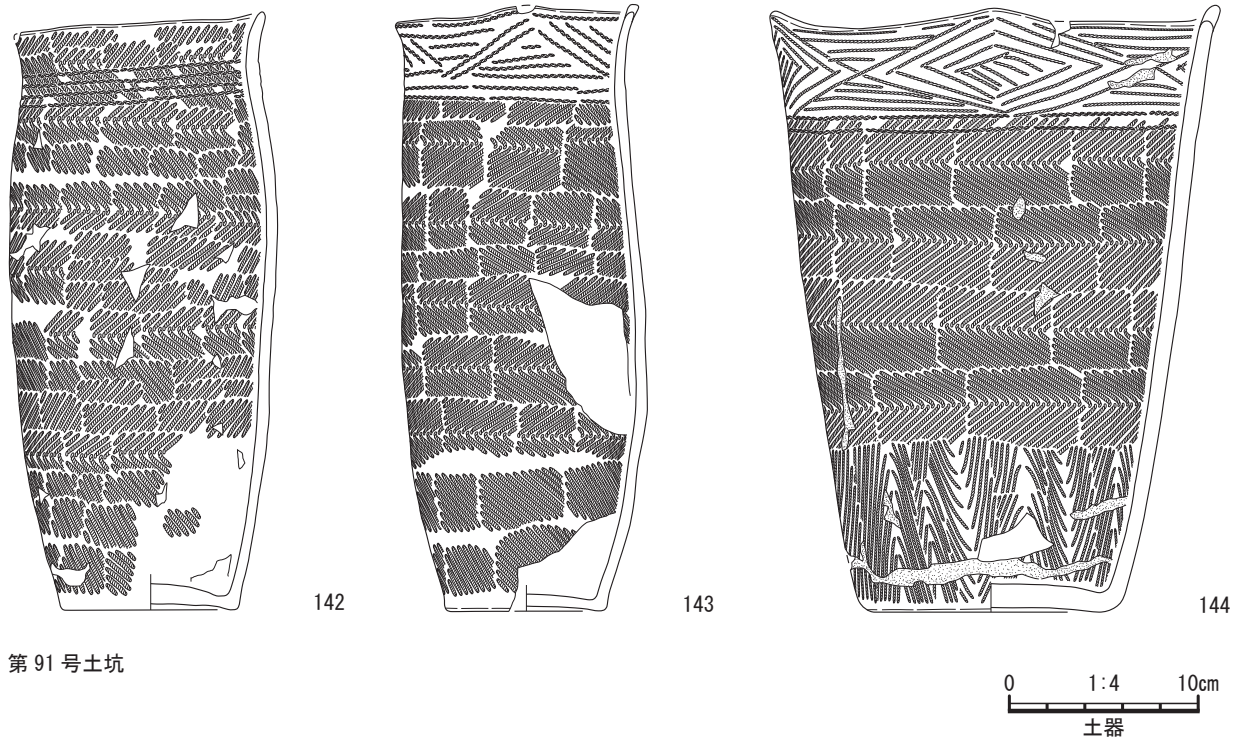


図216 土坑出土遺物

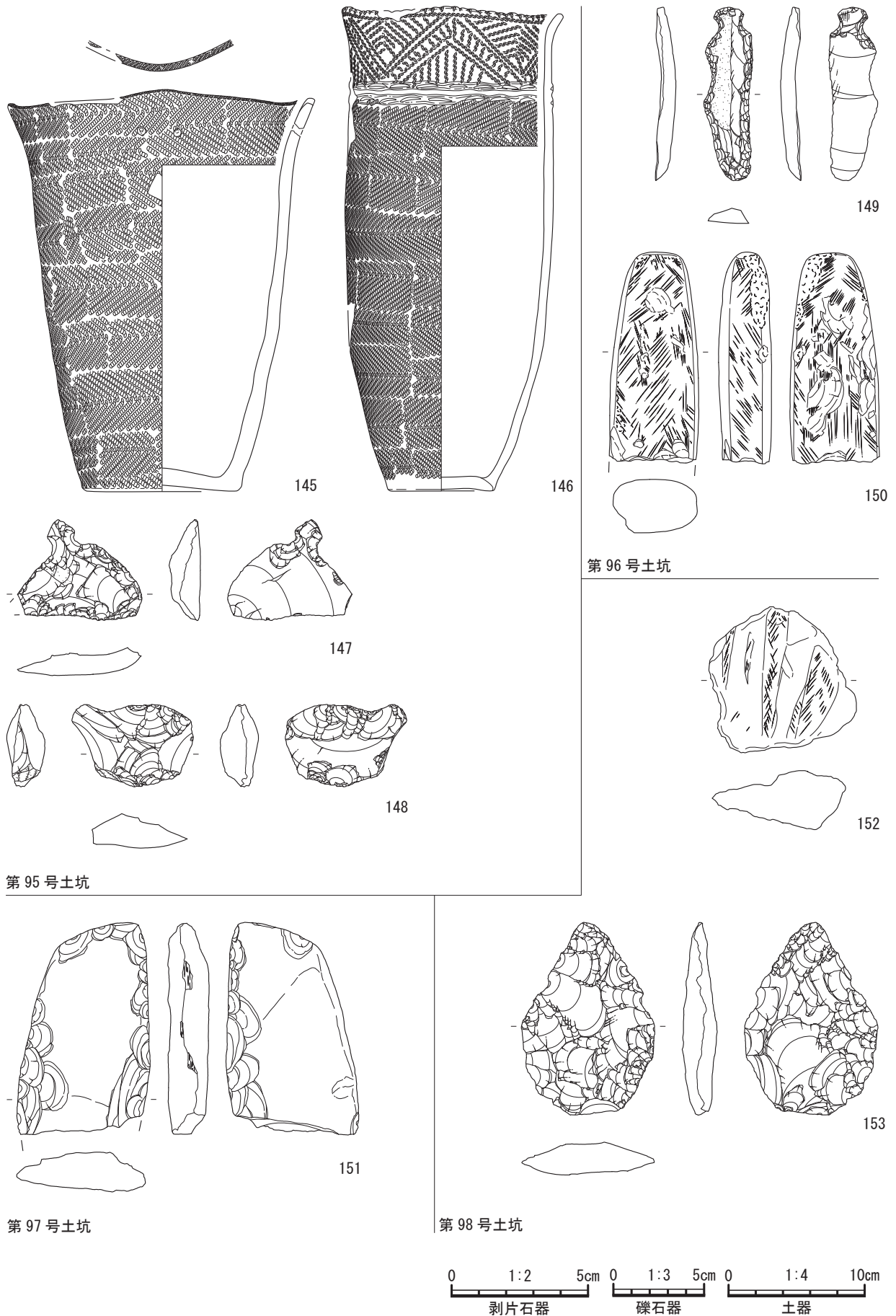
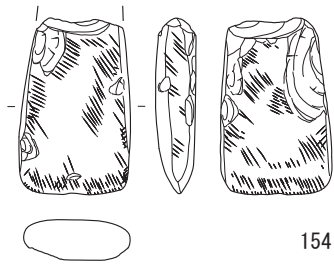
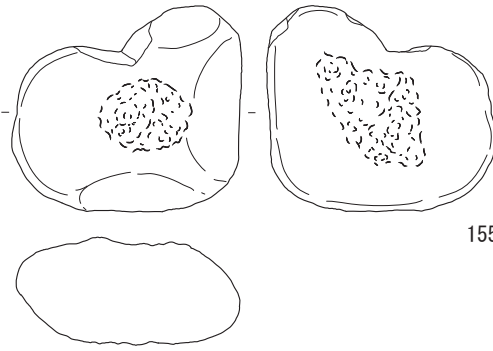


图 217 土坑出土遺物



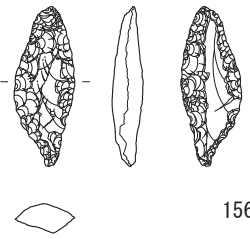
154

第99号土坑



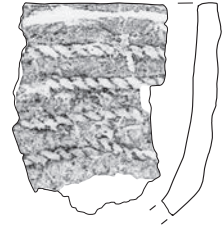
155

第100号土坑

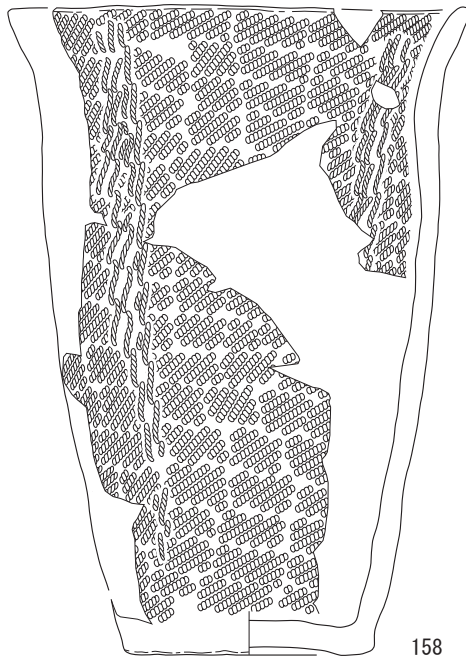


156

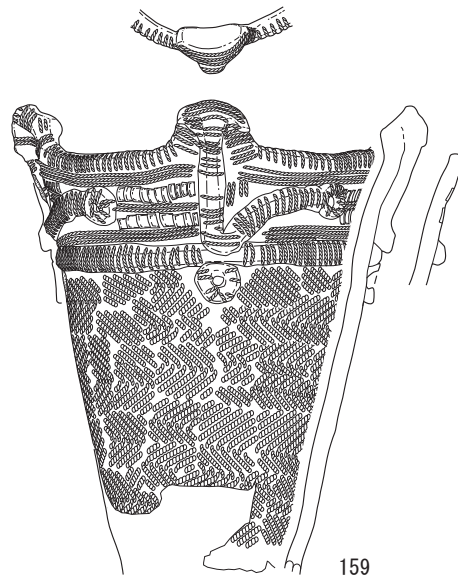
第101号土坑



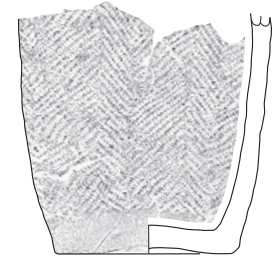
157



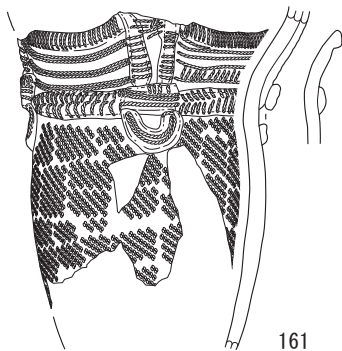
158



159

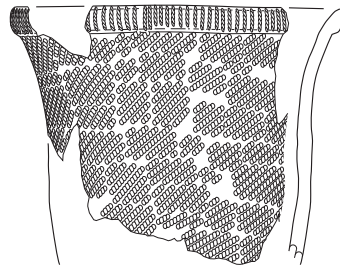


160

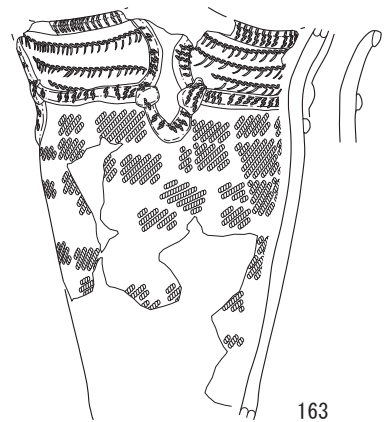


161

第102号土坑



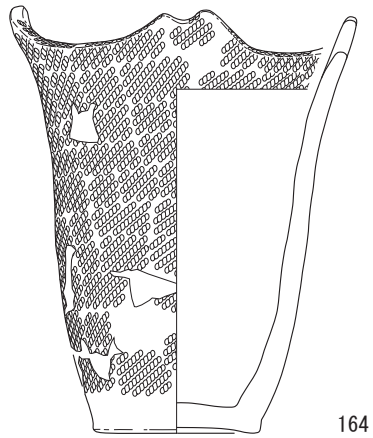
162



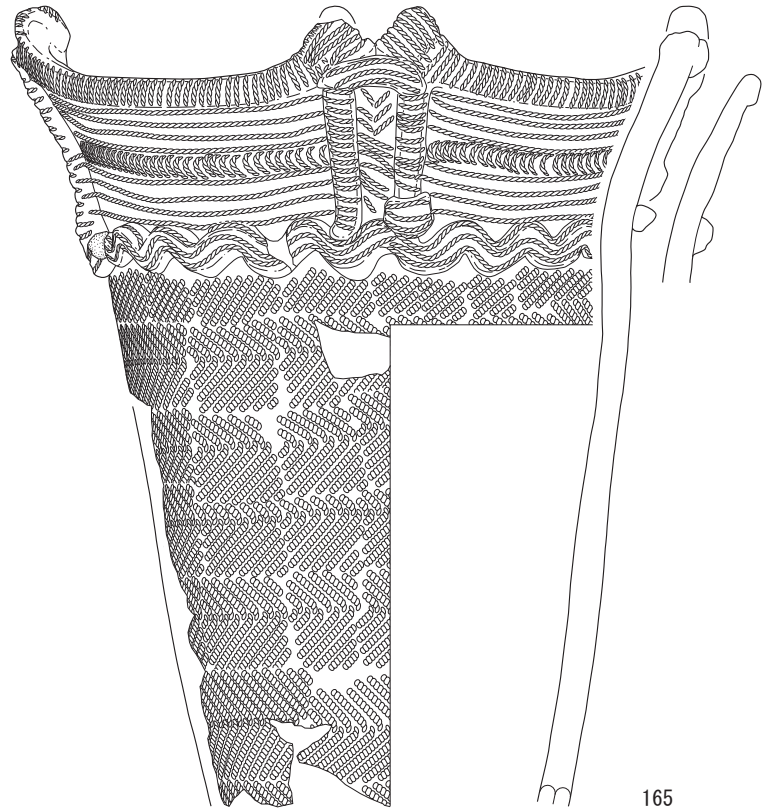
163

0 1:2 5cm 0 1:3 5cm 0 1:4 10cm
剥片石器・土製品 (157) 礫石器 土器

图218 土坑出土遺物



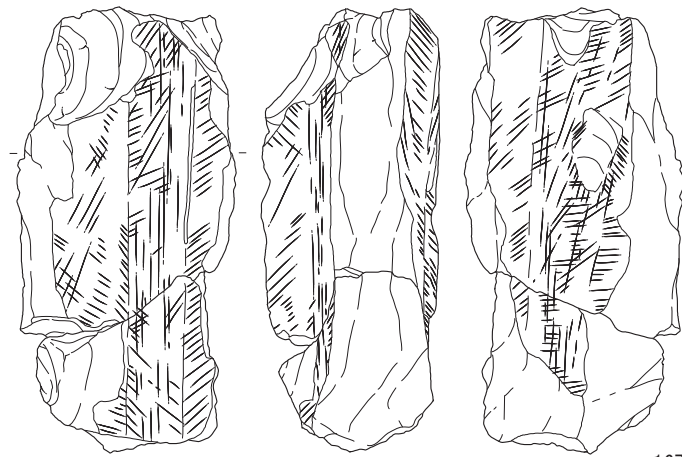
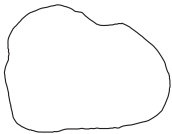
164



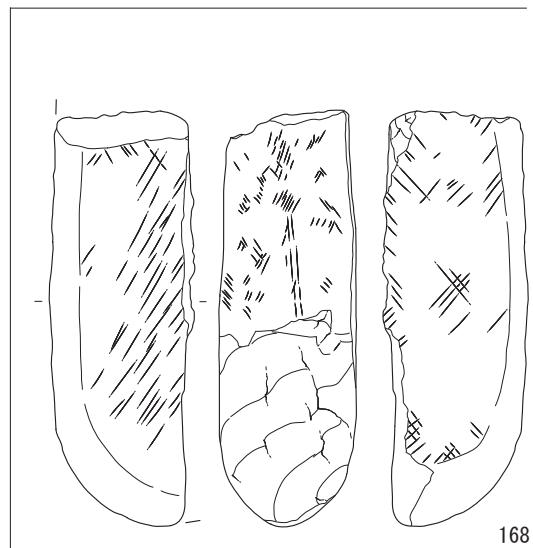
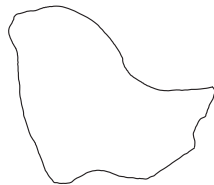
165



166



167



168

第 102 号土坑

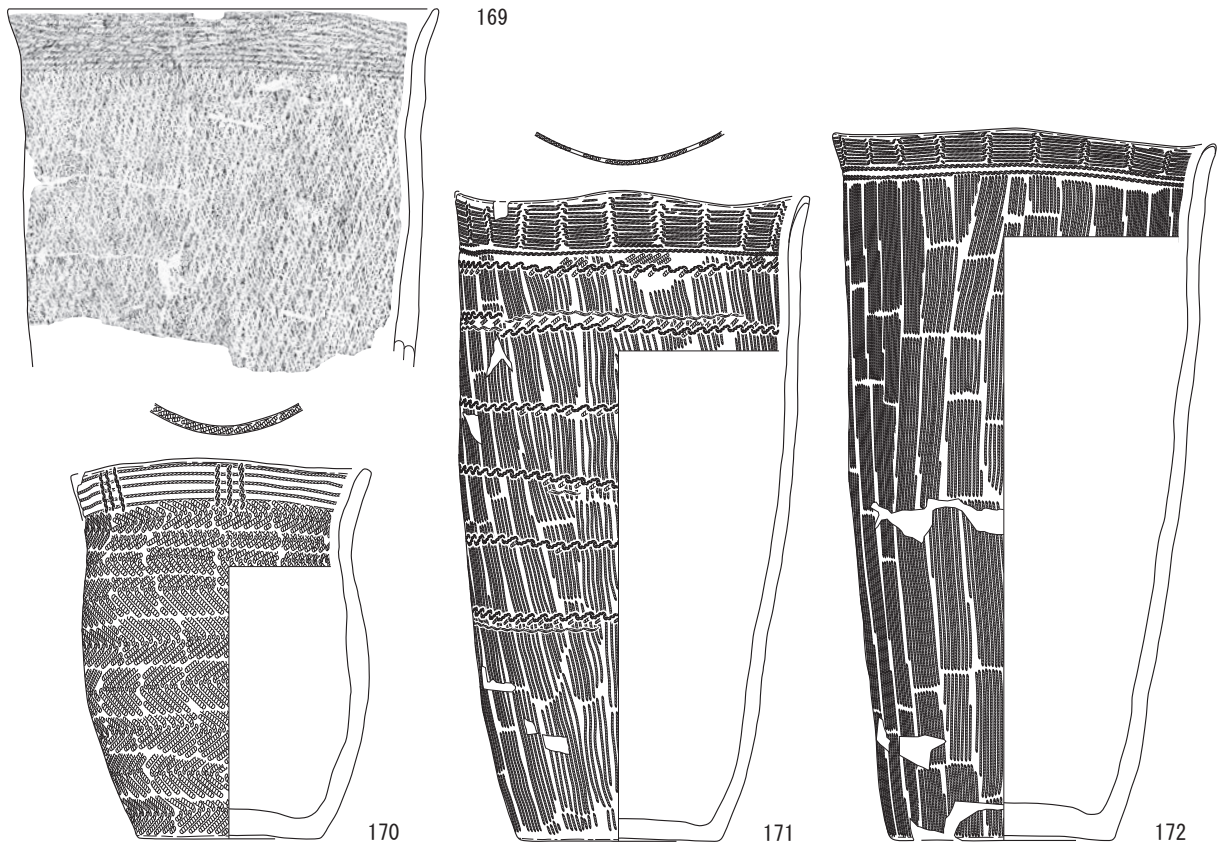
第 103 号土坑



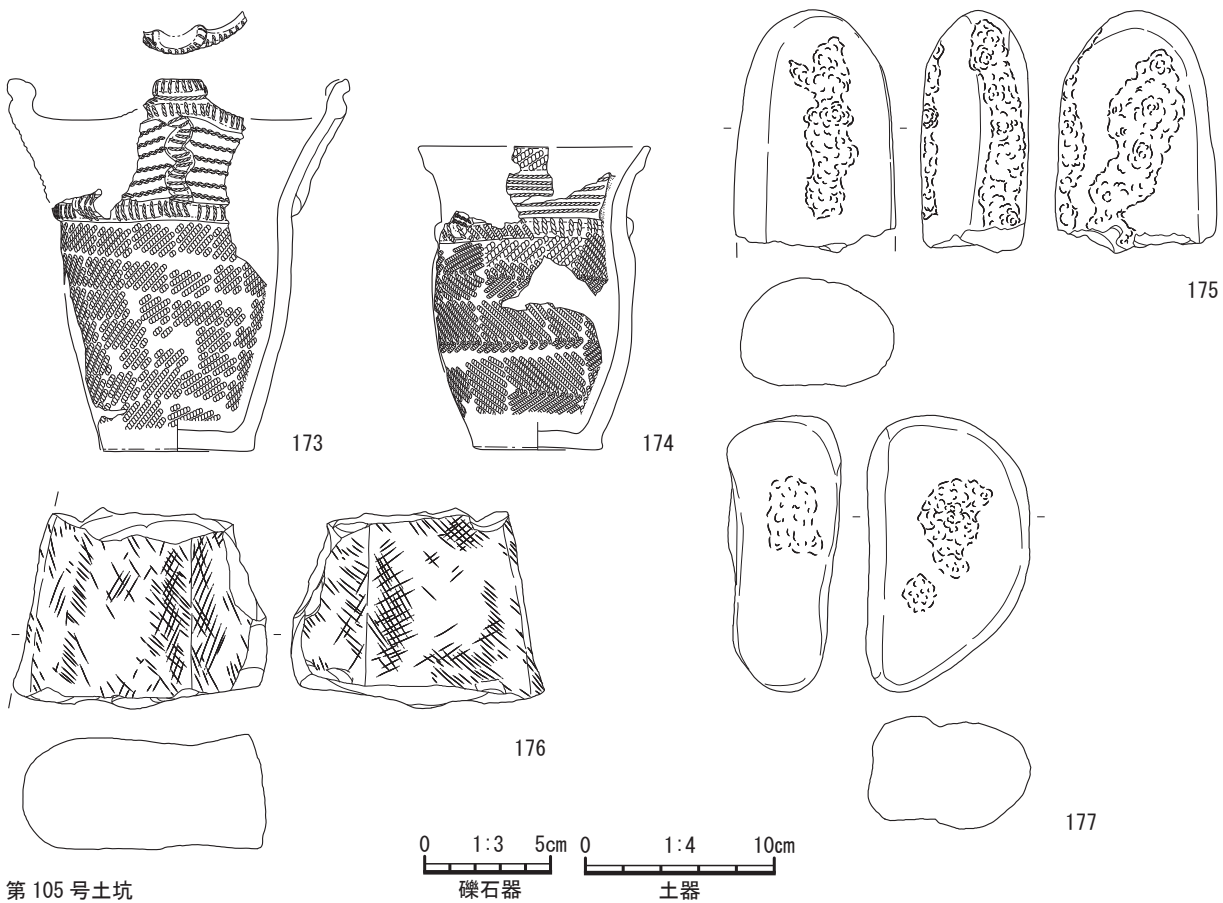
礫石器

土器

图 219 土坑出土遺物



第103号土坑



第105号土坑

图220 土坑出土遺物

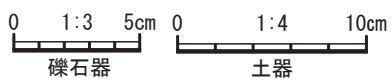
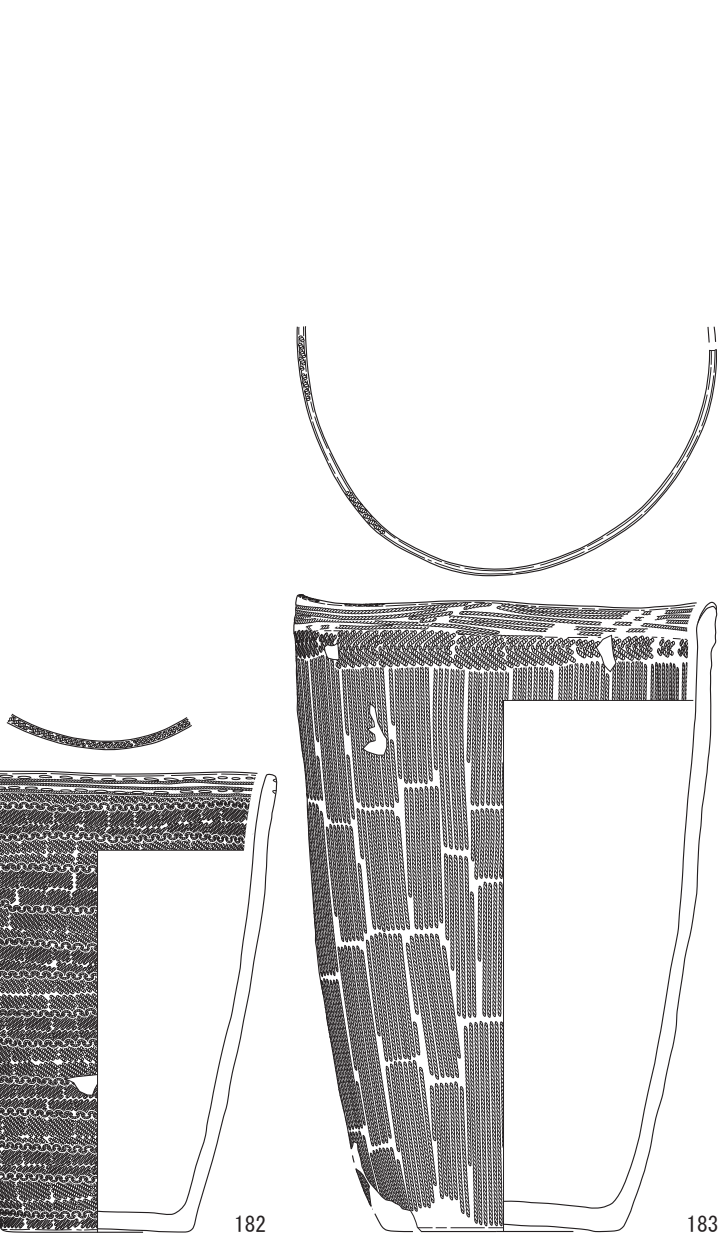
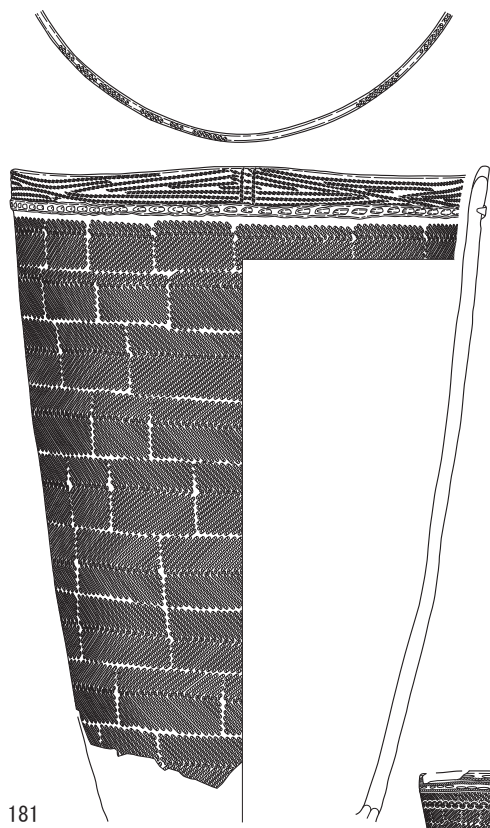
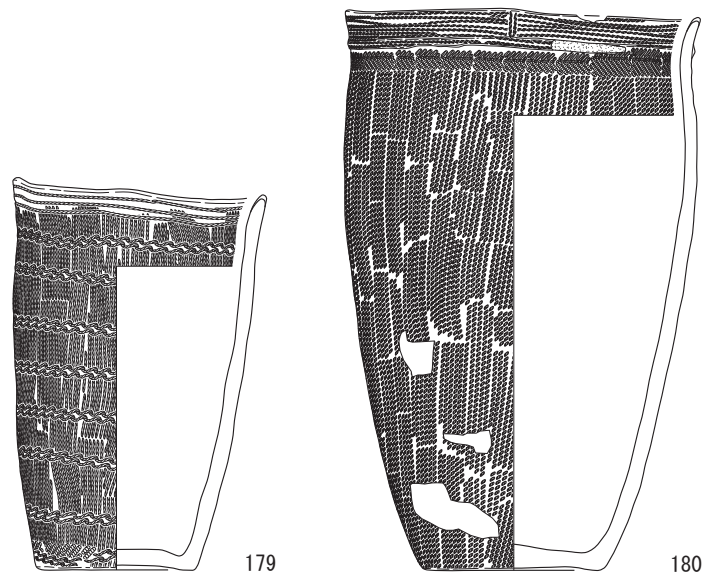
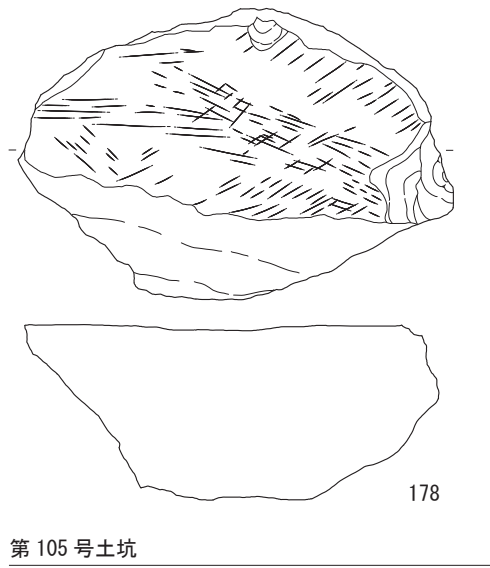
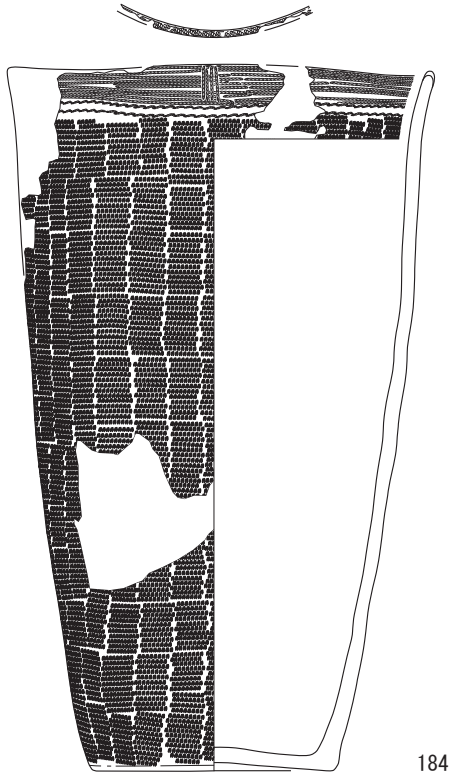


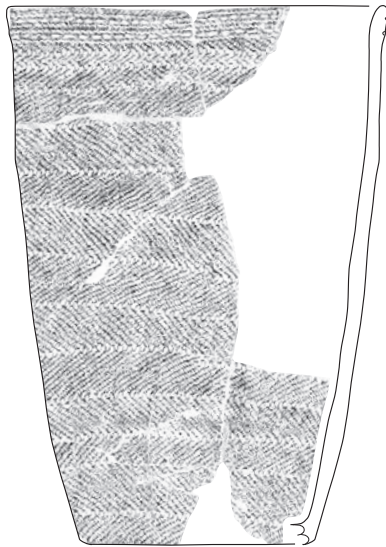
图 221 土坑出土遺物



184



185

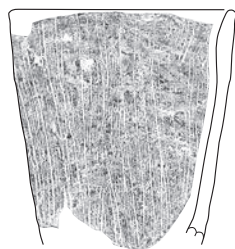


186

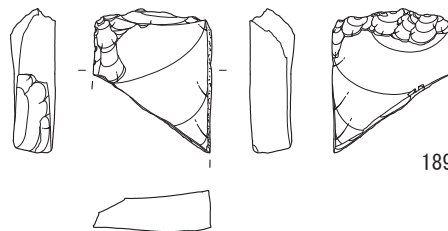


187

第107号土坑



188



189

第112号土坑



图222 土坑出土遺物

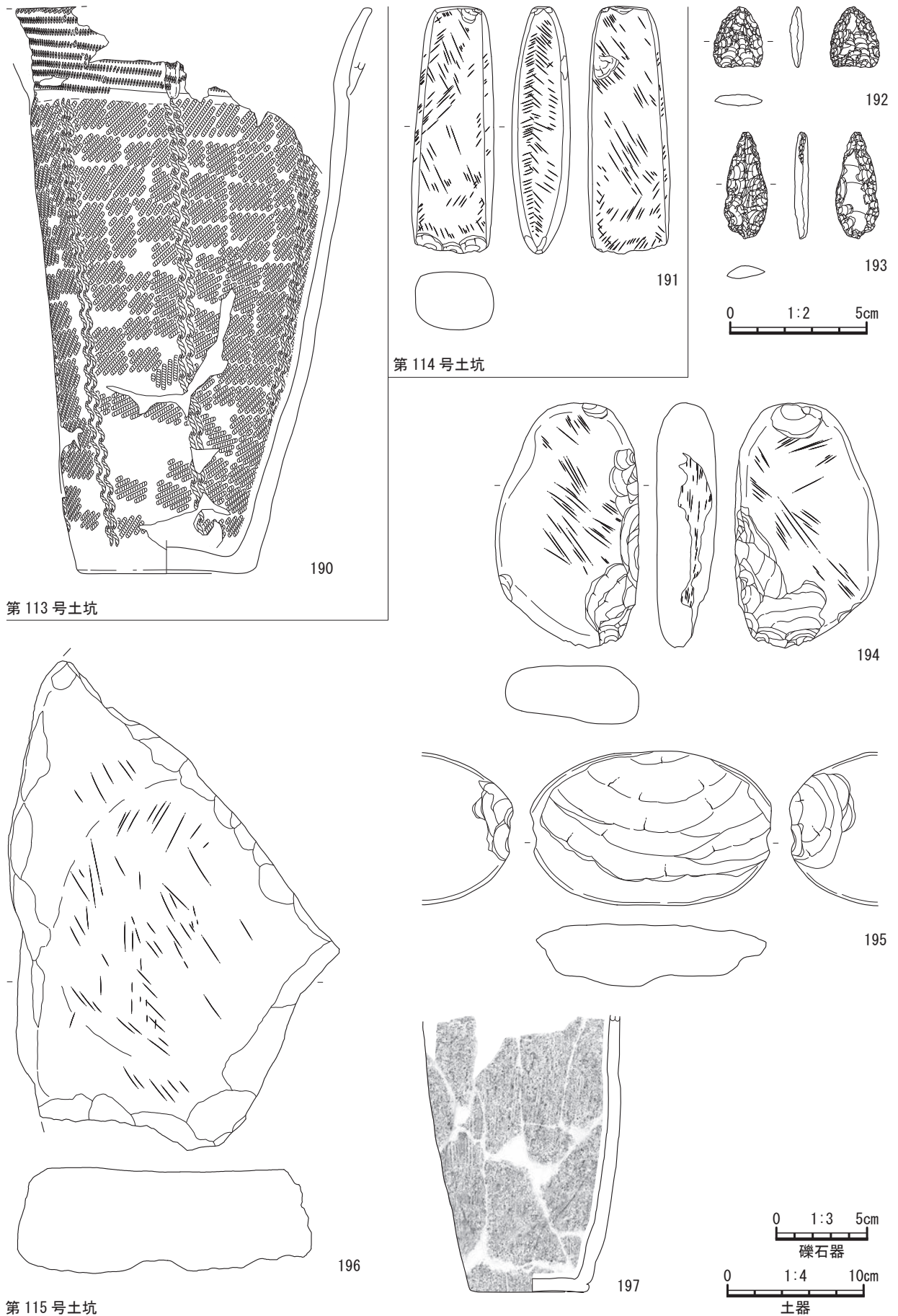
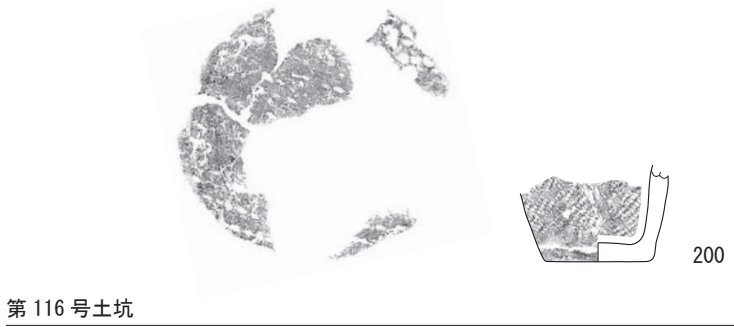
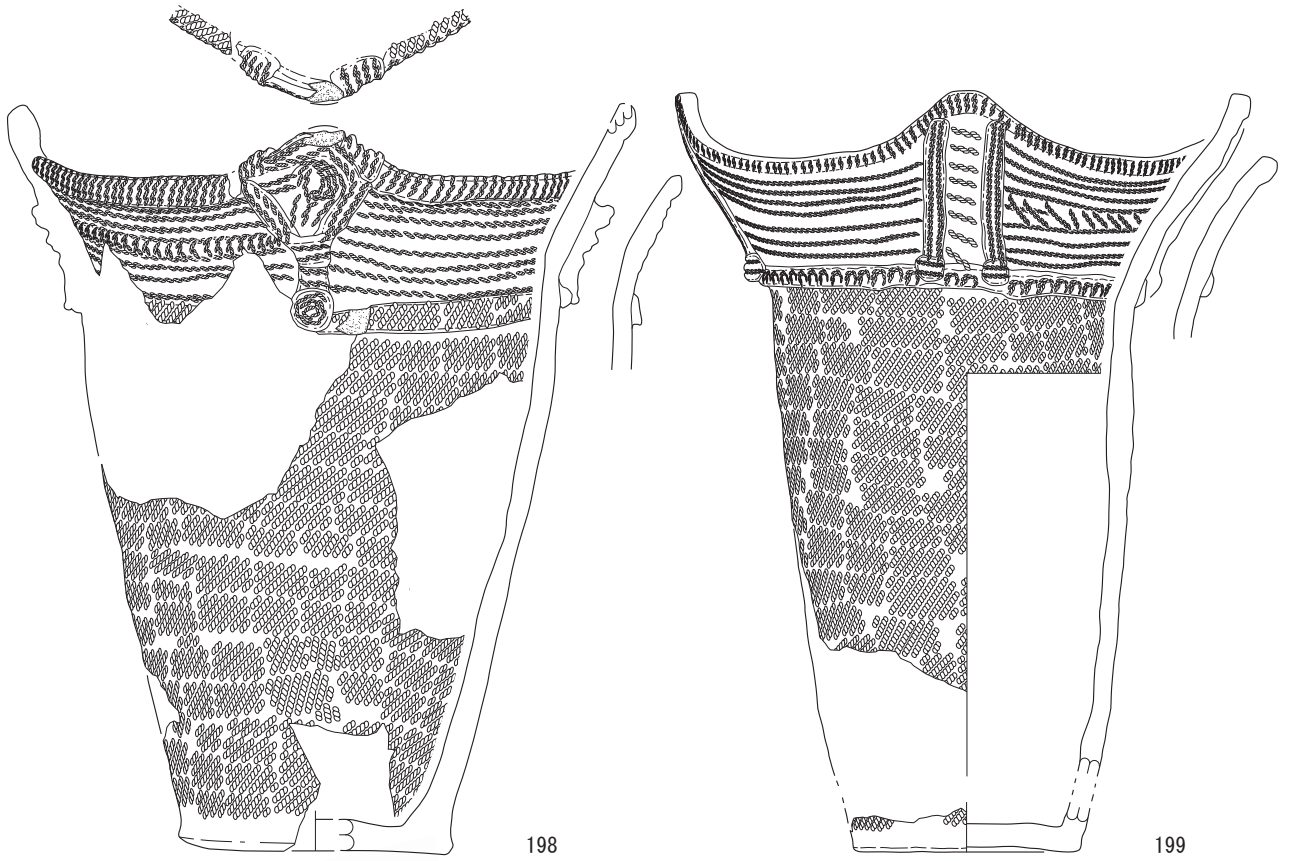
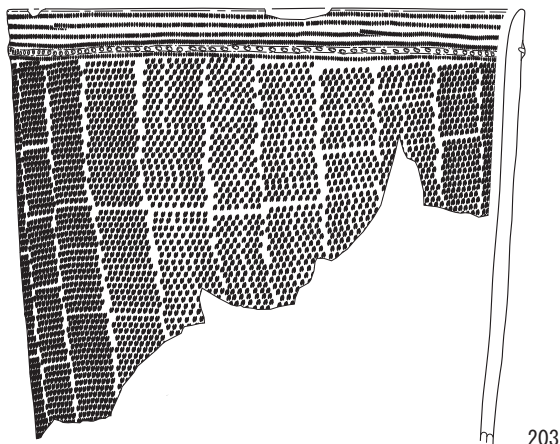
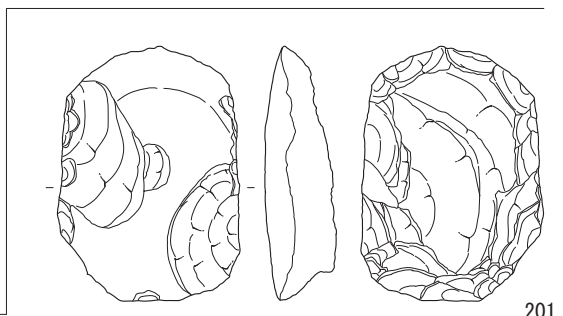


图 223 土坑出土遺物



第116号土坑



第118号土坑



土器

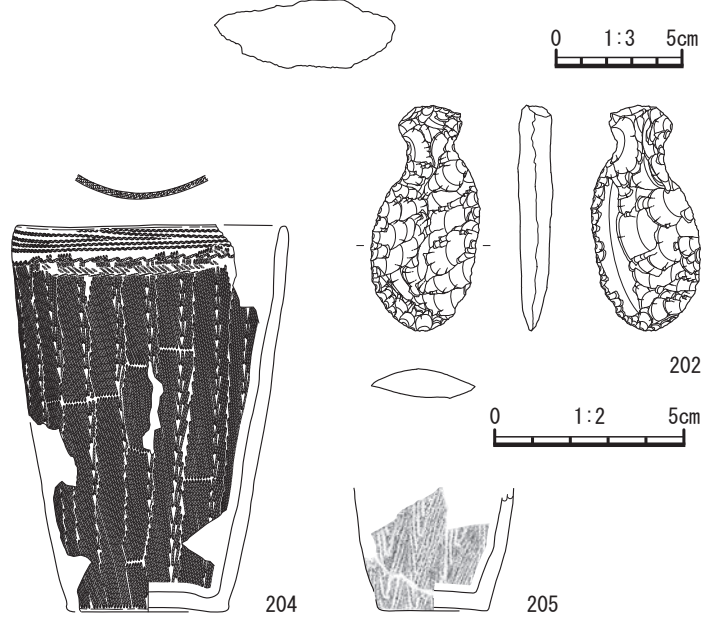
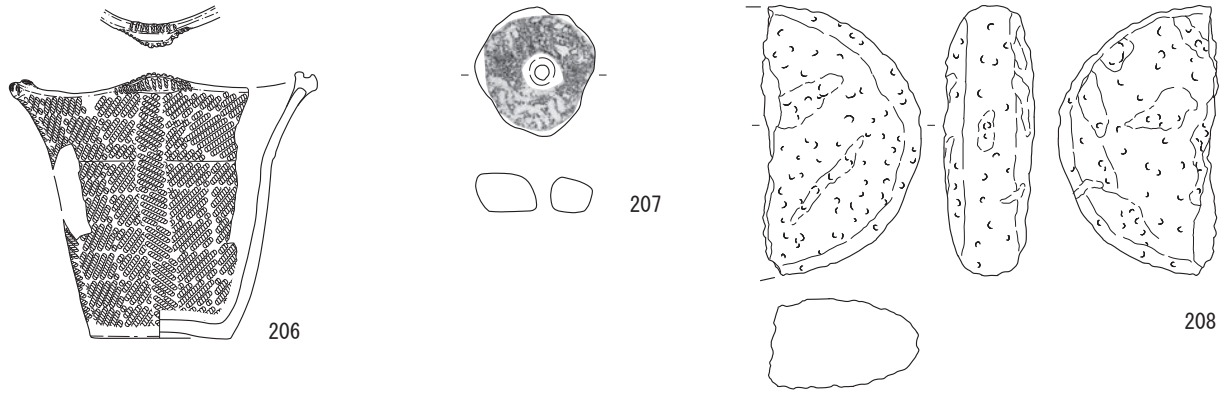
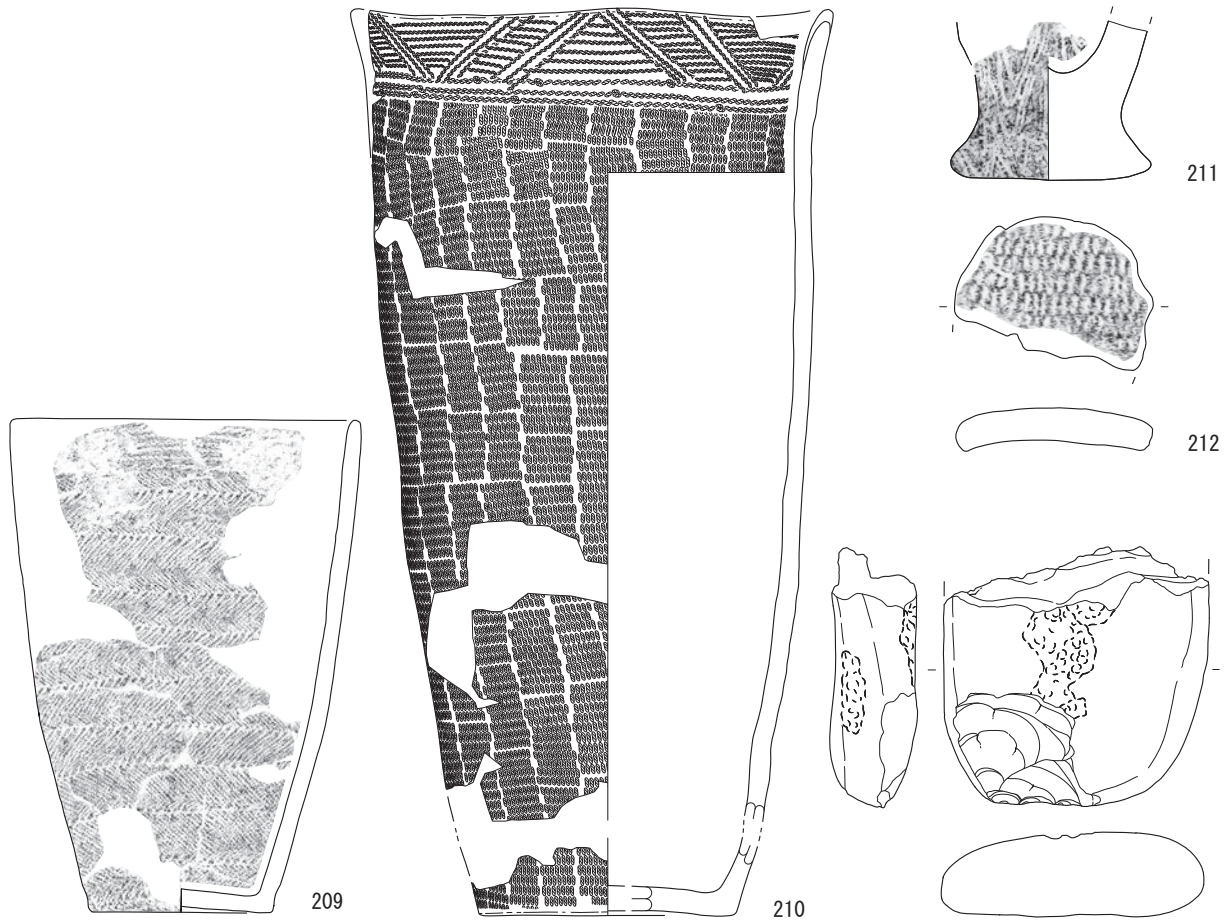


图224 土坑出土遺物

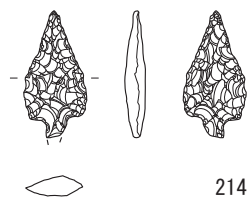


第 121 号土坑

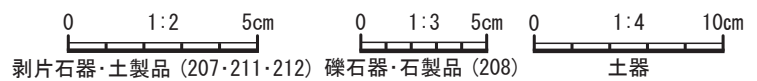


第 122 号土坑

213



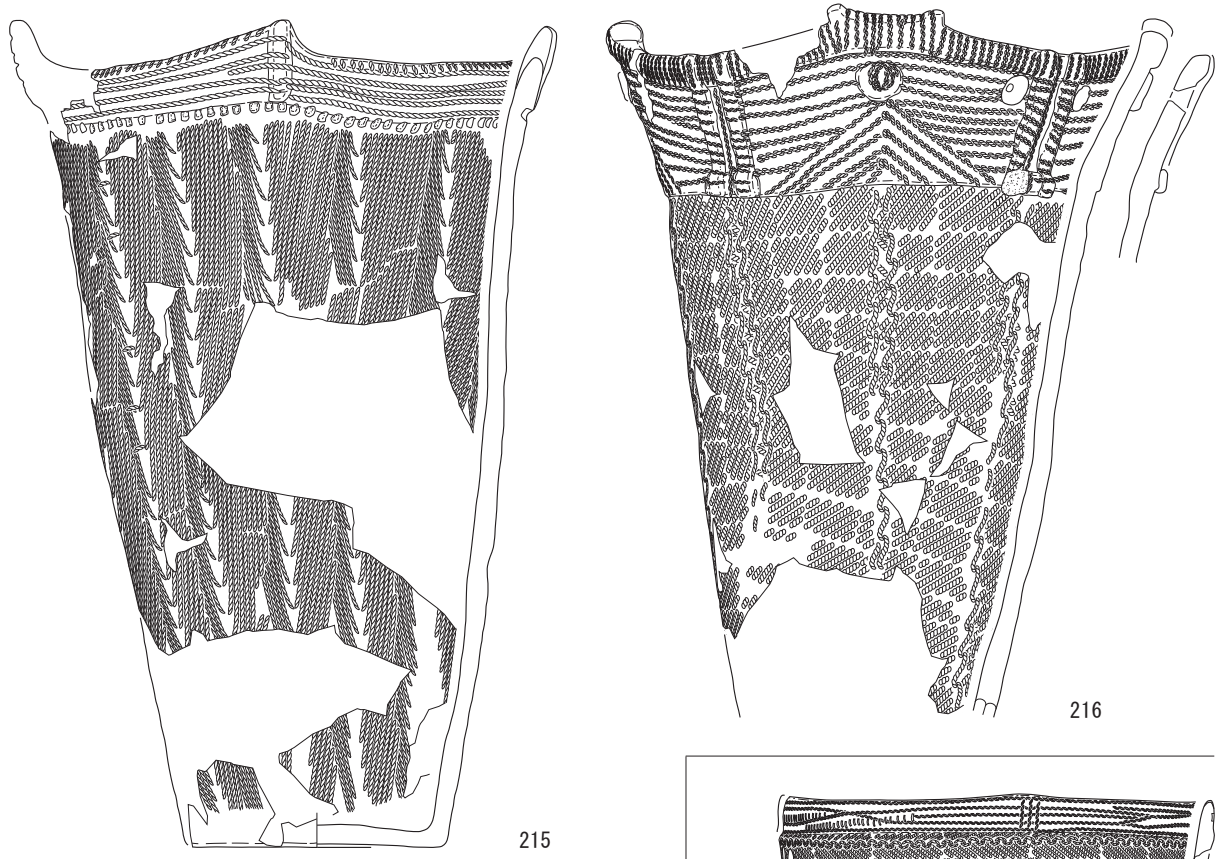
第 123 号土坑



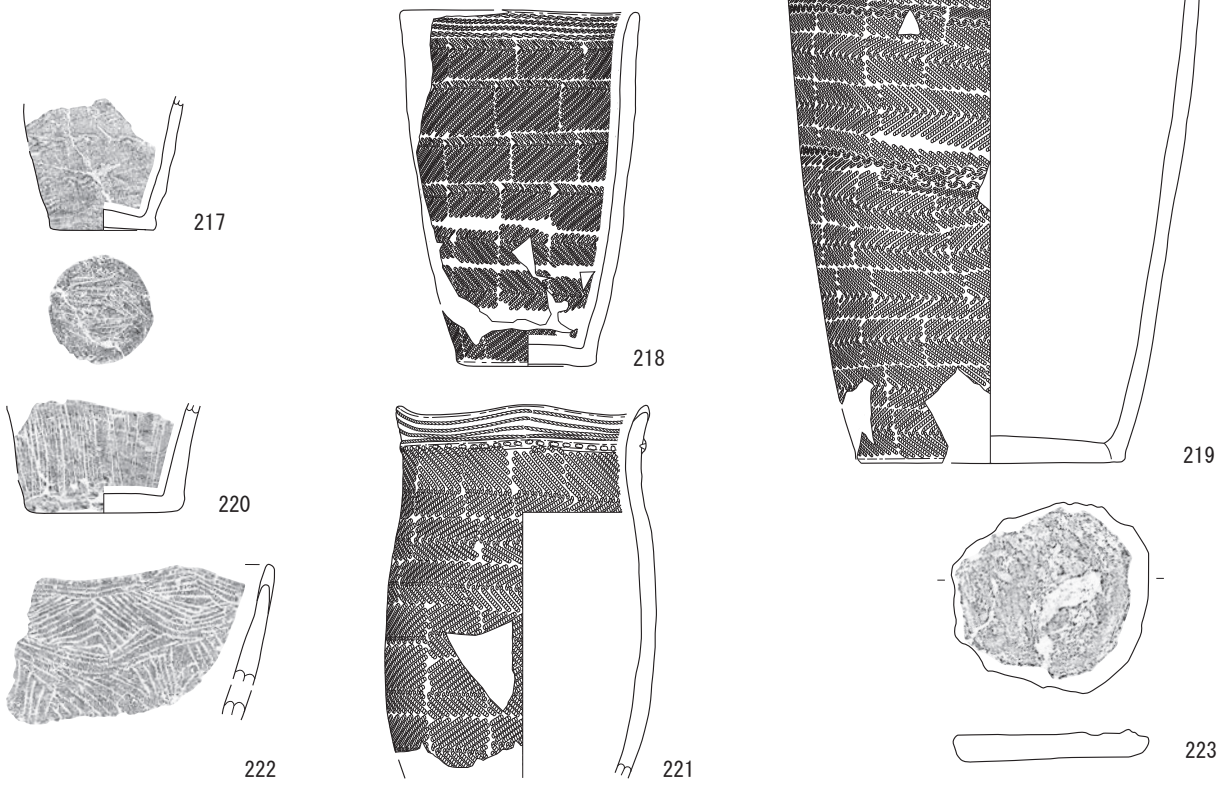
剥片石器・土製品 (207・211・212) 礫石器・石製品 (208)

土器

图 225 土坑出土遺物



第123号土坑



第128号土坑

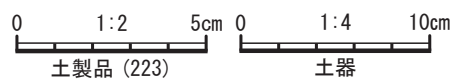


图 226 土坑出土遺物

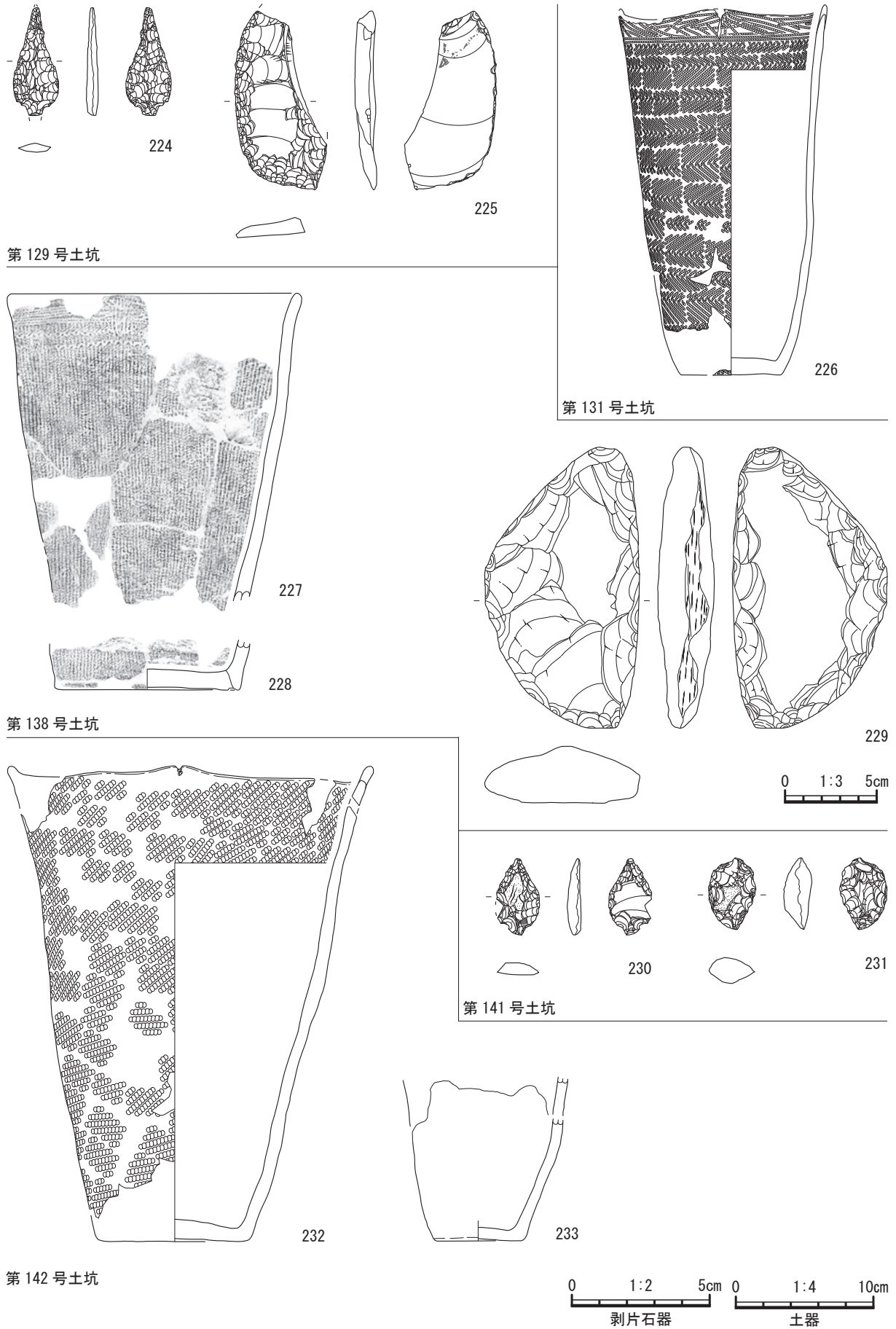


图 227 土坑出土遺物

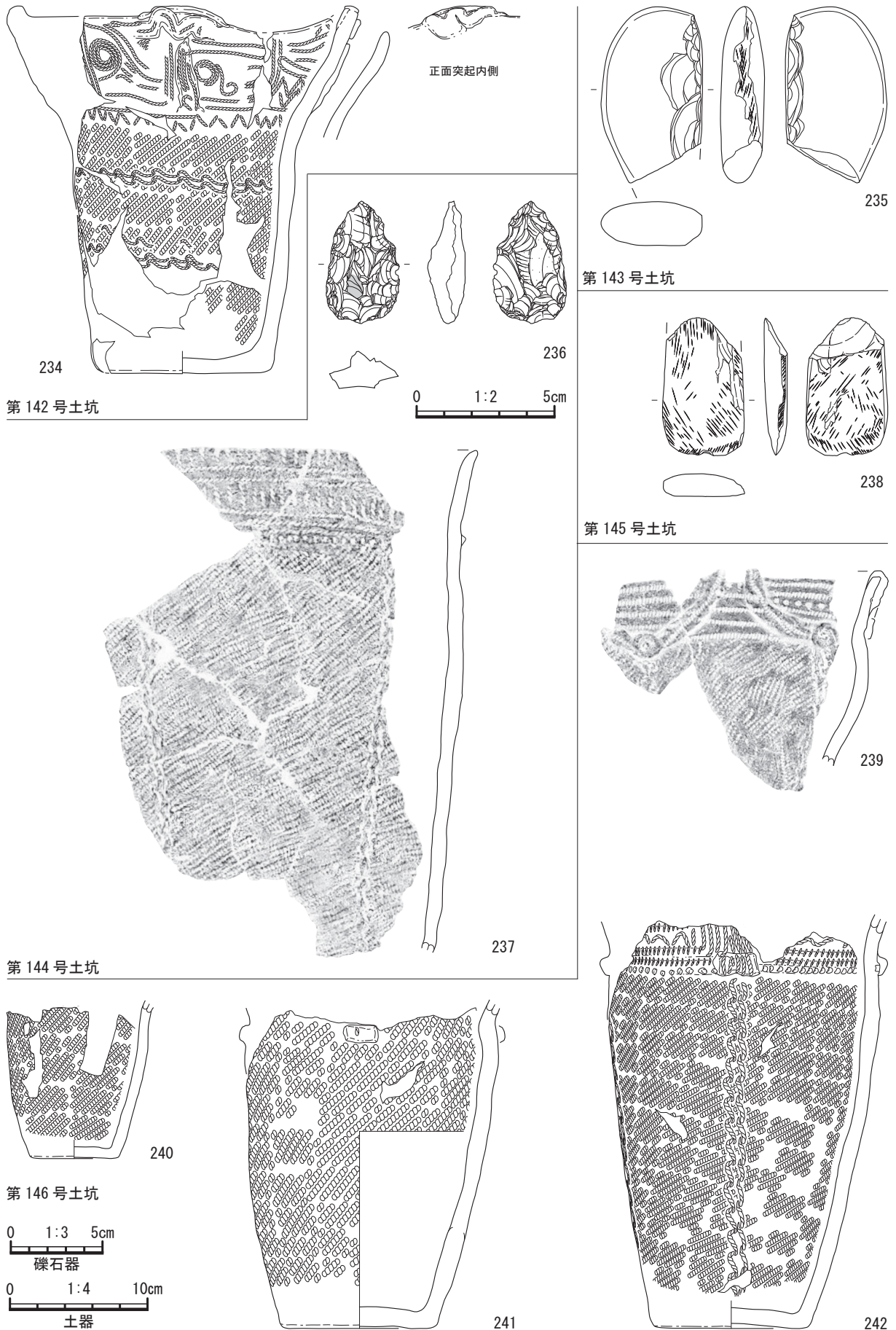


图 228 土坑出土遺物

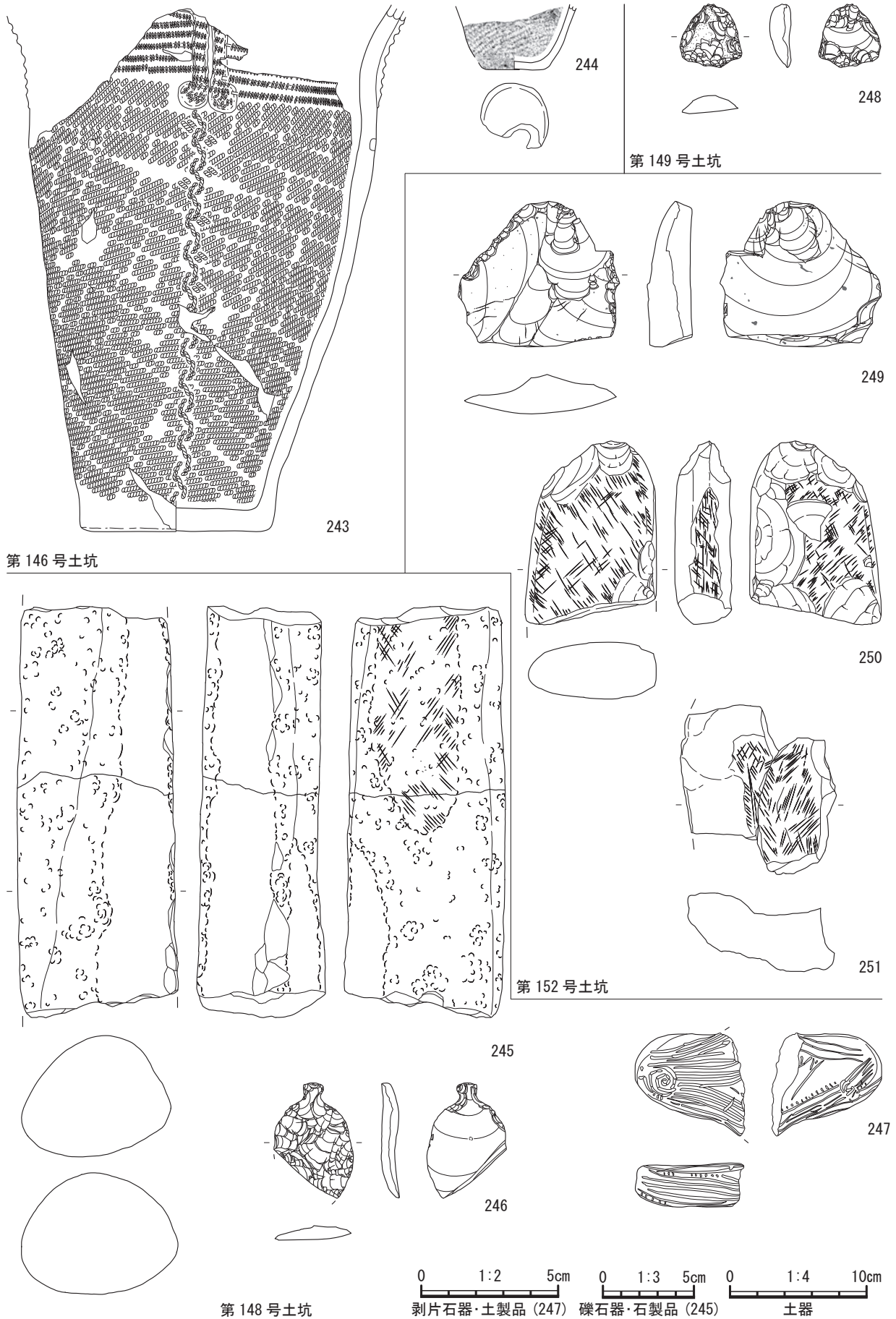
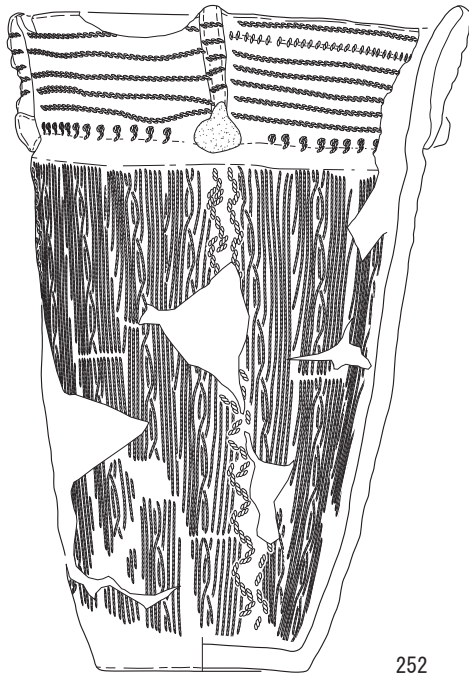
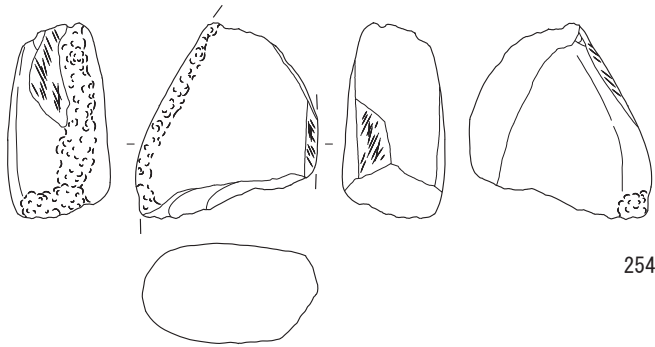


图 229 土坑出土遺物



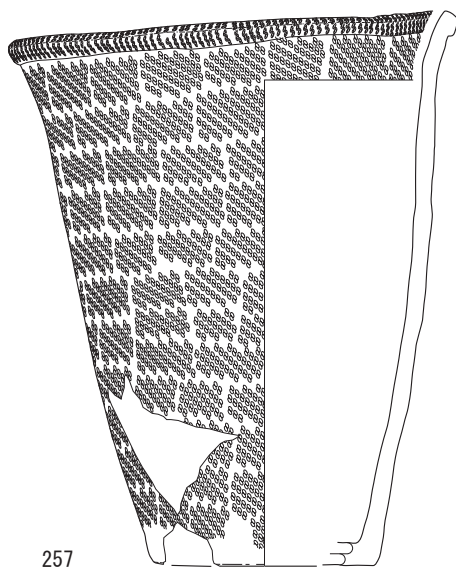
252

第153号土坑



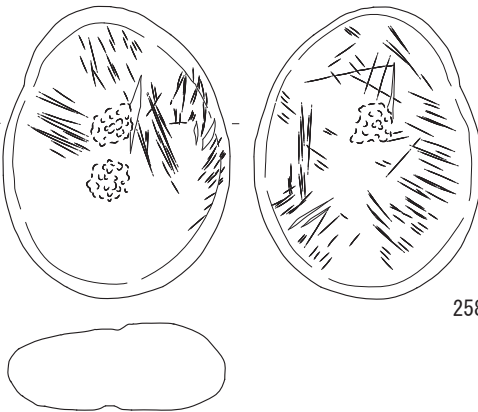
254

第156号土坑



257

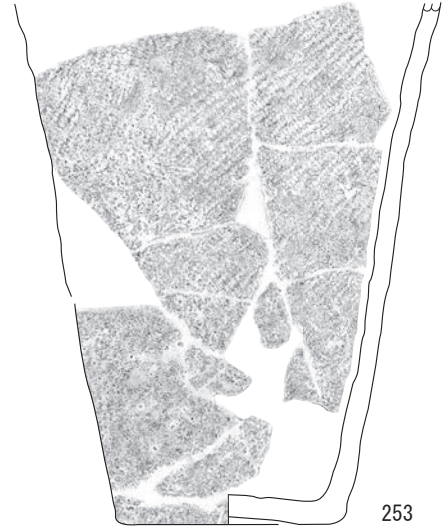
第158号土坑



258

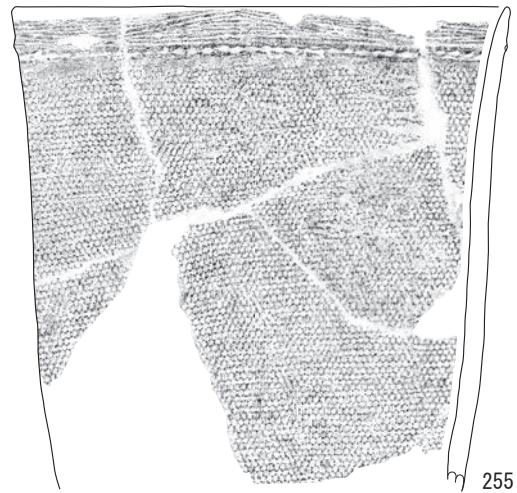
図230 土坑出土遺物

表面

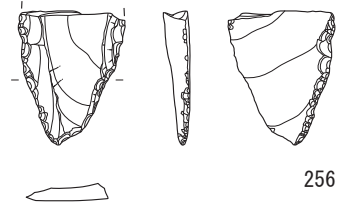


253

第154号土坑



255



256

第157号土坑

0 1:3 5cm

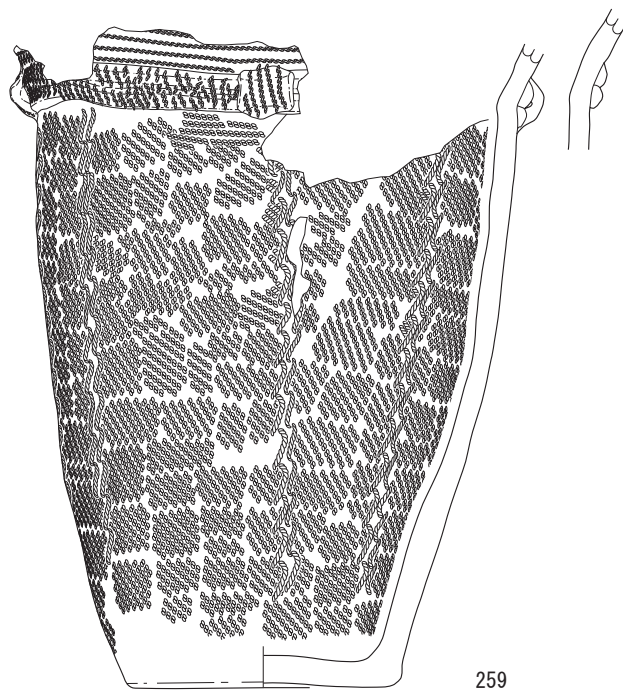
礫石器

0 1:2 5cm

剥片石器

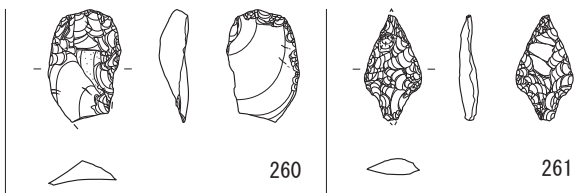
0 1:4 10cm

土器



259

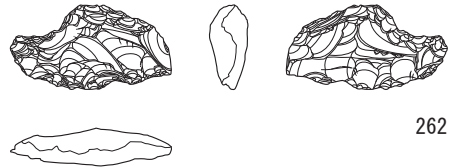
第 158 号土坑



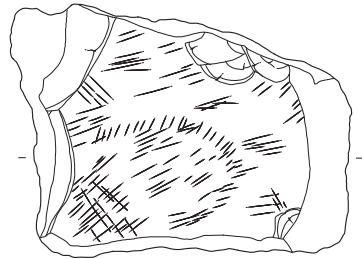
260

261

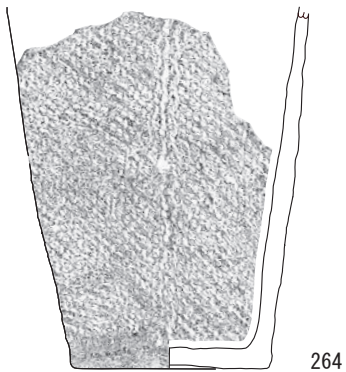
第 159 号土坑



262

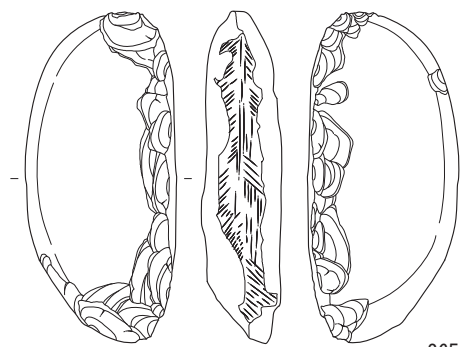


263

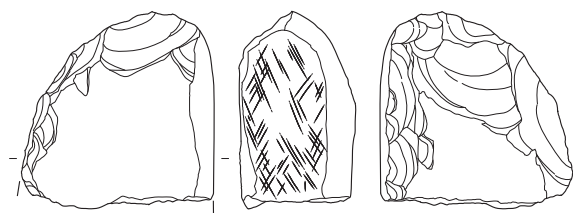
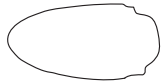


264

第 162 号土坑



265



266

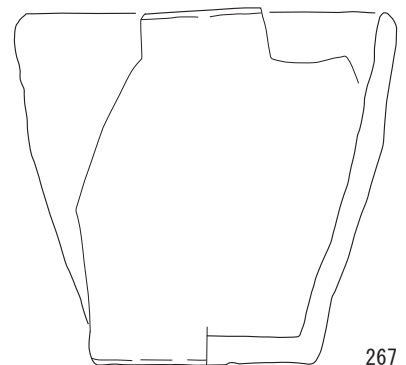
第 167 号土坑



剥片石器・土製品 (267)

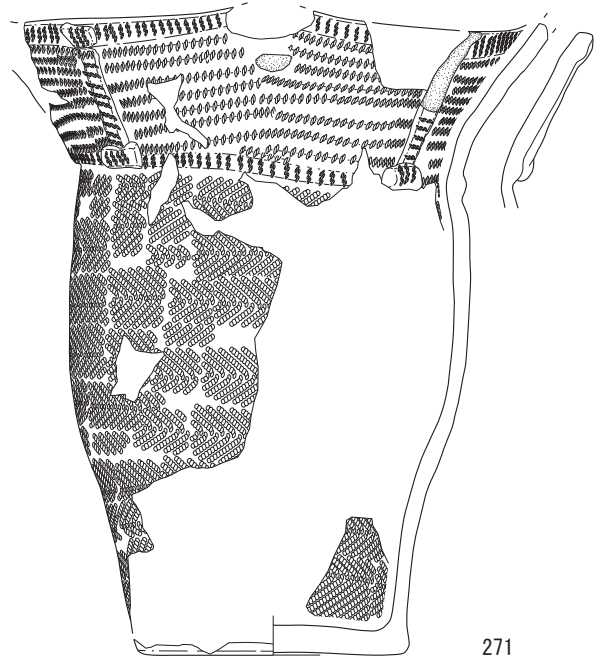
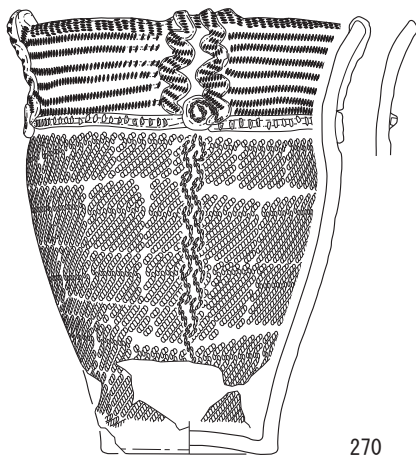
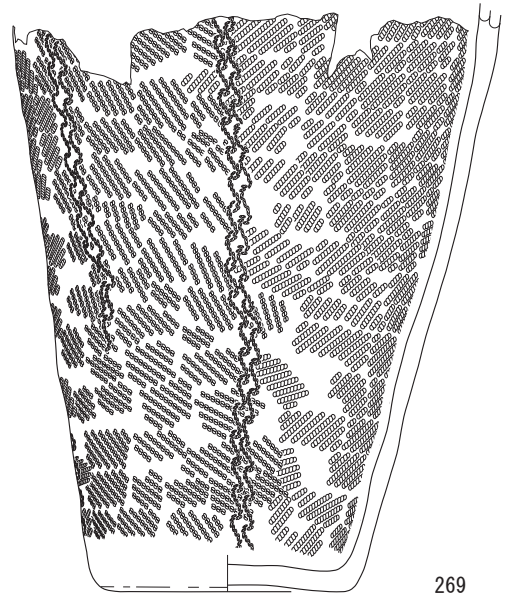
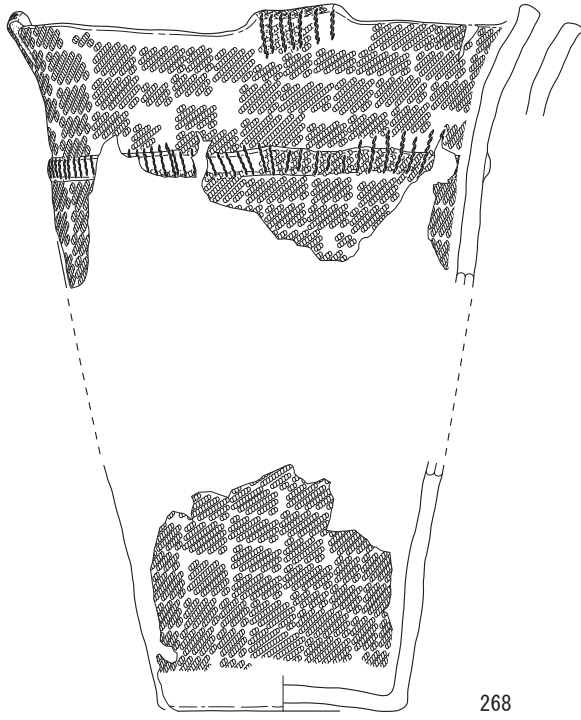
礫石器

土器



267

图 231 土坑出土遺物



第167号土坑

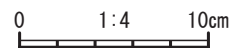
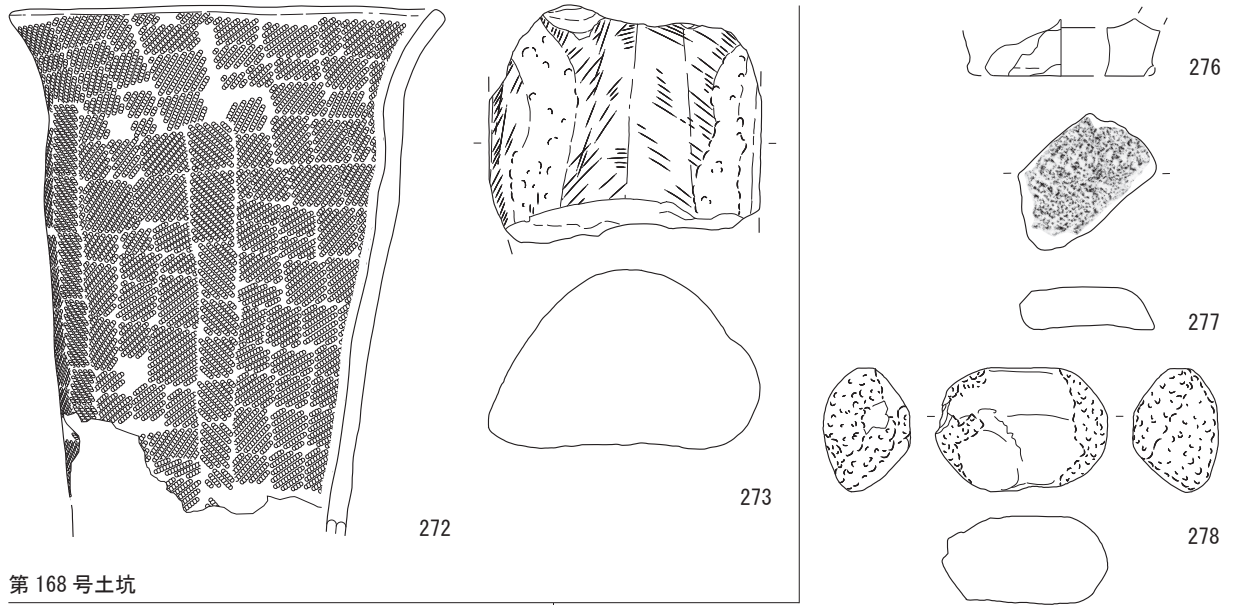
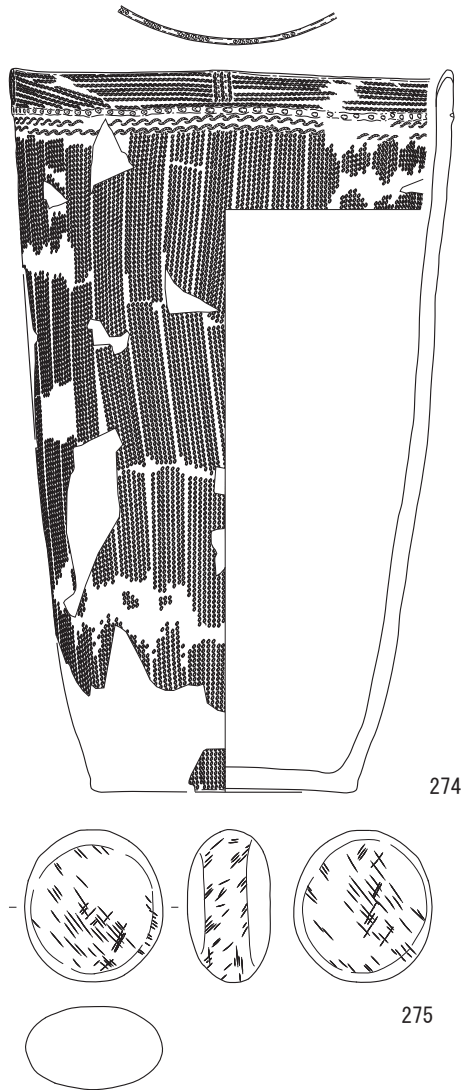


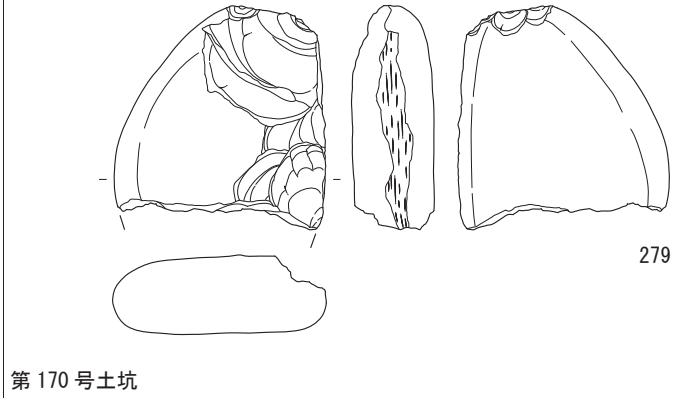
图232 土坑出土遺物



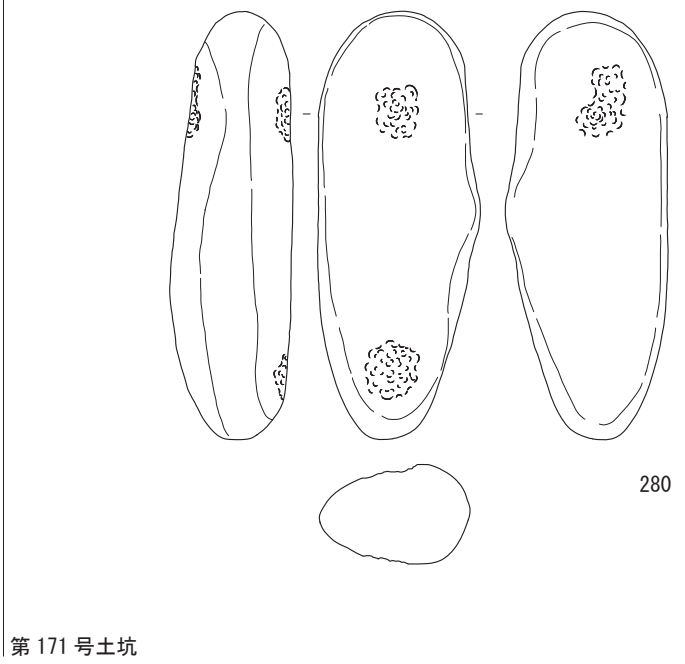
第 168 号土坑



第 169 号土坑



第 170 号土坑



第 171 号土坑

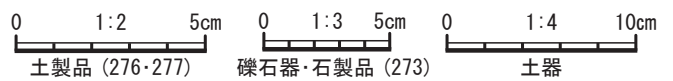
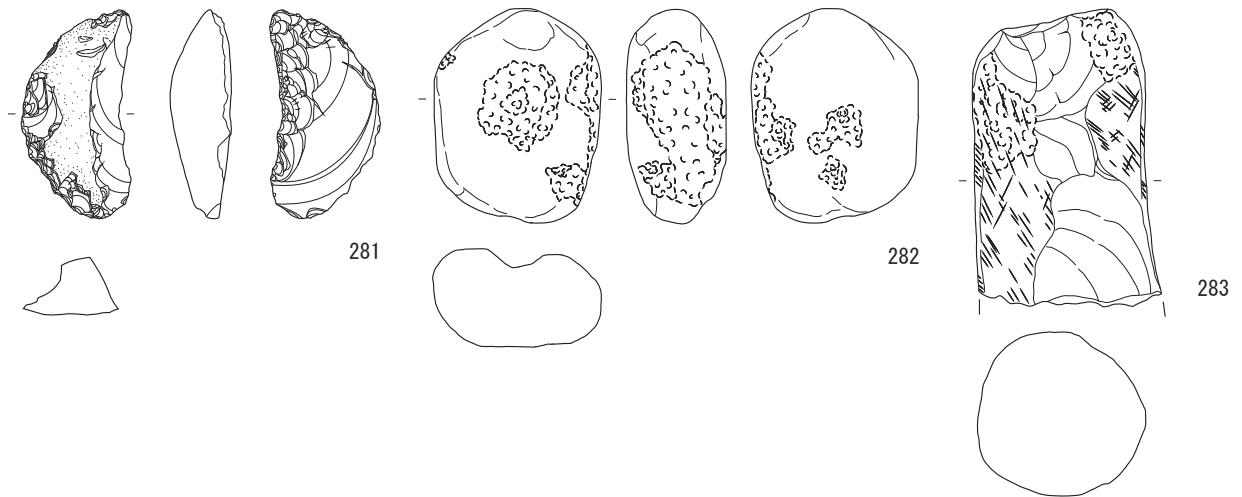
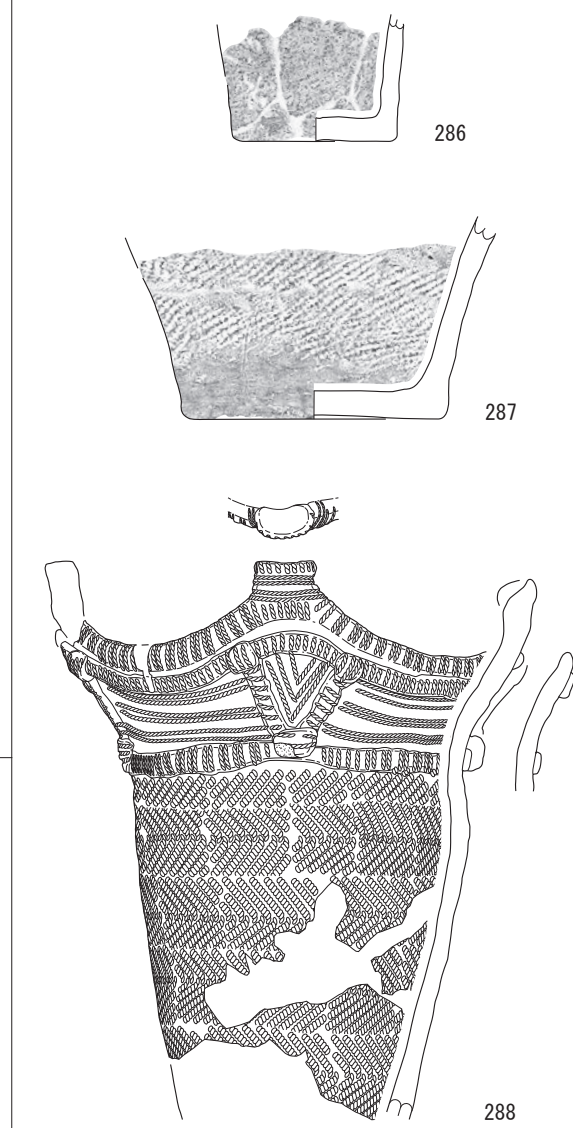
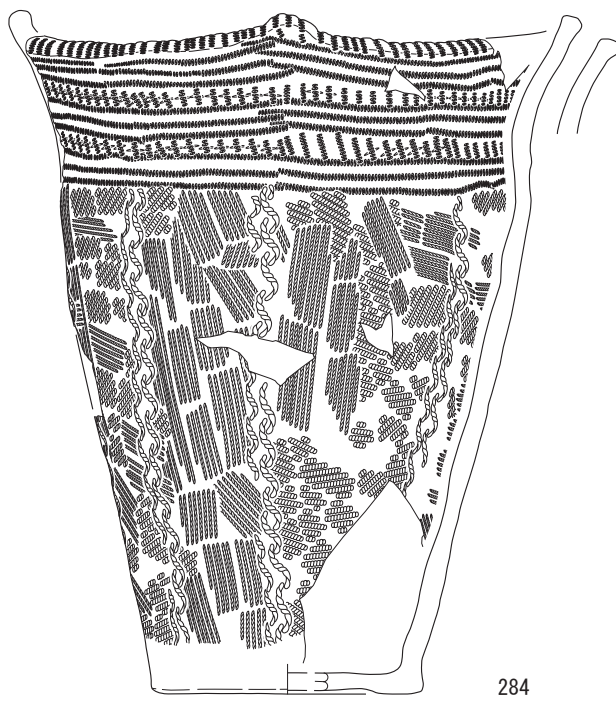


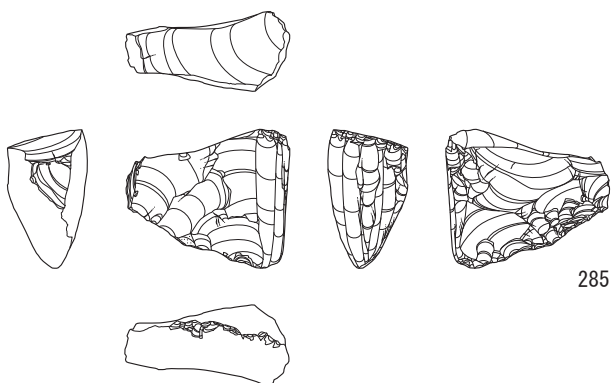
图 233 土坑出土遺物



第172号土坑



第175号土坑



第177号土坑

第176号土坑

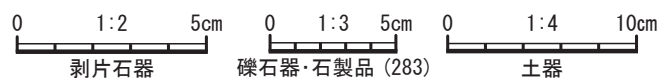


图234 土坑出土遺物

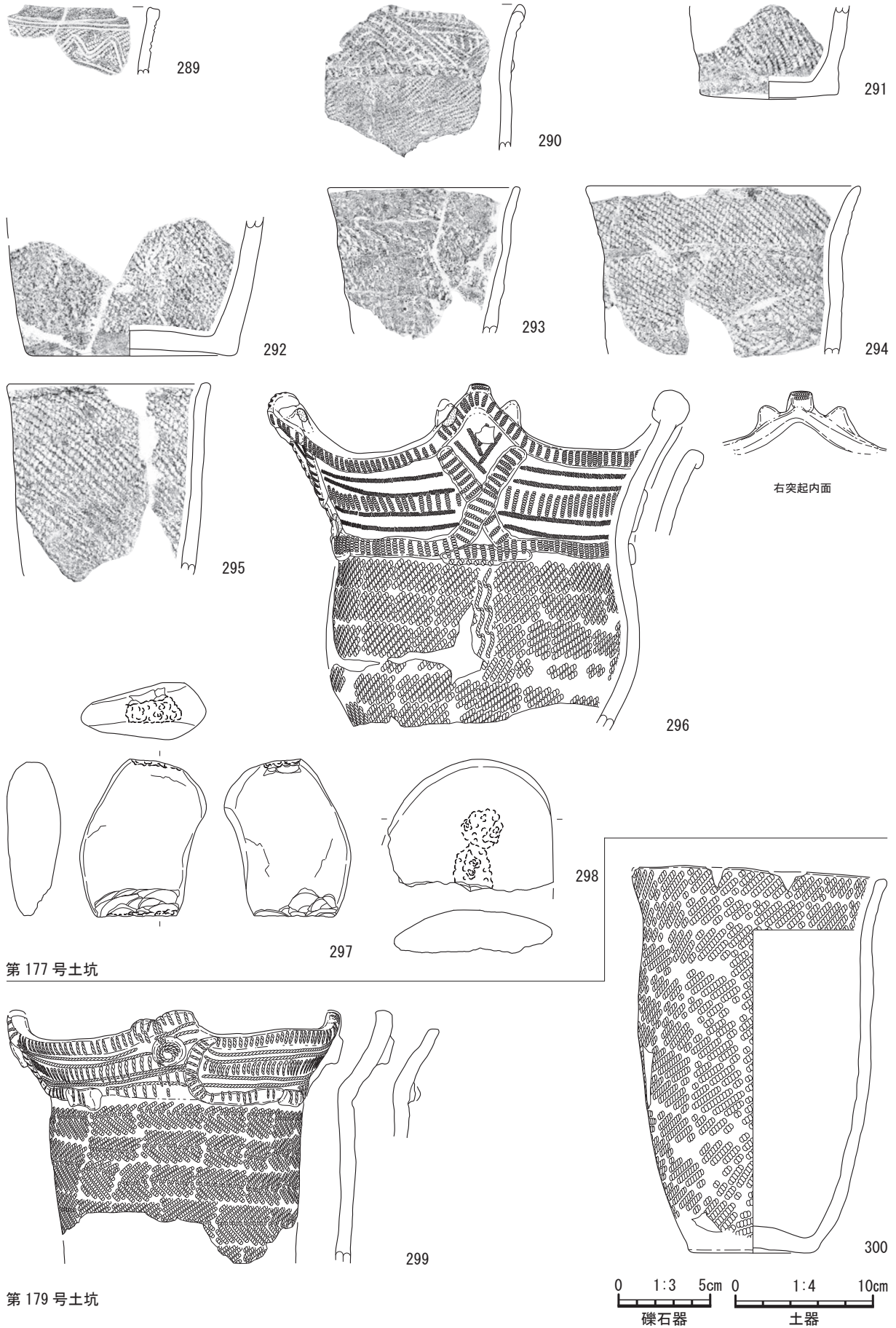
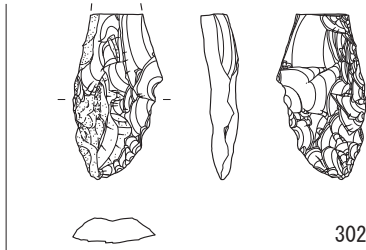


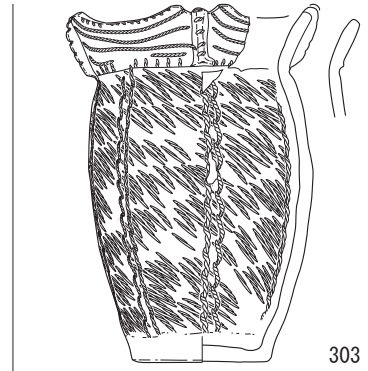
图 235 土坑出土遺物



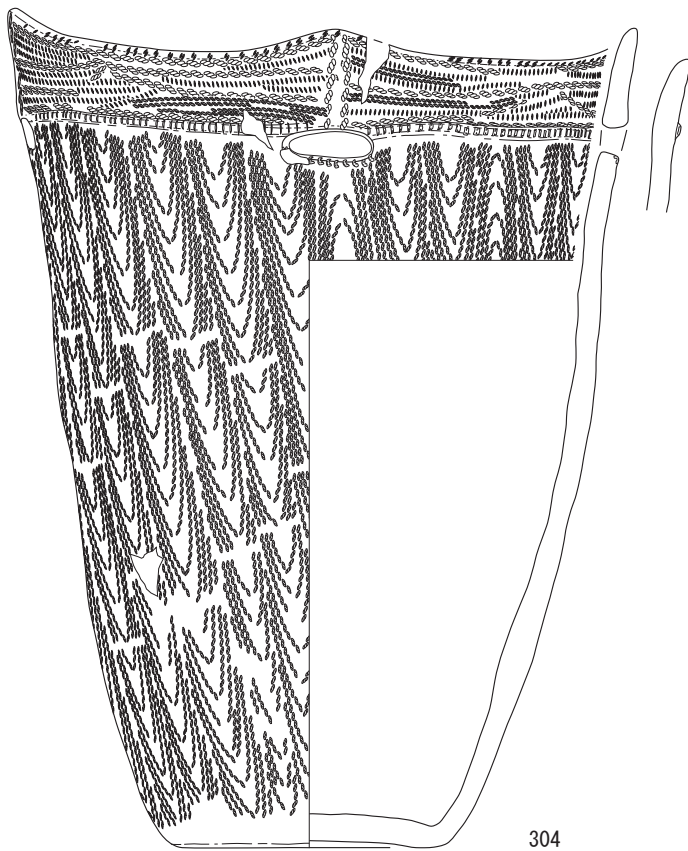
第179号土坑



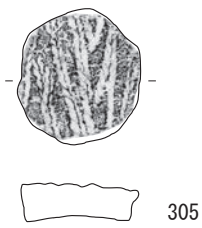
第181号土坑



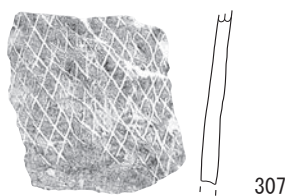
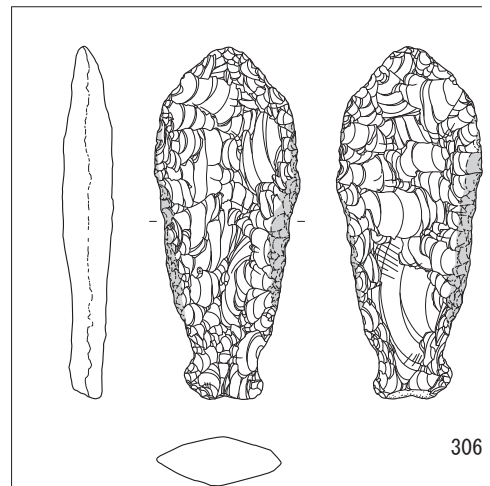
第182号土坑



第183号土坑



第187号土坑



第188号土坑

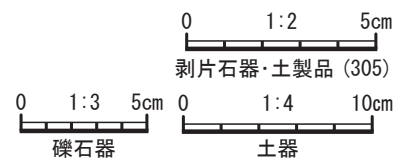
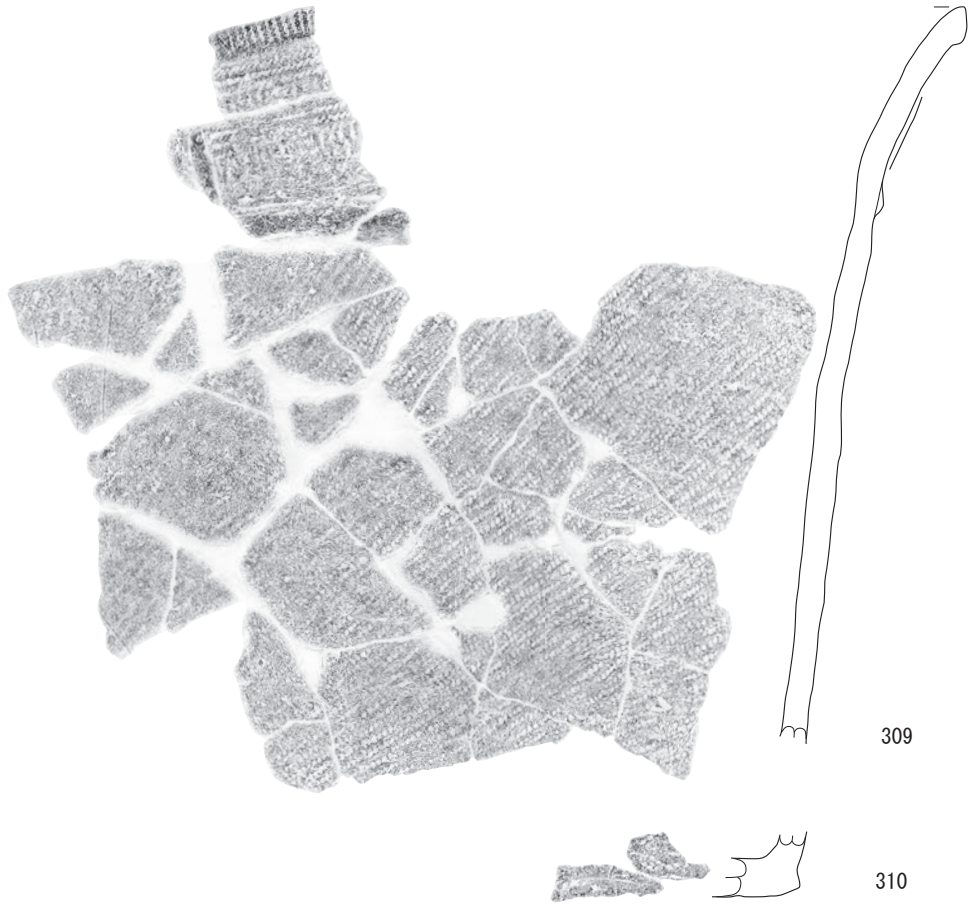
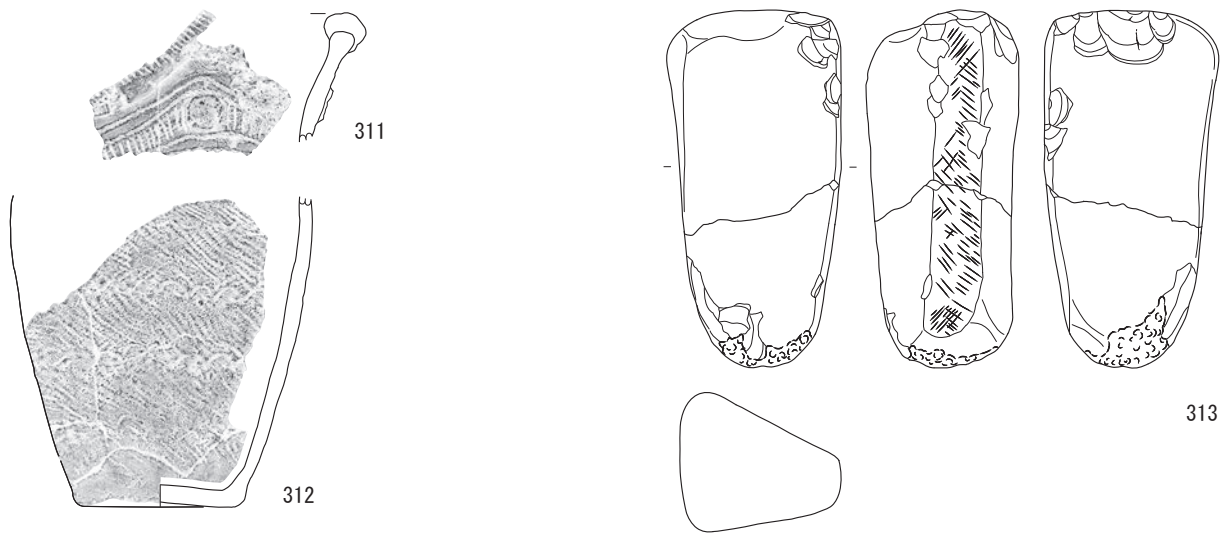


图236 土坑出土遺物



第 186 号土坑



第 189 号土坑

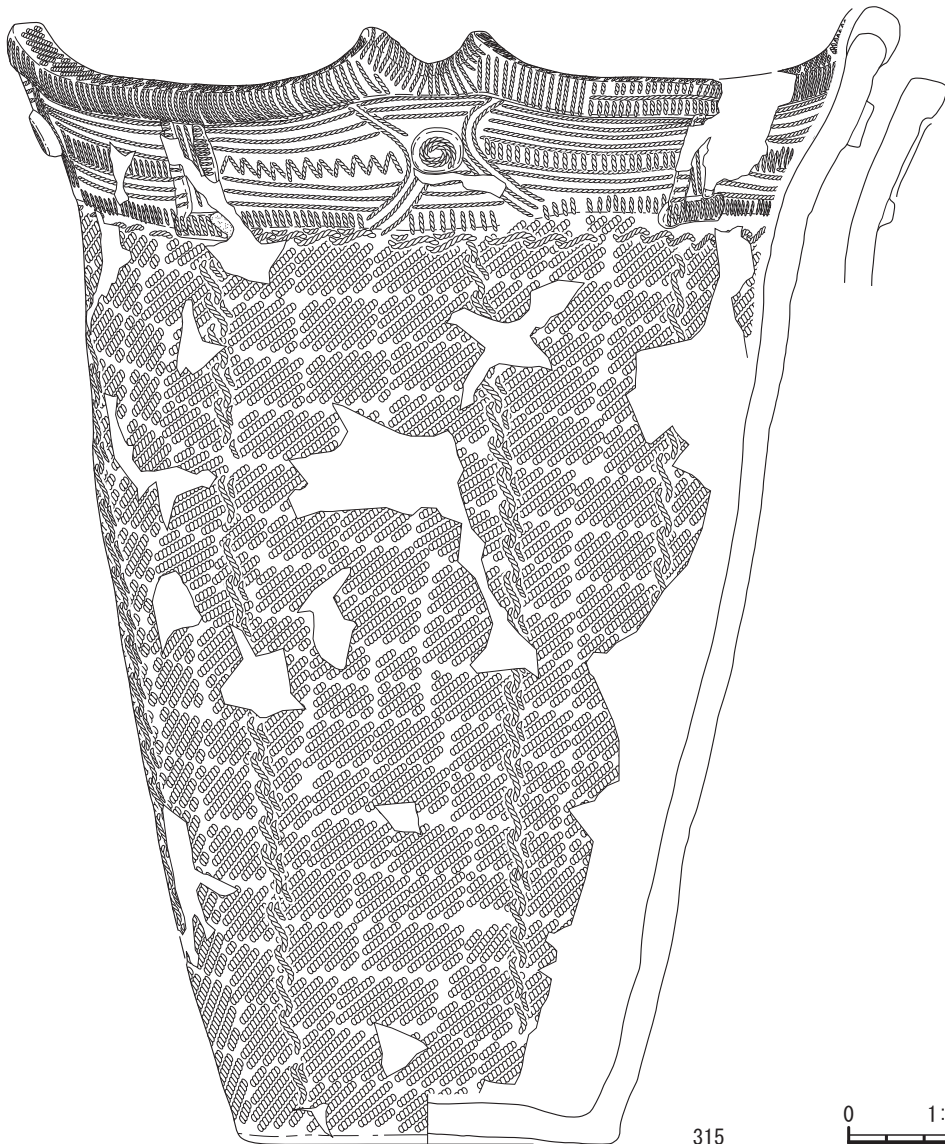
图 237 土坑出土遺物

第190号土坑



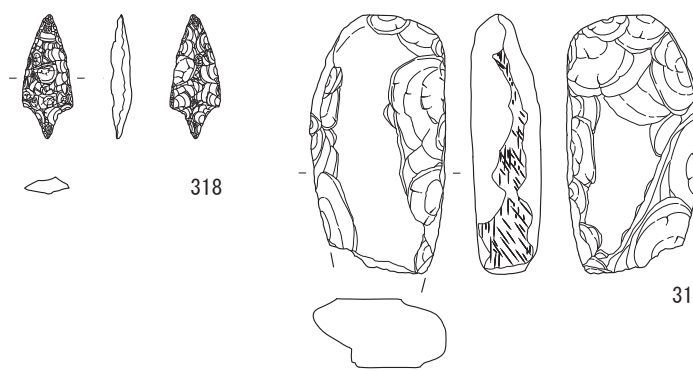
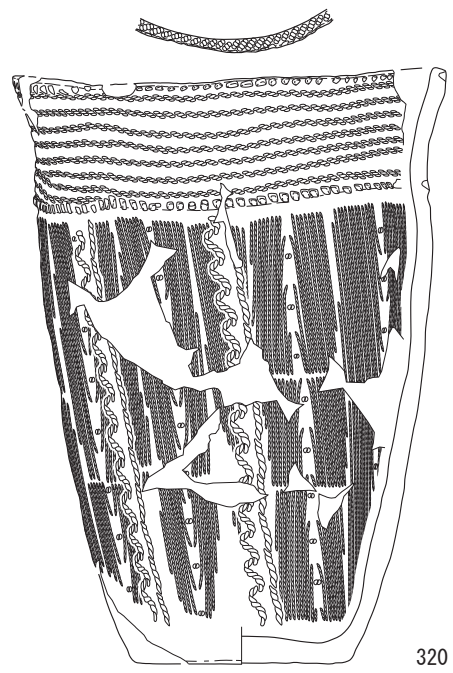
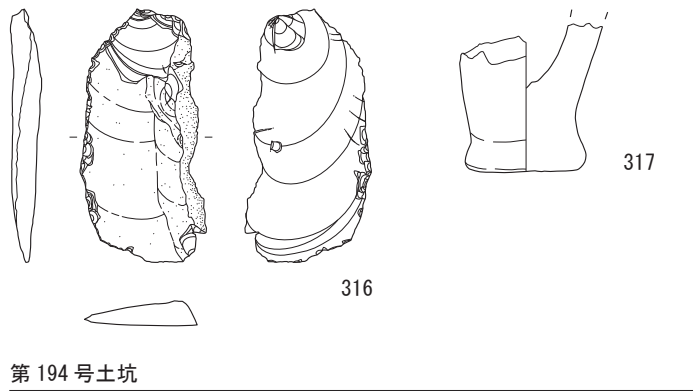
314

第193号土坑

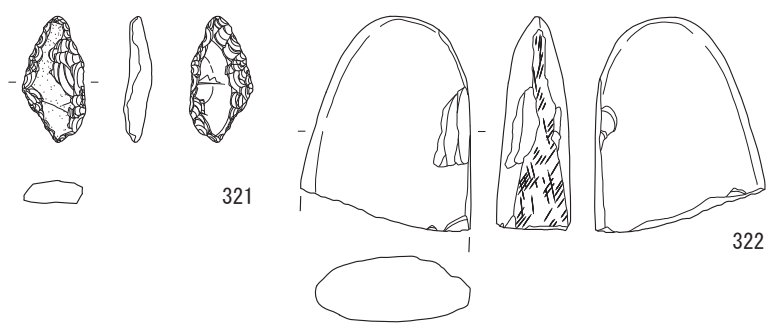


315

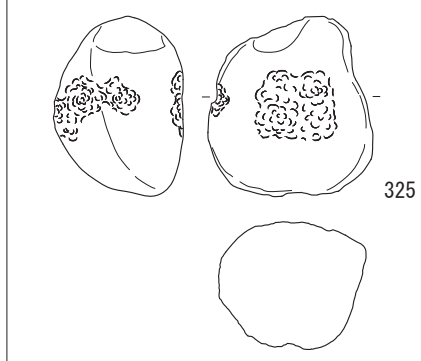
图238 土坑出土遺物



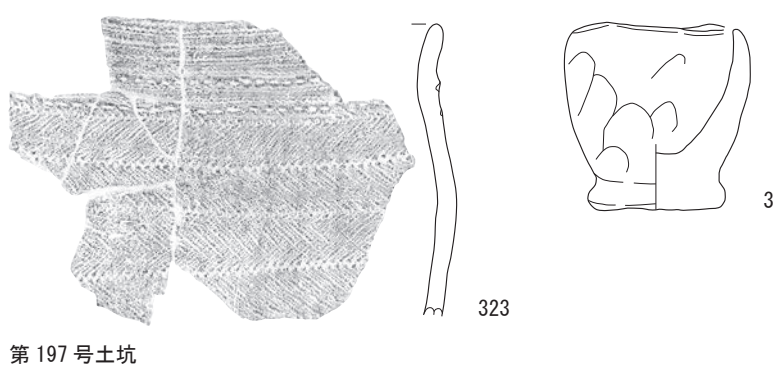
第195号土坑



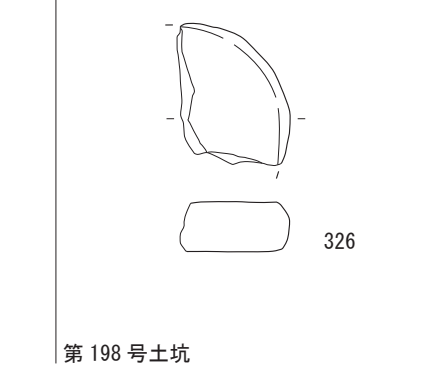
第196号土坑



第199号土坑



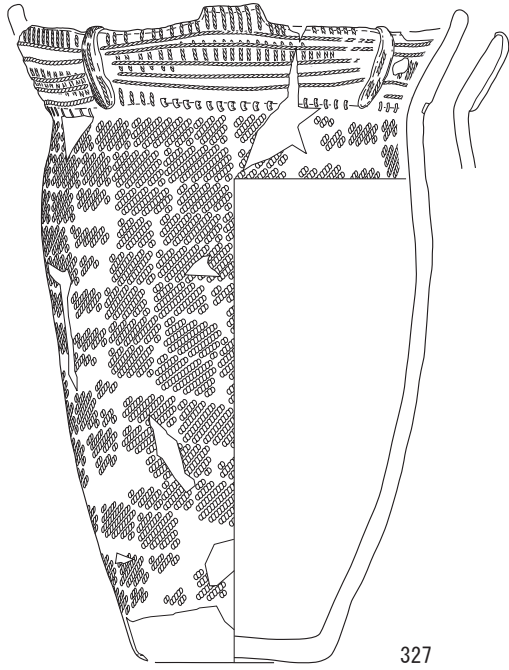
第197号土坑



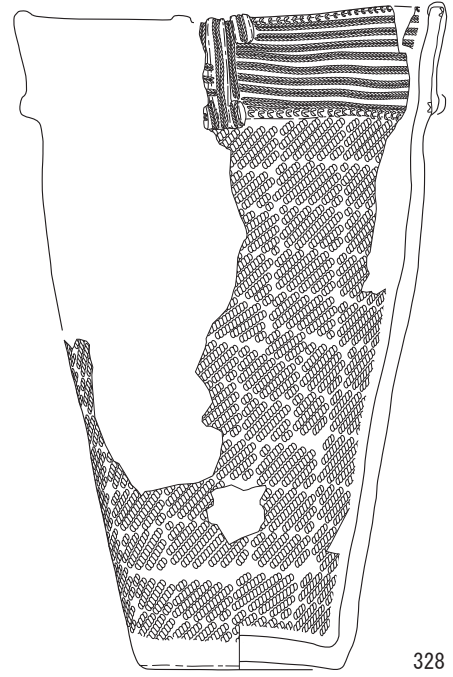
第198号土坑

0 1:2 5cm 剥片石器・土製品 (317・324・326)
 0 1:3 5cm 礫石器
 0 1:4 10cm 土器

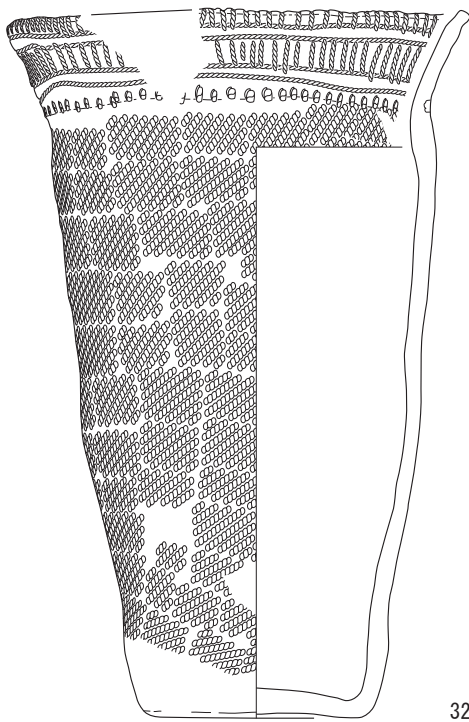
图 239 土坑出土遺物



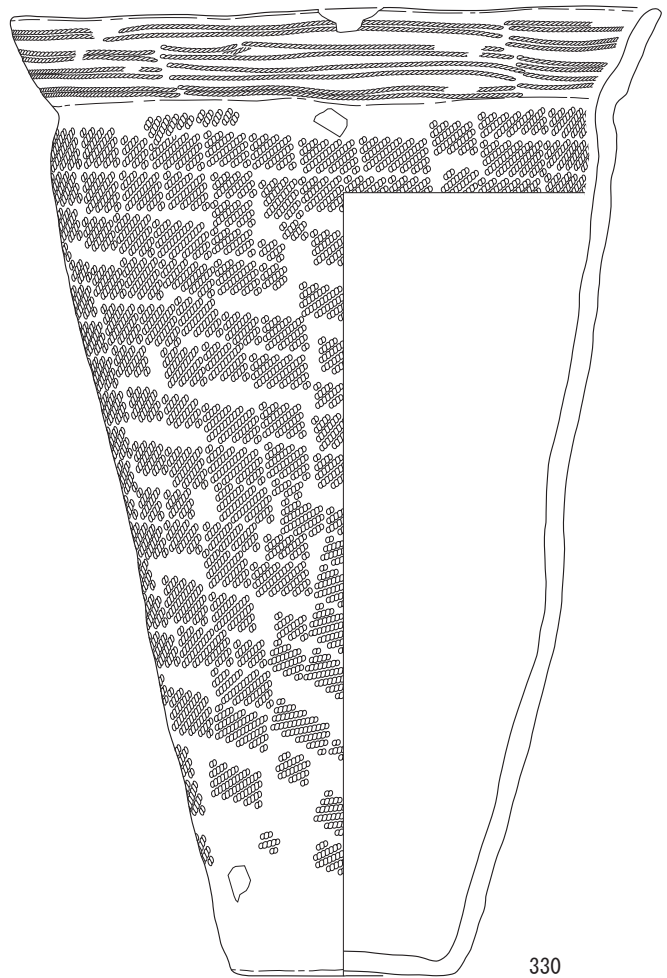
327



328



329



330

第198号土坑

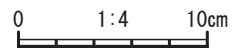


图240 土坑出土遺物